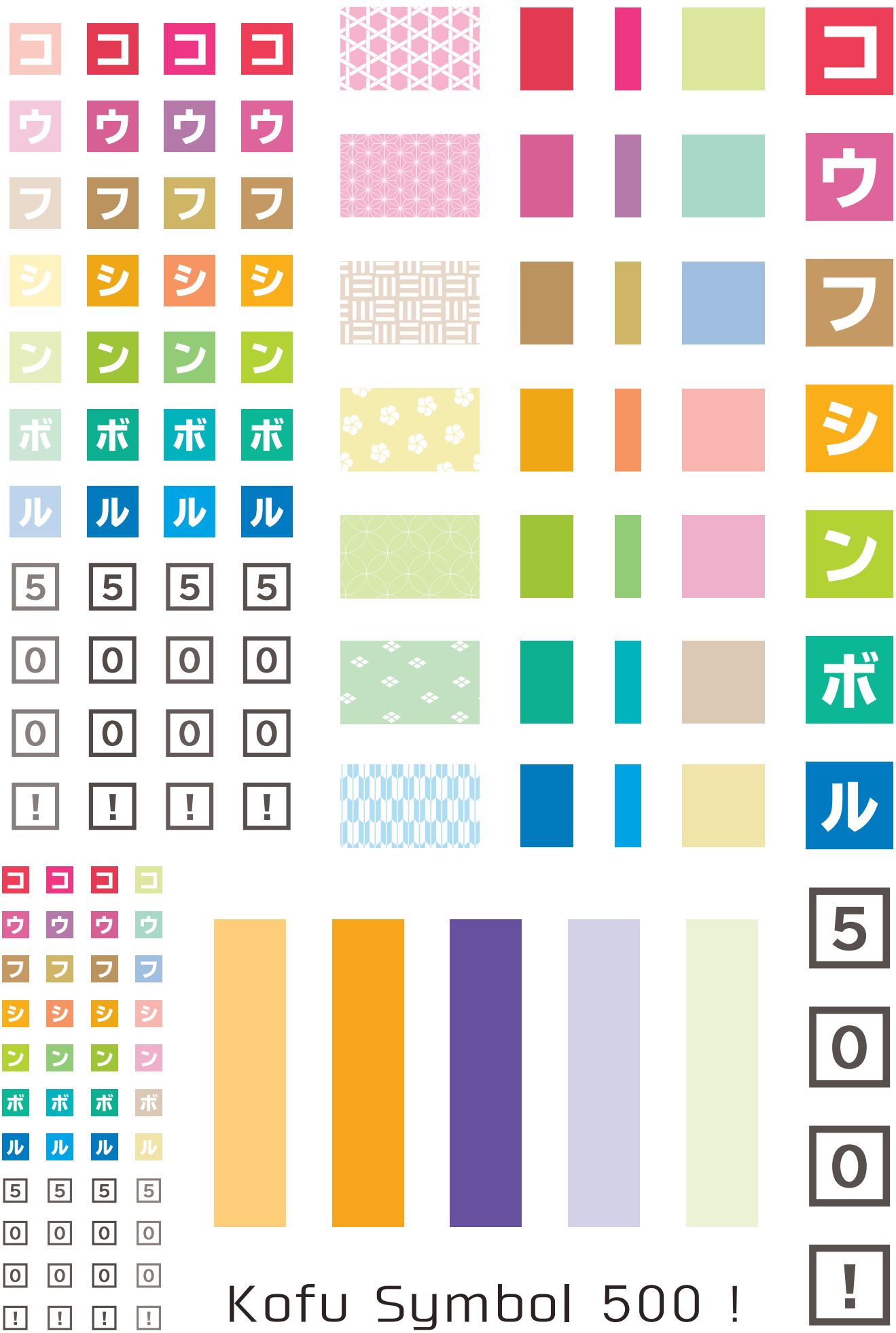

コ
ウ
フ
シ
ン
ボ
ル
5
0
0
!
Kofu Symbol 500 !

甲府をデザインからもっとすきになる。

Greeting

ごあいさつ

『デザインという切り口から甲府を楽しくする冊子「コウフシンボル 500」の制作を通して、甲府市の文化・歴史・伝統をシンボルの観点から収集し、新たなる発見・気づきを交流のきっかけとし、後世につないでいくこと』を掲げる「コウフシンボル 500 プロジェクト」は、2019 年 4 月、甲府開府 500 年記念事業企画提案事業として認定していただきスタートしました。
この壮大なプロジェクトの代表である私稲生は、甲府への移住者です。甲府に住みたい！と思い移住したものの、まだまだわからないことだらけ。そんな私が制作委員会を立ち上げ、一からボランティアとシンボルを募集し、情報を収集し、シンボルを選定し、取材し、記事を書き、写真を集め、必要な掲載許可をいただき、編纂し、ようやく皆様のお手元にお届けすることができる運びとなりました。今、振り返るとなんと壮大なプロジェクトにしたことか。このプロジェクトの末に「コウフシンボル 500」が完成したことは奇跡に近いと感じます。このような何の前例もない企画に賛同し、一緒に活動してくれた制作委員会とボランティアの皆さんをはじめ、こうふ開府 500 年担当の方々、様々にご協力くださった皆様がいなければ「コウフシンボル 500」は完成させることができなかったでしょう。本当に、感謝しかありません。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

さて、突然ですが、あなたは甲府が好きですか？「好き！」という方も、「好きも嫌いも・・当たり前にある」「知らない」「行ったことがない」という方も、この本を手にとってくださって大変嬉しいです。地域の活性化が叫ばれる昨今ですが、その土壌となるのは「知る・好きになる・関わる」の連携ではないかと思っています。もうひとつ加えるならば「好きだと気づく」でしょうか。そういった誰かの気づきやアクションにつながればいいなと思い、この本の 1 ページ目には「甲府をデザインからもっとすきになる。」と入れました。
ちなみに、私は甲府が大好きです。とても魅力的な街だと思います。その魅力は、空気、水、自然、人、歴史、文化・・など、沢山あります。「そんなところ、あちこちにあるんじゃない？」そういう声も聞こえてきそうですが、同じ環境もないし、同じ人もいません。街かどの景色、そこにある思いやストーリーは、唯一無二の魅力を放ち、甲府を照らしています。そして同じように、シンボルにはひとつひとつストーリーがあり、そこに関わる人たちがいます。
今回、“シンボル”という枠組みで様々なシンボルを並列的に掲載させていただき、素人がそれぞれの視点から記事を書きました。それは一見、乱暴にも見えるかもしれませんが、窓のようなイメージで見ていただければと思っています。シンボルの先にある、ここにしかない人の営みに目を向けていただけますと、より一層楽しんでいただけるかと思います。ぜひ、色々な目線でこの本を楽しんでいただければと思います。

令和 2 年、年が明けて間もない頃から新型コロナウイルスにより、私たちの生活は一変しました。今まで経験したことのない変革の時をむかえています。実際、本プロジェクトも少なからず影響を受け、掲載許可をお願いした中には、休業や閉店予定のために掲載をお断りされたケースもありました。2020 年 3 月に予定していた「コウフシンボル 500 発表記念交流会」も開催時期未定の延期となってしまいました。
甲府が誕生して 500 年。この間にも、今の私たちのように変革の時を感じた人々がいたのでしょうか。これから、100 年、200 年、、500 年後、私たちひとりひとりの生き様が紡いでいった先で、人々はどんな暮らしをし、どんな甲府の姿があるのでしょう。
まだまだ変化で大変な時ではありますが、協力してこの困難を乗り越え、甲府がより素晴らしいものとして繋がっていくことを信じていきたいと思います。
このような折、これまでの 500 年間に触れることができる「コウフシンボル 500」が、皆様のこうふぐらしをより豊かなものにし、一緒に甲府を盛り上げ楽しんでいければ幸いです。

長文となりましたが、最後に“甲府”への心からのリスペクトと、その一員として受け入れてくださった皆様に心からの感謝を表明してご挨拶にかえさせていただきます。

コウフシンボル 500 制作委員会　代表　稲生えり

Enjoy!

この本のたのしみかた



みんなで

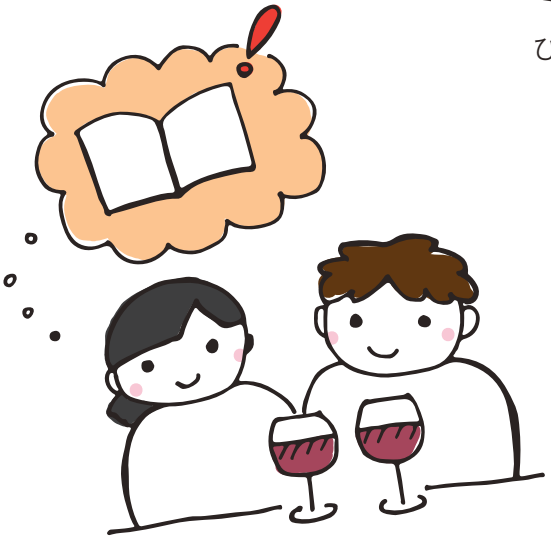


街歩き



ひとりで





お店へ go!

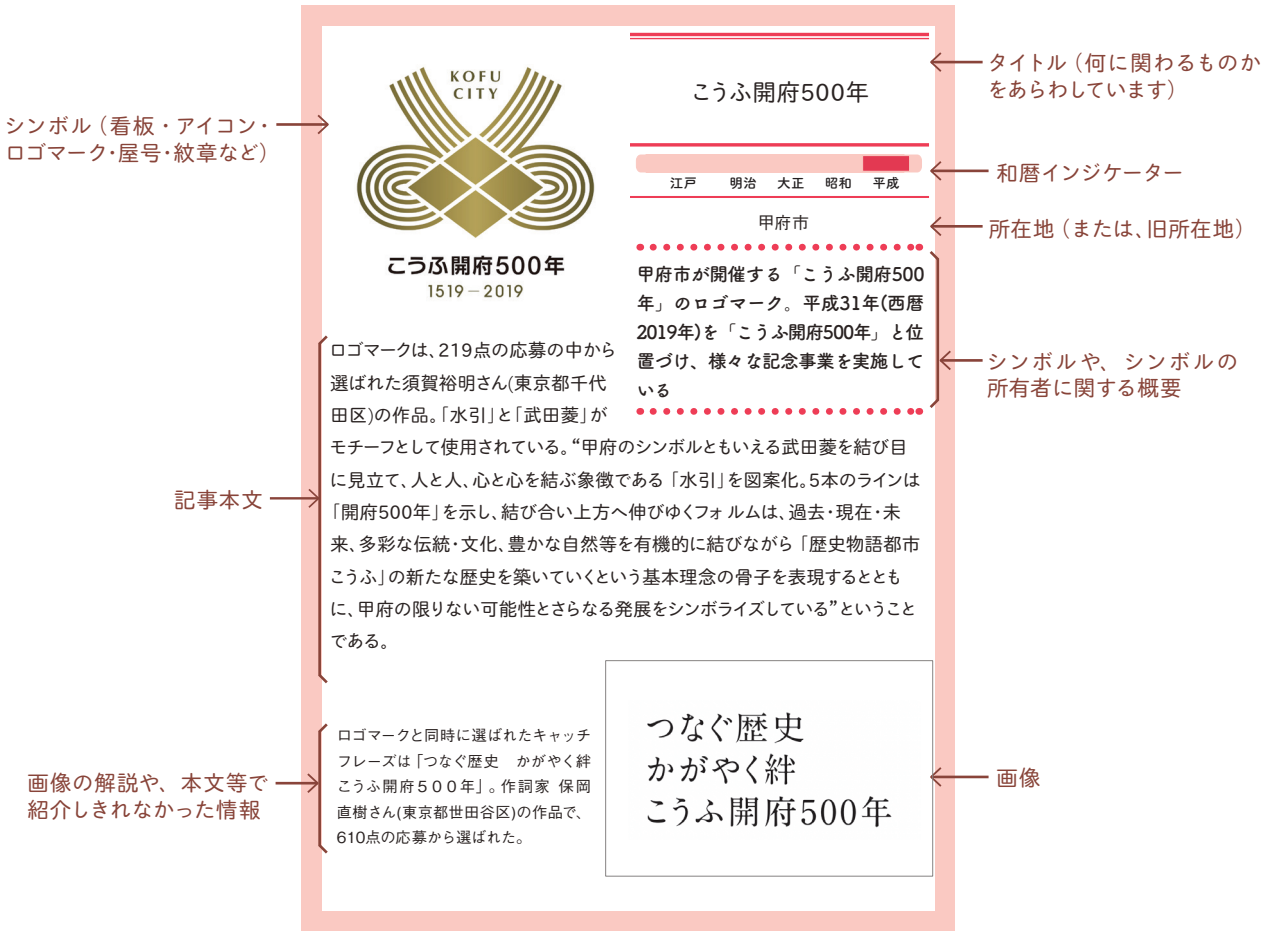


孫へ引き継ぐ

Illustlrated by elis-ya

How to read

この本のよみかた



各シンボルの記事は、市民ボランティアが調査・取材等を行い、取材者目線で書きました。
そのため、個人的見解を多分に含んでいます。

※ Q&A もご参照ください。

About Symbol

コウフシンボル 500 制作委員会では、下記基準を設け、シンボルを選出しました。

コウフシンボル500

シンボルの選出基準

＜ シンボルの対象（収集要件）＞

シンボル収集の対象は、下記１～４すべてを満たすものとする。

1.【所在地】

シンボルを有する個人または法人、公共機関等の所在地が甲府市内にある、又はあった事実を有するものを基本とし、甲府市との関係性が極めて濃厚である場合は例外的に認めるものとする。（本店・支店は問わない）

2.【時間】

2019年4月1日時点で1年以上存在している､又は存在していたシンボルであること｡(例＝2018年4月1日以降にオープンしたお店のもの等は×）

3.【シンボルの定義】

シンボルとは、特定のフォント、ロゴなどの固有のデザインを有するものとする。

4.【選出方法】

選出にあたっては、本選定基準に基づき、甲府に関連するシンボルを集め、優先選出（教育機関や公共施設・行政等のシンボル）を決定、優先選出の対象とならないシンボルから制作委員会メンバー及び市民ボランティアによる多数決投票にて上位より市民選出を決定する。

5.【その他除外要件】

宗教団体については、基本的にシンボルの選出外とする。但し、神社仏閣等で公共に認められた歴史的文化財は選出の対象とする。

＜市民選出の考え方＞

「市民選出シンボル」の選考に当たっては、下記の内容を踏まえ、市民ボランティア各々が自己の判断に基づいて投票するものとする。

「コウフシンボル 500」は、「デザインという切り口から甲府を楽しくする冊子」を掲げ、「コウフシンボル 500」の制作を通して甲府市の文化･歴史･伝統をシンボルの観点から収集し、新たなる発見･気づきを内外の交流のきっかけとし、後世につないでいくという使命を担っています。

「見慣れたマークだけど甲府発だったんだ」といった身近なものから「あ、これ知ってる！懐かしい～」とか「こんなのあったんだ、面白いな～」というものまで、文化的・伝統的なもの、歴史の中で埋もれていく可能性のあるもの、心に響いたもの、思い入れのあるもの、デザインのインパクトがあるものなど、単に有名度や規模の大きさで計るのではなく、市民が思う次世代に残したいシンボルを集約・選定し残していくことが「コウフシンボル５００」らしい選考方法となると考えます。

Q&A 1 コウフシンボル 500 プロジェクトって何ですか？

甲府をデザインからもっと好きになる！をテーマに、こうふ開府500年企画提案事業として活動しています。甲府の中にあるシンボル（ロゴマーク・屋号などなど）を集め、開府～現在の甲府の文化・歴史・伝統を後世に残すワクワクするような冊子「コウフシンボル 500」を発行するプロジェクトです。

Q&A 2 「コウフシンボル 500」は売っていますか？

販売はしていません。無償配布の限定 1000 部発行のみとなります。また今後も増刷及び販売の予定はありませんので、お手元の冊子は 1000 分の 1 冊です。ぜひ大事にしてくださいね！

Q&A 3 「コウフシンボル 500」はどこで見られますか？

主な閲覧場所は、県立図書館、市立図書館となります。市役所、公民館、学校、病院等の公共的な場所にも配布させていただきますが、自由に閲覧できるのは図書館が便利かと思われます。また、今後「電子版」をホームページにアップし、冊子がお手元にない方にも広くご覧いただけるようにいたします。

Q&A 4 「コウフシンボル 500」はどのようにして作られたんですか？

制作委員会、市民ボランティア、学生のチームによって制作されました。一般募集およびこのチームにより各シンボルをたくさん集め、多数決にて選出したものを、制作委員会とボランティアが手分けして取材や記事作成などを行い、一冊にまとめました。

Q&A 5 マーク、シンボルマーク、ロゴマーク、アイコン（立体含む）、文字列、紋章の違いは何ですか？

デザイン上の定義が難しくなるため、今回の制作においては、上記のモノを総称して「シンボル」として呼ぶことにしました。

Q&A 6 会社のシンボルがオフィシャルのものと違うように思いますが？

会社やお店などにおいては、正式なロゴマーク以外にも社章や商品のマークなど様々に多数存在する場合が多々あります。そのように複数ある場合は、その中から掲載させていただきたいものを制作委員会で選出しましたのでご了承ください。

Q&A 7 和暦インジケーターの時代が違うような気がするのですが・・・？

掲載記事の中にはシンボルが制作された時期は「平成」であってもお店は「江戸」の創業というような例が多分にあります。そのような場合は、会社やお店の「創業時期」をインジケーターに反映してあります。

Q&A 8 「シンボル」と「画像」が掲載されているけど、どちらも画像（データ）じゃないの？

本紙本文内では、記事の左上を「シンボル」、その他の写真等を「画像」と呼んでいます。

Q&A 9 掲載されている写真のクオリティやシンボルのフォーマットがバラバラだけど・・・？

取材先（掲載先）からいただいたものや、取材時に撮影したものなどフォーマットが統一できずにあります。当然に古いものもあったりと寄せ集めではありますが、できるだけ「掲載する」ことを優先しました。この手作り感を味として楽しんでいただければ幸いです。

Q&A 10 掲載されている情報が間違っているんだけど？

気づいていただき、ありがとうございます！間違った情報を掲載している箇所がありましたらお手数ですがご連絡いただけますと幸いです。

【連絡先メールアドレス】kofulifelab ＋ ks500@gmail.com

Q&A 11 この活動に今から参加できますか？もしくは今後も活動は続きますか？

こうふ開府 500 年企画提案事業としての制作委員会活動は冊子の発行、および「電子版」の公開にて終了となります。新たに参加者を募集する予定は今のところありません。ただし熱いパッションを投げかけてくれた方がいるのであれば、今後もスピンオフ企画を考えていきたいと思っていますので、ぜひお気軽にお声がけください！


コウフシンボル500

11 コ コウキョウ ノ シンボル（公共機関・公共性の高い施設など）

27 ウ ウヤマイ ノ シンボル（神社・仏閣）

37 フ フルキヨキ シンボル（古きもの・懐かしきもの）

49 シ ショウギョウエリア ノ シンボル（商店街・商業施設など）

59 ン ン？ キニナル シンボル（武田二十四将の旗印）

67 ボ ボランティア ノ エラブ シンボル（会社・お店など）

129 ル ルーツ ノ シンボル（学校など）

157 5 ５００年のページ

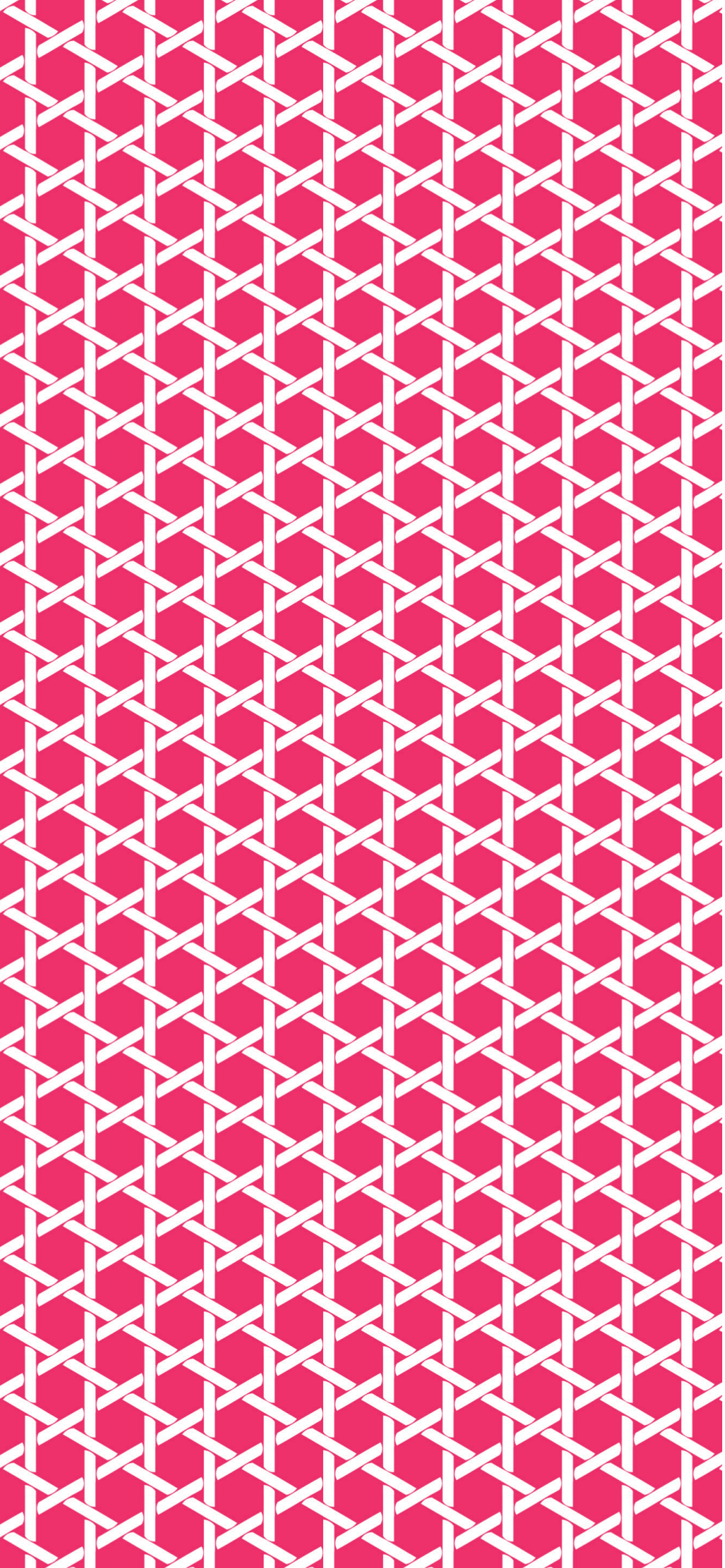
160 0 ボランティアのページ

162 0 学生のページ

164 ! 番外編：甲府の昔の地図，こんなとこにも武田菱！，他

ご協力・ご協賛・広告

引用参考文献



コウキョウノシンボル

公共団体・公共施設に限らず、広く公共的に市民の生活に関係しているシンボルを集めました。
普段利用している馴染み深い施設や団体などの、新たなる発見につながればうれしいです。

＜本項について＞
・各公共施設・団体・個人等のご協力により、シンボル・画像等をお借りして掲載しています。
・本書内に掲載されているシンボル・画像・イラスト・文章・データ等の無断転載および無断転用をかたく禁じます。
・シンボルおよび画像の著作権・所有権・商標登録における権利等は、所有者（または貸出主等）に帰属します。
・上記、著作権等の権利やその他本書に関するご不明な点におかれましては、コウフシンボル 500 制作委員会（メールアドレス：kofulifelab+ks500@gmail.com）へご連絡ください。

甲府市 市章(市旗)

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府市

明治39年(西暦1906年)10月に制定された甲府市の市章。2019年にこうふ開府500年を行い、同年に中核市へ移行

菱形の中央に亀がいるような甲府市の市章(市のシンボルマーク)。割菱の形は、甲府を拠点とした武田氏の家紋からとったもので、亀甲模様は「甲」の字の象形文字と、市の長寿を意味する。また亀甲の頭尾四肢を内側に伸ばして連接すると「本」という字になり、中国の書『玉編』の中で「府は本なり」といわれることから甲府の「府」を意味する。紫色の割菱は甲府特産のぶどうの色、白地は平和を表す。「甲斐国の府中」がその名の由来である甲府は、縦に長く様々な地形に富み歴史・文化・自然が溢れており、沢山の美しい山々が望めることから、山の都とも称される。ワインを始め素敵な食文化も魅力の地。



甲府市中心にある市庁舎。現庁舎は平成25年に竣工。1階にはローソン、2階には郵便局も併設されている。
甲府市の木は「カシ」、市の花は「ナデシコ」、市の鳥は「カワセミ」である。

EI

シンボル 提供:甲府市

こうふ開府500年

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府市

こうふ開府500年を記念するロゴマーク。「甲斐の府中」を略して「甲府」と呼ばれるようになった

甲府は永正16年(西暦1519年)、武田信虎が躑躅が崎の地に館を移し、城下町の建設に着手したことに始まり、2019年に500歳の誕生日を迎える。この記念の年を盛り上げる象徴としてマークは誕生した。
このマークは武田菱を結び目に見立てて、人と人・心と心を結ぶ象徴である「水引」を図案化したもの。5本のラインは「開府500年」を指示し、過去・現在・未来と多彩な伝統・文化・豊かな自然などを結びながら、新たな歴史を築き、甲府のさらなる発展を表現している。作成者は須賀裕明さん。219点の応募より選ばれた。また、キャッチフレーズは「つなぐ歴史　かがやく絆　こうふ開府500年」で、申請を出すとロゴマークと一緒に使用することが出来る。



甲府市役所10階の展望ロビーからの眺め。展望ロビーへはだれでも行くことが出来る。街並みと自然を一緒に眺望することが出来て晴れた日は山の稜線が美しい。

IO

シンボル 提供:甲府市

甲府市立図書館

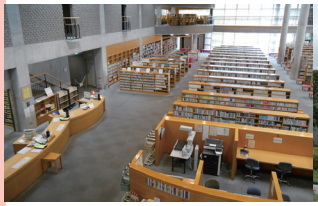


江戸 明治 大正 昭和 平成

城東1丁目12-33

甲府市立図書館のマスコット"ブックン"は平成9年2月に市の鳥「カワセミ」を擬人化しイラストレーターの小澤保幸氏が作成。愛称は平成8年に公募し、愛称選定委員会が決定した

甲府市立図書館は大正15年(昭和元年・西暦1926年)12月に『甲府通俗図書館』として閲覧を開始した。その後、2度の改称を経て平成8年(西暦1996年)10月甲府市城東1丁目に現在の『甲府市立図書館』が建設された。甲府市立図書館から遠いところに住んでいる住民のために、約3,500冊の本をバスに積み甲府市内33か所を1か月に2回巡回する移動図書館「なでしこ号」を運行している。無料で利用できる駐車場があるほか、絵本の読み聞かせやおはなし会、視聴覚ホールでの朗読会や音楽会、会議室等での各種講座、展示室での展示会などを行っている。





館内は広々としている。また建物の外はライブラリープロムナード(図書館散歩道)と緩衝緑地による歩行者に快適な街路づくりをめざし、特に塀やフェンスなどを設けず、街路に向かって開かれた図書館として設計されている。

AM

シンボル・画像 提供:甲府市立図書館

甲府市遊亀公園附属動物園



江戸 明治 大正 昭和 平成

太田町10-1

動物のイラストが可愛い看板は遊亀公園内にある甲府市遊亀公園附属動物園の入り口に設置されゲート。きっとたくさんの子どもたちがワクワクしながらこの下をくぐってきたに違いない

所在町名から太田町公園とも言われている。遊亀公園は遊具や噴水があるほか、遊亀公園付属動物園も併設する甲府市民憩いの場。毎年5月には、隣接する稲積神社の「正ノ木稲荷祭り」が行われ、植木市や露天等が出店して、たくさんの人で賑わう。動物園は、大正8年に開設され、昭和元年にアジアゾウを購入し、ゾウの飼育が始まり、昭和60年に中国の友好都市である成都市からレッサーパンダ2頭が寄贈されるなど動物の拡充が進められ、令和元年度に100周年を迎えた歴史のある動物園。甲府市のほぼ中心にある都市型の動物園のため敷地面積は約14,000mとそう広くはないものの動物をより近くで観察でき、だれでも気軽に楽しめる動物園となっている。



遊亀公園には亀が土台となった珍しい石碑も。かつては、公園内に野外音楽堂があり、コンサート等のイベントが開催されていたこともある。

DN

協力:甲府市遊亀公園附属動物園

市立甲府病院

江戸 明治 大正 昭和 平成

増坪町366

病床数408床、31診療科を持つ甲府市の地域拠点病院。昭和7年に市立愛宕病舎の一部を普通病院として開院した

市立甲府病院では数か月ごとに「おしえてドクター&健康応援ひろば」という甲府市広報を作成しており、病気などの知識を患者に分かりやすく伝える工夫を続けている。

平成25年に『24時間テレビ36「愛は地球を救う」』内で放送されたスペシャルドラマ「今日の日はさようなら」のロケ地になった。市立甲府病院のロビーなどをドラマ内で見ることができる。ドラマの内容は「片田舎の温かい家庭で生まれ育ち、何事にも中途半端に生きてきた普通の青年・富士岡耕太。そんな彼を、ある日突然悪性リンパ腫が襲った。辛い治療の日々に翻弄される中、様々な人との出会いにより、耕太の中で何かが変わっていった。寛解、そして、再発。余命宣告を受けた耕太は自らの命の期限と向き合い、『ちゃんと生きて、ちゃんと死ぬ』ことを決意する。」といった深い内容で、印象深い人も多いはず。視聴率は23.4%。



周囲には畑と住宅街が広がり、山を望む。

シンボル・画像 提供：市立甲府病院

AM

甲府市リサイクルプラザ



江戸 明治 大正 昭和 平成

上町601-2

甲府市リサイクルプラザに所属するリサちゃんは甲府市のゴミ減量イメージキャラクター

リサちゃんは、平成3年から甲府市のごみ減量イメージキャラクターを務めている。リサちゃんの所属する甲府市リサイクルプラザは、限りある資源を有効活用する「廃棄物循環型社会」実現のため、ごみ処理施設の一環として平成9年に開館した環境総合教育施設。年間を通じて利用できる温水プール、浴室、トレーニング室、体育館、図書コーナーなどの施設を完備している。市内小中学生等は紙パックを集めて施設利用料が無料になるユニークな制度もある。



リサちゃんはゴミ出し日程表や甲府市のごみ分別アプリの顔にもなっている。

リサイクルプラザの外観、施設内の様子。さまざまな施設で市民に親しまれる憩いの場となっている。



シンボル・画像 提供：甲府市

EI

上九の湯



江戸 明治 大正 昭和 平成

古関町1174

上九の湯の看板。緑深い谷あいを流れる芦川沿いにあり、川のせせらぎと四季折々の自然が心をなごませてくれる上九の名が残る日帰り温泉

古関町にある上九の湯ふれあいセンターは、国道358号線(精進湖線)沿いにある。以前は上九一色村の施設であった。平成18年、平成の大合併により、上九一色村はの北側の梯と古関地区は甲府市になり、南側の精進と本栖と富士ヶ嶺地区は、富士河口湖町となる。

現在は、上九の名が残り地元に愛され続ける甲府市の公共温泉施設。

露天風呂や、うたせ湯があり、芦川渓谷の自然を感じられる。

泉温30度の低温泉。泉質はカルシウム・ナトリウム硫酸塩温泉。高アルカリ性泉で高い温泉効果が期待出来る。温泉スタンドや夏季はプール営業もある。

緑の建物の上九の湯。温泉スタンドでは1ℓ1円で10ℓより購入が可能。
隣には、上九ふれあい農産物直売所があり、地元名産で「甲府之証」伝承1号の「くいしきみそ」やこんにゃくなどが販売されている。



協力：甲府市

AT

信玄公像



江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目

甲府駅前に設置された信玄公の銅像。甲府の名所として観光客の撮影スポットにもなっている

信玄公像は、武田信玄公奉賛会が信玄公の遺徳をしのび、県民の気運を高揚することを目的に、県内外の有志1,080人から集めた浄財で建設された。昭和43年4月8日に建設を開始し、翌年4月12日(信玄公の命日)に完成し、甲府に寄付された。像は川中島の戦いの陣中における姿を模したもので、右手に軍配、左手には数珠を持ち、床几(しょうぎ:陣中や狩場などで使う、足の交差した腰掛)にどっかりと腰をおろしている。戦国時代に精鋭を誇った甲州軍団を、思うがままに操った名将にふさわしい堂々とした様子がうかがえる力強い銅像。年末には念入りに洗浄が行われる。



台座、信玄公がそれぞれ3,1m、全長は6,2m。重さは約5,000kg。
台座は山梨の塩山御影石で作られている。

シンボル 提供：甲府市

AM

甲府移住ノート

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目18-1甲府市役所
甲府コンシェルジュ移住・定住窓口

甲府移住ノートについているマークは、山梨のシンボル富士山と富士山の手前に広がる山々をモチーフとすることで山の都甲府を表現している

甲府市には、移住・定住を支えるコンシェルジュ機能があり、移住したい人を全力でサポートしている。『甲府移住ノート』は甲府への移住を考えている人だけではなく、「移住してみたい…」と思い始めた人にも使ってほしいノート。移住にあたっての気持ちの確認や整理ができたり、移住後の仕事・子育て・教育・生活環境など、必要な情報を細かく記入でき、甲府での暮らしを具体的にイメージする参考となる。『甲府移住ノート』は相談所でもらえる他、甲府市が運営するサイト「甲府の暮らし方」からもダウンロード可能。



東京などで行われる移住セミナーでも出張移住相談を行なっている。



甲府移住を検討している人向けのホームページ"甲府の暮らし方"甲府に住む人に知ってほしいこと等を発信している。

シンボル・画像 提供：甲府市

SK

KOFUSAMURAI Wi-fi

江戸　明治　大正　昭和　平成

甲府市

KOFUSAMURAI Wi-Fiエリアに貼ってあるシールのデザイン。平成27年に発足した甲府市、甲府市観光協会、東日本電信電話株式会社山梨支店、株式会社カプコンによる合同プロジェクト

地域活性化の取り組みの一つとして開府500年に向けて立ち上げられた「こうふSAMURAI Wi-Fiプロジェクト」。近年、国内外観光客、特に海外からのインバウンドには欠かせないツールとなっているフリーWi-Fiを提供している。公衆無線LANアクセスポイントによるWi-Fi接続環境の整備・拡大及びWi-Fiの利用促進に向けて、地域行政と大手企業が連携。平成31年の開府500年、さらには翌年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて環境の整備を行い、国内外訪問者の利便性の向上を狙い開始された。Wi-Fiを活用したイベント等の展開、甲府市観光情報等の配信や多言語対応コンテンツの作成配信も実施している。

甲府市と包括連携を行っている株式会社カプコンの「戦国BASARA」シリーズに登場する「武田信玄」のキャラクター活用を中心に、スタンプラリーなども実施されている。



シンボル・画像 提供：甲府市

YT

甲府市型下水道用鉄蓋（マンホール）

江戸　明治　大正　昭和　平成

甲府市

市の花「ナデシコ」がデザインされた甲府市のマンホール(鉄蓋)。この鉄蓋は、平成7年度から使用され、新規下水道整備及び随時取り替えが行われている(実際に設置されているものはモノクロ)



描かれている市の花「ナデシコ」は、昭和37年に甲府市の花として制定された。ナデシコは、周囲を山々に囲まれ、酷暑・寒風となる甲府盆地の中央に位置する甲府市の気候に耐えて可憐で美しい花を大空に向かって咲かせることから、市の花に指定された。「ナデシコ」をモチーフに、内側(4つ)と外側(9つ)に分け、放射状に表現した細やかな図柄となっており、この模様が滑りにくさなどの機能性も兼ね備えているとか。このマンホールは平成7年度から使用され、新規下水道整備時及び随時取り替え等を行っている。色付けされたマンホールは特別仕様(通常はモノクロ)で、甲府市上下水道局1階のロビーで見ることができる。

シンボル 提供：甲府市

EI

中道型下水道用鉄蓋（マンホール）

江戸　明治　大正　昭和　平成

甲府市内(旧中道地区)

中道町(右左口村と柏村が合併して発足)が甲府市に編入する前に設置を行なったマンホール。現在は甲府市となったため、古いものから徐々に交換され希少となりつつある(実際に設置されているものはモノクロ)



描かれているのは、旧中道町右左口(うばぐち)、上野原遺跡の発掘調査で発見された縄文式土器が6つ。中心には旧中道町の町章("中ミチ"の図案化)が配置されている。この縄文式土器は、水煙(すいえん)が立ち昇るような姿をしているため「水煙把手付深鉢(すいえんとってつきふかばち)型土器」と呼ばれ、旧中道町のシンボルとなっている。色付けされたマンホールは甲府市上下水道局1階のロビーで見ることができる。

甲府市南側エリアの旧中道地区は、自然豊かなエリア。採れたての野菜や果物を売っている直売所や、国の史跡に指定された甲斐銚子塚古墳のある曽根丘陵公園、山梨県立考古博物館などもあるので、マンホールを探しながらウォーキングしてみるのも良いかもしれない。

シンボル 提供：甲府市

EI



古関・梯農業集落排水施設用鉄蓋(マンホール)

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府市(古関・梯地区)

上九一色(かみくいしき)村時代、甲府市に編入する前に設置されたマンホール。現在は甲府市に統合されたため、古いものから徐々に交換されているため希少となりつつある(実際に設置されているものはモノクロ)

古関(ふるせき)・梯(かけはし)集落は、芦川と中道往還沿いに在る旧上九一色村の集落。どちらも戦国時代から存在する地名で『甲斐国志』にもその名が登場する。

マンホールには、村の木「ヒメコマツ(別名:富士五葉)と村の鳥「コノハヅク」があしらわれ、左上部には旧上九一色村の村章(“上九”の図案化)が配置されている。色付けされたマンホールは甲府市上下水道局1階のロビーで見ることができる。

古関・梯地区は、芦川沿いの緑豊かなエリア。ドライブがてら上九の湯や上九ふれあい農産物直売所、寺川グリーン公園まで足を伸ばしてみるのはいかがだろう。

EI

シンボル 提供:甲府市



レア・デザイン信玄公マンホール(鉄蓋)

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府市内(甲府駅付近)

こうふ開府500年記念事業の一環として、特別に製作され平成30年に設置されたマンホール。実際に道路に設置されているのは1カ所のみとなっている

図柄には甲府市を代表する歴史的人物である「武田信玄公」の切り絵風のイラストをメインに、「武田菱」や「風林火山」「ナデシコ」が配置され、甲府らしさが表現されているオリジナルのレア・デザインマンホール。

甲府駅南口の武田信玄公之像を正面に臨む、平和通り沿いの歩道内に設置されているので、足元に気を留めて探してみるのも楽しい。

YT

シンボル 提供:甲府市



こうふ開府500年記念ロゴデザインマンホール

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府市(甲府駅付近)

こうふ開府500年のロゴマークを中心に重厚感のある家紋風デザインの鉄蓋を製作し、設置。実際に道路に設置されているのは1カ所のみとなっている

こうふ開府500年記念事業の一環、記念マンホールの第2弾として設置された。こちらも、設置されているのは甲府市内で1カ所のみとなっている。

こうふ開府500年のロゴマークは、甲府のシンボルともいえる武田菱を結び目に見立て、人と人、心と心を結ぶ象徴である「水引」を図案化しており、5本のラインは「開府500年」を示している。

設置場所は、甲府駅北口のよっちゃばれ広場の歩道内。南口に設置されたレア・デザインマンホールと合わせて発見してみてほしい。

YT

シンボル 提供:甲府市



「戦国BASARA」信玄くんデザインマンホール

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府市(甲府駅付近)

「こうふ開府500年記念事業」の一環として、こうふ観光ＰＲおうえん団長である「信玄くん」をメインにデザインした限定の鉄蓋

信玄くんは株式会社カプコンのアクションゲーム「戦国BASARA」シリーズに登場する「武田信玄」をデフォルメしたオリジナルデザインで、2016年の信玄公祭りでは、ゆるキャラとして三次元化した信玄くんがデビューした。

このマンホールは「こうふ開府500年記念事業」の一環として、こうふ観光PRおうえん団長である信玄くんをメインにデザインした鉄蓋を製作、甲府駅北口の甲州夢小路の歩道内に設置されたもの。

甲府市と「戦国BASARA」シリーズとがコラボレーションした専用サイトでは、鎧姿の樋口雄一甲府市長を見ることができる。普段甲府になじみのない人にも魅力を伝える機会になったのではないだろうか。

甲府市と「戦国BASARA」とのコラボレーション企画から全国初の地方自治体とゲーム会社の包括連携協定が行われた。この協定により、市内にある無料Wi-Fiの「KOFU SAMURAI Wi-Fi」のデザインや、毎年行われている「KOFU×戦国BASARA」スタンプラリーなどが生まれている。

EI

シンボル 提供:甲府市

山梨県 県章

江戸 明治 大正 昭和 平成

山梨県

昭和41年10月1日に告示された山梨県の県章(県のシンボルマーク)。公募で採用されたデザイン案が元となっている

周囲は富士山と武田菱でうるわしい郷土を象徴しており、中は、3つの人の文字で山梨の山を形どり、和と協力を表現している。

現在ある都道府県の県章の多くは1960年代に制定されており、特に各地で「明治百年」記念行事が開催された昭和43年前後に制定されている。山梨県の県章も昭和41年に制定された。ほかに県の鳥として「ウグイス」や県の花「フジザクラ」、県の獣「カモシカ」、県の木「カエデ」も制定されている。

カモシカは、山岳地帯に生息し「忍耐・努力」を表し、ウグイスは春を告げる鳥で他の雛鳥を育てるという習性から「明朗・慈悲」を表すなどそれぞれに制定された意味合いがある。



山梨県の全体図。
13の市と14の町村で構成されている。多くの場所が森林に囲まれており、自然環境がとてもよい。また、富士山に登るための登山道もある。

山梨県

10

シンボル 提供：山梨県

山梨県 県旗

江戸 明治 大正 昭和 平成

山梨県

昭和41年12月に告示された山梨県の県旗(県の旗)

優雅なぶどう色を地に用い、中の3つの人の文字は、県民の和と協力、とり囲む白く太い線は富士山を表していて、その意味は清廉、潔白、純粋性を表現している。曲線化した富士山は流動感を表し、県民の限りない向上を願ったもの。作られた日は県章より少し遅いが、今でも県章と共に県のシンボルマークとして使われている。

山梨、八代、巨摩、都留の4つの郡からなる甲斐国は、明治4年(西暦1871年)の廃藩置県で「山梨県」となった。「山梨県」の「やまなし」の由来は諸説あり、くだもののヤマナシがたくさんとれたことや、山をならして平地にした「山ならし」が起源であるといった説がある。



県の花フジザクラは、4月から5月にかけて咲く花。寒さに耐えて咲く花は、「和と忍耐」を表現している。県内にはフジザクラの名前を使った学校があるなど、身近な存在である。

10

シンボル 提供：山梨県　画像 提供：やまなし観光推進機構

山梨県立図書館

江戸 明治 大正 昭和 平成

北口2丁目8-1

移転にあたり平成24年に制定されたシンボルマーク。全国から愛称部門3,797点、シンボルマーク部門1,512点の応募が寄せられた

山梨県立図書館
YAMANASHI PREFECTURAL LIBRARY

シンボルマークは公募により選ばれた大澤元裕さんの作品。山梨(Yamanashi)のYをモチーフに、本を積み重ねた様子を表現した山梨県立図書館のシンボルマーク。積み重ねた本は、大地と大きく広がる若い芽も象徴している。愛称は「かいぶらり」。山梨の旧国名である「甲斐」と図書館の「ライブラリー」をかけて、気軽に立ち寄ることができる図書館を表現している。

明治33年(西暦1900年))に山梨教育会附属図書館として開館したのがその前身で、昭和6年に教育会から山梨県に寄付されて山梨県立図書館となった。平成30年より言語学者の金田一秀穂さんが館長をつとめている。



甲府駅北口から徒歩3分。
多目的ホール・交流ルーム・サイレントスペースといった設備のほか、カフェも備え付けられている。読書をしながらゆったりとした時間を過ごすことができる。

AM

シンボル・画像 提供：山梨県立図書館

山梨県立科学館

江戸 明治 大正 昭和 平成

愛宕町358-1

平成10年から平成30年度まで、カガクスキーの名で親しまれていたキャラクター

館内には、スペースシアターや天体観測室・実験工作室や常設展示室など、様々な施設が備えられている。スペースシアターの光学式投影機「メガスターⅡA Kaisei」は天の川の星粒までもリアルに映し出し、表現豊かなデジタル映像を楽しむことができる。Kaiseiという名前には「甲斐の星を快晴の空のもとで見たい」という思いが込められている。2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智名誉館長の特別展示コーナーや、年間を通して宇宙に関連するイベントが開催されていることも見どころの一つ。「愛宕山こどもの国」の園内にあるため、恵まれた自然に囲まれながらアスレチックや遊歩道での散歩ができる。



愛宕山に建つ科学館。
南側の開放的なテラスからは、甲府盆地を一望でき、晴れている日には絶景の富士山が。ミュージアムショップでは、宇宙雑貨や実験グッズ、宇宙食などのオリジナルグッズを販売。お気に入りのお土産を見つけられるかもしれない。

AM

シンボル・画像 提供：山梨県教育委員会

山梨近代人物館

山梨近代人物館
The Museum of Modern Yamanashi Historical Figures

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目6-1

山梨県庁舎別館内に、山梨ゆかりの人物の功績を紹介する施設として、平成27年4月2日に開館した

人物館がある山梨県庁別館は貴重な文化遺産であり、山梨県の発展を支えてきた幾多の先人たちの思いが詰まった建物である。県内外の多くの人に山梨県の魅力を知ってもらうために、県庁舎別館内という利便性が高い場所に展示施設を整備している。
先人たちが山梨県を舞台にどのような活動をしたのか、時代を超える記憶がこの場所に展示されている。開館時間は午前9時～午後5時までで、入館料は無料。



<導入展示室>導入映像とともに、50人の偉人がお出迎えしてくれる。各人物の功績や、人物が残した言葉などを紹介している。



<笹子隧道>中央線笹子トンネルを再現。笹子トンネルの歴史映像を楽しむことができる。

AM

シンボル 提供：山梨近代人物館

山梨県立博物館

山梨県立博物館
Yamanashi Prefectural Museum

江戸 明治 大正 昭和 平成

山梨県笛吹市御坂町成田1501-1

親しみやすい博物館を整備するため、シンボルと愛称が公募により制定された。愛称「かいじあむ」は甲斐とミュージアムをかけたもの

基本テーマは「山梨の自然と人」シンボルは山梨の頭文字「Y」を山梨の自然・歴史を表すぶどう色で表現し、博物館の建物を表す背景と組み合わせてイメージ。また、人を導くシンボルとして「歴史と文化にいざなう扉」がデザインされている。
自然系展示と歴史系展示を分けずに展示・収集し、調査研究活動、社会教育活動を行う。常設展示は原始時代～現代と時系列に沿った展示であるが観覧順序は自由導線。「水に取り組む」「信仰の足跡」といったテーマに沿った展示になっている。山梨の郷土資料「甲州文庫」「頼生文庫」「若尾資料」なども多く収蔵。高校生まで無料のほか一般520円など利用しやすい料金設定になっている。

スペシャルマスコット「さんりー」。
館内の「体験工房」は、山梨の歴史と文化を五感で体験できる展示。実際に資料を触ったり、昔の衣装を着たり、おもちゃで遊んだり、方言や民謡を聞くことができる。



AM

シンボル・画像 提供：山梨県立博物館

山梨県立考古博物館

YAMANASHI Pref. MUSEUM ARCHAEOLOGICAL

江戸 明治 大正 昭和 平成

下曽根町923

キャラクターの"いっちゃん"がいる山梨県立考古博物館は、山梨に生きた先人達の足跡に触れられる考古資料専門の博物館。芸術性の高い縄文土器が多数展示されている

考古博物館の収蔵品である国の重要文化財、一の沢遺跡(山梨県笛吹市境川町)出土の土偶をモデルとしたキャラクター「いっちゃん」。平成6年、考古博物館でのイベントの景品として渡すバッジのデザインとして考案。この土偶キャラクターは、一の沢遺跡にちなんでいつしか「いっちゃん」と呼ばれるようになった。
平成24年夏、"ミュージアムキャラクターアワード2012"が開催。ミュージアムキャラクターの日本一を決める催しが行われ、ここに土偶キャラクターの「いっちゃん」も参加した。

いっちゃんのモチーフとなった土偶。
縄文時代の女神と言われている。
常設展では、旧石器時代の石器をはじめ、縄文土器や古墳から出土した副葬品など、県内各地の遺跡から発掘された考古資料を展示している。



SK

シンボル・画像 提供：山梨県立考古博物館

山梨県立美術館



江戸 明治 大正 昭和 平成

貢川1丁目4-27

平成30年に作成されたアイコン。貢川の「芸術の森公園」内にある美術館。昭和53年の開館以来「ミレーの美術館」として親しまれている

平成30年に開館40周年を迎え、新たな試みとして「種をまく　世界がひらく」のキャッチコピーと、ミレー『種をまく人』のアイコンを作成した。『種をまく人』は、右足を大きく踏み出し、腕を力強く振り上げて種をまく人物を堂々と描いた作品。アイコンはその力強いポーズを、分かりやすく線画で表現している。
キャッチコピーの「種をまく」には一歩を踏み出す、未来につながるという意味を託し、「世界がひらく」には、新しい世界が自然に開いていくというイメージを持たせている。美術館が皆さんの「種をまく　世界がひらく」きっかけになりたいという希望と、美術館もまた新しい「世界がひらく」ように歩み続けたいという決意が込められている。

公園にも多数の彫刻作品があり、館内にはミレー館の他、特別展示室や山梨ゆかりの作家の作品を紹介するテーマ展示室、甲府市出身の萩原英雄の作品を紹介する萩原英雄記念室がある。



SK

シンボル・画像 提供：山梨県立美術館

山梨ジュエリーミュージアム

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目6-1
山梨県防災新館1階

山梨ジュエリーミュージアムのシンボルマーク。国内有数の宝飾産地である山梨で制作されたジュエリーや山梨の宝飾加工の歴史を紹介している施設。ジュエリー制作体験も楽しめる

山梨県の宝飾産業の歴史は古く、江戸時代に水晶研磨の技術が京都から伝わり、県北部から産出した上質な水晶を加工したことが始まりといわれる。現在ではジュエリーにかかわるあらゆる業務が集中する、世界的にも珍しい「集積産地」である。

当館は、地場産業としての宝飾加工の歴史、伝統を受け継ぎながらも新しい挑戦を続ける卓越した技術、生み出される美しい宝飾品の数々を紹介し、「山梨ジュエリー」の素晴らしさを発信する施設となっている。

土日祝日には職人の指導を受けながら、宝石の研磨や、貴金属加工のジュエリー制作も体験できる。



山梨県内でデザイン・制作された多彩なジュエリーを企画展テーマに合わせて展示している。卓越した技術で細部まで作りこまれたジュエリーを堪能して。

シンボル・画像 提供：山梨ジュエリーミュージアム

EI

藤村記念館（旧睦沢学校校舎）



江戸 明治 大正 昭和 平成

北口2丁目2-1

2回の移転の末、甲府駅北口に建つ甲府市藤村記念館。正面に掲げられた瓦は長年に渡り人々を見守っている

甲府市藤村記念館は明治8年(西暦1875年)に現在の甲斐市亀沢(旧睦沢村)に学校の校舎として建てられ、学校時代には60人ほどの学生が学んだ。昭和32年から公民館として利用された後、昭和41年に武田神社境内に、平成20年～22年に現在地へ復元・移築された。戦前の甲府に多数見られた、西洋建築に似せた「擬洋風建築」で国の重要文化財である。館内には藤村氏が子どもたちが就学することの重要性を説いた「学生解訳」などが掲示されている。昭和47年には学校時代の卒業生によって睦沢小学校創立百周年記念誌も発行されている。



この建物自体がシンボルのようにも見える藤村記念館。
入館無料で、館内にはピアノも設置され来館者が自由に弾くができる。周囲はバラに囲まれゆったりとした時間が流れる。窓からはよっちゃばれ広場が見下ろせる。

協力：甲府市教育委員会

EI

山梨県立愛宕山こどもの国

江戸 明治 大正 昭和 平成

愛宕町358-1

甲府盆地を一望できる標高428mの広大な愛宕山一帯に広がる公園の中にあるこどもの国のシンボルマーク

愛宕山こどもの国は愛宕山広域公園の中にあり、大型遊具がある自由広場や変わった自転車に乗れる変形自転車広場、水遊びができるライオンの池など、子どもの遊び場が盛りだくさん。シンボルのように子どもがのびのびと体験ができる場所となっている。同公園には"少年自然の家"もある。

愛宕山には甲斐八景の一つに数えられ武田信玄ゆかりの場所としても知られる「夢見山」があり、伝説に思いを馳せることもできる。飯田ヶ原合戦の際、この夢見山に登って敵状視察を行った信虎がウトウトまどろんだところ、夢の中で間も無く生まれる子は曽我五郎の生まれ変わりであると告げられた。これが後の晴信、武田信玄であり夢見山の名の起こりとされている。

「夢の山 おろす嵐の激しさに まばらに未揺る 板垣の里」と古歌に記される夢見山。信玄が夢見山で寝ていると現れた艶麗な三味線弾きの女人の伝説の場所「夢見石」も必見。



シンボル 提供：山梨県

AM

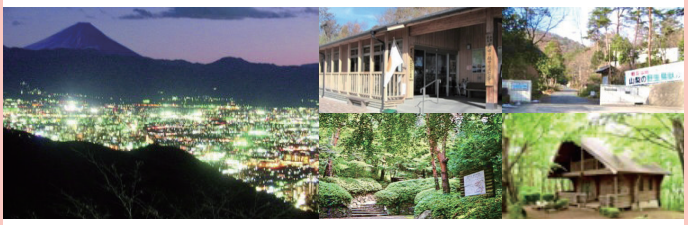
武田の杜（たけだのもり）

江戸 明治 大正 昭和 平成

山宮町片山3371
羽黒町片山1748

エコパークにも認定されている武田の杜。ロゴマークは武田菱をベースに、広大な深い森林を有する武田の杜を象徴するデザインとなっている

甲府市街地からほど近くに位置し、北辺の国有林、県有林、私有林合わせて2,500ヘクタールという広大な森林地域を有する武田の杜。区域内には樹木見本園、武田信玄ゆかりの要害山、鳥獣センター、キャンプ場、健康の森などが点在しており、健康の森にはサービスセンター、森林学習展示室、展望休憩室、野鳥昆虫観察小屋などの多彩な施設で構成。各施設は車道や遊歩道で連絡されており、四季折々の表情は大変美しく、森林セラピー基地としても認定されている。森林レクリエーションやトレイルランニングなどのイベントも行われている。



左）武田の杜から望む富士山と甲府盆地。右）左上から時計回りにサービスセンター、鳥獣センター、樹木見本園、キャンプ場の様子。これらをつなぐ遊歩道は、初心者～上級者コースまで様々なウォーキングが楽しめる。

シンボル・画像 提供：武田の杜

EI



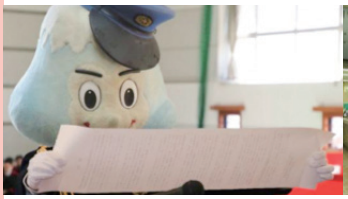
山梨県警察

江戸　明治　大正　昭和　平成

山梨県

“ふじ君(ふじくん)”は、山梨県警察のマスコットキャラクター。イベントなどで活躍している

元々は、昭和61年に山梨県で開催された「かいじ国体」にあわせて誕生したマスコットキャラクター。「かいじ国体」に合わせ公募され、その公募から選ばれた作品を準備委員会から依頼を受けた甲府市のデザイナーがキャラクターとして製作。大会期間中「ふじくん」として使用された。「かいじ国体」終了後の昭和63年に「ふじくん」の原作者の承諾を得て、ランニング姿から警察官の恰好に変更した「ふじ君」を山梨県警察のキャラクターとして使用することとなった。

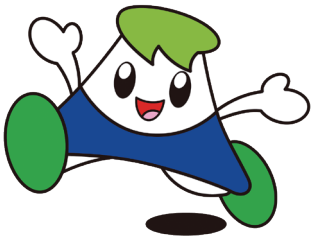




山梨県警察のホームページでは「ふじ君の実録？警察24時」というページがある。ふじ君が警察学校を卒業生代表で答辞を読み、その後は警察署の活動や施設を紹介している。

YT

シンボル・画像 提供：山梨県警察



やまなし県民文化祭

江戸　明治　大正　昭和　平成

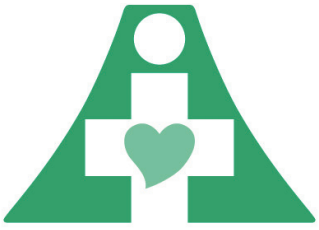
山梨県

平成12年度に誕生した「やまなし県民文化祭」のマスコットキャラクター“カルチャくん”、ゆるキャラグランプリにも出場している

カルチャくんは8才の男の子、好奇心旺盛でおっちょこちょい。
好きな食べ物は、おつけだんごと鳥もつ煮、8才にしてはちょっと渋め。くちぐせは「～カル」で、例えば「～を行なっているカル！」。チャームポイントは笑顔と前髪。
もともとは平成12年度に誕生した「やまなし県民文化祭」のマスコットキャラクターで、平成22年に第28回国民文化祭「富士の国やまなし国文祭」のためにふさわしい姿にアレンジされた。

AM

シンボル 提供：山梨県



山梨県立中央病院

江戸　明治　大正　昭和　平成

富士見1丁目1-1

明治9年の開院以降、山梨県民の医療を担ってきた地域の病院。平成22年に地方独立行政法人に移行し現在のシンボルマークが使われるようになった

山梨県立中央病院は、明治9年(西暦1876年)の開院以来、山梨県の高度医療機関として県民医療に大きく貢献するとともに、地域医療支援病院、エイズ拠点病院、第一種感染症指定医療機関、総合周産期母子医療センター、都道府県がん診療連携拠点病院などの公的な役割を担っている。また、高度救命救急センターの指定やドクターヘリ、ドクターカーを運用するなど、県内唯一の第3次救急医療機関としての役割を果たしている。平成25年にゲノム解析センターを新設、平成28年に最新機種の腹腔鏡支援ロボット「ダヴィンチxi」を新規購入、平成30年にがんゲノム医療連携病院に指定されるなど、先進的ながん医療にも力を入れている。

昭和45年に現在地に建設された旧病院の老朽化に伴い、平成17年に新築した。地下1～9階及び屋上にヘリポートを有している。現在の許可病床は644床。



AM

シンボル・画像 提供：山梨県立中央病院

山梨交通

江戸　明治　大正　昭和　平成

飯田3丁目2-34

昭和20年5月1日に設立。山梨県の公共交通機関の要。創業期の軌道事業は、明治30年設立の山梨馬車鉄道が翌年に甲府～石和間で運行開始。山梨の交通を長年支えてきた

山梨交通株式会社は、山梨県の甲府盆地を中心とした地域、いわゆる国中地方の峡中・峡北・峡南・峡西・峡東地域及び静岡県において路線バスや観光バスの運行を行っているバス事業者である。活動地域としては、甲府盆地を主要なエリアとしており、平成30年時点では約100系統の路線を運行している。甲府以外では、塩山駅、韮崎駅、身延駅、富士川駅などを起点とする路線バスがある。また、バス事業以外にも公安委員会指定自動車教習事業(山梨交通自動車学校)や損害保険代理業、駐車場・不動産業などなど幅広い分野で事業を展開している。





双葉サービスエリア(下り線)の運営も行なっている。サービスエリア内のレストラン「富士山テラス」では甲州名物の「ほうとう」を食べることが出来、パン工房やフードコートもある。また、桔梗屋信玄餅などの地元特産土産を販売している。

IO

シンボル・画像 提供：山梨交通(株)



山梨交通バス停

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府市等

山梨交通のバス停の中で甲府市やその近郊で使われているデザイン。バス停の形状パターンは大きく2種類、円形のパターンと半円上部の長方形のパターンがある

基本デザインは円形のパターン、半円上部の長方形のパターン共に「桃と葡萄」が描かれている。また中には古い円形のパターンのもので、「桃と葡萄」デザインの仕様になる以前から使用していたと思われる「文字のみ」デザインのものも未だ現存する。「文字のみ」デザインにおいては、おそらく昭和の時代より使われているであろう墨筆文字のものからゴシック文字調のものまで多岐に渡っている。また「桃と葡萄」デザインは甲府市を中心に甲府盆地周辺で一般的に使われているものであるが、身延山周辺においては「桜と久遠寺」デザインや静岡県においては「みかんと鳥居等」が描かれたものが存在する。

YT

シンボル・画像 提供：山梨交通(株)

富士の国やまなし

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目6-1

やまなし観光推進機構が運営する富士の国やまなしのロゴマーク。充実した山梨の観光情報を中心に多くの人に魅力的な情報を発信している

やまなし観光推進機構は、平成25年に公益社団法人として新たなスタートを切った地域行政及び地元企業や諸団体等の会員制による組織である。これからの山梨の観光産業がより高い付加価値を生む産業となるために、平成29年度から国・県の進める観光推進機関である「日本版DMO」として活動。観光産業が地域発展の核となる事を目的としている。スローガンは「やまなしブランドの確立により地方創生に貢献します」。
運営するホームページ「富士の国やまなし」では、さまざまな情報発信を展開、旅行会社・団体向けのページや移住定住者向けのページといった特定ターゲットに絞り込んだコンテンツが充実しているのも特徴。

甲府の随所でみられる「週末は山梨にいます。」の名キャッチコピー。都心に暮らす人々の週末になったら山梨でゆっくり豊かに過ごしたい・・と思う心情に響く。
ホームページには、通常モード以外に、かわいい「ハローキティモード」もある。



YT

シンボル・画像 提供：やまなし観光推進機構



武田菱丸(たけだひしまる)

江戸 明治 大正 昭和 平成

山梨県

武田家の家紋である武田菱と甲斐犬をモチーフにして平成22年に誕生した、山梨県の観光ＰＲキャラクター

公益社団法人やまなし観光推進機構に所属している武田菱丸。ゆるキャラグランプリ公式サイトでは「勇敢で頭脳明晰、みんなに優しい。がまん強く、山梨の夏の暑さや冬の寒さにめっぽう強い山梨を大好きな甲斐犬の男の子です。富士の国やまなし観光キャラバン隊長を務め山梨県の観光PRに活躍する人気者」と紹介されており、その愛らしい顔から県民の認知度も高い。語尾に「マル」をつけるのが特徴。県の天然記念物の甲斐犬がモチーフとなっている。好物は陣中ほうとう、甲州とりもつ煮、好きなことばは「皆のもの～　出陣じゃ～!」だそうで、可愛い風貌ながら勇ましい一面も。

「おもてなしやまなし」観光キャラバン隊長の「ひし丸」は、ブログや公式twitterでも大活躍。Twitterでのフォロワー数は9000人に迫る勢い。近年では信玄公祭りのポスターや公式ガイドブックの表紙も飾っている。



AM

シンボル・画像提供：やまなし観光推進機構

甲府の証

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府市

「甲府の証」は甲府ブランド認定制度によって「甲府ブランド」に認定されたモノに与えられる認証マーク

「甲府の証」の認定制度は、平成25年度に制定された。甲府市の資源や技術、「甲府らしさ」といった個性を活かした特産品や加工品などの優れた商品を「甲府ブランド」として認定し、広報活動や販路拡大などの積極的な支援を甲府市が行う。甲府の良きモノとして日本中、世界中に発信することで地域経済の活性化を図る狙いがある。食品部門では、きみひめ大福に甲州地どり、帯那(日本酒)など。クラフト系部門では、指輪やペンダントなどのアクセサリー。農林産物部門では、シャインマスカットや信玄豚、くいしき味噌などが認定されている。

甲府の証のマークは部門ごとに３種類、シンボルが食品部門、写真左が農林産物部門、右がクラフト系部門。モチーフとなっている鳥は飛ぶ宝石とも呼ばれているカワセミ。



認定第1号のきみひめ大福(いつみ庵)。

EI

シンボル・画像 提供：甲府市

甲府駅北口まちづくり委員会の“キタグッチ”

江戸　明治　大正　昭和　平成

北口2丁目14-14

甲府駅北口まちづくり委員会の漢字の「北」を模したキャラクター“キタグッチ”が未来を指示している様子が描かれているロゴマーク

「キタグッチ」の生年月日は、平成23年(西暦2011年)4月1日。甲府駅北口の地中で眠っていたが再開発されるので起きたようだ。キタグッチには夢があり、生まれ変わった甲府駅北口をみんなに見てほしい。みんなに北口周辺の施設を活用してもらいたい。そしてもっと賑わいのあるまちになってほしい。不労所得で暮らしたい。といった4つの夢がある。

北口まちづくり委員会は、「自らのまちは自らの手で」という合言葉を基に、地位住民が中心になり、まちおこしを行う組織である。

「キタグッチ」は時折イベントにも登場する。
ふっくらしたゆるキャラが多い中、北という漢字を表現したその風貌はインパクト大。動くと形がすぐ変わるあたりも気になるポイント。



シンボル・画像 提供：甲府駅北口まちづくり委員会

IO

かいてらす

江戸　明治　大正　昭和　平成

東光寺3丁目13-25

平成16年一般公募により愛称を「かいてらす」に変更、「かいてらす」には「山梨を地場製品の輝きで照らす」という意味が込められている

昭和60年9月に山梨県地場産業センターの名で開館し、平成16年に「かいてらす」の名称へ変更。広さ約1.100㎡の展示販売フロアでは、「光」「蔵」「味」「匠」の4つのコーナーを中心に、宝石・貴金属・ワイン・日本酒・菓子・茶・食品(味噌・醤油・煮貝・ほうとう)・和紙・印章・印伝・雨畑硯・繊維・民芸品など山梨県の地場産業製品を展示販売している。また、豪華なシャンデリアや、時価数億円の日本最大級の水晶玉など展示品もある。様々なイベントも行われており、地場産業を通じて人々の交流の場、山梨を知る施設として親しまれている。

ほぼ山梨県の中央に位置しているかいてらす。山梨無料駐車場(大型バス10台・普通車290台)あり、イベント時には、近隣の駐車場も開放される。
展示フロアの他レストラン「ワインクラブ」や会議室もある。



シンボル・画像 提供：(一財)山梨県地場産業センター

AT

ヴァンフォーレ甲府

江戸　明治　大正　昭和　平成

北口2丁目6-10

ヴァンフォーレ甲府のチームエンブレム。山梨県唯一のプロサッカーチーム。チーム名の由来はフランス語で風(ヴァン)林(フォーレ)「風林火山」が基となっている

2020年現在 J2リーグに所属、過去にはJ1リーグに所属するなどの実績をもち、根強いファンに支えられている。地域密着型のチームとして、甲府市、韮崎市を中心とする山梨県全域をホームタウンとし、地域に寄り添いながら活動している。2020シーズンは元日本代表のハーフナー・マイクが9年ぶりに復帰し、4年ぶりのJ1復帰を目指す。

チームエンブレムは、チームカラーの青を基調にデザインされ、山梨の豊かな自然の象徴として県花「フジザクラ」を上部に配し、武田菱を用いてブドウをイメージしたワインレッドで表現。中央の「VFK」は、ヴァンフォーレ甲府の略語であるとともに「Vital Fighting Knights(生き生きと戦う気品ある勇士たち)」を意味している。

©2009VFK　©2006VFK

チームエンブレムの他に、クラブロゴなどもある。マスコット「ヴァンくん」「フォーレちゃん」は、山梨特有の日本犬で国の天然記念物でもある「甲斐犬」がモチーフとなっている。

シンボル・画像 提供：ヴァンフォーレ甲府

DN

山梨平和ミュージアム -石橋湛山記念館-

江戸　明治　大正　昭和　平成

朝気1丁目1-30

平成19年開館。山梨平和ミュージアムではキーカラーとして、青:自由、白:平等、赤:博愛をロゴマークに使用している

山梨平和ミュージアムは戦争の事実と実装を次世代に伝えていくこと、平和・民権・自由主義を貫いた石橋湛山(いしばしたんざん)の生涯と思想を紹介することなどを目的と活動に定めた民間の記念館である。

1階では、企画展として1127人の市民が犠牲となった甲府空襲の実態を伝える資料や、甲府連隊の軌跡に関する資料などが展示され、2階では山梨で育ち、戦後には政治家として第55代首相に就任し病のため2ヶ月で退陣した言論人石橋湛山の資料が展示されている。

石橋湛山氏は、現在の南アルプス市にある長遠寺の住職(後に身延山久遠寺83世法主)のもとで育ち、現在の甲府第一高等学校で学んだ。
施設外観、平和を発起するイベントの企画・開催なども行なっている。



シンボル・画像 提供：山梨平和ミュージアム

EI

山梨県酒造協同組合

江戸　明治　大正　昭和　平成

国母4丁目15-5

日本らしい筆文字と外国人にも伝わる英語と、山梨を表現している武田菱に日本を連想する日の丸の入った「日」の文字で地域ブランドとしての思いが感じられる

山梨県酒造協同組合には山梨県内で日本酒を作る13酒蔵が加盟し、山梨の日本酒を一丸となってPRする取り組みを行っている。定期的に主催イベントを行ったり、各地のイベントに出店するなど精力的に活動している。また、ホームページでは日本語のみならず英語での発信を行い、外国の人々へ向けても情報を発信している。

年2回やまなしプラザで行われるイベントでは、県内の13酒蔵が大集結し、県内外の日本酒愛好家が集う。近年では定員が設けられ当日券がわずかしか発行されないほどの人気ぶりとなっている。



「山の酒」として山梨県産日本酒をPR。「山の酒・山梨県原産地呼称日本酒認定酒飲み比べセット」は贈り物にも人気。様々な歴史のつまった各酒蔵の個性的な文字・デザインも楽しめる。

シンボル・画像 提供：山梨県酒造協同組合

EI

山梨県ワイン酒造組合「ワインの国山梨」

江戸　明治　大正　昭和　平成

東光寺3丁目13-25
地場産業センター2階

山梨県ワイン酒造組合が山梨ワイン普及のために開設したホームページのタイトルマーク

「ワインの国 山梨」のホームページを運営する山梨県ワイン酒造組合は、今や世界でも知られる甲州種のブドウを使ったワインなどを製造する山梨県内の76のワイナリーが加盟するワインの酒造組合である。江戸時代以前に甲州葡萄の栽培が始まり、明治時代に山梨県でワインの醸造開始、昭和30年に前身の果実酒酒造組合が設立、平成5年に名称を変更し、山梨県ワイン酒造組合となった。「ワインの国山梨」では、山梨ワインの歴史やワイナリー紹介、開催イベントやおすすめショップの情報などが掲載されており、山梨ワインの歴史の深さを知ることができる。



山梨県は日本一のワイナリー数と生産量を誇り2019年に「ワイン県」を宣言した。ワインに使われるブドウの品種は、甲州種をはじめとして多様化、山梨県内で開発された新しいワイン用品種も多数誕生している。

シンボル・画像 提供：山梨県ワイン酒造組合

EI

NHK甲府「Newsかいドキ」

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目1-20

「Newsかいドキ」は昭和34年開局のNHK甲府放送局で平成29年4月3日から放送している番組である

「Newsかいドキ」は山梨県域のローカルニュース番組である。甲斐の国・山梨の今を、取材によって掘り下げて、「ライブ感たっぷり」に伝えているニュース情報番組。

山梨県内の気になる出来事や魅力の再発見に加え、生活情報など、山梨県民の「知りたい」をタイムリーに伝えている。「山梨のあした」を県のみなさんと一緒に考えることをテーマとして掲げている。

放送時間は月曜日～金曜日の夕方18：10～19：00。

また、番組のオープニングでは、池田綾子さんが歌う「言葉の箱舟」がテーマ曲として流れる。

シンボル 提供：NHK甲府放送局

IO

山日YBSグループ

江戸　明治　大正　昭和　平成

北口2丁目6-10

山日YBSグループは山梨日日新聞社、山梨放送(YBS)を中核とする総合情報メディアグループ。その他に印刷、広告、旅行、文化・スポーツイベント、ITなど、さまざまな分野へ事業を展開している

山日YBSグループは山梨日日新聞社、山梨放送(YBS)を中核とする、総合情報メディアグループ。YBSとは英語でYamanashi Broadcasting System Inc.の略称。明治5年(西暦1872年)に山梨日日新聞の前身「峡中(こうちゅう)新聞」を創刊、その歴史は1世紀半にもおよぶ。昭和29年(西暦1954年)に山梨放送が開局し、ラジオ放送・テレビ放送へとネットワークを広げ、新聞社・放送局を核としながら、さらには印刷、広告、旅行、文化・スポーツイベント、ITなど時代のパイオニアとして山梨県を牽引してきた。キャッチコピーは「あなたの、いちばんメディア。」

YBSで放送している「てれてTV(毎週月曜日～金曜日15：50～16：50)」。県民と変顔でじゃんけんをする「変顔じゃんけん」や山梨県にあるご飯屋を特集する「はらぺコ横町！」などの人気企画が放映されている。

山梨日日新聞のテレビ番組欄では、YBSの番組表は黄色バックで掲載されている。

シンボル・画像 提供：山日YBSグループ

IO

UTYテレビ山梨

江戸 明治 大正 昭和 平成

湯田2丁目13-1

株式会社テレビ山梨は、山梨県を放送対象地域としたテレビ局。略称はUTY(UHF Television Yamanashi)

「Uワク♡UTY」はUTYでこれまでに使われてきたキャッチコピーのひとつ。他に「UバクUTY」「見て、視て、聞いて。」などがある。

TBS系列局として開局、山梨県内に系列局がないフジテレビやテレビ朝日、テレビ東京系列の番組も一部放送している。

現在(令和元年11月)の自社制作番組として、ニュース番組「UTYニュースの星(月曜-金曜18:15-18:55)」や、みなみおばちゃんの登場する「みなみおばちゃんの6丁目ガッチリ金曜日(金曜9:55-10:30)」など多数の番組があり、県民に親しまれている。

こちらのシンボルマークはUの字をかたどったもので「ライジングU」という。シンプルな中にも躍動感あふれるフォルムが、企業の信頼感と活力を同時に伝えている。



シンボル・画像 提供：(株)テレビ山梨

10

エフエム富士

江戸 明治 大正 昭和 平成

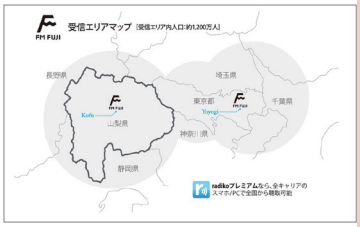
川田町アリア105

エフエム富士が平成30年に30周年を迎える際に公募にて決定された。力強い富士山とラジオの電波がシンプルに表現してある

昭和62年12月26日創立し、翌年8月8日に開局。山梨県甲府市に本社・スタジオ、東京都渋谷区代々木に支社・スタジオ(STUDUO ViViD)がある。代々木で収録した番組もあり、地方局ながら東京在住のミュージシャンがDJを務める番組も多い。

現在のロゴデザインは“FMラジオ局の役割を発展させながら、ラジオの枠にとどまらない分野に於いて、情報・人・物・ことが様々な形で交差し触発・発展していく「ターミナルterminal」の様な存在を目指していく”というテーマのもと、募集し決定した。

エフエム富士の受信エリアマップ。
山梨県を中心に、千葉県や埼玉県のリスナーもいて、広いながらも全国放送とは一味違うローカルな話題が聞けるのも魅力。スマートフォンやPCなどから気軽にラジオを聴けるサービス「radiko(ラジコ)」での配信も行なっていて、過去一週間以内の放送を聴くこともできる。



シンボル・画像 提供：(株)エフエム富士

10

エフエム甲府

江戸 明治 大正 昭和 平成

酒折2丁目4-5

山梨県甲府市酒折にある山梨学院大学のキャンパス内に本社を構えているFM放送局。周波数は76.3MHZ平成8年8月21日に会社設立、翌年開局した

山梨県甲府市の一部地域を放送区域として超短波放送(FM放送)をする特定地上基幹放送事業者である。

本社、演奏所、送信所は山梨学院大学のキャンパス内にあり、同大学の学生・教職員がパーソナリティーを務める番組などが放送されることもあり、同大学の放送局という色合いもある。毎年年末には、箱根駅伝に出場する同大学を応援する協賛CMが放送される。

県域放送局の山梨放送、山梨日日新聞と結びつきが非常に強く、平成27年まで本社が山梨文化会館(山日YBSグループ本社)にあった。

ラジオ放送の内容には、山梨県のJサッカーチームである「ヴァンフォーレ甲府」の実況放送なども行っている。

山梨学院大学内のクリスタルタワー1階に構えている「エフエム甲府」のスタジオ。広場に開けており学生が行き交う。実際のラジオ放送の現場を間近で見ることが出来、近くに行くと内容を聴くことが出来る。



シンボル 提供：(株)エフエム甲府

10

山梨日日新聞

江戸 明治 大正 昭和 平成

北口2丁目6-10

山梨県の県域新聞の印象深い題字。略称は山日(さんにち)、山日新聞(さんにちしんぶん)。2019年12月には5万号を発刊した

明治5年(西暦1872年)に、前身の「峡中新聞」創刊でスタートし、地方新聞としては最も歴史ある新聞の一つ。発行部数は21万部。全県世帯普及率は約70%に達し、全国紙の方が普及する地方もある中、地方紙普及率は全国でも6位と高い。ちなみに、山梨県の新聞普及率2位は読売新聞の11%、3位は朝日新聞の8%となっている。

大きな文字とカラーページの多さでみやすい紙面となっており、独自取材による地域の話題が充実しているなど、親しみやすい新聞であることも普及率に影響していると思われる。「おくやみ欄」を毎朝チェックするという人も多い。毎日一面に掲載されるコラムの名称は「風林火山」で「風林火山書き写し帳」というノートも販売されている。

web上では「さんにちEye山梨日日新聞電子版」として、トピックごとに自分が知りたいニュースを探すことができる。pcやスマートフォンからアクセスできる便利なサイトとなっている。

シンボル 提供：(株)山梨日日新聞社

AM

山梨新報

江戸 明治 大正 昭和 平成

湯田2丁目9-8 UTY会館2階

山梨新報の題字。株式会社山梨新報社が発行する山梨県の県域週刊新聞。現在はWEB版で紙面も公開している

テレビ山梨出資のもと、1973年8月11日に創刊。県内の読売新聞・朝日新聞・毎日新聞・産経新聞の各販売所に委託し毎週金曜日に発行を行っている(県内でも北杜市・北都留郡は郵送のみ対応)。新聞と名乗っているが日刊紙ではないことと日本新聞協会に加盟していないことから雑誌として扱われていることも多い。なお、当初は日刊紙として発行されていた。番組表はないが、テレビ山梨・FM-FUJIの番組案内が掲載されている。ホームページ上でその週のすべての紙面が閲覧できる(ただし、権利の関係上一部閲覧できない記事もある)。山梨新報のほかに関連出版物や各種イベント開催などにも携わっている。

新聞の発行～販売業務に加えて、出版事業・イベント事業(教育・文化・スポーツ・芸能)・印刷事業・インターネット事業を展開。



シンボル・画像 提供：(株)山梨新報

YT

山梨中央銀行

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目20-8

山梨県甲府市に本店を置く、県内唯一の地方銀行

「地域密着と健全経営」を経営理念として山梨県甲府市に本店を置く山梨中央銀行は、地元山梨県内に多数の支店を開設、東京都西部を準地盤としてとらえ、八王子支店に西東京コンサルティング営業部を設置し、都西部には14店を構えている。さらに、香港に駐在員事務所(2021年度中に閉鎖予定)を設置し、香港・中国をはじめとするアジア全域への海外展開をサポートしている。山梨中銀金融資料館では山梨中央銀行の歴史や貨幣史、甲州財閥に関する展示をみることができる。また、女子9人制バレーボール部の実業団チームも有する。

通帳やホームページなどには、サンリオのスポーティングベアーズが登場する。

山梨中央銀行が発行するクレジットカード一体型キャッシュカードJiMOCAは、クレジットカードと生体認証機能付ICキャッシュカードが一体となったカード。地元店でポイントが貯まる。

シンボル・画像 提供：(株)山梨中央銀行

EI

甲府信用金庫

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目33-1

正式名称は甲府信用金庫。山梨県甲府市に本店を置く信用金庫。県内に27店舗ある。ニックネームは「こうしん」

当時の甲府商業会議所(現甲府商工会議所)および甲府市議会の議員有志により、中小零細企業の金融の円滑化を図るため大正7年に設立された。以来100年、「地元との共存共栄」の精神のもと、3つの基本理念を掲げ、積極的かつ堅実な経営を展開している。基本理念の一つ目は「支援力・営業力の進化」、二つ目は「人材力・組織力の進化」、三つめは「経営力・内部管理体制の進化」。地元と共に成長してきた信用金庫。



甲府信用金庫のホームページを開くと、赤い糸で繋がった人々の手が目に飛び込んでくる。節目となる100周年のブランディング企画で、「次の100年もお客様とともに歩んでいく」という決意を表して作られたもの。

シンボル・画像 提供：甲府信用金庫

AM

山梨信用金庫

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目12-36

正式名称は山梨信用金庫。大正15年(西暦1926年)11月、産業組合法による「有限責任共立信用組合」として創立した山梨県の信用金庫。略称は「やまし ん」

山梨信用金庫は山梨県全域、神奈川県相模原市、東京都八王子市・町田市を事業区域として、地域の中小事業者や住民の皆様が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている金融機関。

シンボルマークとして掲示されている金庫章については、HPに『山梨の誇る名水。その透き通る水滴に映る、青い空と二筋の白い雲。二筋の雲は勢いよく上方へ伸びながら、互いに交じり合い、山梨信用金庫の「y」を形作っています。これは、お客様と私たちの未来へ向かうコミュニケーションを表し、透明な水滴はクリーンなイメージを、また、清々しいブルーは若さと、新しい力を表現しております。』と書かれている。



口座残高や入出金明細が、いつでも・どこでも簡単に確認することができるほか、入出金明細ごとにメモを記入することができる「しんきんバンキングアプリ」など、webサービスも充実している。

シンボル・画像 提供：山梨信用金庫

AM

山梨県民信用組合

皆様のベストパートナーをめざして
YKS 山梨県民信用組合

江戸 明治 大正 昭和 平成

相生1丁目2-34

山梨県甲府市に本店を置く信用組合。略称は「しんくみ」

山梨県民信用組合は、山梨県全域及び長野県佐久市（旧臼田町全域）、南佐久郡、諏訪郡（富士見町）を営業地区として、「相互扶助」を理念とし、地域の中小企業・小規模事業者や生活者がお互いに支え合い、一人ひとりが預金しあい、必要な時に融資することを使命とする「中小企業等協同組合法」に基づく協同組合組織の金融機関。協同組合である信用組合は、組合員の利益を第一に考え、組合員の発展に貢献するとともに、金融事業の他、社会貢献事業においても積極的に取り組んでいる。

山梨県民信用組合では、「皆様のベストパートナーを目指して」と掲げ、地域に密着した金融機関として、組合員及び地域社会の発展、地域経済の活性化を目指している。




毎年、9月1日～7日の「しんくみの日週間」では、環境美化への取組みとして、清掃活動と「花の種」の配付を行なっている。また、8月～9月には、献血運動を実施しており、当組合では社会貢献の一環として、献血活動を広く知ってもらうため、厚生労働省が推進している「献血サポーター」活動に参加している。

AM

シンボル・画像 提供：山梨県民信用組合

不老園

不老園

江戸 明治 大正 昭和 平成

酒折3丁目4-3

愛宕山の麓にある120年近い歴史のある梅園。30数種類、約2,000本の梅が植えられている

梅の木をイメージしたようなロゴマーク。

不老園は明治30年、甲府中心部で呉服商を営んでいた七代目奥村正右衛門が別荘として開園したもので、北海道を除く全国各地、特に九州地方から紅梅、小梅、夫婦梅、ブンゴ梅などを持ち帰ってはこの園に植え付けた。

当初は個人的な庭園として嗜んでいたが、その後、多くの人に梅の花を楽しんでもらおうと、一般にも解放した。

園内には梅以外にも、赤松、桜、南天、つつじ、もみじ、牡丹等が栽培されており、秋には紅葉を望むこともできる。「甲斐路の春は不老園のから」といわれる程の名所となっている。




フォトコンテストも行われている。左の写真は2019年の推薦作品。
梅天神(御祭神菅原道真公)の御霊。国を鎮め守る神として、平安時代中期にその御霊をお祀りすべく造営された「北野天満宮」より分霊された。

SK

シンボル・画像 提供：不老園

ウヤマイ
ノ
シンボル

神社・仏閣などの神紋・寺紋・神額などを、ウヤマイ（敬い）のシンボルとして紹介しています。

武田菱や花菱などは複数の神社・仏閣などで使用されていますが、その多さもひとつの面白さとして、あえて掲載することにしました。
複数の紋（例えば表紋・裏紋があるなど）を使用しており、絞り込みが難しい場合などにおいて、シンボルの枠内に２つの紋を並べて表示している場合があります。また、反対に、複数の紋を使用している場合でも1つだけをシンボルとして取り上げている場合があります。

甲府には、今回掲載しきれなかったものも含めて沢山の神社や仏閣があり、数々の由縁があります。いつもより少し深掘りして尋ねてみるのも、いいかもしれません。

＜本項について＞

・紋については一部描画素材を使用しており、実際現地で使用しているものと若干の差異がある場合があります。

・山梨県神社庁様の協力により、複数の写真を山梨県神社庁 HP(http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp) よりお借りしています。

・本書内に掲載されているシンボル・画像・イラスト・文章・データ等の無断転載および無断転用をかたく禁じます。

・シンボルおよび画像の著作権・所有権・商標登録における権利等は、所有者（または貸出主等）に帰属します。

・上記、著作権等の権利やその他本書に関するご不明な点におかれましては、コウフシンボル 500 制作委員会（メールアドレス：kofulifelab+ks500@gmail.com）へご連絡ください。

青沼浅間神社



江戸　明治　大正　昭和　平成

青沼3丁目5-2

青沼浅間神社の桜の神紋。正式名は浅間神社のようだが山梨県には浅間神社が多いためか、鎮座地名を冠して「青沼浅間神社」としているよう

桜の花を図案化した紋。桜は山から降りた穀霊が宿り、田植えの時期を知らせる花として、木花咲耶姫の化身に見立てられた。また、初めて桜の種を日本に蒔いたのは咲耶姫だと言われており、咲耶姫の名前から「桜(さくら)」と言う名前が付けられたとも言われている。浅間神社は祭神が木花咲耶姫にちなんで、神紋にしており、賽銭箱や神楽殿、社殿のあちこちに桜紋が付けられている。青沼浅間神社は貞観7年(西暦865年)、山梨郡稲門東青沼村の現在地に創建された。古くは野良浅間神社と呼ばれ、武田氏をはじめ、所在の武家の信仰が厚かったという。



安産・防火・厄災除け・家内安全・交通安全・婦道の神。
貞観6年(西暦864年)、富士山が噴火する貞観大噴火を受け、鎮祭のため創建された名神大社「甲斐国八代郡浅間神社」の論社とされている。

YT

愛宕神社



江戸　明治　大正　昭和　平成

愛宕町134

甲府駅北口から北東の愛宕山のふもとに位置する。御祭神は火之迦具土神、建御名方神、日本武尊

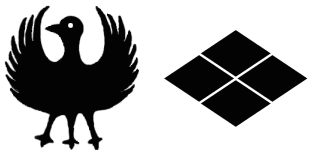
由緒沿革は山梨県神社庁によると、創始年代は不詳であるが、武田信玄の命によって古府中日影村聖道小路の地に鬼門守護として奉祀されていた。後に徳川家康公が当国を領国し舞鶴城を築城するに際し、天正十二年(西暦1584年)現在の地へ勧請奉斎され、甲府城の鬼門守護神として朱印黒印を受けた。歴代城主の崇敬が厚く一国一社愛宕権現勝軍地蔵などと称されて崇敬されていた。明治初年村社に列格すると書かれている。



愛宕神社は明治以前には「愛宕権現(社)」、「愛宕勝軍(大)権現」、「愛宕勝軍地蔵権現」などと呼ばれていた。相模国の愛宕山より持ってきた地蔵菩薩を安置したことが始まりと伝えられている。

YT

穴切大神社



江戸　明治　大正　昭和　平成

宝2丁目8-5

穴切大神社は甲府市にある神社で、甲斐国湖水伝説や、蹴裂伝説などの伝説などを持つ

創建は和銅年間(8世紀初め)とされ、太古の昔に湖であった甲府盆地が山を切り崩して水を落とす事で陸地化されたという甲斐国湖水伝説・蹴裂伝説を由緒として掲げる神社。当初は黒戸奈神社と称したが、後に朝廷から「穴切大明神」の神号を賜ったとされる。また、甲府城築城後は甲府城坤方の御門・穴切御門として人々に知られ、明治六年(西暦1873年)郷社となる。一間社流造(いっけんしゃながれづくり)桧皮葺(ひわだぶき)の御本殿は桃山時代の建築として昭和10年に国宝(旧国宝)となり、戦後改めて国の重要文化財と指定され現在に至る。



穴切大神社の本殿付棟札は歴史が感じられるだけでなく昔の建築の技術力の凄さも感じることができる建物である。

DN

稲積神社



江戸　明治　大正　昭和　平成

太田町10-2

稲積神社の名の通り稲がモチーフとなった神紋がデザインされたお守り。多くの人が安産祈願に訪れる

正ノ木稲荷大明神を祀り「命継ぐ食もの衣もの住むいえも稲荷の神の恵」の言葉に倣う、衣・食・住を司る生活の守護が鎮座する稲積神社。言い伝えでは今から約2080年前、上古時代湖沼地帯であった甲府盆地を切り開き、湖水を富士川に落として涸燥し、田圃を造り「蒼生愛撫」「五穀豊穣」祈願のため丸山(現在の舞鶴城址)に奉斎された湖水伝説にゆかりのある神社といわれている。江戸時代前、甲府城(舞鶴城公園)築城の際、一条小山にあったものを一蓮寺とともに太田町に移した。京都にある伏見稲荷を本宗と仰ぎ「五穀豊穣」、「商売繁昌」、「飲食業繁栄」の御神徳がある。





甲府市の遊亀公園に隣接する稲積神社。雅楽が流れ厳かな雰囲気が漂う。境内には御神水と呼ばれる地下136メートルから湧き出る井戸水があり、採水が出来る。また御朱印帳は季節により限定頒布されるものもある。

YT

宇波刀神社

江戸　明治　大正　昭和　平成

宮原町1265

「うわとじんじゃ」、または「うばとじんじゃ」と呼ばれ山梨県内では、他に韮崎市と北斗市に鎮座する

創建年代は非常に古く、延喜式では甲斐国の式内社に列せられ、寛治年間(西暦1087～1094年)に新羅三郎義光が再建、保元元年(西暦1156年)に鎌田兵衛尉正清が再々建し、鎌田氏との関係を深めた中で鎌田庄十六七か村の惣社氏神とされている。
武田氏(信虎)全盛の頃、源氏の氏神である石清水八幡宮にあやかり、八幡宮と改称。その後、代々の徳川家将軍より朱印状を賜り、近世には宇波刀神社とも称していた。明治になり郷社に列せられた。



『甲斐国志』には「八幡宮 宮原村 鎌田總社 宇波刀神社」と記述があり、別称として「八幡宮」と呼ばれている。祭神は八幡の神々と伝わっている。

YT

円光院



江戸　明治　大正　昭和　平成

岩窪町500-1

円光院は戦国期に武田信玄が制定した甲府五山のひとつで、信玄正室三条夫人の菩提寺として知られている

円光院には武田晴信(信玄)継室の三条夫人の墓所があり、史跡名を「武田晴信室三条氏之墓」という。円光院には多くの文化財があり、山梨県指定文化財の有形文化財、「木造刀八毘沙門天及び勝軍地蔵坐像」や甲府市指定文化財の有形文化財、「円光院天目茶碗・赤絵碗」や打敷(工芸品)や円光院文書13点(書跡)などとても歴史的に重要なものが残っている。
祭礼・行事としては、春の花まつりや大晦日に行われる除夜会など、人々の集う場所としてもとても良い環境の寺院になっています。

歴史や文化財も数多くあるうえに、美しい建物がある寺院。
三条夫人の墓所には花菱が刻まれている。



DN

塩澤寺(えんたくじ)

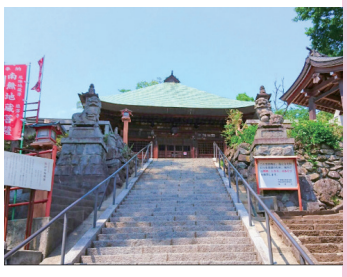
江戸　明治　大正　昭和　平成

湯村3丁目17-2

毎年2月13日に行われる厄除け地蔵尊大祭で知られており、地元では厄地蔵さんの名で親しまれている

厄除地蔵尊福田山円澤寺は湯村山の南麓に立地し、南には湯村温泉が所在している。「甲斐国社記・寺記」によれば、大同3年(西暦808年)に空海が開山し衆生救済のため諸国行脚された折に、当地にて厄除地蔵大菩薩の霊験感ぜられ大師自ら六寸余りの座像を彫刻され、その尊像をご開眼されたのが開創という。また天暦9年(西暦955年)に空也が開祖であったと伝わる。さらに「寺記」によれば、鎌倉時代には蘭渓道隆(らんけい どうりゅう)が中興開山となり、諸堂を再建したという。「西山梨郡誌」所収の天正3年(西暦1575年)武田家印判状では、武田氏から諸役免除を受けている。

「厄地蔵(やくじぞう)さん」は春を呼ぶお祭りとも言われ、毎年2月13日昼12時より2月14日昼12時まで大護摩供を行い、開運厄除・家内安全等を祈る。百余の軒を連ねる露店が並び、参拝者の数は十万人といわれるお祭りである。



YT

甲斐善光寺

江戸　明治　大正　昭和　平成

善光寺3丁目36-1

開基武田信玄公が、川中島の合戦の折、信濃善光寺の焼失を恐れ、永禄元年(西暦1558年)、御本尊善光寺如来をはじめ、諸仏寺宝類を奉遷したことに始まる

甲斐善光寺は開基武田信玄公が、越後国の大名である上杉謙信と争った川中島の合戦の折、信濃善光寺の焼失を恐れ、永禄元年(西暦1558年)に御本尊善光寺如来をはじめ、諸仏寺宝類を奉遷したことに始まった。甲斐善光寺の建つ板垣の郷は、善光寺建立の大檀那本田善光公を葬送した地と伝えられていて、信濃より大本願上人以下、一山ことごとくお迎えした。その後、武田氏滅亡により、御本尊は織田・徳川・豊臣氏を転々としたが、慶長3年(西暦1598年)信濃に帰座した。
その後は新たに、前立仏を御本尊と定め、本坊三院十五庵を有する大寺院として浄土宗甲州触頭を勤め、徳川家の位牌所にもなったという歴史がある。



左) 甲斐善光寺にある宝物であり、日本最古の源頼朝木像。信濃善光寺を復興した大檀那として知られていて、信州・甲州の善光寺には、かつて源三代将軍堂があった。この木像はそこで祀られていた。右) 長野の善光寺と同じ立葵の紋も存在する。

IO



甲斐奈神社

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央3丁目7-11

社殿各所にみられる桜に巴紋のご神紋。写真は屋根瓦のもの。「甲斐奈」を社名とする神社は山梨県内に三社、甲府市と笛吹市春日居町、笛吹市一宮町にある

神社の北方に立つ愛宕山は、甲斐奈神社では「甲斐奈山」と称している。
その山頂に鎮座していたが、永正年間(西暦1504～1520年)に武田信虎により蔵田に移された。その後、天文年間(西暦1532～1555年)に長禅寺が現在地に移るとともにその境内に移されたとされている。
古くは「白山権現」「白山神社」と称していた。その関係で現在の祭神は菊理姫命としているほか、文禄年間(西暦1592～1596年)に東青沼から浅間神(木花咲耶姫命)が移され、ともに祀られている。慶応4年(西暦1868年)から現在の「甲斐奈神社」を称しているという。





境内には子どもを乗せて無事を祈る「子育て石」や「夫婦銀杏」がある。
かつて本殿後ろには天然記念物の御神木の大杉があった。甲州三大杉の一つに数えられていが、現在は記念碑が建ててある。

YT



金櫻神社

江戸　明治　大正　昭和　平成

御岳町2347

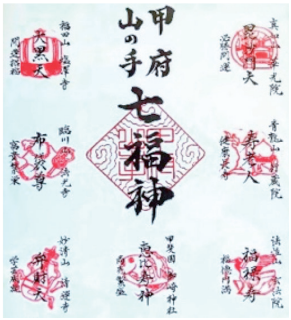
その名の通り桜を配した神紋の金櫻神社。甲府北側、昇仙峡を登りつめた地に鎮座する金峰山を御神体とした神社である

御神体は金峰山であるため、山頂にある奥宮と、山里にある里宮からなる神社。その歴史は約2000年前に遡り、第十代崇神天皇の頃、各地に疫病が蔓延した折、諸国に神を祀って悪疫退散と万民息災の祈願をし、甲斐の国においては金峰山山頂に御祭神である少彦名命(すくなひこなのみこと)を祀ったのが起源とされる。御神宝はこの地で発掘され磨き出された水晶「火の玉・水の玉」で、本殿には昭和30年の大火により焼失後、復元された「昇・降竜」が奉納されている。
名前の由来でもある御神木の「金櫻」(種類は鬱金桜)は古くから民謡に唄われている「金の成る木の金櫻」として崇められている。

パワースポットとしても人気で全国各地から参拝者が訪れる。
春には淡い黄金味を帯びた櫻が満開となる。この季節にこの櫻を拝み水晶のお守りをうけると一生涯、金運に恵まれ、厄難解除のご神徳をうけられるとか。



DN



甲府山の手七福神

江戸　明治　大正　昭和　平成

甲府市北部7寺社

集合御朱印。こうふ開府500年・改元という節目の年に甲府北部七寺社にて七福神を祀り「甲府山の手七福神」を開創、たくさんの人が訪れている

「甲府山の手七福神」は7つの寺社を巡って御朱印を集める探訪型イベント事業。七福神をめぐり開運招福を願いながら、甲府の町に親しみを持ってもらう狙い。七福神とは、毘沙門天・寿老人・福禄寿・恵比寿神・弁財天・布袋尊・大黒天の7つの神様の総称。七福神を巡拝すると、7つの災難(太陽、星の異変、風水害、火災、干ばつ、盗難)が除かれ、7つの幸福(威光、寿命、人望、清廉、愛敬、度量、富裕)が授かると言い伝えられている。7寺社を巡る所要時間の目安は約120分。

七福神の各寺院は以下の通り。
華光院・毘沙門天、行蔵院・寿老人、玄法院・福禄寿、御崎神社・恵比寿、清運寺・弁財天、法光寺・布袋尊、塩澤寺・大黒天。御朱印用特製台紙で7か所巡りを成満すると記念品の木守りが授けられる。





YT



酒折宮

江戸　明治　大正　昭和　平成

酒折3丁目1-13

桐の葉と花を形象化した五七桐を神紋とする。酒折宮は山梨県で唯一、古事記、日本書紀に記載のある古い神社

古代中国で「鳳凰が棲む」という謂れのある桐は、日本でも嵯峨天皇(平安初期)の頃から天皇の衣類の文様に用いられるなど、菊紋章に次ぐ格式のある紋とされた。室町幕府のころから徐々に皇室から臣下、さらに戦国大名へと下賜されていったが、特にこの「五七桐」は、桐紋の中でも最上位と言われるほどに格式が高いもので、下賜する時はそれより下の「五三桐」であることが多かったようだ。
酒折宮が五七桐を神紋とするのは祭神が日本武尊であること、その歴史、格式の高さからではないかと考えられる。





酒折宮の神額。シンプルな額に独特な書体が特徴的。
日本武尊が東夷征伐の帰りに立ち寄った際の御火焚の者との問答歌のやりとりが日本における連歌の起源とされ「連歌発祥の地」と言われている。

SK

柴宮神社

江戸　明治　大正　昭和　平成

善光寺2丁目8-20

ご神紋は丸に橘。江戸時代初めに定められた「甲府五社」の内の一社。甲府五社は、穴切神社・古府中八幡神社・甲斐奈神社・住吉神社と柴宮神社

明治維新までは甲斐国山梨郡万力筋板垣村正一位柴宮大明神と称し、古来より板垣村外一村五町の産土神として奉祀された府中五社の一社。文禄年間(西暦1593～1596年)の甲府城建設にあたり、浅野平右ヱ門吉明殿から前記府中五社に対し、築城の地鎮祭の仰せがあり、五社五業の神事を執行したと古記にある。慶長8年(西暦1603年)に御神領御朱印地を受けさらに、正徳5年(西暦1716年)神祇管領長から正一位の神位を受けた。本神社に相殿として玉諸神社を合祀してあり、この奥宮として本神社の東北、御室山に石祠を建て大祭には祭祀している。明治初年(西暦1868年)、村社に列した。

古い記事文献によると、天変地異の際に山が鳴るとされており、「地変のあるときこの山鳴動す」と伝わっている。御祭神は、櫛稲田姫命、脚摩乳命、手摩乳命。



YT

青松院

江戸　明治　大正　昭和　平成

山宮町3314

甲斐武田氏ゆかりの古刹。曹洞宗光沢山 青松院の開基は大永2年(西暦1522年)、紀州太守信章(武田伊春：ただはる)公である

武田信章公は祖先である山宮信安が館を構えていた場所に、時の第15代甲斐守護職、武田信虎の助力を得て一ヵ寺を建立大栖禅師を開山と迎え、山宮一族の菩提寺とした。これが青松院のはじまりといわれる。武田歴代の守護を受け、徳川に政治が移っても 幕府の庇護を受けて現代に至った。

昭和38年に寺院の再建が進められ、同時に荒廃していた庭園の新作庭作業が着手された。本堂の北側の松嶽庭は、日本庭園研究会の吉河功会長が、青松院創建時の室町時代様式の曲水式池泉をテーマとして計画にあたったとされ、足利義晴を迎えるために築庭したと伝えられる室町時代の名園旧秀隣寺庭園(滋賀県)を更に豪華にした作庭である。

青松院には見応えのある庭園が広がっている。豊富な湧水と近隣の敷島町亀沢からの安山岩を利用して作庭された本庭は、室町式石組として中央に渦巻式石組を用い、伝統的な鶴亀島も構成している。



YT



住吉神社

江戸　明治　大正　昭和　平成

住吉1丁目13-10

奈良聖武天皇の時代に高畑にて鎮座。後に武田家が舞鶴城に勧請した。江戸時代、文禄年間に住吉へ遷祀される

甲府盆地が開けた時、肥沃の地を高畑と名づけ村作りをした。幾度か洪水に襲われ、奈良朝聖武天皇の天平時代に災害除けと五穀豊穣、村の繁栄を祈願し氏神としたのが住吉神社である。

高畑地区の神社境内にある御神木大欅は樹齢千年とも称される。また住吉地区の神社は、現在の舞鶴城に甲斐源氏武田太郎信義公神託により勧請され、武田家代々の軍陣守護の神となる。その後、浅野長政が甲府城を築城するにあたり江戸文禄年間に現在の地において遷祀された。





高畑地区の住吉神社は県下でも特に古く由緒ある神社である。住吉地区の住吉神社では夏季例大祭に、御田植神事という田植えの伝統行事が行われる。

YT



諏訪神社(下帯那)

江戸　明治　大正　昭和　平成

下帯那町2005

諏訪神社は、全国に約25,000社ある諏訪大社を総本社とする神社。神紋は梶の葉

諏訪神社は狩猟神事を行っていたことから狩猟、漁業を守護する神社としても崇拝を受け、広く日本中に祀られてきた神社である。長野県諏訪湖近くにある諏訪神社の総本社諏訪大社の歴史は古く、戦国時代まで遡る。その系統を汲む下帯那の諏訪神社は五穀豊穣の神様として大永2年(西暦1522年)諏訪山に祀られ、その後江戸時代の宝暦12年(西暦1762年)、現在の地に社殿が建てられたと伝えられる。旧社殿は文化8年(西暦1825年)に焼失、翌年に再建されたものがま現在の社殿である。明治6年(西暦1873年)には郷社となり、下帯那の人々を見守ってきた。

下帯那地区では諏訪神社を舞台に「お洗垢離(おせんごろ)まつり」という秋祭りが毎年行われている。夜、提灯を持った村の若者たちが下帯(ふんどし)姿で川の中に入り「お洗垢離の詞」という詞を3～4回唱えたあと山を駆ける。地域に根差す伝統的な行事である。



EI



大神宮
(横近習町大神宮、柳町大神宮)

江戸　明治　大正　昭和　平成

横近習町大神宮：中央2丁目
柳町大神宮：中央4丁目

毎年2月3日節分に甲府三大祭りの一つ大神宮祭、通称『大神さん』が行われる2つの大神宮は同じ神紋を用いている

大神宮は寛治年間(西暦1087年～1094年)新羅三郎義光ご任国の節、これに従った神宮御師幸福出雲の奉請により創建。文禄年間浅野公築城に際し現地に遷座。伊勢屋敷、出雲兼帯所として、甲斐国一円の大麻、暦頒布の事を司ったとされる。戦災により焼失したが、昭和二十六年再建、昭和五十三年神宮様式に倣って社殿造営現在に至る。





右は横近習大神宮、左は柳町大神宮。『大神さん』では付近の通りが通行止めとなり、鬼が歩き、豆まきも行われ、夕方から夜遅くまで賑わう。沿道には達磨や熊手などの縁起物を始め、切りざんしょう、飴などを売る露店もたくさん立ち並ぶ。

YT



甲府 大泉寺

江戸　明治　大正　昭和　平成

古府中町5015

曹洞宗寺院で、山号は万年山。御朱印の左下の部分には武田信玄の家紋である武田菱が描かれている

武田信玄の父親である武田信虎公之墓がある大泉寺。
大泉寺は大永元年(西暦1521年)、武田信虎が開基、天桂禅長を開山として開創された禅寺である。
信虎が信州で没したときにその遺骸を国元に送り、ここに埋葬した。この寺も戦災ため法堂や庫埋などが焼失したが、幸いにして武田三代の霊廟、総門、宝蔵は火を免れることが出来、境内にある霊廟には信虎、信玄、勝頼の三代の肖像らが安置されていて、武田氏について多く知ることが出来る。
また、見事な門と境内までの参道はとてもおもむきがあり、心が安らぐ雰囲気を楽しむことが出来る。

大泉寺にある武田信虎之墓標。同国岩村田(現 長野県佐久市)の竜雲寺から大禅師北高全祝が招かれて信虎の葬儀を執り行った。



EI



武田神社

江戸　明治　大正　昭和　平成

古府中町2611

武田神社の絵馬はご神紋と同じ菱形となっている。御神門甲斐の国の総鎮護として多くの歴史をもち武田信玄公を御祭神として祀る甲府を代表する神社

甲府駅からの1本道武田通りを北に進むと正面に鎮座する武田神社。甲斐の国の名将、武田信玄公をお祀りしている神社で、甲斐武田氏3代、信虎公・信玄公・勝頼公が60年余りにわたって国政を執った「躑躅が崎館跡(武田氏館跡)」に、大正8年(西暦1919年)に創建された。境内には当時からの濠、土塁、石垣、古井戸等が残り、宝物殿には国指定重要文化財の「太刀銘『一』」をはじめ、武田氏ゆかりの、また往事を偲ばせる鎧・甲冑・刀剣などが展示されている。境内は創建時に県下各地より奉献された樹木により四季折々の様相を見せ、春には綺麗な桜を、秋には赤、黄に染まった紅葉を楽しむことができる。





「勝運」のご利益が受けられるとされ「信玄さん」として地元の人々が親しみ、崇拝する。また、県外からも多くの人が参拝する。

DN



玉諸神社

江戸　明治　大正　昭和　平成

国玉町1331

玉諸神社の三引き両紋。社伝によると、古くは酒折宮北方の御室山に鎮座していたが、日本武尊東征の折に現在地に遷座したという

引両紋の線は“竜”をあらわし、二本の場合は二匹、一本の場合は一匹の竜が天に昇ることを意味しているという。竜は古来、雨の神として尊敬されており、日本武尊が御室山から現在地に神社を遷したのは大雨が降れば洪水に苦しむ甲府盆地の水害防止の為という説から、引紋を神紋としたのも、そのような霊力にあやかろうとしたものかもしれない。
当時、大水害の水防祈願を行う神社として甲斐国の一宮に浅間神社(旧一宮町)、二宮に美和神社(旧御坂町)も置かれたとされ、玉諸神社は三宮ということで三引き両紋を用いていると考えられる。





境内の入り口には美しい朱の鳥居。春には神社をぐるっと囲んで桜が咲く。社殿の屋根には葵の紋がある。これは武田氏滅亡時に兵火で焼失したが、その後徳川家の保護を受け、再建されたためと記されている。

SK

能成寺
(のうじょうじ)

江戸　明治　大正　昭和　平成

東光寺町2153

能成寺は臨済宗妙心寺派の寺院で、山号は定林山。本尊は釈迦如来。甲府五山のひとつ

能成寺は貞和年間(西暦1345～1350年)に甲斐守護・武田信守公が開基となり、業海本浄(ごっかいほんじょう)禅師を開山として八代郷に開かれ、のち現在地に移転したお寺。
甲府五山の一つでもあり「信玄の制札」、「加藤光泰禁制」など多くの古文書が残っている他、赤穂浪士・大野九郎兵衛の墓や芭蕉の「名月や 池を廻りて夜もすがら」の句を刻んだ碑などがある。
能成寺には歴史的な古文書や建物があり古き良きを感じることができます。4月の中旬ごろからは牡丹の花が見頃を迎えるため、春には多くの人々が訪れるお寺になっています。



門をくぐると、静かに落ち着いた時間が流れている。

DN

原山神社



江戸　明治　大正　昭和　平成

美咲1丁目187

神額。別名うなぎ神社と呼ばれ、例祭の8月26日には「ウナギの放流」がされる。諏訪大社の御射山祭「原山様のウナギ放流」に縁付く

遠い昔、塩部で疫病が流行り、薬が一向に効かず人々を悩ませていた。その時この地を訪れた行者が「とても体の長い動物の祟りだ。この動物は生霊だから相川の袂にある祠に生きたうなぎを捧げなさい。そして穢れを祓い清めたら相川に放流しなさい。」と言って去った。村人がさっそく実行すると、数日後まもなく病気が治った。この話を後世に伝承するために建立されたといわれている。
原山神社は南アルプス市の上今諏訪諏訪神社と何らかの繋がりがあるともいわれており、長野県の諏訪大社との縁も深いという。うなぎの言い伝えは大変興味深い。



うなぎの絵の絵馬は氏子一同によって奉納されたもの。社殿は「元三日公会堂」「老人憩いの家」としても使われており、地域に密着した神社であることが伺える。

YT

甲斐國総社八幡神社

江戸　明治　大正　昭和　平成

宮前町6-47

正式名称は、甲斐國総社八幡神社(旧県社)。御祭神は東殿・姫大神、中殿・誉田別命、西殿・息長足姫命。神紋は巴紋、御朱印には三つ巴と武田菱が並ぶ

神社にある營繕之碑によると承久年間(鎌倉時代、西暦1219～1222年)に武田信光(武田家七代目)が鎌倉の、鶴ヶ丘八幡宮を、信光の館「石和」の地に勧請誘致して甲斐の国八幡宮と稱した。その後、代々武田家の氏神として崇敬して武田信虎(信玄の父)が古府中に館を移すと一緒に、神社も隣地に遷座したという。
文禄年間(西暦1593～1596年)に武田家滅亡後豊臣秀吉の家臣浅野長政が、今の甲府城築城に際して古府中相川から「現在の地」に奉遷して城の鎮守甲斐國総社とした。



手水台には二つ巴も見られる。八幡神社は甲府市内の、富竹3丁目4-5、飯田4丁目9、千塚3丁目5-1などにも鎮座する。富竹は品陀和気命(応神天皇)、飯田地区は誉田別命、千塚地区は誉田別尊、帯中彦尊、息長帯姫尊を祀る。

YT

法泉禅寺



江戸　明治　大正　昭和　平成

和田町2595

臨済宗妙心寺派の寺院。山号は金剛福聚山。本尊は弥勒菩薩。甲府五山のひとつ

『甲斐国志』によれば、南北朝時代の元徳年間(西暦1329年～1332年)に、甲斐国守護・武田信武が開基となり、信武が帰依した月舟周勲を開山として創建。月舟は法師である夢窓疎石を開山とし、自身は二世と位置づけたという。寺名は境内にある金剛不動石と呼ばれる巨石に由来する。
信武の菩提寺となり『甲斐国社記・寺記』によれば、法泉寺文書には信玄・勝頼期の寺領安堵や禁制などの文書が残されているとされている。江戸時代には江戸幕府から朱印状を与えられ、武田氏に関する文書を所蔵。武田勝頼ゆかりの寺院として知られ、江戸時代の文政13年(西暦1830年)に勝頼250回忌に際して制作された甲冑姿の肖像が伝来している。



大晦日には門前で越年祭を行っており参拝者には御神酒などが振る舞われ、希望者は除夜の鐘を鳴らすことができる。

YT



御崎神社

江戸　明治　大正　昭和　平成

美咲2丁目10-34

国立甲府病院の南にあり隣に福寿禅院という寺社がある。御祭神は大國主神、保食神、稚産靈神が鎮座する

楼門をくぐると左手に「甲斐国 御崎神社」と刻まれた社号標がある。ここに刻まれている由来によると、初め甲斐の国主武田家の居館のあった石和郷に鎮座。今から400数十年前、永正16年(西暦1519年)武田信虎公が躑躅ケ崎に居城を構えた時、三の郭内に御遷座された。後に徳川氏の代になり文禄三年(西暦1594年)に甲府城を築いた際、現在の地に御遷座される。甲府城の守りと甲府北部一帯の氏神と定められる。甲府における大社の一つで氏子の家内安全、家業繁栄、安産の守り神、学問の守り神として崇敬され今日に至っている。





武田家が尊崇していた御崎神社は荘厳な楼門を構え、甲府城の守りを支えた。この地の地名である美咲は、御崎神社の御崎が後に変遷したものと思われる。また、太宰治が執筆の合間に立ち寄っていたと伝えられている。

YT



山梨縣護國神社

江戸　明治　大正　昭和　平成

岩窪町608

神紋が入ったご朱印帳。武田通りを北上し、武田神社の手前にある信号を右折すると見えてくる大きな鳥居、その先に鎮座する山梨縣護國神社。神紋は菊紋ではなく山桜である

明治12年(西暦1879年)に招魂社として建立されてから幾度か改称しつつ、西南の役に始まり大東亜戦争(第二次世界大戦)に至るまでの様々な国難に際し命を捧げて平和の礎となった山梨県出身並縁故ある殉国の御霊25062柱(令和元年時点)を御祭神としてお奉りしている。

終戦までは県民挙げて手厚く祈りを捧げてきたが、連合軍の占領政策で県との関係を断たれてから70年を超え、神社を支えてきた遺族会の方々も高齢化が著しい。平成を経て令和の新時代を迎えた今、ご家族と故郷を守るために尊い命を散らした英霊の方々に対し、改めて思いを馳せてみてはどうだろうか。

昭和21年、山梨縣護國神社は一度山梨宮に改称して、あらゆる職域において社会公共の為に貢献し顕著な功績を残した方々を御祭神に合祀することで、連合軍の占領政策によって取り潰されることを回避した。



DS



山八幡神社

江戸　明治　大正　昭和　平成

東光寺1丁目1-32

2羽の鳩が向かい合う神紋。山八幡神社は昭和2年に旧制度における村社から郷社に昇格された。御祭神は、足仲津彦尊、誉田別尊、神功皇后

建暦年間(鎌倉時代の初期、西暦1211～1213年)の創建当時は巨摩郡西八幡村(現在の甲斐市西八幡)に鎮座。永正16年(西暦1519年)に武田信虎が石和から甲府の躑躅ヶ崎に館を移した際に勧請して、愛宕山の採石用の石取場に遷座したと伝承されている。その後、文禄年間(西暦1592～1595年)に甲府城築城がされた際、社地を甲府城石垣の採石場とするため、現在の地に再度遷座している。





よく見ると、神額や瓦にも鳥の模様が施されている。境内には良純親王が命名された「妊懐石(天空図石)」と呼ばれる古代天体図岩として伝わる石もあり、石にはりゅう座アルファ星が北極とされていた時代の天体図が描かれている。

YT



湯谷神社

江戸　明治　大正　昭和　平成

湯村3丁目10

室町時代、湯村温泉が発見された頃に建てられた、との謂れをもつ

湯村温泉通りから細い路地に続く階段を上ると、山裾に立つ湯谷神社に辿り着く。湯谷神社は、秋葉権現、大宮さん、湯村温泉郷の守り神である湯谷大権現を合せて祭神として鎮座される神社である。

その歴史は大変古く、室町時代にこの場所に温泉が発見されたことで神社がつくられたとか、江戸時代・慶長6年の書にも湯谷権現としてその名が書いてあるという。

現在では、毎年夏に「湯村ふるさと祭り」が行われている。

深い歴史をもつ湯村温泉郷を見守り、地元の人たちに大切にされてきた神社である。



EI



積翠寺

江戸　明治　大正　昭和　平成

上積翠寺町984

甲府市街地北部に隣接する武田神社の北北東方向に位置し、要害山城のあった要害山の南西麓の標高約530メートルに位置する

宗派は臨済宗妙心寺派で山号は万松山。本尊は釈迦如来。『甲斐国志』によると開山は行基、夢窓国師の弟子竺峰が中興し、古くは石水寺と呼ばれたという。また『高白斎記』によれば、戦国時代には要害山に武田信虎が甲府市武田の躑躅ヶ崎館の詰城として要害山城が築城された。戦国期には武田氏が主催する和歌や連歌会が行われていた。寺宝として天文15年に後奈良天皇勅使として下向した三条西実澄・四辻季遠を招いて行われた句会の記録である『武田晴信和漢聯句帳』や、江戸時代に後陽成天皇皇子の八宮良純法親王が愛用したと伝わる硯箱・煙草盆が伝来している。



信虎嫡男の晴信(信玄)は永正18年(西暦1521年)に要害山城において誕生したとされ、境内には産湯を汲んだとされる井戸である産湯天神が残されている。

YT

【甲斐八珍果（かいはっちんか）】

ブドウ

ナシ

モモ

カキ

クリ

リンゴ

ザクロ

クルミまたはギンナン



◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

江戸時代、甲斐の国で生産されていた代表的な８つの果物を甲斐八珍果（または甲州八珍果）といいます。今も昔もフルーツ王国ですね。

武田神社の菱和殿には、甲斐八珍果をはじめとした美しい天井画が描かれています。

（今回、武田神社様のご好意により、絵葉書の写真を掲載させていただきました。）

フルキヨキ

シンボル

甲府の歴史や古い文化を感じることができるようなシンボルを、フルキヨキ（古き良き）シンボルとして紹介しています。普段あまり見かけることがなく、今だからこそ新鮮に感じるシンボルや、昔の人々の生活を思い起こさせるシンボルが新たな発見に繋がれば幸いです。

今回、文献の多くを峡陽文庫様と山梨デジタルアーカイブ（山梨県立図書館）様に許可をいただき使用させていただいております。
峡陽文庫（https://kaz794889.exblog.jp/）さんは、山梨県に関わる歴史・地理について、貴重な史料とともにブログを書かれています。現在の街との対比や、素人が史料を見るだけでは読み解けない発見のある記事が満載です。
山梨デジタルアーカイブでは、山梨県立図書館・山梨県立博物館が所蔵する貴重な資料をデジタル化したものを、インターネットから無料で閲覧することができます。図書、国書、地図、甲州文庫などの貴重な資料に気軽にアクセスできるので、おすすめです。住んでいる地域の旧町名の地図など、歴史を身近に感じれらる資料も沢山ありますよ。

＜本項について＞
・シンボル・画像等は、多くを各施設・団体・個人等のご協力によりお借りして掲載しています。
・許可の関係が難しく、掲載できるものが限られていましたが、ぜひ楽しんで、そして、見つけてみてください。
・本書内に掲載されているシンボル・画像・イラスト・文章・データ等の無断転載および無断転用をかたく禁じます。
・シンボルおよび画像の著作権・所有権・商標登録における権利等は、所有者（または貸出主等）に帰属します。
・上記、著作権等の権利やその他本書に関するご不明な点におかれましては、コウフシンボル 500 制作委員会（メールアドレス:kofulifelab+ks500@gmail.com）へご連絡ください。



甲州葡萄の刷り込み板

江戸　明治　大正　昭和　平成

横根町

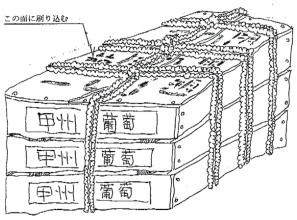
明治～大正時代に葡萄の出荷用木箱に荷主「甲州甲運」のマークを刷り込むために使用されていた板

東京など県外に葡萄の出荷を行っていた「甲州甲運」を営んでいた祖父、父の使用していたものとして森美文さんが提供してくれた。

明治・大正時代、ぶどうは木箱で出荷され、木箱には荷主を判別するために、荷造りした上面に「荷印」「氏名」「屋号」「発送先」などが刷り込まれていた。昭和30年頃から荷造りは段ボールが主流になり、使われなくなってしまった。今では貴重な当時の産業を知る資料である。

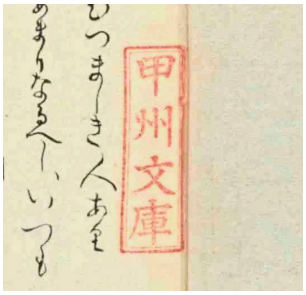
刷り込み板は、木箱の上蓋面に乗せ、墨汁を染み込ませた束子(たわし)で擦ると、切り込みを入れた隙間から墨汁が上蓋面に残る。という方法で使われていた。

木箱は一箱4kg入りで三段に重ね、荒縄で縛って出荷していた。各農家では雨の日などに作り置きをしたり、子どもたちが手伝って小遣いを貰っていた。(文：森美文さん)



シンボル・画像 提供：森 美文さん

YT



甲州文庫

江戸　明治　大正　昭和　平成

山梨県立博物館他

「甲州文庫」は功刀亀内(くぬぎない)が収集した山梨県に関する歴史・文学・民俗の資料。シンボルはその収蔵物に押された印

「甲州文庫」を命名・収集した功刀亀内は、明治(西暦1889年)22年に巨摩郡豊村(現南アルプス市)で生まれた。大正-昭和時代にかけて糸繭商を営むかたわら史料を収集し「甲州文庫」と命名、資料の編纂などを行った。「若尾資料」の初期編纂活動に影響を受け、山梨県に関する歴史・文学・民俗資料の収集を開始。近世・近代の庶民資料を多く収集した。戦時中には資料を疎開させるなどして戦火を免れ、その後「甲州文庫」は貴重な資料として山梨県立図書館に移管、現在は山梨県立博物館に所蔵されており、現在山梨デジタルアーカイブでも見ることができる。

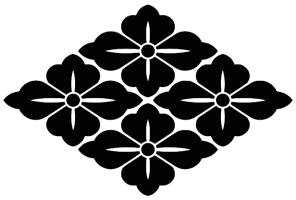


扁額と功刀亀内の肖像。
扁額は、明治・大正期の洋画家で知られる中村不折(なかむらふせつ)の書になるもので、功刀氏は資料に埋もれた自室にこれを掲げ、大事にしたと伝えられる。



シンボル・画像 出典：山梨デジタルアーカイブ(山梨県立図書館)

EI



柳沢花菱

江戸　明治　大正　昭和　平成

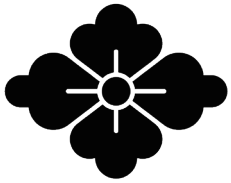
-

将軍徳川綱吉に仕え、甲府城主15万1200石となった柳沢吉保が使用していた花菱が4つ並んだ形の紋

元禄・宝永(西暦1688～1711年)の時代に、五代将軍徳川綱吉の絶大な信頼を得て側近となり、江戸幕府を動かした政治家柳沢吉保は、宝永元年(西暦1704年)に綱吉から幕府政治における功績を賞され、先祖の地である甲斐国を拝領する。吉保が生まれた柳沢家は、現在の山梨県北杜市武川町柳沢である。この甲斐国に甲府城を築城し、城下町を整備「是ぞ甲府の花盛り」という評判が立つほどの繁栄をもたらした。また、吉保は戦国武将武田信玄を崇拝し、その後継者となることを強く意識し、武田の伝統を受け継ぐことに努めた。

甲斐国統治の期間は約20年と長くはないが、築城と街づくりによって甲府を繁栄させた柳沢吉保の事績は、今もなお県都甲府市の街づくりや山梨県民の気風に受け継がれている。

YT



花菱

江戸　明治　大正　昭和　平成

-

日本の家紋である花菱紋の一種であり、唐花紋の特に4弁の菱形のものをいう。唐花菱ともいわれる

花菱は、大陸由来の連続文様である。平安時代には有識文様として、公家の調度品や衣装文様として用いられた。家紋としては、甲斐武田家が始めに使用したといわれ、標準的な図案の武田花菱は武田家の定紋(じょうもん)として武田菱と同じように使用された。

武田信玄は花をモチーフにしたこの花菱を愛用していたという。武田家は清和源氏の流れをくむ名門で、源義家の弟である源義光の子、義清が武田の姓を称したのに始まる。

日本最古の日の丸の「御旗」とともに武田家嫡流の重宝として受け継がれてきた「楯無の鎧」には、花菱と割菱の紋が入っている金具がつけられている。諸説あるが、源義光が着用した鎌倉時代の作ともいわれる。

「盾無の鎧」＝国宝「小桜韋威鎧兜大袖付(こざくらがわおどしよろいかぶとおおそでつき)菅田天神社所蔵」

盾が要らない程に堅固なことから名付けられたとも言われる。現在、甲州市の菅田天神社の宝物庫に保管されており、令和元年に6年ぶりに一般公開され、筆者も実際に見てその迫力に圧倒された。



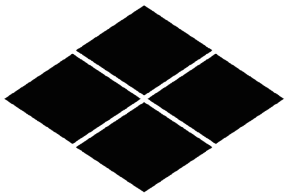
EI

武田菱
(四つ菱・四つ割り菱)

江戸　明治　大正　昭和　平成

-

菱文様は紀元前より見られ、縄文時代前期の土器にも描かれている。菱形が連続した織文様から引用され家紋となっていったと思われる



武田菱の原型である菱紋は、一年草の水草であるヒシ科のヒシの実、またはヒシの葉を図案化したものといわれる一方で、単純な図形のために創生は不明。菱紋は「菱紋」と「唐花菱紋」とに大別され、菱紋は基本となる「菱持(ひしもち)」を組み合わせたり変形させる。
武田家の家紋に用いられているいわゆる武田菱は四つ菱、四つ割り菱と呼ばれ、その由来は前述の「楯無の鎧」に菱の紋が入っていたためとも言われる。宗家武田氏に関連した全国の武田氏や傍流の家系などでは「武田菱」に配慮したと思われる四つ菱以外の様々な菱紋が家紋として用いられている。

「武田菱」は武田氏が用いたことで知られ、同様の「割り菱(四つ割り菱)」と区別することがあるが、元は同じものである。菱形同士の間隔が狭くとられているものを「武田菱」として区別している。



YT

甲府徳川家の家紋
三つ葵

江戸　明治　大正　昭和　平成

-

日本の家紋「葵紋」の一種であり、葵の葉を3つ書いてあるのが特徴の家紋。甲府徳川家の家紋として用いられた。三つ葵は時代等により微細に文様に違いがある



外郭が黒い丸輪、その内部に3つの葵の葉が描かれており、葵の茎を模した部分が丸輪と一体化した形をとっている。葵紋はフタバアオイを図案化したもので、フタバアオイの通常の葉の数は2枚であり、3つの葉をもつフタバアオイは稀で、三つ葉葵は架空のものである。元来は葵祭で有名な賀茂氏によって用いられており、後に徳川家の家紋となる。甲府徳川家は江戸幕府3代将軍徳川家光の血筋に由来し、それにより丸に三葵の家紋を用いた。甲府藩は2代藩主綱豊(徳川家宣)が徳川綱吉の世子となったことで、2代で絶家となる。
江戸幕府6代将軍徳川家宣は甲府藩の元藩主であり、甲府徳川家時代からの家臣である学者の新井白石や側用人の間部詮房らと共に政治を執り行った。新井白石は漢文の名手としても知られている。

NR

風林火山の旗

江戸　明治　大正　昭和　平成

武田神社

武田信玄の風林火山の旗。孫氏の文章から引用されたもので、武田信玄が快川紹喜に書かせたと伝えられる



武田信玄の旗についていたとされる風林火山の文字は、孫氏が軍隊の進退について書いた文章を部分的に引用したものであり、原文は「故其疾如風、其徐如林、侵掠如火、難知如陰、不動如山、動如雷霆」。移動するときは風のように速く、陣容は林のように静かに、攻撃するのは火のように勢いに乗じて、どのような動きに出るか判らない雰囲気は陰のように、敵方の奇策、陽動戦術に惑わされず陣形を崩さないのは山のように、攻撃の発端は敵の想定外を突いて雷のように敵方を混乱させながら実行されるべきである」と言う意味である。難知如陰は其徐如林と、動如雷霆は侵掠如火と、意味が重複する部分が多いので旗印からは割愛されている。

信玄のライバルでもある上杉謙信の旗。毘沙門天の毘の字が書かれている。二人の間には「敵に塩を送る」などの数多くの逸話が残されている。



シンボル 所蔵：武田神社

NR

寛文元年甲府上組火消し着

江戸　明治　大正　昭和　平成

-

江戸時代の火消し(今でいう消防士)の上着の図案。火消し隊は各地区ごとに編成されていた



山梨県立図書館発行の「甲州文庫史料」第1巻に掲載されており、デジタルアーカイブでもみることができる。
江戸時代、寛文元年(西暦1661～1673年)は第4代将軍である徳川家綱の時代であった。当時は甲府も江戸と同様に火事が多く、甲府市中は延焼22町(約22ヘクタール)にも及ぶ大火に見舞われた。以降、火消し人の編成と体制強化等が行われた。

全8巻におよぶ「甲州文庫史料」は、昭和48年～55年にかけて、山梨県立図書館により甲州文庫の資料から編纂された。



シンボル・画像 出典所蔵：山梨県立図書館

YT



ボロ電についていた昔の山交マーク

江戸　明治　大正　昭和　平成

-

昔の山交マーク、山の字が丸く引き伸ばされている。地元では親しみを込めて「ボロ電」とも呼ばれていた

昭和5年に開業した郊外型路面電車。甲府駅前駅～増穂町(現・富士川町)の甲斐青柳駅までを結んでいた軌道路線。全線20.2kmを所要時間55分程で走り、30分間隔で運行した。前史としては、甲府市から勝沼・鰍沢を結んでいた馬車鉄道の「山梨馬車鉄道」が大きく関わっている。この路線群が開通したのは千秋橋～柳町～石和～勝沼間が明治31年(西暦1898年)、柳町-鰍沢間が明治34年(西暦1901年)のことであり、当時はまだ中央本線も甲府には到達していなかった。その後の路面電車時代は、終点甲斐青柳駅からは鰍沢口駅までのバスの便もあり、最盛期には年間に200万から300万の利用客の足となった。



戦後再開を果たしたボロ電。左奥は甲府駅。ボロ電は甲府駅を出発し、県民会館の交差点を南下、荒川橋を渡って現在の廃軌道を通っていたが、甲府空襲の際、市中心部の架線が消失したため、上石田駅が始発駅になったこともあった。

YT



三つ鱗ビール

江戸　明治　大正　昭和　平成

-

三つ鱗ビールのラベル。東日本初のビール、日本で2番目に作られたビールは、野口正章によって作られた。柳町の「十一屋」を営んでいた

現在の滋賀県東近江市で酒造業を営む十一屋の跡取りであった野口正章は、甲府に店を持ち滋賀と行き来をしていた。正章は、子どもの頃から舶来の文物に興味を持ち『舶来狂い』とまで呼ばれ、代々酒造業を営んでいたことから自然麦酒(ビール)に興味を持っていた。明治6年(西暦1873年)日本人による国産ビールとして『三ツ鱗』印を商標とする『三ツ鱗ビール』が誕生した。三ツ鱗は、当時輸入ビール『バスビール』が一ツ鱗であったことから、野口家の定紋三つ柏を合わせて作ったとされる。明治7年(西暦1874年)、当時の山梨県令藤村紫朗より大蔵省に対して麦酒(ビール)醸造に係る伺い書が提出され、売り出しの許可を得た。

三つ鱗ビールは明治8年(西暦1875年)に京都で開催された博覧会に出品、銅賞牌を授与された。



シンボル・画像 出典：山梨デジタルアーカイブ(山梨県立図書館)

YT



甲府案内

江戸　明治　大正　昭和　平成

山梨県立図書館

甲府商工会議所が編纂した書籍で、大正7年(西暦1918年)に発行された。甲府市街地を中心とした各店舗の紹介がされている

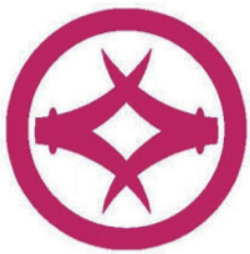
「甲府案内」は日本が近代化に向かい始めた明治後期～大正の時代に甲府の中心街にあった商業店舗を紹介している書籍。古くは嘉永年間(西暦1848～1855年)の幕末期に発行された和本「甲府買物獨案内」(こうふ かいものひとり あんない)や、明治16年(西暦1883年)ごろに発行された「甲府名家商業便覧」の流れをくむものと推察される。「甲府案内」は山梨県立図書館所蔵であり、前記の2冊は山梨県立博物館所蔵となっている。



ポケットに入るほどのサイズだが、その質感のひとつひとつが時代を思わせる。甲府には長寿企業も多く、甲府案内に掲載されている商店の中に現存するものを見つけることもできる。昔と今を比べてみるのも楽しい資料である。

シンボル・画像 出典：「甲府案内」(山梨県立図書館所蔵)

YT



甲府松菱デパート

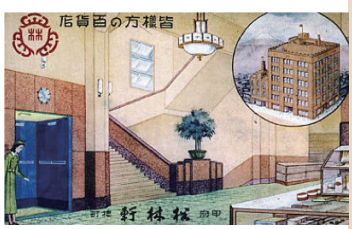
江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目14-3

㈱甲府ビルディング～松林軒百貨店～甲府松菱デパート～山交百貨店(その後移転)と、甲府における大型商業施設の歴史と変遷を持つ

昭和5年2月、県内有力者を中心に設立された『株式会社甲府ビルデイング』。のちにビル隣接地の菓子舗松林軒がこの建物を引き継ぎ、山梨県内最初の本格的百貨店として昭和12年松林軒百貨店(松林軒デパート)が開業した。昭和20年の甲府空襲により百貨店としての営業を休止。空襲により焼失した山梨日日新聞の印刷所となった。その後、昭和29年に静岡県浜松市にあった松菱の資本援助を受けて、甲府松菱として営業を再開。昭和38年に山交百貨店と名前を変える。廃止となった山梨交通電車線の甲府駅前駅跡地に、新しく完成したビルに移転し、9年におよぶ甲府松菱デパートとしての営業を終了した。跡地には現在も松林軒豊嶋家が営業している。

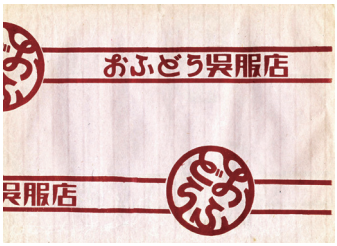
松林軒百貨店の資料。地上6階・地下1階、売場面積5000㎡、5階に大食堂、6階にホールや催事場を設けるなど、当時の甲府における高層の大店舗だった。



シンボル・画像 所蔵：峡陽文庫

YT

おふどう呉服店



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央2丁目(旧横近習町)

おふどう呉服店の屋号が載る包装紙。呉服商であった大木家が江戸時代・天保年間に五代目喜右衛門が「井筒屋」の屋号を「おふどう」に改称し使用していた

大木家は、江戸時代初期から約350年間の長きにわたって、甲府の町で呉服商を営んでいた豪商。甲府の文化にも大きく貢献したが、戦時中、昭和18年に廃業した。

江戸時代、第五代・大木喜右衛門の頃に豪商として甲府商人の頂点を極める。また、明治時代の第七代・大木喬命の時代には、織物工場や銀行を興して実業家としての名声を得た。同時に私学の振興や政界でも活躍して、山梨の商工業と文化の発展に寄与してきた。大木家には膨大な数の古書・美術品・工芸品・民俗資料等が遺されており、これらの資料群は九代目で最後の当主が亡くなった後、平成2年に山梨県に寄贈された。山梨県立博物館では「おふどうと名乗った家」という企画展が行われたことも。同名の展示図録も大変興味深い。

「おふどう」の屋号は、次のような由来が伝えられている。大木喜右衛門の時代に江戸に向かう修験僧に会い、恵みを与えると代わりに不動尊像をもらった。それ以来、慶事が続き大木家は隆盛となる。これに喜び屋号を「井筒屋」から「おふどう」に改めたという。



YT

シンボル・画像 所蔵：峡陽文庫

東映電気館



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目5-4

昭和20年の空襲で焼失してしまった「甲府電気館」は同年に再建され、東映電気館となった

電気館は、かつて東京浅草にあった映画館。日本初の映画専門の劇場で明治末年、東京の浅草公園六区に設立され国産映画の専門館となった。これに倣って日本全国に多数の「電気館」が出来た。

甲府銀座ビルに入っていた甲府電気館は昭和20年に空襲で焼失してしまい、同年再建され東映電気館として再開した。昭和49年にダイエー(愛称：甲府ショッパーズプラザ)が入店。ダイエーは平成元年にトポス甲府店と改称し、その後、一時空きビルとなった後に、オギノかすがもーる店と市民交流拠点こうふアルジャンが設置された。平成21年に再び閉鎖されたビルは老朽化が進んでいたこともあり甲府銀座ビルとしての幕を閉じる。

平成30年「デュオヒルズ甲府」として店舗付マンションがその地を受け継いだ。
かつて東京浅草にあった電気館は日本初の映画専門の劇場で、明治末年、東京の浅草公園六区に設立され国産映画の専門館となった。これにならって日本全国に多数の「電気館」ができたらしい。



YT

シンボル 所蔵：峡陽文庫

オリオンパレス



江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目16-20

かつて甲府中心街にあった映画館。この跡地は現在「ココリ」となっている

昭和21年に洋画専門映画館としてオリオンパレスが開館した。オリオン通りの現在のアーケードは、大正15年(西暦1926年)に甲府電力(現在の東京電力)前から紅梅通りの間に南北に新道が開設されたのが始まりで、繁華街への近道として多くの利用があった。

昭和20年の甲府空襲でこのエリア一帯は、焼け野原となった。その後、貸店舗長屋が建てられ、復興の原動力として甲府駅と中心街を結ぶ重要な道となる。

オリオンパレスは戦後復興の中、北杜市出身の上村三兄弟により昭和21年から昭和32年まで営業が続けられていた。

現在のオリオン通り周辺には、上級公務員の官舎が多くあった。昭和23年に宿舎が移転し、商店街が誕生し、その一画に「オリオンパレス」があったことから、オリオン通りと呼ばれるようになった。



YT

シンボル 所蔵：峡陽文庫

甲府武蔵野シネマ・ファイブ



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央4丁目3-5

平成10年にオープンした新宿武蔵野館系列の映画館。県内初のシネマコンプレックスであったが平成23年に休館となった

休館となってしまった平成20年代は、近隣・近郊に次々とオープンしたショッピングモールに買い物客が流れ、街を周遊する人が減ってきていた時代でもある。車で来場する顧客向けのサービスとして鑑賞チケットの割引サービスやポイントサービスも行われていた。

甲府武蔵野シネマ・ファイブが開館する以前は、この場所には昭和29年に開館した「甲府武蔵野館」がロードショー館として営業していた。そのまた前身としては大正14年に(西暦1925年)同じ場所で「中央館」の名で映画館があり、古くから大衆娯楽の地であった。

昭和20年代の「甲府武蔵野館」があった時代には、山梨県内だけで80館以上の映画館があったという。現在はワシントンホテルプラザの1FとしてDAIMARU甲府本店が営業している。



YT

シンボル・画像 提供：cinema-st.com

かいじ国体

江戸　明治　大正　昭和　平成

山梨県

かいじ国体のシンボルマーク。昭和61年に行われた第41回国民体育大会は、テーマをかいじ国体とし開催された

昭和61年に山梨県で開催された第41回国民体育大会。当時のパンフレットによるとシンボルマークは「山梨の象徴である富士山を中心にして、ふれあいの話を広げる山梨県民の心を表わし、下の2本の線はやすらぎのある甲斐路と躍動する県民のロマンを表現している。」と記載されている。右上に表示されている火のトーチのマークは国民体育大会のマークである。スローガンは「ふれあいの輪をひろげよう」であった。



当時、全国から多くのスポーツ選手が集まったこの大会は、甲府市誕生以来、もっとも大がかりなイベントであったという。

シンボル 提供：山梨県
シンボル 出典・所蔵：「第41回国民体育大会総合視察資料」(山梨県立図書館所蔵)
画像 出典：「写真集 甲府物語-市制100 周年記念-」(山梨県立図書館所蔵)

EI

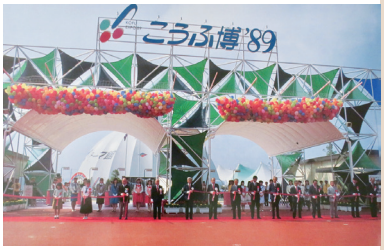
こうふ博'89

江戸　明治　大正　昭和　平成

小瀬スポーツ公園

こうふ博'89のシンボルマーク。平成元年、市制百周年を迎えた甲府市で9月15日～11月12日まで開催された地方博。テーマは「夢・心・きらめく未来」

デザイン意図には、「赤・ワインカラー・若草色の3つのだ円は、こうふ博のテーマである『夢・心・きらめく未来』をシンボライズし、名産ぶどう、宝石の街、そしてファッションの発信基地のイメージをもたせた。また、中央の青い流線は21世紀へ向けての甲府市の輝かしい未来への飛躍と、限りない発展への願いがこめられている。」と記されている。主たる企画として「2頭のジャイアントパンダ」、「リニアモーターカーの実物大モックアップ」、「巨大水晶」が展示された。開催期間は2ヶ月弱であったが、動員目標50万人の予想入場者数を上回るなど興行としては成功をおさめている(総動員数55万5千人)。



華やかなオープニングセレモニーの様子。この博覧会を記念して純銀製の小判が製作されており、現在もごくたまにインターネットオークションなどで取引されている。また山日YBSグループのブースでは実験段階であった3次元映像の公開が行われた。

シンボル 提供・出典：甲府市
画像 出典：「写真集 甲府物語-市制100 周年記念-」(山梨県立図書館所蔵)

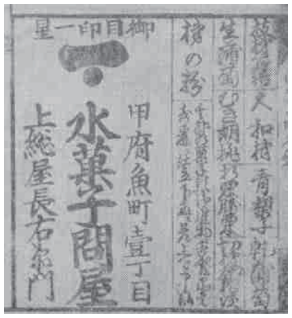
YT

水菓子問屋 上総屋長右衛門

江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 魚町

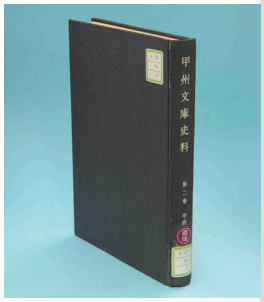
山梨県立図書館所蔵の「甲州文庫史料」第2巻の「諸国道中商人鑑」に掲載されている水菓子問屋の屋号



「甲州文庫史料」は山梨県立図書館によって古い資料を編纂し発行された書籍であり、第1巻～第8巻と目録という構成になっている。昭和48年(西暦1973年)に刊行されたこれらの文献は、様々な時代の歴史・文化・風習など当時を知る手掛かりとしての貴重な資料となっている。

この頃の水菓子とは果物のこと。つまり水菓子問屋は「くだもの卸屋」であったと思われる。水菓子問屋である上総屋長右衛門の店は、現在の魚町1丁目あたりにあったという記録が残されている。マークの上には「御目印一星」の文字。特選といった意味合いであろうか。

本資料「甲州文庫史料　第2巻」は「甲府町方編」とされている。
(山梨デジタルアーカイブリンク：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/detail?tilcod=0000000016-YMNS0000073)



シンボル・画像 出典：「甲州文庫史料 第2巻」(山梨県立図書館所蔵)

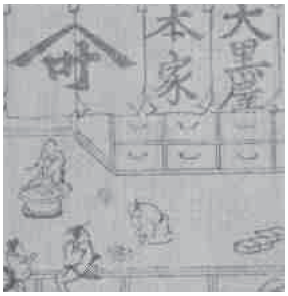
YT

御菓子屋 大黒屋本家

江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 魚町

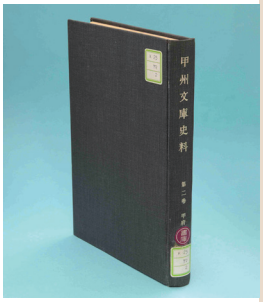
山梨県立図書館所蔵の「甲州文庫史料」第2巻の「諸国道中商人鑑」に掲載されている御菓子屋「大黒屋本家」の屋号



「大黒屋本家」の看板には「お菓子製　甲府魚町三丁目」の文字。

魚町は、現在の中央2丁目～5丁目付近にあたり南北に魚町通りが伸びるエリア。屋号には「叶」かなうの文字、暖簾の左横に「開運」「福徳前餅?」の文字が見えることから、縁起を意識した商品が名物であったのではないだろうか。どんな御菓子だったのか気になるところだ。

本資料「甲州文庫史料　第2巻」は「甲府町方編」とされている。
(山梨デジタルアーカイブリンク：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/detail?tilcod=0000000016-YMNS0000073)



シンボル・画像 出典：「甲州文庫史料 第2巻」(山梨県立図書館所蔵)

YT



雪駄類
藤原屋

江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 八日町

山梨デジタルアーカイブの「甲府買物独案内」(こうふ かいもの ひとり あんない)に掲載されている屋号紋

「雪踏類」と屋号の下に大きく書かれているのは、現在でいう靴屋にあたる履物屋。雪駄は、雪踏とも書き、竹の皮の草履の裏に獣の皮をつけた履物。千利休が雪中で用いたのが始まりといわれている。後に、皮の上に金物を打ちつけた形状となる。「八日町一丁目南がハ」は八日町1丁目南側であり、現在の中央4丁目～5丁目に該当する当時の町の中心地である。

本資料「甲府買物独案内」は嘉永7年(西暦1854年)、著者：勢竜軒茶翁、出版者：藤屋伝右衛門(ふじやでんえもん)にて発行されている。
(山梨デジタルアーカイブリンク：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/detail?tilcod=0000000021-YMNS0121739)



YT

シンボル・画像 出典：山梨デジタルアーカイブ(山梨県立図書館)



味噌・酢・醤油
宅間平右エ門

江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 八日町

山梨デジタルアーカイブの「甲府買物独案内」(こうふ かいもの ひとり あんない)に掲載されている屋号紋

屋号のマークは四角に漢数字の「三」が入るものと思われる。味噌・酢・醤油等の調味料問屋であったのだろう。日本各地の醤油を取り寄せ、販売していたと思われる。醤油名と書かれたその横には、現在でいう商品のロゴマークと商品名が書かれており、またその使用に関しての最適な調理方法も明記されている。店は八日町北側となっているところから現在の中央4丁目～5丁目の北側あたりと思われる。

本資料「甲府買物独案内」は嘉永7年(西暦1854年)、著者：勢竜軒茶翁、出版者：藤屋伝右衛門(ふじやでんえもん)にて発行されている。
(山梨デジタルアーカイブリンク：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/detail?tilcod=0000000021-YMNS0121739)



YT

シンボル・画像 出典：山梨デジタルアーカイブ(山梨県立図書館)



荒物類
小倉屋

江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 和田平町

山梨デジタルアーカイブの「甲府買物独案内」(こうふ かいもの ひとり あんない)に掲載されている屋号紋

荒物類とは、現在でいうところの家庭用の雑貨類を売る商売で、ざる・ほうき・縄・住宅小物などを取り扱っていたと思われる。住所は和田平町となっており、五丁下りと呼ばれていた旧金手町から旧城屋町までの旧甲州街道沿いを指すあたりであろう。現在の城東1～5丁目にあたる城東通りと呼ばれているこの通りは江戸時代の主要幹線道路だった。石和から城屋町を経て、和田平町となる。

本資料「甲府買物独案内」は嘉永7年(西暦1854年)、著者：勢竜軒茶翁、出版者：藤屋伝右衛門(ふじやでんえもん)にて発行されている。
(山梨デジタルアーカイブリンク：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/detail?tilcod=0000000021-YMNS0121739)



YT

シンボル・画像 出典：山梨デジタルアーカイブ(山梨県立図書館)



扇子
蛭子屋

江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 柳町

山梨デジタルアーカイブの「甲府買物独案内」(こうふ かいもの ひとり あんない)に掲載されている屋号紋

屋号のマークと思われる中に「拍榮堂」と書かれているところから、これが店名だったと推測される。
扇子のマークの両脇に「和」と「唐」の文字が表記されているのは、当時の舶来品である唐物(中国製品)と国産のものとを扱っていた専門店であろう。住所は柳町三丁目とあり、柳町は甲斐を代表する当時の豪商が集まっていたと言われている。現在の中央2丁目～4丁目付近と思われる。

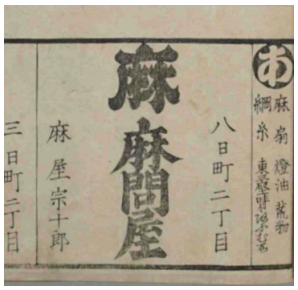
本資料「甲府買物独案内」は嘉永7年(西暦1854年)、著者：勢竜軒茶翁、出版者：藤屋伝右衛門(ふじやでんえもん)にて発行されている。
(山梨デジタルアーカイブリンク：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/detail?tilcod=0000000021-YMNS0121739)



YT

シンボル・画像 出典：山梨デジタルアーカイブ(山梨県立図書館)

麻問屋
麻屋



江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 八日町

山梨デジタルアーカイブの「甲府買物独案内」(こうふ かいもの ひとり あんない)に掲載されている屋号紋

屋号が「麻」の一文字で表現されている珍しい屋号のマーク。麻問屋は一般的に神社神事の注連縄なども扱っていることが多い。八日町は毎月八日に市場が立ち、甲府で最も栄えていた町と伝えられている。また近隣に山八幡神社があることから、やはり神事の際の注連縄にも関わっていたのだろうか。

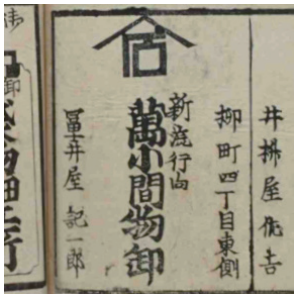
本資料「甲府買物独案内」は嘉永7年(西暦1854年)、著者：勢竜軒茶翁、出版者：藤屋伝右衛門(ふじやでんえもん)にて発行されている。
(山梨デジタルアーカイブリンク：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/detail?tilcod=0000000021-YMNS0121739)



YT

シンボル・画像 出典：山梨デジタルアーカイブ(山梨県立図書館)

萬小間物卸
富士井屋



江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 柳町

山梨デジタルアーカイブの「甲府買物独案内」(こうふ かいもの ひとり あんない)に掲載されている屋号紋

萬小間物卸(よろず こまもの おろし)に加えて新流行向の文字が書かれている。現在の百貨店やディスカウントストアといった業態に近く、日用品・雑貨・服飾雑貨等の商品を取り扱い、またいち早く新製品を店頭に並べていた総合商店であったのだろう。柳町四丁目は、当時の甲斐の豪商の集まる場所と言われており、現在の中央4丁目～5丁目付近と思われる。

本資料「甲府買物独案内」は嘉永7年(西暦1854年)、著者：勢竜軒茶翁、出版者：藤屋伝右衛門(ふじやでんえもん)にて発行されている。
(山梨デジタルアーカイブリンク：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/detail?tilcod=0000000021-YMNS0121739)



YT

シンボル・画像 出典：山梨デジタルアーカイブ(山梨県立図書館)

太物類
奈良屋



江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 八日町

山梨デジタルアーカイブの「甲府買物独案内」(こうふ かいもの ひとり あんない)に掲載されている屋号紋

住所の上側に書かれている文字は、おそらく「掛値なし」であると思われる。これは、物を売るときに実際より高い値段をつけることがないという意味を表す。近い内容の「現金掛け値なし」は現金取引で商売するということで江戸の呉服店三井越後屋(現在の三越)が始めた。どちらも、うそ偽りのないことを宣言する語句として知られている。太物類の太物とは、和服用の織物で使用する呼称の一つ。絹織物に対して、綿織物や麻織物を太物と称した。

本資料「甲府買物独案内」は嘉永7年(西暦1854年)、著者：勢竜軒茶翁、出版者：藤屋伝右衛門(ふじやでんえもん)にて発行されている。
(山梨デジタルアーカイブリンク：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/detail?tilcod=0000000021-YMNS0121739)



DN

シンボル・画像 出典：山梨デジタルアーカイブ(山梨県立図書館)

畳表
近江屋



江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 八日町

山梨デジタルアーカイブの「甲府買物独案内」(こうふ かいもの ひとり あんない)に掲載されている屋号紋

畳表とは、畳の表面部分のゴザのことを指す。イグサを一本一本織り込んだもので、一枚の畳表を織るのに約4000本のイグサが使われる。イグサは主な生産地が九州、中国地方で中でも熊本県が主流だが、昔は広島、岡山でも盛んに栽培がおこなわれていたという。「近江屋」という名前は日本各地で広く店舗や事業の屋号として昔から使われている。

本資料「甲府買物独案内」は嘉永7年(西暦1854年)、著者：勢竜軒茶翁、出版者：藤屋伝右衛門(ふじやでんえもん)にて発行されている。
(山梨デジタルアーカイブリンク：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/detail?tilcod=0000000021-YMNS0121739)



YT

シンボル・画像 出典：山梨デジタルアーカイブ(山梨県立図書館)



提灯所

江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 堅近習町

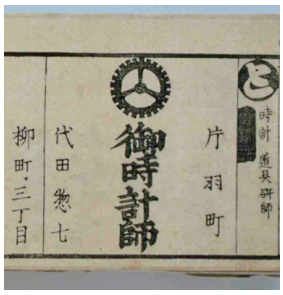
山梨デジタルアーカイブの「甲府買物独案内」(こうふ かいもの ひとりあんない)に掲載されている屋号紋

提灯(ちょうちん)は、伸縮自在な構造で細い割竹等でできた枠に紙を貼り、底に蝋燭を立てて光源とするもの。現在の懐中電灯やライトとしての役割をしていた。堅近習町(たつきんじゅまち)は現在の中央2丁目にある堅近習町通りに由来する南北に渡る縦の道周辺と思われる。下府中23町の中で最も賑わいのあったとされる11町の一つ。近習とは主君の側に仕えた武士の事と言われている。

本資料「甲府買物独案内」は嘉永7年(西暦1854年)、著者：勢竜軒茶翁、出版者：藤屋伝右衛門(ふじやでんえもん)にて発行されている。
(山梨デジタルアーカイブリンク：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/detail?tilcod=0000000021-YMNS0121739)



YT　シンボル・画像 出典：山梨デジタルアーカイブ(山梨県立図書館)



御時計師

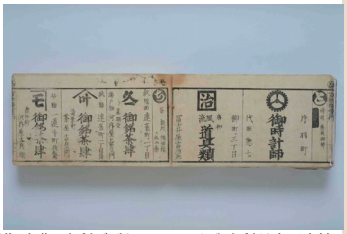
江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 片羽町

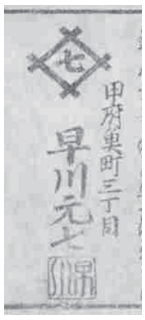
山梨デジタルアーカイブの「甲府買物独案内」(こうふ かいもの ひとりあんない)に掲載されている屋号紋

御時計師という名称は製造・販売・修理全般が出来た専門店だったのだろう。当時、時計は高級品であり、たいていは大名や豪商など富裕層が所持していた。本体や歯車をはじめとする機構は鉄または真鍮で作られ、美麗な彫金の装飾が施されたものも多かった。また種類も多様であり、複雑な調整も特殊な技術が必要とされていたと推察する。片羽町は現在の相生1丁目～3丁目あたりで、昔「片場町」と呼ばれ、道の片方にしか街並みがなかったと言われている。柳沢吉保が甲府にけて統制し多彩に「場」から「羽」に変わったと伝わる。

本資料「甲府買物独案内」は嘉永7年(西暦1854年)、著者：勢竜軒茶翁、出版者：藤屋伝右衛門(ふじやでんえもん)にて発行されている。
(山梨デジタルアーカイブリンク：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/detail?tilcod=0000000021-YMNS0121739)



YT　シンボル・画像 出典：山梨デジタルアーカイブ(山梨県立図書館)



早川元七

江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 魚町

山梨県立図書館所蔵の「甲州文庫史料 第2巻」の「諸国道中商人鑑」に掲載されている薬種屋の屋号紋

屋号紋は井桁紋で、漢数字の「七」が入る(井桁紋については「みのや」参照)。看板には「諸国妙薬取次所」とあり、妙薬とは「不思議なほどよく効く薬」を表わす。また「諸薬調合仕候(しょやくちょうごうつかまつりそうろう)」は現在の総合調剤薬局といったところか。当時は薬(生薬・漢方等)が非常に高価な時代であり、文中の筆書きにあるように「諸国にて数々の薬を集め～」からは、相当な知見と財力を有する豪商であったと覗える。魚町は現在の中央二丁目から五丁目にあたる南北通り(魚町通り)沿いの町人地で、魚介類や乾物を扱う商人が集住したことに由来する。

本資料「甲州文庫史料　第2巻」は、山梨県立図書館が編纂・出版した全八巻によって構成される「甲州文庫史料」の2巻目であり「甲府町方編」とされている。
「甲州文庫史料」は甲斐国(山梨県)に関する史料の収集を行なっていた功刀亀内氏が、その膨大な史料を昭和26年に山梨県へ寄贈したことを受けて、編纂・発行された。史料の整理に20年近くを要した後、昭和48年から昭和55年にかけて「甲州文庫史料」全8巻が刊行された。
(山梨デジタルアーカイブリンク：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/detail?tilcod=0000000016-YMNS0000073)



YT　シンボル・画像 出典：山梨デジタルアーカイブ(山梨県立図書館)



雛人形問屋 みのや

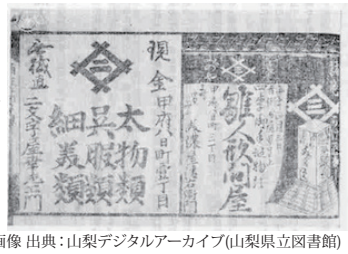
江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 八日町

山梨県立図書館所蔵の「甲州文庫史料 第2巻」の「諸国道中商人鑑」に掲載されている雛人形問屋の屋号紋

暖簾に描かれている屋号紋は、井桁の中に漢数字の「三」。井桁紋は、井戸の地上に出た部分に乗せる井の字型に木組みした枠を具象化しており、現在でも広く使われている。漢数字の「三」は、「みのや」(美濃屋)を表すものと思われる。当時の商業中心地である八日町は「府中一の良き処」と言われ、八日町通り=甲州街道は、江戸中期の甲府において最も栄えた場所だった。

本資料「甲州文庫史料　第2巻」は、山梨県立図書館が編纂・出版した全八巻によって構成される「甲州文庫史料」の2巻目であり「甲府町方編」とされている。
「甲州文庫史料」は甲斐国(山梨県)に関する史料の収集を行なっていた功刀亀内氏が、その膨大な史料を昭和26年に山梨県へ寄贈したことを受けて、編纂・発行された。史料の整理に20年近くを要した後、昭和48年から昭和55年にかけて「甲州文庫史料」全8巻が刊行された。
(山梨デジタルアーカイブリンク：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/detail?tilcod=0000000016-YMNS0000073)



YT　シンボル・画像 出典：山梨デジタルアーカイブ(山梨県立図書館)



甲府 土産品のしおり

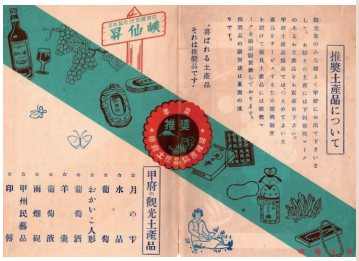
江戸　明治　大正　昭和　平成

甲府市

甲府土産品協会が昭和20年代末頃に発行したしおり。推奨土産品および取り扱い販売店を案内する内容となっている

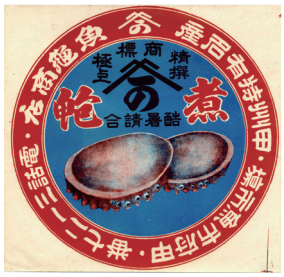
表紙には大きく葡萄が描かれ、温泉マークと共にアイコンとして配置されている。しおりの内側(画像)には「日本観光地百選首位 昇仙峡」の文字、昭和25年に渓谷百選の一位にも選ばれ、当時の昇仙峡の人気ぶりがうかがえる。しおりは、折りからの観光ブームにあわせ当時の観光施策の一環として発行されたようである。内側(画像参照)には、甲府土産品教会がつとめて良い土産品を提供するために推奨制度を設け、優良土産品には推奨マークを表示し販売していることが記されている。また、甲府の観光土産品が列記されており「月の雫」「水晶」「葡萄」「葡萄酒」「印伝」などが見て取れる。

土産品として記されている「おかいこ人形」は、山梨県産の繭を材料にして作られた人形で、昭和初期に歌舞伎人形や舞踊人形が作られていた。その後、昭和26年に新たな製作者により繭で「こけし」が作られ人気を博し、昭和28年度の山梨県観光土産品物産展で最優秀となり、25種類程度の人形が作成されていたという。(峡陽文庫より抜粋引用)



シンボル・画像 所蔵：峡陽文庫

YT



甲州特有名産 煮鮑

江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 八日町

甲府市八日町25番地に所在した影山亀次郎が経営していた魚亀商店の煮鮑の表装紙

手描きのグラフィックデザインはインパクト大で、味わい深い雰囲気とレトロ感が今でも十分に活躍しそうである。煮鮑のイラストの上にある「酷暑請合」の文字は、商品に対する品質の自信を感じさせる。

鮑の煮貝については、「徳川時代、駿河方面から甲州に入る貝の腐敗を防ぐため、煮込んだものを樽につけ、馬の背で揺られてくるうちに、下地が会に沁み込み、甲府に到着する頃には非常に美味くなっていたことから甲州の名物となった。」というのが煮貝の経緯として広く伝わっているところであるが、そもそもの嚆矢については定かではないようである。(峡陽文庫より引用)

古くからの高級品であり、現代においても各老舗の店舗・県内スーパーマーケット・百貨店などで販売されている煮鮑・煮貝は、一般家庭の食材としてよりも結婚式など「ハレの日」において出されることが多いほか、贈答品としての需要が高い。

シンボル 所蔵：峡陽文庫

YT



甲府駅構内売店の パン販売用の紙袋

江戸　明治　大正　昭和　平成

甲府駅

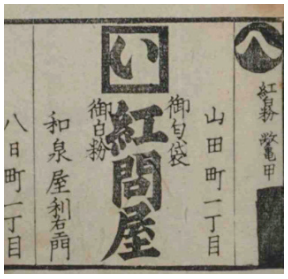
昭和初期頃に甲府駅構内の売店におけるパンの販売用に使用された紙袋

中央の「パン」の文字に両側から麦の穂がデザインされていて、シンプルかつ大変わかりやすい。小さく左側に「金拾銭」と書いてある。この紙袋に販売用のパンを入れ、1個10銭で販売していたようである。昭和初期、一説によると、かけそばが7銭、大福餅が10銭で6個買えた時代ということなので、当時食べ物で1個10銭というのはまずまず高価な商品であったのだろう。ちなみに、昭和21年頃まで甲府駅は「かふふ駅(実際は右側からの表記)」と掲示されていたようである。

甲府商工会議所が発行した『甲府商工案内 昭和十年版』によれば、当時の甲府市内におけるパン製造業者として、常盤町「芙蓉軒」、桜町「吟月堂」、泉町「万年堂」、佐渡町「木村屋」、上連雀町「鈴木」、太田町「伊勢屋」、橘町「山梨製パン株式会社」の名が記されている。(峡陽文庫より引用)

シンボル 所蔵：峡陽文庫

YT



紅問屋 和泉屋

江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 山田町

山梨デジタルアーカイブの「甲府買物独案内」(こうふかいものひとりあんない)に掲載されている紅白粉屋の屋号紋

屋号紋は四角囲い「カク」の中に、ひらがなの「い」が入る。扱い物は、今でいう化粧品と化粧雑貨であろう。店のあった山田町は「ようだまち」と読み、甲府城下町のひとつで、以前は伊勢町と呼ばれていたという。扱い物の「紅」は現在の口紅、「御白粉」は「おしろい」で現在のファンデーションといったところか。店名の紅問屋の右横には「御匂袋」と書かれている。「御匂袋」は匂い袋の事で、天然香料を刻んで調香し、常温で香りを発する香料を詰めた布袋のこと。匂い袋もしくは香り袋と呼ばれ、携行して香りを楽しむ他、衣類や文書とともに保管して用いられていた。おしゃれ・身だしなみといった美や香りの追及は今も昔も変わらない。

本資料「甲府買物独案内」は嘉永7年(西暦1854年)、著者：勢竜軒茶翁、出版者：藤屋伝右衛門(ふじやでんえもん)にて発行されている。
(山梨デジタルアーカイブリンク：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/detail?tilcod=0000000021-YMNS0121739)



シンボル・画像 出典：山梨デジタルアーカイブ(山梨県立図書館)

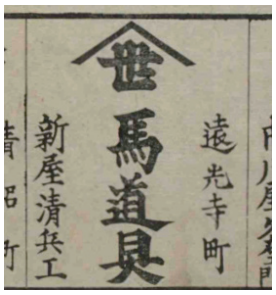
YT

馬道具
新屋

江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 遠光寺町

山梨デジタルアーカイブの「甲府買物独案内」(こうふ かいもの ひとり あんない)に掲載されている屋号紋



屋号紋は山印に漢字の「世」が書かれている。山印の意味は「商売によって家が発展し、その絶頂をきわめたい」という願いが込められているという。ならば漢字の「世」は世の中の為、人の為という願いが込められているのかと想像してしまう。

当時、交通・運輸の手段としての馬は欠かせないものであり、現代の自動車・トラックといったイメージであろう。扱い物の「馬道具」は、馬に乗るための数々の馬具を扱っていたと思われる。馬に乗るためには、馬を制御する轡(くつわ)と手綱(たづな)、馬の背中にまたがるための鞍橋(くらぼね)、馬上で足を安定させる力革(ちからがわ)と鐙(あぶみ)等、様々な道具が必要とされていた。店のあった遠光寺町は、現在の遠光寺周辺の伊勢二丁目あたりと思われる。

本資料「甲府買物独案内」は嘉永7年(西暦1854年)、著者：勢竜軒茶翁、出版者：藤屋伝右衛門(ふじやでんえもん)にて発行されている。(山梨デジタルアーカイブリンク：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/detail?tilcod=0000000021-YMNS0121739)



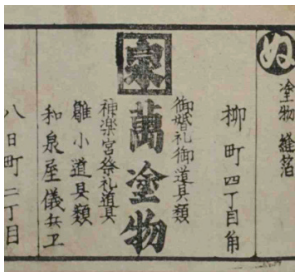
シンボル・画像 出典：山梨デジタルアーカイブ(山梨県立図書館)

萬塗物
和泉屋

江戸　明治　大正　昭和　平成

旧 柳町

山梨デジタルアーカイブの「甲府買物独案内」(こうふ かいもの ひとり あんない)に掲載されている屋号紋



屋号紋は四角囲い「カク」の中に漢字の「泉」が入る。「カク」は固く真面目さを表わす印として用いられていたという。勤勉実直な正直商売をモットーにしていたのであろう。萬塗物(よろずぬりもの)とは漆塗りの器(漆器)の総称であり、「御婚礼御道具類」や「雛小道具類」の表記から読み取ると、現代の「ハレの道具」を扱い「神楽宮祭礼道具」も含めて、非日常の儀礼儀式に欠かせない道具を提供していたのであろう。また縫箔(ぬいはく)とは、刺繍(ししゅう)と金銀の箔で模様を表わしたキモノ形の能装束のことで、主に若い女性を主人公とする鬘能(かつらのう)において、長絹(ちょうけん)や舞衣(まいぎぬ)といった上衣の下に腰巻にして着用していたものだという。これもまた高価で貴重な服飾品であり、当時の甲府における隆盛さが伺える。

引用資料「甲府買物独案内」(山梨デジタルアーカイブリンク：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/detail?tilcod=0000000021-YMNS0121739)



シンボル・画像 出典：山梨デジタルアーカイブ(山梨県立図書館)

ショウギョウ
エリア ノ
シンボル

工業団地・商業施設・商店街・温泉街などを幅広くショウギョウエリア（商業エリア）のシンボルとして紹介しています。

たまには、ひとつのお店を目指すのではなく、商業エリアを散歩してみるのはいかがでしょう。新たな発見があるかもしれません。甲府中心街にたくさんある、路地横丁巡りもおすすめです。

＜本項について＞

・シンボル・画像等は、多くを各公共施設・商業施設・商業エリア等のご協力によりお借りして掲載しています。

・本書内に掲載されているシンボル・画像・イラスト・文章・データ等の無断転載および無断転用をかたく禁じます。

・シンボルおよび画像の著作権・所有権・商標登録における権利等は、所有者（または貸出主等）に帰属します。

・上記、著作権等の権利やその他本書に関するご不明な点におかれましては、コウフシンボル 500 制作委員会（メールアドレス：kofulifelab+ks500@gmail.com）へご連絡ください。

アリア・ディ・フィレンツェ

江戸　明治　大正　昭和　平成

川田町アリア

アリア・ディ・フィレンツェは、イタリア語で「フィレンツェの空気」を意味し、山梨県が推進するファッション都市構想から生まれた協同組合ファッションシティ甲府が運営する工業団地

昭和62年に甲府商工会議所がファッション関連の地場産業を集積し、異業種間の交流を図るための団地創設を発案したことから始まり、平成6年に完成した。北川原温が設計。多くの植物が配置され、電柱のない地下埋設設備を採用するなど工夫が凝らされたこの施設は、山梨ファッション市民大賞やグッドデザイン賞などを受賞し、平成8年には皇太子ご夫妻(現在の天皇皇后両陛下)のご訪問、平成12年には石原都知事(当時)の視察も行われた。



広大な敷地内には中庭や憩いのスペースなどもあり、地場産業を中心とした12企業の本社・工場などの建物がある。常設の商品展示室をもつ企業があるなど、普段から一般見学可能な場所も。

EI

グランパーク

江戸　明治　大正　昭和　平成

国母5丁目8-1

平成9年から平成26年まで存在した商業施設。通称グランパ

緑・赤・青でつくられたロゴマーク。赤いAの書体だけが他の文字と違うところ作者の何らかの思い入れがありそうだが、今はもう知る術がないのが残念である。

グランパークはオープン当時夢のようなショッピングセンターで、連日たくさんの人で賑わっていた。最盛期には映画館やボーリング場・ゲームセンターなどのアミューズメント施設が多数揃う複合施設となり、甲府のランドマーク的な存在となった。

一時代を築いたグランパークだが、国道20号沿いにイトーヨーカドーなどの郊外型店舗ができはじめると徐々に衰退。

平成26年3月末にその幕を閉じた。



甲府南地区第一種市街地再開発事業として建てられたグランパーク。クリスマスシーズンには外壁にクリスマスツリーのイルミネーションが飾られた。

画像 出典：wikipedia/Mr.W, GFDL-no-disclaimers, https://ja.wikipedia.org/w/index.php?curid=887090"

SK

エクラン

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目1-8

甲府駅に直結する商業施設、昭和60年から平成27年3月初旬までの名称のロゴマーク。現在の名称は“セレオ甲府”

ショッキングピンクのロゴマーク。Aの文字のみ小洒落たデザイン。改装し“セレオ甲府”に変わった現在でも“エクラン”と呼ぶ人がいるほどに、当時はまさに甲府のシンボルマークだった。

昭和61年開催のかいじ国体にあわせ、それまで木造平屋建てだった甲府駅舎を橋上化する工事が行われ、その際商業施設の入る駅ビルとして昭和60年10月に“エクラン”の名称で開業。山梨初出店のショップや飲食店もあり、「やっと甲府にも駅ビルができた!」と多くの人で賑わっていた。

現在の駅ビル“セレオ甲府”のロゴマーク。JR東京西駅ビル開発が運営する八王子・国分寺の駅ビルとブランド名を統一するため、平成27年3月に“セレオ甲府”と改めた。屋上からは晴天時には富士山を見ることができる。

SK

ココリ

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目16-20

マンション、山梨県立宝石美術専門学校、居住者用駐車場、一般用駐車場、商業施設からなる高層複合商業ビル「ココリ」のロゴマーク

甲府の中心街にランドマークとしてそびえ立つココリ(KoKori)。ココリの名称は、山梨県在住者を対象にした公募によるもので、応募総数479点の中から同再開発組合の選考によって選ばれた。ココリの名の由来は、甲府の“コ”、再開発地区の旧町名である紅梅の“コ”、同地にあるショッピングアーケード街のオリオン通りの“リ”の、3つの地名を元にした造語であり、甲府市在住の歯科医師により考案された。ロゴマークのデザインはコ・コ・リの名の由来に基づき、それぞれの文字のイメージカラー、緑豊かな甲府の緑色、紅梅の紅色、オリオンスクエアの青色をドットのデザインで表現した。

同地はココリができる前、県内大手スーパーマーケットを展開するオギノのオリオン店と本社であったが、平成3年に改修してファッションモール『パセオ』として運営していた。さらにその前は、映画館「オリオンパレス」があった場所である。



2階には千客万来、商売繁盛、病除けのパワーを持つ？「招き信ニャン」が。

SK

甲府ぐるめ横丁

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目6-4

平成27年に中心街にありながらテナントが激減していた芳野ビルを、人と人とがつながる山梨の食文化村として改装、熱き想いの飲食店が集まり山梨を盛り上げている

甲府ぐるめ横丁のある芳野ビルは、昭和40・50年代には、スナックや飲食店が48店舗も軒を連ねた甲府歓楽街を代表するビルの一つであった。しかし、時代の変化に徐々に活気を失い近年では5店舗のスナックに支えられてきた。改装を機に甲府ぐるめ横丁に名前を改め、昭和レトロ感を残しつつ、屋台村システムを取り入れ、個性的な飲食店が集まり、山梨の食文化発信の場、交流の場として活気を取り戻している。また2階は、スナック横丁として新たなスナックも出店し賑わいをみせている。甲府ビジネスラボというシェアオフィスもあり起業家の情報交換の場になったり、山梨県活性化プロジェクトが開催されたりと甲府の街で活躍する人を増やしている。

各店舗のほか、山梨の食文化や、ピザ、中華料理等、様々なお店から好きな物を頼んで食べられるスペースも。



AT

光と風マーケットコート

江戸 明治 大正 昭和 平成

横根町480-1

シンプルかつ洗練されたロゴマーク。施設全体の基本構想やネーミングなども手掛けた"株式会社 生活スタイル研究所"がデザイン

日本のロゴ&マーク集 vol.5 (alpha books)にも掲載されたロゴマーク。家のようなモチーフは"暮らし"を表現している。また、MARKET COURTの"COURT"は中庭を意味し、物を買うだけではなく「外の空間で自然とのつながりを感じながらくつろいでもらいたい」という想いが込められている。

「光と風マーケットコート」は住宅設計・施工を手がける「光と風の設計社」が日常を癒す"をコンセプトにつくったビレッジ型の複合施設。ショールーム機能を中心として、ライフスタイル雑貨店・カフェ・ベーカリー・ビューティーサロン・グリーンショップ等から構成されている。

一歩足を踏み入れると、光と風を感じるような心地いい雰囲気に包まれる。定期的にイベントを行い、周辺に住んでいる人の交流の場にもなっている。



SK

岡島百貨店

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目21-15

江戸時代の屋号紋が用いられたロゴマーク。現在山梨県内においては唯一の百貨店。県内においてそのブランド力と認知度を維持し続けている

その歴史は深く天保14年(西暦1843年)現在の中央2丁目に岡島定右衛門が茶商の大黒屋として創業。後に、呉服店および両替商として営業も開始した。昭和11年に株式会社岡島に改組し、昭和13年9月に県内では2番目となる百貨店として現在地に岡島百貨店として地上5階の大型店舗による百貨店形式の営業を開始した。甲府空襲で内部は焼けたものの外部は残り、ほどなくして営業を再開している。

過去には八王子市の八王子岡島、茅野市に茅野岡島を営業していたが、八王子岡島は昭和45年、茅野岡島は平成13年に閉店し、現在百貨店事業を行なっている店舗は本店のみである。他に山梨県内においては唯一の日本百貨店協会加盟の百貨店である。

多くの甲府市民に愛されている百貨店。品揃えも豊富で、ハイブランドなものを各種扱っている。
百貨店事業以外にカインズホームやケーズデンキのフランチャイズ事業なども行い郊外型の店舗展開も行っている。



YS



かすがもーる

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目

甲府中央商店街の繁華街に相当し、戦前から百貨店や専門店が多く存在する地域

岡島百貨店と山梨中央銀行本店の南側を起点に甲府銀座ビルまでの南北100mにわたり伸びる商店街。

元々は春日町商店街であったが昭和62年に整備され、現在の名前に改称された。車の通り抜けが可能であるほか、歩道部分はアーケードで覆われている。同年、手づくり郷土賞を受賞。

通りには、昔からの洋品店や居酒屋、ヴァンフォーレ甲府のオフィシャルショップなどがある。以前は映画館も存在し、現在その場所は大型のイベントスペースとしてディスコイベントなどが行われ盛り上がっている。

交差点を挟んでオリオン通りへと続いている「かすがもーる(春日通り)」は、近年新しく店も増えてきており、中心街活性化の一役を担っている。



YT

エル西銀座



江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目

甲府中央商店街の繁華街に相当し、戦前から百貨店や専門店が多く存在する地域

商店街の愛称・エル西銀座の「エル」は「Large(大きい)」、「Love(愛)」、「Life(人生)」の頭文字から取った。昭和62年、エル西銀座の道路改修工事に伴い、魅力ある商店街にしようと周辺の商店主や住人の方たちが設置した十二支の像がある。「子どもから大人まで幅広い世代に親しみのあるものを」という理由から、十二支の像が選ばれた。銅像はただ動物を形作っているだけでなく、それぞれに趣向が凝らされており、銅像の台座にはその動物にまつわる豆知識やミニクイズなども書かれている。また、毎年その年の干支には、正月飾りが飾り付けられるという。





十二支の銅像は約100mの道路沿いに12体あり、そのうち東西にある4体はやや高いところに飾られている。写真のヒツジのほかにも特徴的な像が、道行く人を楽しませてくれる。

YT

春日あべにゅう



江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目

かすがもーるの南側にある南北100mの商店街。かすがもーる同様、歩道部分はアーケードで覆われている

かすがもーるの南側にある春日あべにゅうは、エル西銀座辺りから始まり、かすがもーると直線上にありながらも、かすがもーるに比べ、ぐっと歓楽街の色が濃くなる。日中は人通りもまばらだが、夜になると色っぽい明かりが灯る。

春日横丁を始め開発通りやオリンピック通りなど、実に6本もの路地が接する通りともなっており、ディープな路地への入り口的な路地でもある。

また、平行して存在する「裏春日通り」も存在する。

歓楽街としての要素が強い通りではあるが、実はローカルCMで有名な眼鏡店や老舗の薬局などもあり、街の温かさが残っている通りでもある。



YT

ペルメ桜町通り



江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目・4丁目

中央商店街の南東側にある通り。桜通りに属するが銀座通りを境に南側がペルメ桜町、北側はコリドー通りとなる

ペルメ桜町通りは、古くは松林軒デパート(または松菱デパート)といった大型商業施設の老舗があり。現在でも、豆店や鰻店、花屋などの老舗の趣も残る。また、前述のデパート跡地にはビジネスホテルが建ち、県外からの出張者も訪れる。

桜通り北側のコリドー通り(コリド桜町)には、地元では貴重な芸術のランドマークともいえる「桜座」や、老舗の洋菓子店、スポーツ洋品店、地ビール工房とそのレストランなどが近年も活気を与えている。

ペルメ桜町とコリドー通りは、いずれも歩道部分がアーケードに覆われているが、車道部の道幅が狭く南側から北側への一方通行となっている。



YT

弁天通り



江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目

かすがもーるの東側にある通り。銀座通りを境に南側に進むと春桜会通りへとつながっている

岡島百貨店の向かいから南側へ続く弁天通りは、小規模な店舗が多く、小料理店やスナック、日本料理の店などが軒を連ねる。春桜会通り・裏春日通りへとディープな歓楽街に続く通りだが、銀座通りまでのこの区間は、明るく初心者でも歩きやすい道でもある。

弁天通りには言わずと知れた甲府の老舗名店、おでん辰巳やスコット、てっぱん秀、おふくろ、大衆酒場熊鰹などもあり

心まで温まるグルメスポットとなっている。

歩道と車道の分離はされておらず、車は北側から南側へ一方通行。バス停からも近く、コインパーキングも充実しているので歩いてみるのをオススメする。



YT

甲府銀座通り商店街



江戸　明治　大正　昭和　平成

中央

銀座通りに設置されているタイル。甲府銀座ビルから東側にある遊亀通りまで、東西200mにわたり伸びる商店街。全体をアーチ状のアーケードに覆われており、車の通行は不可となっている

市街地における繁華街中心地の通称として定着している「銀座」を冠した「甲府銀座」の始まりは、昭和5年頃といわれている。地元からの寄附で興され、その後、甲府市が予算を確保し春日通りから桜通りを経て柳町通りに通ずる東西の道(約160m)を舗装化した。老舗店も数ある通りだが、一時は衰退し「シャッター商店街」的な印象もあった(特に昼・夜営業店舗混在のため余計にそう見える)。現在は年間を通じて様々な取り組みが行われ、藍染め布約200枚でアーケードを飾る現代アートやワークショップを手掛ける「歩帆舎」のプロジェクトや、七夕飾りなどが行われたり、夏祭りやビアガーデンなどのイベントが開催されている。



甲府銀座通りは、春日通り、銀座仲町、桜通りといった主要繁華街と直角に交わる中心的存在。
毎年2月3日に行われる大神宮祭では、アーケード中が屋台で盛り上がる。
また、毎月第2土曜日に行われる第２土曜市もぜひ訪れていただきたい。

YT

朝日通り商店街



江戸　明治　大正　昭和　平成

朝日

甲府駅北口から徒歩約7分、南北に約400m伸びる朝日通り沿いの老舗商店街。新旧様々な業種の約100件もの専門店がある

商店街の沿道には、約90本のハナミズキが植えられ、白やピンクの花で色づく頃にはハナミズキ祭りが開かれる。その他にも、夏祭りやえびす講祭りなどのイベントも行われている。ズッキーちゃんというマスコットキャラクターがいる。日用品から医院などの庶民的な商店街で、老舗の3・4代目の店主がいるお店から、新しいお店もあり、落ち着いたシックな商店街として地域に愛されている。THE　BOOMの「星のラブレター」の歌詞にも出てくる。

春に華やかな花を咲かせるハナミズキは商店街のシンボルとなっている。商店街のオリジナル商品も開発しており酵母パンや、ハナミズキ酵母ワインCORNOUILLER (コルヌイエ=フランス語で「ハナミズキ」を意味)を販売している。冬のイルミネーションも必見。



AT

ファンシーロード8番街



江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目

平和通りの東側、甲府駅付近～平和歩道橋～スクランブル交差点の歩道上にかつてあったアーケード

ファンシーロード8番街は、昭和50年頃甲府駅前の平和通り沿い東側に設置された。名前の由来は、丸の内1丁目8番地にかかるアーケードから命名されたという。
その後、駅南口の大規模な再開発に伴い2014年に撤去された。ファンシーロード8番街のあった平和通りは、1994年に読売新聞社選定の「新・日本街路樹100景」のひとつに選定されている。



平和通りという名前の由来は、甲府空襲からの復興を願ったものであり、計画当初は広路1号線(ひろじいちごうせん)の名前で幅員50 mの道路として整備する予定であったが、規模が縮小され、現在の36mに落ち着いた。

YT

オリンピック通り



江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目

春日アベニュー側に掲げられたオリンピック通りの看板。昭和にかけられたもの。アルファベットの綴りが誤っているのはご愛嬌

オリンピック通りは中心街南部で春日通りと裏春日の間にあるT字形の路地横丁で、前回の東京オリンピックが開催された昭和39年に開通したことが名前の由来。北にある開発通りと繋がる南北の路地は表通りから見えない隠れ家的な空間になっている。完成してから55年間、様々な店が開いては閉じ、また別の店が開くといった流れを繰り返してきたが、その中には開通当時からずっと続いているという老舗の名店もある。また、新しいお店が開く際に「オリンピック通りだから、ギリシャ風に…」と突然壁や通路が真っ白に塗られた空間が現れるなど、すごく混沌としている所がまた面白い。年季の入った設備や閉ざされたシャッター、閉店後も放置されたままの看板からディープな横丁感があふれ出す中で多くの人気店が元気に営業している。

55周年記念誌『オリンピック通り物語』。やまぶき2号店の宮坂さんを代表として編纂された。昭和からの歴史を振り返り、新たに令和の時代を歩んでゆく決意のにじみ出る、魂の籠もった一冊。表紙を飾るのは開通当時のオリンピック通りのマドンナ。ちなみに、今もなお守護神の様に現役で活躍している。



DS



オリオン通り

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目

オリオン通りに敷かれたタイル。東京電力山梨総支社から岡島百貨店と山梨中央銀行本店の間まで南北約100メートルにわたり伸びる商店街

オリオン通り周辺は、かつて官僚などの上級公務員の官舎街だった。大正15年(西暦1926年)に南北に延びる道路が整備され、繁華街への近道として人々に多く利用されるようになった。昭和20年の甲府大空襲では、この辺りも焼け野原になったが、ここに建てられた貸店舗長屋が復興への原動力となり、甲府駅と中心街を結ぶ主要な道路となった。通りの名前の由来となったオリオンパレスは、昭和32年に廃業となったが、「オリオン」の名は現在もこの地に残る。



昭和23年、通り沿いにあった検事正宿舎が移転し、通りの両側に店舗が造作され商店街が誕生した。
その一画に「オリオンパレス」という映画館があったことから「オリオン通り」と呼ばれるようになった。

YT



オリオンイースト

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目

オリオン通りの東側に平行している商店街。レンガ調の建物で統一された景観はヨーロッパの小径を想わせる

紅梅北通りと紅梅通りの間、南北に位置するオリオンイーストは、全長約40mの空間に様々な店舗が立ち並ぶ。
アパレルや宝飾雑貨・アクセサリーといったファッション系の店舗に加え、パスタ、ラーメン、居酒屋、バーなどの数々の飲食店が混ざり合うワンダーランド。近年では、コ・ワーキングスペースも登場して、遊びと仕事と生活に新しいスタイルを提供している。



毎年10月下旬のハロウィン前から、翌年1月中旬あたりまでは通り全体がライトアップされる。眩しいほどの3万個以上のイルミネーションが輝き、道行く人々を楽しませてくれる。

YT



浅草飲食店街

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目

岡島百貨店前から、かすがも～るを南に向かい、東側につながる路地型の繁華街。向かい側は甲府ぐるめ横丁

浅草飲食店街は、途中が鍵曲がりになっているので行き止まりのように見えるが、かすがも～る(春日通り)から弁天通りまで繋がっている。
まさに路地といった風情と、おしゃれな大人の雰囲気が入り混じるカオスな小道の両側にはバー、スナック、パブ、レストランなど約30件が立ち並び、はしご酒にもうってつけである。近年開催されている“甲府はしご酒ウィーク”にも数々の店舗が参加している。



「浅草」の名は昭和の当時、浅草が最先端(ハイカラ)な街だったことにあやかったのだろうか。
スナックやジャズバーに加え、カウンターでフレンチが楽しめるグルメなお店まであるというから奥が深い。

YT



開発通り

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目

春日アベニュー側に掲げられた看板。平成27年「オリンピック通り北」などと仮称で呼ばれていることを知った大家さんが、由緒ある名前を残すべく急遽設置したという

春日通りと裏春日の間、オリンピック通りの北に位置する路地横丁。長らく看板が掲げられていなかったため、一時は通りの名前は忘れ去られ、中でオリンピック通りの北口と繋がっていることもあって「オリンピック通り北」などと仮称で呼ばれることもあったが、ある日突然「開発通り」の看板が掲げられた。その昔、この界隈に「開発温泉」という名の温泉が湧いていたことが通りの名前の由来だという。
通りの北側を入口にしている店舗がないため店の数は少なく見えるが、南側にはオリンピック通り以外にも建物内部へ引き込む通路が2ヶ所あり、小さなBARやスナックが所狭しとひしめいている。



看板の裏には「またこうし！きおつけてかえれし！」の文字。手書きの甲州弁が温かい。
開発通りの中にある「Bar Mikonos」はギリシャのミコノス島が由来、奥の扉はオリンピック通り側とも繋がっていて「ぎり舎」の北側入口と迷路感満載。

DS



たき通り

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目

「かすがあべにゅう」の東側に数ある横丁型繁華街の一つ。このエリアで一番南に位置している

たき通りをかすがあべにゅう側入り口を進むと、途中から逆コの字型に展開されている「ニュー銀座街」につながり、「裏春日通り」へと続く。シンボルの画像はニュー銀座街側の看板。看板に配線がかかっている様子も横丁なら当たり前のように感じられる。

「かすがあべにゅう」を西側の南北道路、「裏春日通り」を東側の南北道路としたエリアには、東西に貫く横丁型繁華街が多数存在している。地図で見るとまさにハシゴの形になっている。まさに露路地裏でハシゴ酒が楽しめるエリア。香港の九龍城なき今、ぜひこのエリアは残し続けたいと思う筆者である。"



入り口には親切にMAPが設置されている。お店は2Fにも。横丁群の最南端エリアはかなりディープな店も多い。

YT



甲府駅前ちょうちん横丁

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目

甲府駅前ちょうちん横丁加盟店各店に掲げられた看板。右側には「地元が頑張る!!」と書かれている

甲府駅前ちょうちん横丁は、元は「甲府駅前銀座南通り」の通称で呼ばれ、一本北にあった「甲府駅前銀座北通り」と共に親しまれ、賑わっていた。しかし、中心街が衰退していく中で「北通り」は片側の建物が解体されて横丁の体をなさなくなり、「南通り」からも客足が遠のいていった。

そこで11年前に有志が集まり、新たに旗揚げされたのが「甲府駅前ちょうちん横丁」である。加盟店で協力して様々なイベントを企画するなど、現在、甲府中心市街地でトップクラスに団結力の強い、熱く盛り上がる路地横丁だ。

その名の通り、横丁には多くのはちょうちんが飾られており、夜になると赤いちょうちんの温かな光が訪れる人を優しく迎えてくれる。地元の人はもちろん、駅に近いこともあり出張者にも人気のエリアとなっている。



DS



錦通り

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目

錦通りは1本の通りではなく、十字に広がっている。老舗と新しい飲食店が立ち並ぶ、中央エリア初心者にもやさしいエリア

春日もーるから舞鶴通りへ抜ける東西約100mほどの通りと、エル西銀座から城東通りへ抜ける南北150mほどの通りが十字に交わる商店街。

古名屋ホテルや甲府ぐるめ横丁(芳野ビル)、デュオヒルズ(マンション)などの裏通り的な印象もあるが、老舗の飲食店や甲府中心の飲食店を支えるフレッシュマート中沢もあり、また近年では新しくコンテナハウスのおしゃれな飲食店やカフェなども出来てきている。十字路が交差する付近にはシアターセントラルBe館(映画館)もあるので普段と違った休日を錦通りで過ごしてみるのはいかがだろう。



うなぎ料理黒駒、やきとり小磯課長、甲州車屋、ビストロフレンチボンマルシェ、レストランバーSAIKI、老舗バー馬酔木、魚屋ちから、博多白湯おでん湯ろや などなど、ここにしかない人気店が数多くある錦通り。

E I



ニュー銀座街

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目

裏春日沿いに掲げられたニュー銀座街の看板

ニュー銀座街は春日通りと裏春日間を通る最南端の路地横丁で、裏春日側の入口から並行する2本の通路が奥で繋がっていて、小さな区画を沢山備えている。1階は居酒屋やスナックが連なり歌声の聞こえる賑やかな横丁だが、階段に足を踏み入れるとアダルトな空間へ誘われる。

かすがモール側へ通り抜けるようとすると不思議なことに頭上には「たき通り」の看板。実はここ、元々別々に建った2つのビルの双方から壁をブチ抜いて開通させたという変わった成り立ちの横丁なのだ。



カラフルな看板が並ぶ。
元はコの字の通路を通って同じ裏春日側に戻ってくるだけの構造だった。
現在は、「ニュー銀座街」の先は「たき通り」へとつながっている。

DS

春日ビル1番街



江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目

春日あべにゅ～側に掲げられた春日ビル１番街の看板。小さな看板の下を進むと甲府屈指の名店へと続く

春日ビル1番街は、春日通りと裏春日の間を繋ぐ横丁の内の1つで、1階に栄すしや手毬といった老舗人気店がある他、上の階にも営業している店舗がある。しかしながら、最大の特徴はその地下にあると言えるだろう。

春日ビル1番街の地下には、かつては大いに賑わった地下バー街があった。そこは今、電気も消えた暗く長い通路になっていて、階段の封鎖された東側は今や廃墟マニアが好みそうな異質の空間になっており、そこを歩くことは散策と言うより探検と言った方が正しい。明かりのある西側の階段でさえ初めて降りるのには勇気がいる。

地下バー街の西端には今も1店、老舗のバーが営業を続けている。その魅力を知りたければ、この深淵へ足を踏み入れるしかない…。



地下バー街の東側から西を見ると遠くに見える馬酔木の扉。思わず、急いであの扉へ辿り着かなければという衝動に駆られる。

DS

広瀬大通り



江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目

裏春日側に掲げられた広瀬大通りの看板は、最も古い路地横丁の風格

広瀬大通りは昭和37年に春日通りと裏春日の間を通した、最も古い路地横丁で、東側の区画は当初からの長い歴史を刻んできたが、老朽化に耐えかねて近々建て替える模様。

一方西側のビルは活況で、特に1階は僅か数席ずつしかない小さな名店がズラリと連なる人気スポットになっている。

反対側は打って変わって洋風な入口。
初めて来る人に「広瀬大通り」と伝えても「Hirose Alley」は見落としがちなので注意が必要。
東側の区画で開通当時から鳥料理一筋、夫婦で街の賑わいを支えてきた老舗名店「鳥真」は、惜しまれながら令和元年6月末日に57年の歴史に幕を下ろした。





DS

湯村温泉街



江戸　明治　大正　昭和　平成

湯村3丁目

大同3年(西暦808年)の約1200年前に弘法大師が開湯。信玄公のかくし湯の筆頭として知られ、葛飾北斎の「勝景奇覧 甲州湯村」にも描かれた

湯村温泉は甲府の北西に位置する温泉地。戦国武将・武田信玄の隠し湯とも呼ばれ、江戸後期には人気画家・葛飾北斎の団扇絵に“勝景奇覧　甲州湯村”として登場。さらに明治以降になると、井伏鱒二、太宰治など多数の文化人も逗留する温泉地となる。探偵小説の挿絵画家として人気を博した竹中英太郎は、居を構えたほど当地をこよなく愛した一人。また、温泉地周辺には自然豊かな景勝地が点在、峡谷「昇仙峡」はその代表格。



武将が戦の疲れを癒し、文化人が愛した美肌の湯。昭和の文豪太宰治や井伏鱒二、松本清張らの執筆の宿も多く、今でも毎分1トンにも及ぶ良質の高温泉が湧出していて、源泉かけ流しのホテル・旅館も数多く存在する。

YT

時代年表
～日本と、甲府の歴史～

【日本の出来事】	西暦・元号・時代の長さ（年数）			【甲府の出来事】
		戦国時代		
		永正 えいしょう	18	武田信虎が躑躅ヶ崎（つつじがさき）の館をつくり甲府を開創（1519(永正 16) 年）
		大永 たいえい	8	武田信虎の長男、晴信（信玄公）誕生（1521(大永元) 年）
		享禄 きょうろく	5	
（1543(天文 12) 年）鉄砲伝来		天文 てんぶん	24	
		弘治 こうじ	4	
		永禄 えいろく	13	武田信玄が、信濃善光寺から本尊を移し甲府善光寺を創建（1558(永禄元) 年）
		元亀 げんき	4	
		安土桃山時代		
（1582 年 (天正 10) 年）本能寺の変		天正 てんしょう	20	
（1590(天正 18) 年）豊臣秀吉が全国統一		文禄 ぶんろく	5	
（1603(慶長 8) 年）徳川家康が征夷大将軍となる	1600（慶長 5）	慶長 けいちょう	10	甲府城完成（1600(慶長 5) 年頃）
		江戸時代		甲府城の城下町形成と発展
		元和 げんな	10	
（1635(寛永 12) 年）参勤交代が制度化される		寛永 かんえい	21	
		正保 しょうほう	5	
		慶安 けいあん	5	
		承応 じょうおう	4	
		明暦 めいれき	4	
		万治 まんじ	4	
		寛文 かんぶん	13	
		延宝 えんぽう	9	
		天和 てんな	4	
（1685(貞享 2) 年）最初の生類憐みの令を発布		貞享 じょうきょう	5	
	1700（元禄 13）	元禄 げんろく	17	
		宝永 ほうえい	8	柳沢吉保が甲府城主となる（1704(宝永元) 年）
		正徳 しょうとく	6	
（1716(享保元) 年（～ 1745(延享 2) 年)）享保の改革		享保 きょうほう	21	柳沢吉里が大和郡山藩に所領替え、甲府勤番支配が設けられる（1724(享保 9) 年）
		元文 げんぶん	6	
		寛保 かんぽう	4	
		延享 えんきょう	5	
		寛延 かんえん	4	
		宝暦 ほうれき	14	
		明和 めいわ	9	
		安永 あんえい	10	
		天明 てんめい	9	
	1800（寛政 12）	寛政 かんせい	13	
		享和 きょうわ	4	
		文化 ぶんか	15	本格的な芝居小屋「亀屋座」が西一条町（今の若松町）に開場（1805(文化 2) 年）
		文政 ぶんせい	13	
		天保 てんぽう	15	長田円右衛門が昇仙峡への道を開通させる (1843(天保 14) 年)
		弘化 こうか	5	
（1853(嘉永 6) 年）黒船来航（ペリーが浦賀に来航）		嘉永 かえい	7	
		安政 あんせい	7	
		万延 まんえん	2	
		文久 ぶんきゅう	4	
		元治 げんじ	2	
（1867(慶応 3) 年）徳川慶喜が大政奉還		慶応 けいおう	4	
		明治以降		
（1871(明治 4) 年）廃藩置県	1868 ～ 1912 年	明治 めいじ	45	甲斐府が甲府県となる（1869(明治 2) 年 7 月）
（1877(明治 10) 年）西南戦争				甲府県が山梨県となる（1871(明治 4) 年 11 月）
（1889(明治 22) 年）大日本帝国憲法が公布される	1900（明治 33）			明治天皇が県内を巡幸（1880(明治 13) 年 6 月）
				甲府市として市制施行（1889(明治 22) 年 7 月 1 日）
（1902(明治 35) 年）日英同盟締結				甲府に電灯がともる（1900(明治 33) 年 5 月）
（1904(明治 37) 年～ 1905(明治 38) 年）日露戦争				2 度にわたり、大水害に見舞われる（1907(明治 40) 年・1910(明治 43) 年）
（1914(大正 3) 年～ 1918(大正 7) 年）第一次世界大戦	1912 ～ 1926 年	大正 たいしょう	5	舞鶴城公園に恩賜林謝恩塔が建設（1922(大正 11) 年）
（1931(昭和 6) 年）満州事変	1926 ～ 1989 年	昭和 しょうわ	64	関東大震災（1923(大正 12) 年）
（1941(昭和 16) 年～ 1945(昭和 20) 年）太平洋戦争				柳町通りが、県内で初めて舗装される（1930(昭和 5) 年）
（1964(昭和 39) 年）東京オリンピック 1964 開催				
（1973(昭和 48) 年）オイルショック				甲府駅の新駅舎完成（1984(昭和 59) 年 8 月）
（1991(平成 3) 年）湾岸戦争	1989 ～ 2019 年	平成 へいせい	31	
バブル経済崩壊				
（1993(平成 5) 年）Ｊリーグ開幕				ヴァンフォーレ甲府、Ｊリーグ参加開始（1999(平成 11) 年）
（1995(平成 7) 年）阪神淡路大震災				甲府市と中道町、上九一色村北部地域が合併し現在の甲府市となる(2006(平成 18) 年)
地下鉄サリン事件	2000（平成 12）			新市庁舎、落成（2013(平成 25) 年）
（2001(平成 13) 年）アメリカ同時多発テロ				甲府開府 500 年（2019(平成 31・令和元) 年）
（2011(平成 23) 年）東日本大震災	2019 年～	令和 れいわ		
	Now			

参考：甲府市 HP、歴史まとめ .net、ウィキペディア、esireki.hikak.com

ン？

キニナル

シンボル

ン？キニナル（ん？気になる）シンボルとして、毎年甲府で開催される世界一の武者行列、「信玄公祭り」に使われる武田二十四将の旗印を紹介しています。

＜本項について＞
・本書内に掲載されているシンボル・画像・イラスト・文章・データ等の無断転載および無断転用をかたく禁じます。
・シンボルおよび画像の著作権・所有権・商標登録における権利等は、所有者（または貸出主等）に帰属します。
・上記、著作権等の権利やその他本書に関するご不明な点におかれましては、コウフシンボル 500 制作委員会（メールアドレス：kofulifelab+ks500@gmail.com）へご連絡ください。

武田左馬助信繁
(たけださまのすけのぶしげ)
の旗印



江戸　明治　大正　昭和　平成

1525～1561　出自は武田氏

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。武田左馬助信繁は信玄の弟で、よく信玄を助けた。川中島の合戦で戦死

官職である左馬助の唐名から「典厩(てんきゅう)」と呼ばれ、嫡子・武田信豊も典厩を名乗ったため、後世「古典厩」と記される。武田二十四将においては武田の副大将として位置づけられている。信繁は大栄5年(西暦1525年)、信虎の二男として生まれた。兄の信玄に劣らず聡明で、長ずるに従い文武両道に優れた人物だった。永禄4年(西暦1561年)8月、上杉謙信と信玄は川中島の八幡原で決戦。武田軍は上杉軍を前後から攻撃する「啄木鳥の戦法」を策したが、逆に奇襲を受けてしまった。大混乱に陥った本陣を、信繁は死力を尽くして守り抜き、花々しい戦死を遂げた。

NR

武田刑部少輔信廉
(たけだぎょうぶしょうゆうのぶかど)
の旗印



江戸　明治　大正　昭和　平成

1532？～1582　出自は武田氏

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。武田刑部少輔信廉は信玄の弟。絵が巧みで信虎画像や、大井夫人画像などを描いた

信虎の三男(実は四男ともいわれる)。生母は大井氏で、信玄・犬千代(早世)・信繁・信廉は同腹の兄弟である。信廉は、武者としての活躍よりも、画家としての実績の方が著名で、父武田信虎画像、母大井夫人画像などを残している。兄信玄の死後、出家して逍遙軒信綱と称し、勝頼を補佐した。武田氏滅亡後、織田軍に捕らえられ、立石で殺害された。逍遙軒(しょうようけん)と言ったほうがよく知られており、信虎の三男で信玄、信繁の同母弟である。川中島合戦後、信繁亡き後は親族衆の筆頭として信玄を補佐した。信廉の容貌は信玄に酷似していたといわれ、数々の合戦で“影武者”をつとめ、信玄没後も敵を欺くために信廉が身代わりをしたという話も伝えられている。

NR

穴山玄蕃頭信君
(あなやまげんばのかみのぶきみ)
の旗印



江戸　明治　大正　昭和　平成

1541～1582　出自は穴山氏

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。穴山玄蕃頭信君は信玄の娘婿で陸奥守とも称した。剃髪して梅雪斎、または梅雪入道と称した

信君の生母は信玄の姉南松院殿、正室は信玄の息女見松院殿である。信君は、今川氏とも親交が深く、信玄の今川攻めに際しては、今川家臣の調略を担ったという。長篠の合戦で、山山県昌景が戦死したため、駿河江尻城主に就任し、織田・徳川・北条三氏の圧力を防いだ。武田氏滅亡の際には、織田・徳川両氏に降伏し、武田氏の再興を夢見たが、本能寺の変に巻き込まれ死亡した。信君というより梅雪といった方が一般によく知られている。武田親族集筆頭頭格のたちばである穴山梅雪は多くの人が「武田家滅亡直前、徳川に寝返った離反者」と伝えられているが、本当に自欲の為だけで武田家を裏切ったのかについては様々に推測が起きている。現在では武田家救済の為、あるいは武田の家名存続を求める為に、家康を頼っての離反であったとの見方もされている。

NR

板垣駿河守信方
(いたがきするがのかみのぶかた)
の旗印



江戸　明治　大正　昭和　平成

1489？～1548　出自は板垣氏

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。板垣駿河守信方は武田氏の譜代家老で、甘利備前守と並んで両職(りょうしき)という最高職に就任していた重臣

甲斐源氏の支流にあたり、武田氏を支えて活躍した。天文10年(西暦1541年)の武田信虎追放の際には、甘利・飯部らの宿老を説得し、信玄擁立を果たしたという。信玄が同11年に諏訪頼重を滅ぼすと、上原城(諏訪市)で占領地の統治に当たった。天文17年2月、信玄が村上義清と戦い、初めての敗戦を喫した上田原の合戦で戦死した。板垣氏は武田氏の族臣として代々活躍した。信方は信虎、信玄の二代にわたり武田の重鎮として重きをなした譜代の老臣である。信方の手腕力量を高く評価していた信虎は、信玄の伝役(もりやく)に任じ、信方は信玄の武将教育に尽力した。「甲陽軍鑑」には、信玄を嫌う信虎の前でいつも信玄をかばったとされている。また文学に熱中しすぎた信玄を死を賭して諫めたというエピソードは勇名である。

NR

甘利備前守虎泰
(あまりびぜんのかみとらやす)
の旗印



江戸　明治　大正　昭和　平成

1498?〜1548　出自は甘利氏

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。甘利備前守虎泰は武田家二代に仕えた武田家譜代の名将。板垣氏と共に組織における重鎮として家老を務めた

甘利氏は甲斐源氏・一条忠頼の流れをくむ武田氏の庶流にあたる一族。平安時代後期には甘利荘が設置された甲斐国巨摩郡甘利郷を領していたと考えられている甘利氏は、甲斐源氏の支流にあたり、武田氏を支えて活躍した。武田信虎追放時には、板垣と共に信玄擁立に尽力した。虎泰は信虎、信玄の二代に仕え、信虎の代からの侍大将であった。板垣信方、飯部兵部らとともに合戦では常に先陣をつとめた剛の者として知られている。信玄自身も負傷し、初の負け戦となった天文17年(西暦1548年)2月、信州上田原での村上義清との6時間にもおよぶ激闘で、板垣信方らとともに武運尽きて戦死した。

NR

馬場美濃守信春
(ばばみののかみのぶはる)
の旗印



江戸　明治　大正　昭和　平成

1515〜1575　出自は武川衆の一員である教来石郷領主

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。馬場美濃守信春は信州牧ノ島城主。智勇に優れ、21度の合戦に加わって、かすり傷ひとつ負わなかったという

甲信国境の豪族・教来石氏の出身で、天文15年(西暦1546年)、信玄に抜擢され、馬場氏の名跡を継いだという。川中島の戦いでは、山本勘助とともに「啄木鳥の戦法」を立案し、信玄に献策した。永禄５年より、信濃牧ノ島城に在城し、海津城の高坂弾正とともに上杉謙信の監視をおこった。後代には武田四天王の一人に数えられる。文献によっては房信とも記されている武田信虎、信玄、勝頼の三代に渡り仕えた歴戦の重臣だった。有名な長篠の合戦で勝頼に帰陣を勧めたが受け入れられず、武田軍は壊滅的な打撃を受けた。敗走する武田軍のしんがりという、最も困難な役目を引き受け、安全圏に勝頼が脱出するのを見届けると、馬首をかえして敵陣におどり込み華々しく討死した。

NR

飯部兵部少輔虎昌
(おぶひょうぶしょうゆうとらまさ)
の旗印



江戸　明治　大正　昭和　平成

1504?〜1565　出自は飯部氏

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。飯部兵部少輔虎昌は、飯部または飯富と称される知略抜群の武将で、信濃国佐久郡内山城を領した。「飯部の赤備え」は有名

武田家の譜代家老で山県昌景の実兄。信玄の父親信虎と対立し挙兵したこともある反骨の人であった。信虎追放後信玄を支え、信濃国内山城、塩田城、室賀城の在番や城主を歴任し、村上義清や上杉謙信の侵攻に備えた。信玄の嫡男義信の傅役となるなど重用されたが、義信と信玄が対立すると、虎昌は義信を庇い、責任を一身に背負って自刃したという。虎昌は「甲山の猛虎」と恐れられた豪勇で、板垣信方とともに信虎、信玄二代にわたって活躍した宿将である。飯部虎昌が率いた飯部隊は「飯部の赤備え」と言われ、騎馬武者から兵卒に至るまで一人残らず武具、差し物、馬具の全てを赤一色に統一していた。赤一色の飯部隊の突撃は火の玉が飛ぶような勢いを見せ、敵は戦う前から戦意を失ったという。

NR

山県三郎兵衛尉昌景
(やまがたさぶろうびょうえのじょうまさかげ)
の旗印



江戸　明治　大正　昭和　平成

1529〜1575　出自は飯部氏(飯富氏)

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。山県三郎兵衛尉昌景は武田家を代表する家臣の一人。三方ヶ原の戦い、長篠の合戦で活躍した

武田家の譜代家老飯部氏の出身で、虎昌の弟。信玄の側近及び奉行として活躍した。信玄の命により名門山県氏の名跡を継ぎ、処刑された兄虎昌の配下を始めとする100騎を預かり、譜代家老に連なった。昌景の部隊も飯部氏同様に装備を赤で統一していたことから、「山県の赤備え」と呼ばれたという。駿河江尻城主に就任し、織田・徳川両氏と対峙した。信玄、勝頼の二代に仕え、合戦、戦略、外交、治安、内政などにわたり主君の手足のように動き回り活躍した武将。飯部兵部少輔虎昌の弟で、兄に劣らぬ勇将の片鱗を見せた。長篠の合戦で、武田軍の劣勢を挽回しようと敵陣に突入した昌景は全身に数弾受けたが、落馬せず采配をくわえたまま絶命したといわれている。

NR

高坂弾正忠昌信
(こうさかだんじょうのじょうまさのぶ)
の旗印

江戸　明治　大正　昭和　平成

1527〜1578　出自は百姓・春日氏

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。高坂弾正忠昌信は、石和の人、春日大隅の子で16歳の時に武田家に仕える。永禄4年(西暦1561年)に高坂と改姓した



昌信の本名は春日 虎綱(かすが とらつな)。大百姓の子ながら信玄に見いだされて近習となり、足軽大将に抜擢、永禄三年(西暦1559年)ごろ海津城代に任命されるなど、異例の出世を遂げた。幼名は春日源五郎(かすがげんごろう)。知略横溢の人物として知られており、信玄〜勝頼代における代表的な知将である。信玄の寵童だったとも言われている。武田家の滅亡を知ることなく52歳で病没した。後世、昌信の著と伝えられる『甲陽軍鑑』は、武田家興亡の歴史をはじめ武田流と呼ばれる軍学の理論、兵制、軍団の編成と構成、兵器の解説、さらに訴訟公事などが盛り込まれている書で、徳川時代、武家の軍事教科書として広く愛読された。

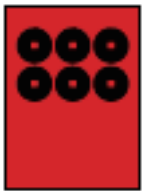
NR

真田弾正忠幸隆
(さなだだんじょうのじょうゆきたか)
の旗印

江戸　明治　大正　昭和　平成

1513〜1574　出自は真田氏

創業信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。真田弾正忠幸隆は、真田幸村の祖父。剃髪して一徳斎と名乗った。武勇知略ともに優れていた人物



真田一族は、信濃国小県群を中心に発展した滋野一族の支流で、幸隆は名族海野氏の出身といわれる。天文10年(西暦1541年)に、信玄の父信虎に攻められ、海野棟綱らとともに上野国に亡命したが、同15年までに信玄に臣従し、信濃経路で活躍した。出家後の一徳斎となった晩年は上野国経路に専心し、岩櫃城、白井城などを攻略し、武田氏の上野国西部制圧を確実なものとした。「六連銭」の旗印で有名な信州の名流である真田氏の氏祖である。信玄が一生に一度の負け戦と言われる村上との戦後、幸隆は策略をもって村上軍をわずかな手勢で撃滅させた話は有名である。これ以後「信玄公あるところ必ず幸隆あり」と言われるほど、輝かしい戦歴を残したことが「真田三代記」などに書かれている。天正元年(西暦1573年)5月、信玄の後を追うように世を去った。

NR

内藤修理亮昌豊
(ないとうしゅりすけまさとよ)
の旗印

江戸　明治　大正　昭和　平成

1522〜1575　出自は工藤氏

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。内藤修理亮昌豊は信虎に殺された工藤虎豊の子。度量大きく困難を好み、真の大将と称された重臣



武田氏の譜代家老工藤氏の出身で、元は工藤源左衛門尉と称した。信玄の側近、奉行として重用され、重要な作戦のほとんどに参加した。馬場信春に代わって信濃国深志城(現在の国宝松本城の前身)の城代となり、永禄末年ごろ内藤家の名跡を継ぎ、修理亮を称した。信玄の弟信繁が川中島で戦死した以降甲陽の副将と称されるほどに知略に優れた武将とうたわれた。長篠の合戦で味方の不利を悟り「力攻めをすれば味方の損害が大きいことは必定。よって長期戦の構えが有利。」と勝頼に進言したが受け入れられず、もはやこれまでと甲州武田武士の最後を飾り、敵の銃火の中へ飛び込んでいった。三重柵をすべて突破するなど奮戦したが、徳川軍に反撃されて戦死した。

NR

秋山伯耆守信友
(あきやまほうきのかみのぶとも)
の旗印

江戸　明治　大正　昭和　平成

1527〜1575　出自は秋山氏

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。秋山伯耆守信友は、信州高遠城主。後に美濃の岩村城主となる。外交手腕に秀でていた人物



信友は虎繁とも言われており甲斐源氏の支流で、武田家の譜代家老である。天文 15 年(西暦1546年)に侍大将に抜擢され、大島城などの城代を歴任、伊那の土豪春近衆を配下に置き、織田・徳川氏を監視した。元亀3年(西暦1572年)、信玄が西上作戦を開始すると信友は美濃に侵攻し、遠山景任未亡人(織田信長の叔母)の守る岩村城を奪取した。長篠の戦いの後、織田信忠軍に包囲されて降伏し、岐阜で処刑された。

元亀3年(西暦1572年)信玄上洛戦の先陣を引き受けた信友は、一軍を率いて伊那谷を進撃した。三方ヶ原の戦いでは、信友は山県昌景隊とともに家康を急追し、命からがら浜松城に逃げ戻った家康は「さても秋山信友、武田の猛牛に似たる恐ろしき男」と言ったといわれる。猛虎猛牛と異名をとるほどの剛のものだった信友の豪胆ぶりが覗われる。

NR

三枝勘解由左衛門尉守友
(さいぐさかげゆさえもんのじょうもりとも)
の旗印



江戸　明治　大正　昭和　平成

1537〜1575　出自は木原領主
(現在の山梨県中央市)

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。三枝勘解由左衛門尉守友は、山県三郎兵衛尉昌景の婿で遠州高天神城主。小田原城攻めなどで武功を立てた足軽大将

三枝一族は古代以来の甲斐土着の豪族で、鎌倉時代に入って甲斐源氏の勢力下に入った。父土佐守虎吉とともに信玄に仕え、守友は奥近習に抜擢され、その後足軽大将となり騎馬30騎、足軽70人を預けられた。守友の武勇に感心した山県昌景が腰刀と山県姓を与え、山県善右衛門と名乗らせたという。

山県昌景ほどの剛の者をも感服させたという守友の戦功は、まず永禄12年(西暦1569年)の小田原攻め、三増峠の合戦での働きがある。長篠の合戦では、守友は信玄の弟・武田信実と鳶ノ巣山に陣どったが、徳川方の率いる4000の軍勢の奇襲攻撃を受け、守友らの防戦も空しく信実、守友らは討死した。守友38歳の時と伝えられている。

NR

原美濃守虎胤
(はらみののかみとらたね)
の旗印



江戸　明治　大正　昭和　平成

1497〜1564　出自は原氏(千葉氏族)

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。原美濃守虎胤は鬼美濃の異名で諸国の武将に恐れられた。信虎、信玄の二代に渡って仕えた

下総国千葉氏の一族である原氏の出身で、信虎に仕えた。部下10人で100人分の働きをするといわれ、鬼美濃と呼ばれ恐れられたという。天文20年には信濃国平瀬城主に任命された。信玄の出家と共に剃髪し、清岩と号した。永禄4年(西暦1561年)、信玄が信濃国境の上杉方の拠点割ヶ岳城を攻めた際に重傷を負い、後の川中島の戦いには参加出なかった。合戦に臨むこと38度、全身に受けた向こう疵は53ヶ所を数えたという剛の者として知られている。虎胤が世を去ったとき信玄は「虎胤は幾多の合戦で限りなき武功をあらわした真の剛の者なり。世人、虎胤を畏敬して鬼美濃と恐れしわが忠臣なり。当家、虎胤のほか美濃を称する者としてなし。」と、勇猛の将の死を悼んだという。

NR

小山田左兵衛尉信茂
(おやまださひょうえのじょうのぶしげ)
の旗印



江戸　明治　大正　昭和　平成

1539〜1582　出自は小山田氏

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。小山田左兵衛尉信茂は郡内領主。信玄、勝頼の二代に仕え、文才の持ち主として信頼されていた

小山田一族は武田家の一門衆(御親類衆)の待遇を受けた名家であり、中津森(後に谷村)に館を構えて都留郡を支配した豪族。信茂は兄弥三郎信有が、永禄8年8月に病没したため家督を相続し、信玄と勝頼の二代に仕えた。勝頼時代には、武田信豊とともに武田氏を支え、上杉氏との同盟交渉では中心的役割を果たした。武田氏滅亡後、織田軍に捕らわれ処刑された。信茂は「甲陽軍鑑」によると騎馬200騎を擁する侍大将とある。現在の都留市に居館を持ち、岩殿山城は防備の山城として警固していた。加えて「甲陽軍鑑」には、信玄の側近にあって合戦の相談や進言をする「弓矢の御談合七人衆」の中に信茂が加わっていたとあり、若輩でありながら信玄に信頼されていたことが記されている。

NR

多田淡路守満頼
(ただあわじのかみみつより)
の旗印



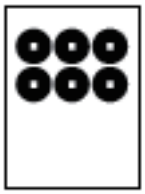
江戸　明治　大正　昭和　平成

生年不詳〜1563　出自は多田氏

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。多田淡路守満頼は、信濃虚空蔵山砦を警護していた際に地獄の妖怪「火車鬼」を退治したという伝説を持つ雄将

美濃から甲斐に渡り信虎に仕え、後に足軽大将に任命された。以来、数多くの合戦に参加し感状をもらうこと29度に及ぶ。そのため全身に27か所の傷があったとされる。「火車鬼」退治伝説の他にも、甲府市湯村温泉で天狗を倒した鬼の湯伝説などの逸話が数多くある。原美濃守、小幡山城守、横田備中守、山本勘助らと共に武田の五名臣、甲陽の五名臣としても挙げられる。満頼の伝説である「火車鬼」とは仏典因果経の説く妖婆で、生前に悪事を働いた亡者を火の車に乗せて地獄へ運ぶという仏教経文に出てくる悪心の鬼のことである。つまり満頼の豪勇が現世の及ばない地獄の権力者をも退治できるほどのものであったという例えとして語り継がれていると思われる。

NR



真田源太左衛門尉信綱
(さなだげんたざえもんのじょうのぶつな)
の旗印

江戸 明治 大正 昭和 平成

1537～1575　出自は真田氏

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。真田源太左衛門尉信綱は、真田幸隆の長男。三方ヶ原の戦いにおける戦功はめざましかったと伝えられている武将

信玄の命により、父幸隆とともに上野国白井城を攻略。同時期に上野国岩櫃城代にも任ぜられ、上杉家の南下に備えた。信玄公晩年の合戦にはほとんど参戦しており、その功績により元亀3年には信濃の武士で唯一200騎という最大の兵力を与えられた。川中島の合戦において25歳の青年武将として出陣した。永禄10年(西暦1567年)頃、今川・北条攻めで先陣につぐ先陣を競って引き受け、信綱の真価を発揮するめざましい活躍を示した。長篠の合戦では青江貞次の陣刀をふりかざして敵陣に切り込んでいった。弟の兵部丞昌輝も負けじと斬り込み、真田兄弟は勇戦して敵を倒すも奮戦虚しく敵の銃弾の前に壮烈な討死を遂げた。

NR



土屋右衛門尉昌次
(つちだうえもんのじょうまさつぐ)
の旗印

江戸 明治 大正 昭和 平成

1544～1575　出自は金丸氏

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。土屋右衛門尉昌次は、第4回川中島合戦の激戦において剛将の名を高めた。「片手千人切り」で知られる土屋昌恒の実兄

西郡の豪族金丸虎義の次男として生まれ、金丸平八郎と称していた。信玄の奥近習六人に選抜され、永禄4年9月の川中島の戦いでは、本陣の信玄を守り奮戦したことから、名族土屋氏の名跡を与えられた。元亀元年に右衛門尉に任官され、100騎を預かる侍大将に取り立てられた。昌次は31歳という短い生涯であったが、武田の若手武将として信玄にその将来を大いに嘱望され、信玄没後は勝頼のよき相談相手となった青年将校であったという。長篠の合戦で昌次は勇敢にも単騎で馬どめの柵の中に乗り込み、柵を引き倒そうとしたところを鉄砲隊の集中攻撃を受けて戦死したことが「四戦紀聞」の中に記されている。

NR



横田備中守高松
(よこたびっちゅうのかみたかとし)
の旗印

江戸 明治 大正 昭和 平成

1487？～1550　出自は未詳

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。横田備中守高松は、戦場に臨むこと34度。31に及ぶ戦傷があったという。「甲陽の五名臣」の一人に数えられた知将

伊勢国出身の浪人であったが、信虎に召し抱えられ騎馬30騎、足軽100人を率いる足軽大将となった。信虎、信玄二代の重要な作戦の内、34度に渡り参加した。そのため全身に31ヵ所の疵痕があったと伝えられている。観察力と洞察力に優れ、敵の動きによってその戦術を読み取り、先手、先手と手配りしては常に甲州軍を勝利に導いたという知謀の将であった。村上軍との戦で殿軍をつとめた高松隊が背後から襲い掛かる村上軍と戦う間に、信玄は本陣とともに安全地帯に向かった。しかし、村上軍に包囲された高松は、隊の1000人と共に戦死した。

NR



小幡山城守虎盛
(おばたやましろのかみとらもり)
の旗印

江戸 明治 大正 昭和 平成

1491～1561　出自は甲州小幡氏

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。小幡山城守虎盛は織部、後に山城守を名乗り、剃髪し入道となって法名を日意とした。鬼虎の異名を持つ

虎盛は遠江国出身の浪人で、父日浄と共に武田氏に仕官し、騎馬15騎、足軽75人を預かる足軽大将に任じられたという。信虎・信玄二代の重要な作戦のほとんどに参加し、永禄３年に信濃海津城が完成すると、高坂弾正を補佐役として在城した。虎盛は、父日浄亡き後14歳で小幡家の跡目を継ぎ、信虎の代にすでに足軽大将となっており、信玄の代には鬼虎の異名をもって知られた剛将であった。永禄4年(西暦1561年)9月の川中島合戦を目前にした6月に病死した。没年は71歳という。虎盛は臨終に際して「よく身の程を知れ」という九文字の遺言を残し、これを子孫への訓戒としたと伝えられる。

NR

小幡豊後守昌盛
(おばたぶんごのかみまさもり)
の旗印



江戸 明治 大正 昭和 平成

1534～1582　出自は甲州小幡氏

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。小幡豊後守昌盛は、小幡山城守虎盛の子。聡明で武道と共に学問をよく修めた文武両道の武将

小幡虎盛の子である小幡豊後守昌盛は、父の死後自ら信玄の旗本となり、足軽大将として活躍するようになる。馬の名手であり、敵情視察に赴き敵に追われても決して捕まらなかったといわれている。武田氏滅亡の際は病気のため、勝頼に従うことができず、甲府善光寺門前で暇乞いをしてまもなく死去した。信玄・勝頼の事績を描いた「甲陽軍鑑」の編者小幡景憲は、昌盛の三男である。昌盛の次男は彦根藩士となり、その後も小幡家は脈々と続いた。

父虎盛没後は海津城副将の地位に推されるが昌盛は信玄の旗本におさまることを望み訴訟を行い、信玄の怒りを買い甲府妙音寺に蟄居となり切腹を命じられるが、諏訪勝頼や土屋昌続の懇願により赦免され、足軽大将に留まったとする逸話を「甲陽軍鑑」が記している。

NR

原隼人佑昌胤
(はらはやとのすけまさたね)
の旗印



江戸 明治 大正 昭和 平成

1531～1575　出自は原氏(土岐氏族)

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。原隼人佑昌胤は地理守備の術に優れた武将。陣場奉行として陣取りに才能を発揮していた足軽大将

信虎に仕えた譜代家老原加賀守昌俊の子で、武田軍の陣立てなどを立案する陣場奉行を命じられたと言われ、また信玄の側近、奉行としても活躍した。信玄の晩年には、山県昌景と共に、武田家の最高職である両職を担ったとされる。昌胤は地理に精通し、初めての場所でも方角を見失わなかったという。天正3年の長篠の合戦で山県と共に左翼を担当し、徳川軍と激戦の末戦死した。昌胤は、知将とうたわれた父同様非凡な才能をもち、信玄の期待通りの鮮やかな陣馬奉公ぶりを発揮して「陣取りのことは隼人佑にまかせよ」と信玄にいわしめたほどであった。「甲陽軍鑑」も「他国にて山中などに道知られざる所をも、この隼人にては一見してふみ分けること、武田家中に此人一人なり」と昌胤の地利、地形を見る鋭い才能を称えている。

NR

一条右衛門大夫信龍
(いちじょうえもんのたゆうのぶたつ)
の旗印



江戸 明治 大正 昭和 平成

1539?～1582　出自は武田氏

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。一条右衛門大夫信龍は、甲斐國市川郷上野城主。信虎の子で、一条家の跡を継いだ。風流を好み、花を愛でていたという

信虎の8男(実は9男という説もある)であり信玄の異母弟。武田氏の一門衆(御親類衆)として、100騎を率いた。

信龍は、常日頃から、武具の手入れや更新を怠らず、諸国の浪人の中から、逸材を召し抱えるよう心がけていた。天正10年(西暦1582年)の武田氏滅亡の際には、本拠地上野城に籠城して徳川家康と戦い、信就と共に市川で処刑されたと伝わる。戦闘時には、主に後衛を担当していたためか武名は伝わっていないが、「甲陽軍鑑」では、山県昌景、馬場信春など重鎮7人の武将のうちに数えられている。武田信玄が軍事面において、典厩信繁と大夫信龍を最も信頼していたという記述がある。また「伊達者にして花麗を好む性質なり」との評も伝わっていた。

NR

山本勘介晴幸
(やまもとかんすけはるゆき)
の旗印



江戸 明治 大正 昭和 平成

1493?～1561　出自は庵原氏未詳

信玄公祭りに登場する武田二十四将の旗印。山本勘介晴幸は、板垣駿河守の推挙により信玄に仕えた。兵法に優れ、名参謀の軍師として広く知られている

三河国牛窪出身の浪人で、隻眼となり片足も不自由になったという。天文12年(西暦1543年)、板垣信方の推薦で、信玄に召し抱えられ、足軽大将となる。内政、軍略、築城術に関する信玄の諮問に答え、様々な意見を具申する軍師として重用された。永禄4年(西暦1561年)の川中島の戦いで、上杉謙信撃滅の秘策として、「啄木鳥戦法」を進言するが失敗し、責任を痛感して乱戦の中に身を投じて戦死した。近世には武田二十四将に含められ、武田の五名臣の一人にも数えられて、武田信玄の伝説的軍師としての人物像が講談などで一般的となっているが、「山本勘助」という人物は『甲陽軍鑑』やその影響下を受けた近世の編纂物以外の確実性の高い史料では一切存在が確認されていないために、その実在について長年疑問視されていた。しかし近年は「山本勘助」と比定できると指摘される「山本菅助」の存在が複数の史料で確認されている。

NR

ボランティアノエラブシンボル

甲府の中に数あるシンボルの中から、この冊子を制作するために集まったボランティアチームのメンバーによる多数決投票で選出したシンボルを紹介しています。

シンボルの選出基準は設けましたが、最終的には個人の感性×多数決選出です。デザインが好き、思い入れがある、是非とも残したいなどボランティアの思いも様々です。各ボランティアの感性や想いを大切にした結果、有名なものがなかったり、逆にあまり知られていないものが掲載されているということもあります。
どんなシンボルが選ばれているのか、お楽しみください。

＜本項について＞
・シンボル・画像等は、多くを各施設・団体・個人等のご協力によりお借りして掲載しています。
・本書内に掲載されているシンボル・画像・イラスト・文章・データ等の無断転載および無断転用をかたく禁じます。
・シンボルおよび画像の著作権・所有権・商標登録における権利等は、所有者（または貸出主等）に帰属します。
・上記、著作権等の権利やその他本書に関するご不明な点におかれましては、コウフシンボル 500 制作委員会（メールアドレス：kofulifelab+ks500@gmail.com）へご連絡ください。

テンヨ

江戸 明治 大正 昭和 平成

幸町9-30

樽に刻まれているのは、テンヨの昔の屋号紋。創業150年に近い老舗。テンヨ武田の歴史を紐解くと、その始まりは戦国時代までさかのぼる



明治5年(西暦1872年)に武田伝右衛門が味噌醤油醸造業を創業。昭和9年に株式会社に改組し、以降醤油や調味料、牛乳、乳製品を製造。「テンヨ醤油」や、だしつゆの「ビミサン」が有名。戦国時代に、敵の上杉謙信から塩を送られた武田信玄は、これを敵からの塩とは公言できず、『天から与えられた塩』『天与のもの』として領民に分け与えた。社名は、この『天与』にちなんでいる。創業者の一族は、武田信玄の父、信虎の末裔。

味わいコミュニケーション テンヨ

現在のロゴマーク。ロゴマークにある「味わいコミュニケーション」は、新しい食文化に息づく伝統の香りを大切にして、食品の製造および供給を通じて社会に貢献するという意味がこめられている。

YT

SADOYAワイナリー

江戸 明治 大正 昭和 平成

北口3丁目3-24

江戸時代からの屋号と、大正時代に販売していたワイン「甲鐵天然葡萄酒」のマークを引き継ぎ、現在らしい雰囲気が加えられているデザイン

甲府駅北口徒歩圏内にある大正6年(西暦1917年)創業のワイナリー。江戸時代より続く「油」佐渡屋を、明治42年(西暦1909年)に洋酒 ビールなどの代理店「サドヤ洋酒店」に転業。大正6年サドヤ洋酒店を営んでいた6代目今井精三氏が、ワイン醸造販売を手がけるサドヤを創業。精三氏が長男の友之助氏と共に農場を開墾するまでの間、勝沼産ブドウから造る「甲鐵天然葡萄酒」を商標とするワインを醸造、販売していた。

ワイナリー敷地内にはショップ、レストラン、チャペルが併設されており、ウエディングパーティーやガーデンパーティにも対応している。また約700坪に及ぶ、醸造場・貯蔵庫の地下ワインセラー見学ツアーも実施している。





ぶどうが山梨に根付いておよそ800年。甲府は明治の初めに、日本で初めてワインを醸造した日本ワイン発祥の地でもある。SADOYAワイナリーは現在、老舗の古名屋ホテル(甲府市中央)と同経営系列となっている。

YT

ワイナリー・ドメーヌQ

江戸 明治 大正 昭和 平成

桜井町47

㈱甲府ワインポートが運営するドメーヌ名の「Q」は、オーナー久保寺氏の久とQualityのQを表している

日本で一番小さなワイナリー、「ピノ・ノワールは日本では作れない」との定説を打ち破りたいと研究を重ねて土壌を改良し、自然肥料のみを用いて1500本のピノ・ノワールを植えることに成功した。このピノ・ノワールは2001年に初リリースされ、日本ワイン界の大きな話題となった。

他にも、新鮮な酸味を残す為にあえて完熟前のデラウエアを用いた日本で一番早い新酒「ヌーヌーボー」や、甲州とピノ・ノワールのブレンドなど個性的なワインが揃う。2019年で創業44年となるレストランと、ウエディングチャペルを展開している。





老舗フレンチレストラン「ボルドー」は日本で初めて牛肉のステーキを目方売りしたレストラン。「ビフテキ」の名で今も親しまれる。

敷地内には2つのチャペルと3つのウェディング会場がある。

YT

シャトー酒折ワイナリー

江戸 明治 大正 昭和 平成

酒折1338-203

甲府盆地を一望でき風光明媚で古来の歴史が伝わる酒折の地にあるワイナリー

甲府盆地を一望でき、その昔、大和朝廷に対抗する酒折朝廷があったという伝説をもち古事記・日本書紀に記された山梨で最も古い地名といわれる風光明媚な「酒折」の地で平成3年に設立されたワイナリー。

グループ会社である木下インターナショナル株式会社の海外メーカーとのネットワークにより海外のワイン製造技術に関する最新の情報を得て、世界各国から導入した設備を持つ。甲州、マスカット・ベリーAなど日本固有の葡萄品種を中心とした日本ワインを醸造。また、梅酒・柚子酒などのリキュールも製造している。





ホームページ上にはロゴデザインにこめられた想い「月、ぶどう、ワイングラス、前進、透明感、完成」のかわいい解説も。

YT



信玄ワインワイナリー

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央5丁目1-5

看板には、強いぶどうへのこだわりがそのまま表現されたかのように中央に美しいぶどうが中央に描かれている

ぶどうにこだわって甲府の地でワインを醸造して40年以上。山梨の風土が育んだ、郷土色豊かなワインを醸造している。良い葡萄でこそ良いワインが作れると考え、よりよいワイン造りをめざして葡萄栽培～葡萄の収穫～ワインの醸造～瓶詰め～販売までを一貫して行う徹底ぶり。

笛吹市一宮と北杜市明野に合わせて約2ヘクタールの自社農園があり、甲州、ベーリーA、甲斐ブラン、甲斐ノワール、メルロー、シャルドネを栽培。甲府市中央の工場には売店が併設されており、試飲も可能。

「ワインは気取らずに飲んで欲しい」とハンドメイドにこだわり続ける市川社長は語る。

少数生産ならではの、こだわりの味わいを求めに、訪れてみてはいかがだろうか。



YT

OUTSIDER Brewing (アウトサイダーブルーイング)

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目1-5ミヤザワビル1F

平成24年甲府の桜町通り沿いに誕生した甲府の地ビールを製造するマイクロブルワリー。ロゴマークのデザインはオーナーのマーク・メイジャー氏とその友人が手掛けた

山梨の地ビールとして、山梨の象徴である富士山とビアグラスが一体化したデザイン。ビールの泡で富士山に積もる雪を、ストライプにすることで雪解け時の山肌と残雪を表現している。

富士山をモチーフとしたのは、山梨県甲府市の地ビールとして日本中に、日本のビールとして世界中に、アピールしたいという気持ちも込められている。

アウトサイダーブルーイングでは、15年にわたりクラフトビールを醸造してきたブルワーの丹羽智さんが隅々まで考え抜き完成させた6種類のクラフトビールの他、季節限定のビールも醸造している。

2階のパブ「Hops and Herbs」では、出来立てのビールを飲むことができる。イングリッシュスタイルビールを軸に常に新しい味を追求し、近年は山梨とビールを上手く融合させたビール造りにも力を入れている。



SK

五味醤油

江戸 明治 大正 昭和 平成

城東1丁目15-10

「山」に「ご」とシンプルながら、山の都と言われ富士山を望む甲府で、地元の食を支えてきた五味醤油を端的に伝えるシンボルマーク

明治元年(西暦1868年)よりみそ・醤油の製造を開始150年以上に渡り木桶仕込みの無添加天然醸造みそを作り続けている。元々、甲府は盆地が狭く斜面が多いため稲作に適しにくく米の収穫が少なかったため、通常の関東みそのように米麹だけでみそを作るのではなく、米麹と麦麹をだいたい半分ずつミックスした「合わせみそ」として独自の特徴を持つ甲州みそが誕生したといわれている。

後継者である五味さん兄妹と発酵研究家の小倉ヒラクさんは、「発酵兄妹」として、みそ作りに留まらず様々な活動を展開中。メディアに出演するなど発酵普及活動を行う有名人でもある。



伝統的な昔ながらのグラフィックデザインが令和の時代に新鮮さを醸し出す。平成28年2月からは食の体験スペース「KANENTE」を開設。みそ作りを楽しめる。

YT

おかめ麹

江戸 明治 大正 昭和 平成

若松町6-34

明治27年(西暦1894年)麹製造販売「おかめ麹」として創業。その名の通り、おかめがシンボルとなっており古風なその顔がインパクト大となっている



創業以来、手作りならではの美味しさにこだわり続け、時間と手間を惜しまない昔ながらの製法で、職人が醸す本物の手作り麹を製造している。味噌も創業以来変わらない作り方で、職人が木樽に仕込み四季の寒暖の中で約1年の間、じっくり熟成させる。

出来上がった甲州味噌は添加物や加熱処理等を一切行わず、樽より直詰めされる。他にも、手作り麹、甲州味噌に加えて甘酒の素や味噌漬けなど、こだわりの品々が店頭に並ぶ。





昔ながらの作業工程、手作業で蒸した米を木製の小さな室蓋(モロブタ)に約700gずつ小分けしていく。さらに、その後も数時間ごとに積み替えや手入れが行われ、その作業はピーク時には1000枚近くにおよぶ。

YT

富士井糀店



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央4丁目5-33

江戸元禄時代より三日町と呼ばれていた今の地で創業から330年を超える老舗店は、こうじ製造の専門店

富士井糀店(ふじいこうじてん)は元禄元年(西暦1688年)創業、昭和33年に株式会社に移行した。甲府盆地特有の気候と麹菌が醸し出す香り高い純天然無添加赤味噌の米こうじ味噌、麦こうじ味噌の製造には、十勝産の大豆と天然塩を使用し、源泉された素材を心掛けている。甲州みその特徴として米味噌と麦味噌の両方が入っていることがあるが、ここではそれぞれが別々に作られているため、好みの配合で購入することができる。

また、甘酒こうじなら「三日町のこうじ」として長く常連の顧客に愛されている。長年培われてきた技術をもとに、常に製造方法の研究と製品の質の高さを追求し、日夜労力を惜しまぬ職人気質で良品を提供している。



こうじは、甘酒・味噌・漬物に使用する米こうじと、味噌に使用する大麦を製造している。こうじと味噌の専門店として、今は13代目店主が店を守る。

YT

常盤ホテル

江戸 明治 大正 昭和 平成

湯村2丁目5-21

常磐の意味でもある常緑の松をモチーフとしたデザイン。常盤ホテルは松を基調とした3千坪の日本庭園を有する

昭和4年、湯村温泉郷で開業。3000坪の日本庭園と、そこに点在する数寄屋造りの離れと呼ばれる趣のある贅沢な造りの客室を有する。昭和天皇も御宿泊された皇室御用達ホテルで「甲府の迎賓館」と呼ばれる。山口瞳・松本清張・井伏鱒二などの作家も利用。

また近年では、囲碁・将棋のタイトル戦も行われており、数々の名勝負の歴史が刻まれている。武田信玄の元湯として歴史ある温泉。武田ゆかりの塩山「萩原邸」を移築した甲州田舎造りの古民家レストランもある。





左) 九重の間：歴代タイトル戦はほぼ、離れの一角に位置する九重の間で行われてきた。
右) 2階ギャラリー：常磐ホテルの歴史と美術品、名人の小径と呼ばれるギャラリーがある。

AT

湯村ホテルB&B



江戸 明治 大正 昭和 平成

湯村3丁目3-11

伝統的な温泉旅館の温かさと、現代的なシティホテルの機能性を備えたホテル。自家源泉かけながしの天然温泉。地産地消の料理を提供

「山菱マーク」という、「山」の字と武田菱がモチーフのロゴマークは商標登録もされ某山梨の有名企業が譲ってほしいと訪ねてきたこともあるという。そんなロゴマークを掲げる湯村ホテルB&Bは、昭和29年創業、先代が湯村温泉で小さな旅館を始めたのが始まり。時代の流れ、老朽化から現在の近代的なビルディングのホテルになり、快適性と利便性を備えた宿となる。建物は生まれ変わったが、老舗温泉旅館の心を大事にしている。湯治場として、自家源泉の温泉で、温泉利用健康増進プログラムの提案や飲泉も出来る。

地産地消に拘り地元の食材を使った料理提供もと宿泊者に合わせたプランも充実し、自炊出来るのも特徴。

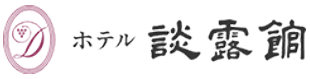
ホームページでは社長自らの失敗とそこから学んだことが包み隠さず書かれており、地域・郷土への熱い想いを感じることができる。



自家源泉が45℃前後と加水・加温しなくてもよい湯。飲泉も出来る。
平成19年1月に「温泉利用プログラム型健康増進施設」の認定を受けた。

AT

ホテル談露館



江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目19-16

130年以上の歴史を誇る老舗ホテル。談露館という屋号は、初代中沢新吉の俳号「談露亭」からつけられたもの

談露とは「あらわに語る」「談を尽くす」という意味といわれている。談露館は明治20年に有栖川宮熾仁親王のご来県で宿泊所を探していた山梨県の依頼に始まる。創業者の中澤新吉は、当時金融業を営んでおり、提供した屋敷は、蔵造三階建ての豪壮なものだった。以後、「宮様の宿泊所」として旅館として歩み、皇族や政治家、経済人、画家や文筆家が利用し、山梨県の政財界、文芸界の中枢を担っていた。甲府空襲により焼失するも再建され、昭和40年には温泉旅館となる。昭和55年にホテルとなり、平成4年に新築、老舗ホテルとして現在に至る。



当時の談露館の建物は、創業者中澤新吉が中巨摩郡白根飯野(現在の南アルプス市)の豪農であった生家を模して造ったという。「立憲政友会」の山梨事務所が館内に設けられ、伊藤博文はじめ歴代の総理大臣も宿舎とした。昭和39年に近隣旅館8軒と共同で発掘を始め翌年源泉が湧出する。「黒い湯の花」が特徴。

AT

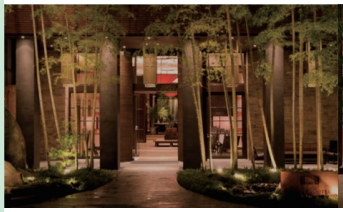
アーバンヴィラ 古名屋ホテル

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目7-15

明治45年(西暦1912年)鰍沢町で宿屋「粉屋」を経営していた「伴野かめよ」が甲府の現在地で「古名屋旅館」を創業した。粉屋の由来は、亡夫の生家が米屋の説が有力とされる

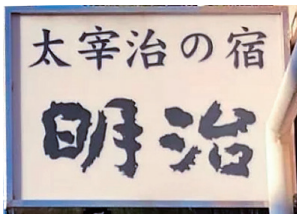
大正元年(西暦1912年)、中央線の全線開通に伴い宿場町として栄えていた鰍沢から甲府へと山梨の発展は変わりつつある中、創業者・伴野かめよは、甲府への進出を決意し、現在の地へ移り創業。昭和初期には、モダンな娯楽室を作り、ビリヤード台や自動演奏ピアノを設置していた。昭和20年、甲府空襲で全館焼失。そのような中で敷地内の温泉を一般に開放した。昭和48年旅館からホテルへ転身。その後、「オリエンタルモダン」をテーマに各所の改装を継続し現在に至る。




竹が印象的なエントランス。「都会の隠れ家」がキーワード。ロビーの窓から見える滝。日本とアジアが融合されたデザイン。

AT

旅館 明治



江戸 明治 大正 昭和 平成

湯村3丁目10-4

看板には味のある「明治」の文字。明治30年(西暦1897年)創業の歴史ある温泉旅館。古きよき日本の風景を大事にする太宰治が執筆した宿

太宰治は、昭和17年2月と昭和18年3月に旅館明治を訪れ、一ヵ月間滞在し、「正義と微笑」、「右大臣実朝」の二つの小説を書いた。小説「美少女」の中では、「湯村のその大衆浴場の前庭には、かなり大きい石榴の木が在り、かっと赤い花が満開であった」と明治温泉について書かれている。
看板や造りについても、レトロ感を大事にしており、歴史、文化に触れることの出来る宿。源泉かけ流し温泉で甲州名物馬刺しをメインとした料理が自慢。

湯村温泉郷の入ると、屋根上の明治の看板が迎えてくれる。
太宰治滞在時の旅館。2階建ての建物で、太宰は左主屋2階の眺望のよい部屋を2つ借りて執筆した。




AT

弘法湯

江戸 明治 大正 昭和 平成

湯村3丁目16-16

弘法大師の杖伝説がはじまりとされる杖温泉の宿。歴史ある湯村温泉郷の中でも、もっとも歴史ある老舗旅館

西暦808年大同3年、弘法大師は東北巡行の帰りにこの地を訪れた。旅人の通行を困難にしていた大石があり、弘法大使が、呪文を唱えながら杖にて寄せたところ、温泉が湧き出したという伝説があり、これが湯村温泉の始まりと言われている。湧き出し場所は「杖の湯」と呼ばれ、旅館裏には史跡が残っている。
また、湯村には湯村八蹟(ゆむらはっせき)と呼ばれる昔ながらの歴史や言い伝えもあり、案内図を片手にまち歩きを楽しむことができる。
昔ながらの雰囲気と寛ぎの空間を大事にし、甲斐の郷土料理、山幸料理が自慢。




葛飾北斎「勝景奇覧、甲州湯村」団扇絵。湯村の旅館街が出来る以前は、銭湯として庶民に親しまれていた。
男湯には昭和初期には存在していたという弘法大師像が鎮座している。

AT

柳屋

江戸 明治 大正 昭和 平成

湯村3丁目16-21

創業百三十年。古い湯村温泉の真中にあって、ビルでない白壁の2階建て。お蔵風の八棟が、庭を囲って廊下で、ぐるりと回る温泉旅館

明治19年(西暦1886年)創業。「岩風呂の柳屋」を看板にし、広い庭に大きな池の回りに木造の建物が何棟も散在していたが、木造ならではの困難もあり昭和60年頃に木造から鉄筋コンクリート造への全館建て替えが計画された。高層ビルの大型旅館ではなく、安全で便利で「和風の温泉旅館らしく」の構想の基、工事はスタート。平成15年に全館完成し、蔵を模した白い壁の二階建て8棟が、広い庭を囲って廊下が1、2階でぐるりと回る形となった。




庭園を取り囲むように建つ柳屋の館内見取り図。露天風呂の柳屋。信玄隠し湯のひとつといわれる湯量豊富な天然温泉である。

AT

バッカス ゲストハウス

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内3丁目33-12

平成27年に創業した甲府で最初のゲストハウス。ローマ神話のワインの神様「BACCHUS」が名前の由来

バッカス甲府にはビジネスマンから登山者、甲府のディープな仲間まで日々、さまざまな人が立ち寄る。世界の旅行者と甲府の人々が集まり、それぞれの文化が交差する場所でもある。そんな、ただの安宿ではない出会いある場所。築40年ほどの廃ビジネスホテルをリノベーションし、1階にはダイニングバー、と宿泊者ラウンジ、2階3階は宿泊スペースとなっている。1階のダイニングバーは宿泊者でなくとも利用でき、山梨県産の食材を中心とした料理や、数多くの種類のお酒を楽しむことができる。



相部屋のドミトリールームでは同じ部屋の方と思わぬ出会いや交流が生まれることも。

AT

NAP bed and lounge (ナップベッドアンドラウンジ)

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央4丁目3-25

甲府駅南口から徒歩10分、「柳小路飲食店街」にある1階はお洒落で落ち着けるカフェ&バー。2階は宿泊ができるゲストハウスになっている

大通りを一歩入ったノスタルジックな裏路地、柳小路に面する素敵な場所、NAPはカフェ&バーラウンジを併設したお洒落なお宿。1階は宿泊する方もしない方も利用可能な落ち着いた雰囲気のカフェスタイルになっており、店主こだわりの甲州ワインビーフ100%のグルメバーガーを味わうことができる。また夜はバーに姿を変え、地元のクラフトビールなど美味しいお酒を楽しめます。他にもこだわりの料理やドリンクを提供していて、とてもリラックス出来る空間となっている。2階は宿泊スペースになっており、海外からのリピーターも多いとか。隠れ家的なゆったりとした空間になっています。地元民でもつい泊まってみたくなります。



店主こだわりの甲州ワインビーフ100%大人気の絶品NAPバーガー。見た目のインパクトもあり、濃厚なチーズが食欲をそそる。
令和元年には柳小路内hanare(離れ)もオープン、最大6名まで宿泊可能なので友人と甲府の街を楽しんでみてはいかが。

YS

喜久乃湯温泉

江戸　明治　大正　昭和　平成

朝日5丁目14-6

太宰治が通ったとして有名。昭和の香りを残す銭湯は、今もなお太宰ファンや登山客で賑わっている

甲府市北部、湯村温泉東側。住宅地の一角にある温泉銭湯。創業は昭和元年となる老舗の銭湯で、甲府と縁の深い作家だった太宰治が通ったお湯として太宰ファンに知られている。
昭和14年、新婚の太宰は甲府市御崎町56番地に新居を構え、執筆の傍ら夕刻になると近くのこのお湯に通ったと言われている。
ひょうたん型の湯船やペンキ看板が並ぶ脱衣所などそのひとつひとつにえも言われぬレトロ感を感じることができる。



昭和元年から続き、今や文化遺産とも呼べる古き良き時代の銭湯では、サウナ・水風呂に加えて極上のぬるま湯に時間を忘れてゆったりと浸かる贅沢が味わえる。

YT

草津温泉



江戸　明治　大正　昭和　平成

上石田1丁目10-12

甲府の荒川橋近くにある草津温泉は、源泉47度かけ流し、加温、加水なしの温泉銭湯。泉質もよく。地元はもちろん、県外からも訪れる人が多い

昭和初期、草津出身者が「草津湯」という名の銭湯を始めたのが始まり。
戦後休止していたが先々代が譲り受けて昭和23年に再開。昭和40年後半に温泉湧出。昭和50年、屋号を「草津温泉」に改める。平成19年道路拡張で建物取り壊しになるが、残された土地で開業。
泉質は、天然ラドン含有・芒硝・重曹・食塩泉。47度の高温風呂、中温風呂、露天風呂、水風呂がある。飲泉も出来る。
草津温泉内石鹸等はないが、銭湯料金で良質の温泉に入れるのも魅力。







受付前には、温泉で炊いたおにぎりを売っていることも。飲泉も出来て、様々な効能がある。同経営のスナックROOM151-IKOI-は、温泉とのセット料金もあるとのこと。

AT

都温泉



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央5丁目7-19

入口前の都温泉の木彫りの看板はなんとも言えない味を出している。甲府の街中の地元の人が、気軽に楽しめる銭湯

昭和公衆浴場の趣を残す設備とシンプルなシステム。浴槽は二つ。一つは、気泡風呂。都温泉は、遊亀通りの金山神社東交差点から北側に少し行った場所にある。駐車場は、6台。

入口を入ると、下駄箱があり、男女に分かれる。番台があって、銭湯代を払い、暖簾をくぐって、脱衣所になる。洗い場には、ケロリンの黄色い洗面器があり。カラン等設備や配置も、ひとつひとつが昭和の懐かしさを感じさせてくれる。勿論、コーヒー牛乳等もある。明治30年(西暦1897年)創業の地元に愛される銭湯。

湯上りの定番のコーヒー牛乳などは自販機ではなく自分で取り出してお会計するあたりもザ・銭湯の佇まい。



AT

昇仙峡ロープウェイ

山梨・秩父多摩甲斐国立公園周遊指定地
昇仙峡ロープウェイ

江戸 明治 大正 昭和 平成

猪狩町441

昇仙峡と弥三郎岳山頂との間を結ぶ、片道5分ほどのロープウェイ観光路線である

昭和39年に運行を開始。乗り場から山頂のパノラマ台駅まで片道5分の空遊散歩が楽しめる。昇って下りるまで最短30分という手軽さからも観光客を中心に人気を集めている。標高1058mのパノラマ台から一望できる富士山や南アルプス連峰はまさに絶景。弥三郎岳まではパノラマ台から徒歩20分程。途中見晴らしの良い展望台を通るので観光客の撮影スポットになっている。ゴンドラ内では、ガイドさんが景色の説明をしてくれるので安心して観覧できる。乗り場の売店にはお札を用いて作ったというオリジナルの和紙袋が金運アップのご利益があるという縁起物としてお土産の中でもひときわ人気を集めている。

ゴンドラからの眺めは絶景で、荒川ダムや雄大な景色を観ることができる。
また紅葉の季節は観光客が多く、増便をして対応しているそうだ。



YS

昇仙峡ほうとう会館

昇仙峡 ほうとう会館

江戸 明治 大正 昭和 平成

猪狩町393

山梨県の景勝地「昇仙峡」にあった大規模ドライブイン。バスツアーの観光客を大量に受け入れるレストランは700席を超えた

前身は「昇仙峡観光会館」という名称のドライブイン。平成4年より「ほうとう会館」として開業された。その名の通り「ほうとう」をメインとした食事処と土産店。昇仙峡で一番多くの観光バスを受け入れており、昇仙峡観光動員の一翼を担っていたといても過言ではないほど多くの人を受け入れていた。ほうとう打ち体験施設では、作って食べるという体験が出来、子ども～大人までほうとう作りを楽しんだ。名物の「ほうとう饅頭」はリピーターも多く長年にわたり愛された名物であった。平成31年建物の老朽化などを理由に閉館。

現在跡地には、昭和時代に甲府駅前ロータリーにあった噴水をオマージュした、本水晶の噴水と公園が作られている。

ほうとう会館名物の「ほうとう饅頭」はカボチャ・野沢菜・椎茸が入ったソウルフード。ここでしか食べることができなかったためリピーターも多かった。





YT

萬集閣（まんしゅうかく）



江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目15-15

甲府駅南口から徒歩3分。蔦の絡まる建物は、存在感抜群な旅館・萬集閣

蔦に覆われ古い街灯が柔らかな光を灯す外観は、甲府駅前のランドマーク。大正～昭和を感じさせる懐かしさ溢れる木造三階建ての老舗旅館の1階には元応接間として使用されていたスペースが喫茶店となっている。「六曜館珈琲店本店」は昭和48年に開店した。建物の中には数々のアンティーク品が飾られており、柱時計やステンドグラスなどが、ゆっくりとした時の流れを感じさせてくれる。ビジネス・観光の拠点に最適な旅館は、長期滞在も可能。

オーナーの思いを込めて「沢山の人が(萬)集まるように(集)」と名付けられた萬集閣。食事も人気で、甲州名物の「おざら」や「ほうとう」など家庭的な料理を旅人に提供している。



EI

六曜館珈琲店

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内2丁目15-15

蔦が絡まるその建物、喫茶店然としたその雰囲気は全国雑誌にも何度も取り上げられており県外からも多くの人が訪れる

明治から大正にかけてのランプや時計など、アンティーク調ではなく本物のアンティークを堪能することが出来る喫茶店。昭和な雰囲気を今でもしっかりと残し、昔ながらの純喫茶でコーヒーはこだわりのネルドリップ方式。蔦の絡まるレンガ壁の外観で、旅館・萬集閣の1階にある。昭和48年開店の店内には柱時計やステンドグラス、古いマッチなどが飾られている。落ち着いた照明のもとで、夜はバーとしての利用者も多い。



喫茶、バーといった顔をもつが、人気の名物は餃子。昔甲府にあった銘店の餃子を研究・再現された逸品である。

YT

富士アイス 志〞まん焼き

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目14-1

「じまんやき」と読む。長年変わらず多くの人の小腹を満たしてきたであろうその味は、各地に置いてそこに暮らす人たちのソウルフードのような存在

昭和の初め東京麻布で志〞まん焼き(当時は今川焼き)を売っていた長井今朝治さんが兄の時雄さんに店をやらないかと持ちかけ、昭和10年、長野県上田市に創業。今朝治さんは昭和11年に東京麻布から甲府市に店を移し現在の富士アイス本店が誕生した。創業当初の屋号は「富士屋」でその後「富士アイス」となった。

甲府市内に4軒、長野県に3軒、他に岐阜県、千葉県にもお店があり、そのすべてが親戚経営。富士アイスは地域に根付いていて、立ち寄りやすいたたずまい。入り口でも商品を購入することができ気軽に立ち寄れるのも魅力。ガラス張りでじまんやきを作っている様子が見えるので工場見学気分も味わえる。



「志〞まん焼き」の中でも特に人気の「あんチーズ」、「志」に託された思いを感じながら食べてみてはいかがだろう。店内では、ランチや、焼きそばでビールを1杯。なんてのも人気である。

DN

寺崎コーヒー

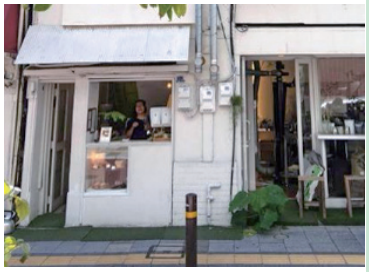
江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目20-22

オリオン・スクエア商店街内にあるスペシャルティーコーヒー・エスプレッソの専門店。Light &Tellingの齋木氏がデザイン

ころんと丸いツボのような形が印象的なロゴマーク。コーヒーと過ごすふわっと柔らかい時間や、コーヒーの香り立つアロマ・喉を通り胃袋に落ちていく柔らかな感触を表現している。また、お店がコーヒーを通じて甲府の街の人々のコミュニケーションを創造する場となり、そのアイコンとなるようにと想いを込めたデザインでもある。

“コーヒー”と、“街の風景として育ってゆくお店の未来”と、デザイナー齋木氏が感じる“現在の甲府の街の風景や、空気感”を全て紡ぐようにして、寺崎コーヒーのロゴマークはデザインされている。



本格的コーヒーが飲める人気店として、今や甲府の街のアイコンとなった寺崎コーヒー。
おいしいコーヒーを求め、遠方から足を運ぶ人もいる。
2階にはイートインスペースもある。
コーヒーのおともに自家製の焼菓子もおすすめ。

SK

COTTON CLUB (コットンクラブ)

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央4丁目3-20

コリド桜町通りにあるジャズ&カフェバー。昭和60年代には甲府の中心かすがも〜るにあった。平成18年に現在の場所で再オープン

ニューヨークのハーレムにあった伝説のジャズクラブの名を踏襲したコットンクラブは、信用組合の跡地を改装して造られており天井高が5mと高く、かつての金庫室はソファーのあるVIPルームとなっている。

JBLの巨大スピーカー4350、4550、YAMAHAのフルコンサートピアノや大型スクリーンを完備した店内はジャズを中心としたライブ空間が広がり、甲州ワインや様々な酒と心地よい時間を楽しむことができる。



ツタで覆われた大人の隠れ家のような建物。中に入ると赤いカーテンにグランドピアノ、ゴージャスな空間。老舗のジャズバーで生音を聴く贅沢を味わって見てはいかがだろうか。

YT



カフェ・ロッシュ

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目13-9

甲府銀座商店街にある大人の隠れ家的カフェ。オープンして30年以上の老舗で、自家焙煎コーヒーがいただける

銀座通りのアーケードに面しているのに、一見すると入りづらいエントランスを進むと、珈琲専門店の王道とも言えるような落ち着いた佇まいの空間にたどり着く。店内は所々にランプが置かれ、控えめな照明の中にテーブルやカウンターが艶めいて見える。ゆったりとした時間の流れと落ち着いた空間は、まさに大人の空間。年配の方には懐かしく、若者には新鮮に見えるに違いない。
数量限定のコーヒーゼリーやケーキ各種に加え、オリジナルレシピのクロックムッシュも人気が高い。

自家焙煎の豆から抽出されるコーヒーはさまざまなバリエーションが楽しめる。またウインナーコーヒーは他とは違うロッシュでしか飲めない味との評判。



YT



Blue Moon (ブルームーン)

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央4丁目3-20

甲府中心街にあるカラオケバー。入口のオブジェや赤い鉄骨階段が特徴的だが、アットホームで常連も多い

コットンクラブの上にある2階の店へ行くには、中世ヨーロッパの庭園的ゲートをくぐり、真っ赤な鉄骨階段を上らなければならない。途中ではグリフィン像が出迎えてくれる。そして店内には様々なヨーロッパの絵画やオブジェが並ぶ。怪しい外観～サブカルチャーな昭和カフェという表現も、どこか納得してしまいそうだ。
広い店内の店の雰囲気からは想像もつかないアットホームなママに癒される人も多い。

90分3000円の歌い放題・飲み放題の安心システム。(取材時点)



YT



LAWN'S BAR (ロンズバー)

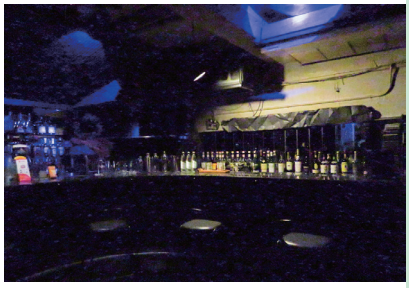
江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目2-7

昭和62年にBARとして創業。かつてはマスターの父親がこの場所でピザハウス「LAWN」を営んでいたことから「LAWN'S BAR」の店名になったそう

かすがも～るから浅草飲食店街へ入ると、すぐ左手に青いネオンの「LAWN'S BAR」の文字が見えてくる。店内は横丁のBARにしては広々としていて、外国映画の世界の様だ。メニュー表には映画のタイトルにちなんだネーミングのオリジナルカクテルがずらりと並んでいて、由来を聞きながら飲むと映画のシーンが思い出される。
普段、食べ物はおつまみだけしか提供していないが、予約注文をしておけばパスタやピザなど「普通に注文できないのが勿体ない!」と感じるくらい質の高い料理を提供してくれるので、是非一度お試しあれ。ちなみに、一番人気は意外にもカレーだったりする。

入口から奥へ向けて横丁らしからぬ広々とした店内。
奥のレコードプレイヤーを含む音響機器。店の奥にある音響設備の中には、昔懐かしいレコードプレイヤーが鎮座している。



DS



味魅(あじみ)

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目1-9

女将の華やかさとお店の活気を思わせる桜舞う看板

「味の魅力」の店名に偽りなし。最初は裏春日の小さなお店で始めたものの、女将の人柄の良さも重なって、お客さんが溢れるため隣のお店も確保…それでも入りきれなくなって、銀座通りの大きなお店へと進出してきた実力派。
人気メニューは塩麻婆豆腐、カレーうどん、グラタンなどなど…中国福建省出身の女将は中華料理は勿論、和食も洋食もすっかりマスターしていてレパートリーの幅がとても広い。日本に来てから長く、日本語はペラペラで、お店では中国人留学生達が働きながら日本語を学んでいる。常連の丸山さんが考案したという紹興酒ハイボールは「角ハイボール」ならぬ「丸ハイボール」。こういう洒落の利いたところも人気の理由だろう。他にも「ちりとり鍋」という冬季限定の名物メニューも人気。「ちりとり」の様な四角い鍋に具材をてんこ盛りにして煮る。準備が必要なので注文するには予約が必要。

笑顔溢れる垂れ幕も印象的。
お客さんと心を通わせ、笑顔になれる空間を作る女将の人柄が現れている。



DS



Restaurant Bar Alfie（レストランバー アルフィー）

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央4丁目3-19

レストラン・バー・アルフィーは桜町通りにある酒と食事が楽しめる店。店内ではジャズライブも行われている

昭和60年にピアノ・バー・アルフィーとしてオープン。当時は地下にカウンター15席で始まった。その後、平成13年にペルメ桜町通りに現""レストラン・バー・アルフィー""として大きくリニューアルオープン。

料理・酒・音楽にこだわり続けると同時に、訪れる一人一人に温かいサービスを提供することをモットーとしている。

店内では不定期でジャズライブ、ソロピアノ演奏が開催され、山梨での更なるジャズ普及活動にも力を入れている。



NBA(社)日本バーテンダー協会所属のプロのバーテンダーがカクテルをサーブしてくれる。そして、ビール派には嬉しい称号の、サントリー認定「プレミアム超達人店」山梨県第一号店である。

YT



備長・炭火焼 いけ田

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目3-1

甲府駅南口近くで、山梨県の食材にこだわり"地産地消"を実践し、山梨の食材を炭で焼く居酒屋

お店で扱う肉類は、甲州ワインビーフや甲州地鶏、甲州信玄豚といった山梨県産のもの。また、大根やキャベツ、きゅうりなどの野菜も新鮮な朝採りを仕入れている。店主が山梨産の食材にこだわるのは、県外からのお客さんに山梨の味を楽しんでほしいという気持ちと、地元産の食材を多くの人に紹介したいからという。

焼鳥に使う一味唐辛子も地物手作りのものが提供されている。



甲府駅南口から徒歩2分の場所にある「いけ田」。居心地の良いカウンターメインの店内で、炭火でじっくりと焼き上げた焼鳥と地酒・甲州ワインが味わえる。

YT



友四郎

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目13-5

エル西銀座通りを東へ進み春日通りに突き当たった正面、大きな杯で武将が酒を飲む看板が目印の友四郎

昔から山梨の郷土料理や地酒で県内外のお客様を楽しませてきた友四郎。先代から息子さんへと継承し、今は親子揃ってお店を盛り立てている。

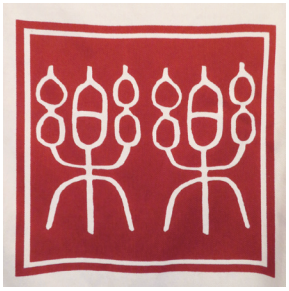
「甲府鳥もつ煮」をはじめ、巨大な「自家製ジャンボしゅうまい」など、メニューはなんと100品を超えるとも‥大将が絶対の自信を持つ魚は、その日に新鮮なものを吟味して仕入れるために毎日内容が変わる。友四郎オリジナルワインを中心に、地元産ワインは、赤・白・ロゼと取り揃えていて、お土産に買って帰ることもできるとか。

締めの一番人気は、ざるうどん。のどごしが良く、ほてった身体に優しい一品だ。



店内にはメニューがずらり。横丁文化の香るカウンター席に、テーブル席、座敷を合わせて80席を備え、無尽や宴会に持ってこい。あちこちの壁に所狭しとメニューが貼られている。

DS



楽楽（らくらく）

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目20-20

オリンピック通りにある老舗ラーメン店。楽楽の印象的な象形文字は画家＋ラーメン屋であった創業者によるものだそう

オリンピック通りの西口にある楽楽は戦後間もない頃から多くのお客さんのお腹と心を満たしてきた老舗のラーメン店。創業者の父親から店を引き継いだのが今のマスターで、子どもの頃から甲府の中心街を見てきたため、この界隈についてはとても詳しい。

煮干しと鰹節のだしの利いた「醤油ラーメン」は、締めの一杯として不動の人気を誇る。一品料理も充実しているので、ここから飲み始めるというのもいい。

そして秋になると登場するのが、名物の「ツボ」。田んぼで穫れるタニシのことで、昔は多くの県民が食べたが今は希少価値が高く「陸のサザエ」などとも呼ばれる。



マスターはちょっとラテン系の顔をしているが正真正銘、甲府出身。明るく笑うマスターとのカウンター越しの会話も楽しい。

仕入れのタイミングがあった時にしか食べられない「ツボ」。食べ方のコツを隣に座った常連さんが教えてくれたりする横丁文化も隠し味。

DS

チキンカレー 一刀斎



江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目15-5

創業は平成12年。甲府の中心部にあるチキンカレー・オムカレー(チキンカレーに卵がのる)の専門店。お辞儀する武士のイラストが印象的

オリオン通りと紅梅通りの角からすぐのビル2階にある店舗、入り口は紅梅通り沿いとオリオンイースト沿いの2か所に階段がある。

カレーはクミン、カルダモン、シナモンなどのスパイスと、ガーリック、ブラックペッパーが効いたスパイシーでサラサラな辛口タイプ。店内の貼紙には「医食同源」のメッセージとしてカレーに使用されている9種類のスパイスが表示されている。

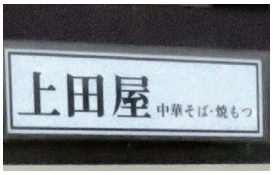
メニューはチキンカレーとオムカレーの2種類を普通・大盛・特盛から選ぶシンプルさで、温泉卵やチーズなどのトッピングが数種類用意されている。



こちらの看板も味がある。
縦長の店内はカウンターとテーブル席が数席、昭和レトロ感満載な雰囲気。
今までに甲府市カレーランキング1位、山梨県カレーランキング5位という実績を持つ。

YT

中華そば・やきもつ 上田屋



江戸 明治 大正 昭和 平成

下飯田2丁目3-18

シンプルな文字だけの看板。看板のデザインのシンプルさに味の自信が伺える。創業60年を超え、現在三代目が営む老舗ラーメン店

昔ながらの常連客などを含む、幅広い世代から支持される老舗ラーメン店。

ラーメンは昔ながらの中華麺やワンタンメンなどが人気で、自家製麺の細麺ちぢれ麺。セットメニューが豊富なのでいろいろな料理を味わえる。

店名にもある「焼きもつ」は、タレとネギから選べる自慢の逸品メニュー。この「焼きもつ」が目当てで通うという客も多い。

お昼時のランチタイムは、ビジネスマンの姿も多い。夜は炒飯がメニューに追加され、おつまみ&アルコール類も充実ノラインナップで、地酒・山梨ワインも味わえる。



シンプルで奥深い、透き通ったスープの煮干し系「中華そば」は、長年愛される老舗の味として変わらぬ美味しさを提供する。

YT

すし処 魚保



江戸 明治 大正 昭和 平成

太田町20-6

亀遊公園の近くにある創業明治43年(西暦1910年)の老舗の寿司店。寿司にはタレがついてくるという山梨独特の寿司を今でも提供している

創業から110年を超える老舗店。甲州独特の風習である「ツメ(甘く煮詰めた醤油たれ)」がかけられた握り寿司「甲州にぎり」が今も提供されている。魚保の「元祖甲州にぎり」は、通常の1.5倍の大きさで、食べやすいように半分に切ってあるのが特徴。

寿司以外の料理として、季節の料理や宴会コースが充実し、黒毛和牛コース・とらふぐコース・海鮮寄せ鍋コースなど様々な歓送迎会や冠婚葬祭といった集まりに利用されている。





ランチタイムでは寿司、海鮮丼、うどん、そば等が味わえ、お持ち帰り商品も多く、寿司、海鮮丼、サイドメニューは25種類を超える。また夜のコースはデザートも自家製で、レアチーズケーキやプリン、ブラウニーなどが出される。

YT

うなぎ川長



江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目2-12

甲府駅前エリアに店を構える江戸時代から続く老舗鰻屋。その重厚な伝統ともに受け継がれてきたタレの奥深さと、それでいて気取らない姿勢にファンも多い

うなぎ川長は、江戸時代の天保年間に「千歳屋」という割烹旅館から始まった鰻屋の老舗。昭和元年頃から川長の屋号を使う様になった。約20年前、後継者不在で廃業することになり、当時平和通りにあった店を解体したが、伝統のタレだけは保存。半年後、全く異なる業界で働いていた娘婿が150年の味を守るべく立ち上がり、務めていた会社を辞めて後を継いだ。

20年程前に移転・営業再開した今の店舗は、その歴史の重厚さで敷居を上げることなく気楽に入れる雰囲気で、夕方からの「うなぎ屋さんの晩酌セット」ははしご酒を楽しむ呑兵衛に大人気となっている。



うな重(松)4,200円。
150年の伝統の味。

DS

うなぎ割烹 石水庭 横内

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目9-25

甲府駅南口西側にある炭焼うなぎ専門店。店内から眺める日本情緒溢れる中庭の風景が美しい

創業大正11年(西暦1922年)、穴切町にて鮮魚店を開業したことに始まる。その後、素材にこだわった「うなぎ割烹」を開店。静岡県産と愛知県産のうなぎを炭にこだわり、食べさせてくれる。
建て替えられたお店の店内からは石水庭を冠する通り和の風情を感じる庭を望むことができ、高級割烹旅館のような落着いた空間を演出している。個室は、壁で完全に区切られた完全個室でプライベートな時間を大事にできるなど、豊かな時間を過ごすことができる。白焼き、きも焼きなど鰻の美味しさが堪能出来る。また、焼鳥や刺身なども味わえ、各種コース料理の相談も可能。

お店の前には駐車場もあり、テイクアウトも可能。
おうちでうな重という贅沢はいかが。サプライズにもいいかも?



YT

うなぎ竜由

江戸 明治 大正 昭和 平成

徳行2丁目1-3

昭和46年創業の老舗鰻店。「うなぎ」をメインとしながら、うなぎの他にも地産地消の食材を使用した和食、旬の食材を使用した郷土料理を提供している

昭和46年の創業から注ぎ足して使われている秘伝のたれで焼いたうなぎが自慢。関東風、関西風のどちらも提供されている。日本の伝統食である「うなぎ」を四季の味で包み込み、地域の食文化の向上に資するサービスを提供している。
お店では「生きたうなぎを調理し食べることを通じて、命の大切さや日本の食文化を親子で学ぶ」をテーマに「親子でうなぎ串打ち体験」といった体験型のイベントも開催されている。



店内はカウンター席・テーブル席・座敷席があり、座敷席は2~60名と広く対応する。「地域の迎賓館 ~ 特別な日・特別な時間・特別な人に最大の満足を」をモットーに郷土料理を提供している。

YT

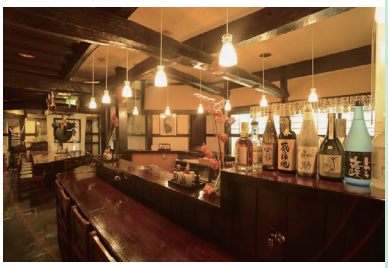
銀座江戸家

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目13-8

銀座通りにある老舗の郷土料理を提供する和食店。自家製の手作り味噌を使用した「ほうとう」をはじめとした郷土料理がいただける

創業は明治の末期という老舗和食店。数々の郷土料理を提供している。「鳥もつ煮」は先代より継ぎ足しで受け継がれている秘伝のタレを使用し、「馬もつ煮」、「どじょう鍋」とともにおすすめ品に並ぶ。
「甲斐のすべて」という山梨の名物や特産品をふんだんに使用した定食も人気が高い。
各種宴会コースでは60名くらいまでのグループが使用可能な座敷を構え、大小の個室も備えた総席数は約130席もある。ランチも提供しており、毎日献立が変わる日替わりランチは、旬の食材を使用し豪華でリーズナブル。



レトロさがほっと落ち着く店内。メニューの品数の多さは群を抜いている。海のない山梨において、壁面に並ぶお品書きの魚料理の多種多様さに圧倒されてしまう。

YT

縁者

江戸 明治 大正 昭和 平成

里吉4丁目4-16

魚介の味を凄く生かした濃厚な豚骨系のスープのラーメン屋。スープに麺が良く合う一品

縁者は、つけ麺や中華麺などを中心に大変人気がある繁盛店。甲府市外からの客も多く、たいへんおいしいと評判の店。1,000円以内でも十分食べられるリーズナブルな価格も魅力。レビューの評価もかなり高く、何度も食べたくなるような癖があって、リピーターもかなり多い。
ラーメンは、魚介の味をすごく生かした濃厚かつ癖のある豚骨系のスープ。さらにチャーシューがとてもとてもおいしく、これを目当てに食べにくる人も多く人気メニューとなっています。
是非食べに行ってはどうでしょうか。



シンプルでわかりやすい外観は入りやすい雰囲気。夜にはぼつりと灯る照明に引き寄せられる。看板を見ただけで、美味しいあの味を思い出す。

DN



えぞ

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目15-3

昭和43年12月開店。オリオンスクエア商店街で「札幌の味を甲府でそのままに」の看板が目印。ラーメンの他に丼物などのメニューも揃っている

札幌ラーメン「えぞっこ」で修行した店主の営む老舗店は、創業52年を超える。人気はチャーシューたっぷりの味噌チャーシューで、本場札幌の味を堪能できる。熱々のスープに炒め野菜の旨味が溶け出して、中太のちぢれ麺とよく絡み合う。ほかにもスタンダードな味噌ラーメン・醤油ラーメン・餃子・丼物などがあり、ランチタイムに麺類を注文するとライス一杯を無料にしてくれるサービスも行っている。

路地を一歩入ったところにある老舗店として地元に愛されるお店。「味は生きもの」を基本理念に、日々美味しさを追求している。よく煮込まれた豚モツを使ったモツ煮丼も人気のメニュー。



YT



奥藤

江戸 明治 大正 昭和 平成

奥藤本店 国母7丁目5-12

こだわりの手打ちそばと、ほうとうの名門。甲府名物・鳥もつ煮を生み出した老舗そば店

大正2年(西暦1913年)甲府駅前に開店。創業100年を超える老舗そば屋である。近年、山梨のご当地グルメとして注目を集めている「甲府鳥もつ煮」は、昭和25年(西暦1950年)頃この店で誕生し、甲府近郊へと広まった。

奥藤本店としては「国母店」と「甲府駅前店」の2店舗が現在営業中。暖簾分けによるお店も多数あり、本店の2店舗に奥藤暖簾会もいれると現在10店舗ほどが営業している。

昔ながらのこだわりのそばの美味しさは言うまでもなく、さらに、清流で育った芦川産の生わさびを1本、もり蕎麦2枚、葉わさびの醤油漬けがセットになっている逸品「甲州生わさび蕎麦」も人気。





奥藤本店オリジナルの「だったん蕎麦プリン」は、新鮮な卵や牛乳に、だったん蕎麦のエキスを入れてヘルシーなプリンに仕上げられている和風スイーツ。

YT



発酵酒場 かえるのより道

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目20-21

山梨県に根付く甲州合わせ味噌や麹で作った甘酒、酒粕、塩麹などの発酵調味料を活用した食事と、山梨県産ワインや全国各地の個性的な純米酒が楽しめるお店

「むかえる」「無事かえる」など縁起物で畑の神様とも言われる「かえる」をメインに据えて甲府ぐるめ横丁1Fで創業はしご酒でちょっと寄り道して欲しいと命名した。「食べることの楽しさに立ちカエル。」という思いも込められているという。

平成27年に創業後、平成29年11月より現在の地に移転。移転を機にロゴマークを一新した。カエルを想像させる蓮の葉とオタマジャクシが隠れている。日本の伝統的な発酵調味料や世界各地の発酵食品を使い“しみじみ美味しい”を発信している。化学調味料を一切使わず、発酵調味料も出来る限り手作りしているこだわっぷり。

発酵＝健康だけではない、美味しさにあふれる食事とお酒。ぜひ堪能していただきたい。



YA



カフェ・クレプスキュール

江戸 明治 大正 昭和 平成

山宮町3371-632 山宮ハイタウン

ふくろうが印象的なカフェ・クレプスキュールのロゴマーク。1991年創業の甲府本店は山宮ハイタウンの頂上にある

創業時から使われているふくろうのロゴマーク。

カフェ・クレプスキュールは甲府本店の他に吉祥寺にもあるヨーロピアンスタイルのカフェレストラン。クレプスキュール(Cépuscule)はフランス語で「黄昏」という意味だ。店舗は街の喧騒から離れた場所にあり、木材をふんだんに使用した癒しの空間になっている。大きな窓からは晴れた日にはどの席からも富士山が望め、天候により運が良ければ雲の上にいるような景色を眺めることができる。おすすめの自家焙煎の珈琲はマイルドですっきりとした、透明感のある味わい。

目指したのはヨーロッパのカフェ。開店から閉店までどの時間帯でも珈琲一杯でゆったりと過ごせる、大人のための癒しの空間。オーナーの奥様は「ガラスの仮面」の作者として有名な美内すずえさん。



SK



かにや銀座店

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目13-9

銀座通りにある夜限定営業の、昔ながらのおにぎり専門店。甲府で飲んだ後の「シメの文化」を担っている

中心街で30年以上続く、家庭的な雰囲気の店で出される手作りおにぎりは、甲府で飲んだ夜のシメに訪れる常連で賑わう。
ちょっとした酒の肴やアルコール・ソフトドリンクもあり、カウンターで飲んで最後はおにぎりでシメる、飲んだ後のシメとして立ち寄る、持ち帰りしてお土産にといった多様なシーンを受け入れる。おにぎり・お茶漬け・みそ汁と、飲んだ後に立ち寄るには嬉しいメニューが揃う。

カウンターのみの店内は、落ち着いた寿司屋の雰囲気をイメージさせる。提供されるオーソドックスな三角おにぎりは、手握りならではのフワリ感に包まれている。



YT



旬彩そば かさふじ

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目2-7

甲府駅南口のちょうちん横丁にある昭和24年創業の老舗蕎麦店。創業当時からの味として守り続ける秘伝の蕎麦つゆは絶品

創業からの歴史と伝統の味を守る老舗そば処。その昔、韮崎に店を構えていた「旬菜そば かさふじ」は今の店主が三代目となる。先代から守り続けた蕎麦つゆは、カツオを中心とした数種類のダシによって作られる秘伝の味。
そば以外にも居酒屋メニューが充実しており、添加物を一切使用しないなめらかな「手作り豆腐」や、そばつゆに漬け込んだ上品な味わいの「鶏の唐揚げ」等、ここでしか味わえない料理が並んでいる。また、料理に使う素材も山梨県産の旬の野菜や、店主自ら目利きした新鮮な魚介類な度が厳選されている。

昼のランチタイムは平日のみの営業。店内はカウンターと座敷があり、各種コース料理も取り揃えている。夜の定食も630円とリーズナブルな値段で、他にもざるそば380円、おにぎり50円などお財布に優しい価格で提供されている。



YT



割烹 三井

江戸 明治 大正 昭和 平成

寿町2-11

『丸に尻合わせ三つ蔦』の家紋が入る看板が目印の割烹料理店は、創業から35年以上続く名店

料理の美味しさを最大限に高める為に甲府市地方卸売市場へ通い食材を仕入れ、地元の食材を厳選し、鮮度の良い旬の食材のみを仕入れるこだわりを大切にしている。
割烹料理店でありながら、居酒屋のように気軽に利用できるようにと、リーズナブルなメニューも多数取り揃えてあり、ランチタイムには日替わりのメニューが700円で提供される。
店内は大きな座敷があり最大40人収容可能で各種宴会などでの利用ができるようになっている。

YCC文化ホールに近く、芸能人や著名人の来店も多い。裏口からは店内の完全個室に入ることが出来て、お忍びでの来店にも対応している。この完全個室は、御手洗いも別に用意されているという徹底ぶり。



YT



かれん

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目6-4 芳野ビル2F

かれんは、当初店名が「花紋」であった。その後「花蓮」としたが、台湾と間違える人が多く、現在のひらがなに落ち着いたそう

かつて四十数軒の飲食店が営業し、県下最大の飲食店ビルだった芳野ビルは、平成27年に「甲府ぐるめ横丁」として改装オープンした。その中で旧芳野ビル時代から灯りを灯し続ける名店「かれん」。
昭和52年に開業、山梨の財界人の話し相手をしてきた人生経験豊富なママの、人情深いアドバイスを聞きたくて足繁く通う客もいるという。
最近「甲府スナック横丁」となった芳野ビル2階ではダントツの老舗で、落ち着いた雰囲気の店内はとてもリラックスできる。

カラオケは歌い放題。自分で歌うのも楽しいが、ママの美しい歌声を聞かせてもらうのもまた楽しみの1つだ。



YT

くさ笛



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目20-23

甲府の数ある横丁のお店の中で、代表格の呼び声高い老舗名店。大通りからもお客を呼び寄せるくさ笛の看板はインパクト大

甲府の路地横丁でも特に有名な老舗の名店、くさ笛。
昭和39年の東京オリンピックの年にオリンピック通りが開通して以来、ず〜っと店を切り盛りしている酒好き・おしゃべり好きの元気な名物女将は一度行ったら忘れられない程キャラが濃い。
超ベテランの女将の料理は何を食べても美味しいが、特に女将自ら山に入り採ってくる春の山菜と秋のキノコは絶品。山梨の地酒を中心に、全国の銘酒を取り揃えていて、これを女将と酌み交わせば更に盛り上がること間違いなし。
その日に足を運んだ客を大切にする予約不可制なので、はしご酒を楽しみながらちょくちょく覗くのがコツだ。



カウンター14席のみの横長な店内。いつも満席なので、新しいお客さんが来たら席を詰める客同士の譲り合いが温かい。

DS

駅前酒場 くしっちゃ



江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目1-8

平成19年創業、甲府駅南口に程近い創作料理居酒屋。リピーターの常連が多く、当日の飛び込みは難しいので予約は必須

居心地の良さ・サービスの良さ・スタッフの明るい対応と、丁寧な仕事ぶりが感じられる料理に、評判も高く一度訪れるとそのまま常連になる人が多いお店。創作料理は山梨県産の新鮮素材を用いたメニューが並ぶ。中でも揚げたほうとうの入った信玄サラダやトロトロもつ煮、鳥もつ煮は県内・県外どちらの客にも人気が高い。また、毎日串打ちされる新鮮な焼き鳥は、絶品の外せないメニュー。さらに、串だけじゃなく洋風物、ご飯物、スイーツと多種多様に揃う。
店内には半個室的スペースもあるので、ゆっくり話をしたい人にもおすすめ。



ドリンクは幅広く国内の銘酒が揃い、山梨県産の地酒・ワイン、オリジナルカクテルなども豊富。特に焼酎の品揃えは秀逸。

YT

熊鰹
(くまかつお)



江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目16-11

関わる皆様の家内安全と商売繁盛を願う熊手の熊と、わら焼き塩たたきの鰹を組み合わせて熊鰹と名付けた。ロゴの中の鰹も元気そうだ

「地元山梨の皆さんに、高知本場の鰹のわら焼き塩たたきを」そんな想いから2015年にオープン。運営会社社長の小林さん(甲府市出身)の妻が高知出身だったことがきっかけだそう。
どこか懐かしく、かといってお洒落で、遊び心も忘れない魅力的なロゴマークはそのままお店を表現しているように感じる。5周年の際には、熊鰹のマークが入ったトートバックが配られた。
産地直送のカツオをお客様の目の前で藁焼きにする看板料理の藁焼き鰹のもパフォーマンス性だけじゃなく、炙り加減も絶妙。他の土佐料理もバツグンだ。





丸の内にある熊鰹の系列店は現在4店舗。甲府市丸の内の「熊鰹」「BEAR Bonito」、中央の「大衆酒場 熊鰹」、韮崎市の「熊鰹」いずれも人気店だ。

YA

うなぎ割烹 黒駒楼



江戸 明治 大正 昭和 平成

青沼1丁目3-13

江戸時代の創業から300年程続くと言われている山梨で最も古い老舗うなぎ専門店のひとつ

黒駒楼の屋号は、一説には甲州の侠客「黒駒の勝蔵」にあやかったものと言われている。関東風の焼き方で提供されるメニューは、うな重の並〜特上、中入れ丼と白焼き。他には肝煮、茶碗蒸しなどが味わえる。
甘さ控えめという意見の多いタレは脂がのっている鰻に丁度良く、鰻自体の身は香ばしい表面とフワフワの中身。
店内入口のショーケースには「天皇皇后両陛下にご賞味賜ったうな重」と表記されている食器が飾られている。



店内は1階がテーブル席で、2階は座敷席が用意されている。営業時間は昼11時〜14時と、夜16時〜20時。満席で入れないことも多いので、行く直前に席状況の確認をするか・予約をお勧めしたい。

DS

ほうとう小作

江戸　明治　大正　昭和　平成

北口1丁目4-11

昭和47年創業の老舗ほうとう専門店。甲府駅北口店、南口の駅前店など10店舗を山梨県と長野県で展開している

「甲州名物といえば信玄公にブドウにほうとう」、「うまいもんだよ、かぼちゃのほうとう」「一度食べたら忘れられない小作のかぼちゃほうとう」といった文章は、一度は目にしたことがあるといっていい程に有名なキャッチコピー。
「熟瓜ほうとう」はかぼちゃのほうとうで看板メニューのひとつ。その他、スープに小豆やコチュジャンを使用したものや、具材に鴨肉や猪肉、熊肉やスッポンを使用したものも提供している。また、冷やしほうとうである「おざら」や定食物、馬刺しや鮑の煮貝などもメニューに揃う。



小作のほうとう麺は、もちもちとした麺の食感を出す為に試行錯誤を重ね、特に粉の配合にこだわった秘伝の割合を代々受け継いでいる。創業以来40年間変わらぬ味に行列が出来るのも納得である。

YT

栄ずし



江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目15-9-1F

ダイナミックな文字が踊る看板と暖簾(のれん)。味わいのあるこじんまりとしたカウンターのみのお店は、昭和～平成～令和へと激動の時代を見守るオアシスのような存在

歴史を感じる門構えにほっとくつろげるこじんまりとした空間、老舗のお寿司屋さんと聞くと敷居が高い印象があるが、こちらではお手頃価格でお寿司を楽しませてくれ、大将の人柄も合間って、気軽に暖簾をくぐることができる。
甲府のお寿司といえばシャリが大きいのが伝統だが、大将の握る寿司はシャリが小さめで糖質を気にする現代人に優しい。
気さくでサービス精神旺盛な大将で、何を頼むか迷った時には予算を伝えてお任せで握ってもらうのもまた楽しい。



座席はカウンターのみ。この距離感がいい。
昔は深夜3時まで営業していたほど中心街も賑わっていたそうで、表の看板には「立喰い」の文字が入っているのでそちらもぜひ見つけていただきたい。

DS

酒場日々

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目15-8

オーナーの前職の社長に書き下ろしてもらった文字を、和紙を切り貼りした徳利で飾ったマークはかわいらしく楽しさが感じられる

酒場日々の名は、一日一日を大切にすると言うこと。日々精進すると言うこと。一日一日の積み重ねだったり、永く商売が出来るように、と願いを込めて付けられた。人類最古にして最高の調理法と言われる「原始焼き」と産地直送の新鮮なお魚や優しいおばんざい、日本全国から集めた店主こだわりの地酒、落ち着く空間、何より明るく元気で気の利くスタッフ、また来たいと思うお店だ。





スタッフの笑顔を大切に。休むときは休み、スタッフで遊びにいくことも・・素敵なお店になるのも納得！

YA

串焼将軍 じゃじゃまる



江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目2-10

美味しい鳥にこだわったメニューを中心として食べ放題+飲み放題で味わえる山梨のローカルチェーン居酒屋

じゃじゃまるは山梨県下初の青森シャモロック(室内庁御料牧場に認められた究極の地鶏肉)を中心としたメニュー構成、他にもこだわりのメニューばかりのライナップになっていて、食べ放題+飲み放題が売りの多くの人訪れる人気店。リピーターもとても多い。食べ放題+飲み放題で2,980円(税別・取材時点)と驚きの破格値段。
じゃじゃまるはとてもわかりやすいところにあるので一度は目にしたことがあると思います。お店が二階にあるので注意が必要です。何種類かの肉料理が楽しめます。究極の地鶏肉はとてもおいしいメニューです。





入り口の上に大きな字で書かれたじゃじゃまるの文字が目印。炭のマークが入った提灯も気になるデザイン。

DN

スコット

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目3-1

甲府中心街の弁天通りにある洋食店。銀座8丁目当時のハイカラな「レストラン・スコット」で修行した先代の早川半弥が暖簾を分けてもらい、昭和32年に創業した



レトロ調な「Scotts」のロゴマーク。暖簾を分けてもらった銀座「SCOTT」のロゴマークとは異なるもので、イギリスの有名なレストラン「Scotts」から貰い受けたもの。先代の師、銀座スコットの料理長が帝国ホテルの初代料理長を務めていた時の事。イギリス大使館からの来客に料理を振る舞った際、イギリスにもスコットという有名なレストランがあるという話を聞いたのがきっかけとなり、暖簾分けの際に、看板は銀座のスコットの看板でなく、イギリスのスコットの看板をつけさせてもらったらどうかという提案があったのだそう。それが現在使用しているロゴマークとなる、縁を感じる由来だ。今や貴重となりつつある正統派洋食店、そのてまひまをかけた豊かで丁寧な味わいにファンも多い。



スコットのおすすめメニューはオムライスやコンソメスープなど。二代目の早川洋一シェフが伝統の味を守りつつも、新しい味を追求している。
近年では、富士山オムライスも人気、洋食ならではのインスタ映えもあり、雑誌などにも取り上げられている。

SK

そば処 奥義 (おくよし)

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目12-15

平成元年から使用しているロゴマーク。店主河西さんの親戚である看板店の石川さんがデザインしたもの



甲府中心街で大正10年(西暦1921年)から続く老舗のそば店。平成元年に店舗を建て替えた際に、ロゴマークも現在使用しているものに改めた。
奥義のそばは味もさることながら、驚くのはその値段の安さ。お昼時にはワンコインの盛りそばや掛けそばを目当てに近隣に勤めるサラリーマンでいっぱいになる。また、そばやうどん以外のサイドメニューも充実しているので、夜はお酒を飲みながらそばを楽しむ人も多い。
無尽や宴会を頼んだ際にはちょっとした要望にも丁寧に応えてくれる。

創業者である河西義忠(さかいよしただ)さんの名前に因んで「奥義」と命名。四代目店主のおすすめはミニとりもつや天ぷらがついているそば定食。色々な味が楽しめる上に、そばが3杯までおかわり自由!



SK

そば処 尾張屋

江戸 明治 大正 昭和 平成

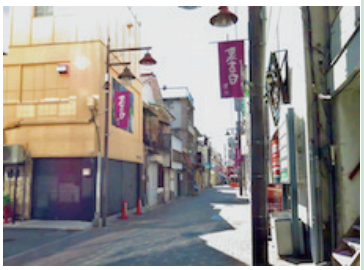
中央1丁目17-9

すでに閉店しているが、看板は今も残る。今も通るたびに当時の思い出を浮かべる人もいるのだろう



昭和40年代、今の甲府セントラルビルの場所に魚茂鮨という名店があり、そこの娘さんと婿さんの河西さんが開いたお店。
間口は広くなく、奥に長い店づくり、手前にテーブル席、奥に厨房とカウンター席がある。カウンターの上には料理用の沢蟹の入った水槽があったのが印象的であった。
この店の印象は更科系ということよりも、真夜中まで開店していたという事だ。ラーメンよりも罪悪感が薄いと、〆を求めた大勢の酔客で遅くまで賑わっていた。

そば処尾張屋があった裏春日通りは、飲食店はもちろん、風俗街もあれば、老人ホームもあり、迷宮(横丁・路地)への入り口もあるという、個性の強い通りとなっている。



YA

中華レストラン さんぷく

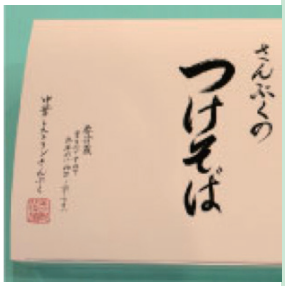
江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目4-9

創業昭和36年の老舗中華レストラン。昭和40年代前半に誕生した「つけそば」を今も変わらずに提供している

高度経済成長の真っただ中である昭和40年代、当時中華の冷麺といえば、冷し中華が主流であった。創業者の安藤喜久道は、「もりそばのように夏向けの食べやすい中華麺がないか…?」と、「つけそば」の商品開発に取り組んだ。以来、温かい中華スープと腰のある冷たい麺を美味しく食べるにはどうしたらよいか?という疑問を常に抱き、スープの開発から麺や具材に至るまでの開発に5年間という期間を費やし、従業員のまかない料理として食したのが“つけそば”の始まり。
昭和45年三福浅草街店にて、広東料理が主であった事もあり「広東珍麺 つけそば」として販売を開始する事となった。

一般的にはつけ麺と呼ばれることが多いが、日本生れの中華料理という事と、もりそばのイメージからつけ麺ではなく「つけそば」と名付ける事になったという。店内では「つけそば」以外にも様々な中華料理が楽しめる。



YT



たこ焼き居酒屋 祭

江戸　明治　大正　昭和　平成

朝日4丁目7-11

甲府駅北口側エリアで、夫婦で営むたこ焼き居酒屋。平成21年オープン。たこ焼きの評判は山梨県で一番という意見も多い。県内の様々なイベントにも出張する

甲府駅から徒歩10分程、朝日通り商店街を北へ進み、山の手通りを渡って行くと、たこ焼きの赤い提灯にたどり着く。ふらりと立ち寄れる雰囲気の店は、たこ焼きのお持ち帰りカウンターが目印。予約をしないと早い時間は入店できない程人気のお店。

飲食はテーブルのメモ用紙に記入してオーダーするセルフ方式。このシステムにより激安価格で様々な料理が楽しめる。店内には、昭和レトロなポスターや小物が飾られてホッとする空間が提供されている。また、店主ご夫婦の穏やかな人柄も魅力。



入口にあるたこ焼きのお持ち帰りカウンターの右手は、完全予約制の個室。入口も別になっていてカラオケパーティーなどが楽しめる空間。イチオシは、もちろんアツアツのたこ焼き。

YT



辰美寿し

江戸　明治　大正　昭和　平成

上石田2丁目26-14

昭和50年創業、南西銀座北の交差点からすぐそばにある寿司店。手仕事、鮮度にこだわる職人芸を堪能することができる。

入荷状況に応じた日替わりの食材を中心に、新鮮なネタを提供してくれる。落ち着いた雰囲気の店内、シックなカウンター席で職人技を堪能できる。

季節に応じた旬の食彩から選ばれた鮮度の高い鮮魚切身を、小さめに丸めた「特上寿し」は芸術的ともいえる色合い豊かな逸品。

日本酒の品揃えも豊富で、つまみとの相性を選ぶ楽しさを味わえる。もちろん山梨産のワインも堪能できる。



店のオリジナルとも呼べるメニューの鯖ガリ巻やワサビ巻といった巻物を、飲んだ後の締めで頼む常連客も多い。

YT



トラットリア・ピッツェリア チリンドロ

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内2丁目15-14

石窯ナポリピッツァと本格イタリア料理の店。チリンドロとはイタリア語でシルクハットの事を指す

甲府駅南口からほど近い場所にあり、入口近くに積み上げられた薪がアイコンとなっている。南イタリアのナポリからやって来た石窯で、薪を使って焼きあげるナポリピッツァや、前菜・パスタ・生ハムやチーズ・魚介料理や肉料理・おつまみ・ドルチェと様々なイタリア料理がワインを中心に様々なドリンクと楽しめ、ランチ・ディナーともに大変人気のお店となっている。

イタリアのスローフードの文化に倣いオーガニック素材にこだわり、地元山梨の豊かな食材をふんだんに用いた上質な本格イタリア料理を提供している。





「甲府は、もっとハイカラである。シルクハットを倒(さか)さまにして、その帽子の底に小さい小さい旗を立てた、それが甲府だと思えば間違いない。きれいに文化の、しみとおっているまちである」と書いた太宰治の「新樹の言葉」が店名の由来となった。

YT



アジア屋台メシ SPICE (スパイス)

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目8-9

平成30年オープン、甲府駅から徒歩数分の平和通り沿いにあり、タイ・ベトナム・シンガポール・台湾などのアジア屋台料理が食べられるお店

店内はカウンターがメインのアジアンカジュアルな雰囲気、アジア屋台料理と広く括ってあるだけに、タイ・ベトナム・シンガポール・台湾など広く色々な料理が気軽に食べられる。ガパオライス、フォー、パッタイやバインミー、ルーロー飯、青パパイヤの料理ソムタムなど、多彩でアジアンハーブやスパイスの効いたメニューはまた食べたくなる味。

ランチ・ディナーの営業をしており、夜は海外のビールやカクテル、クラフトビールなどをスパイシーな料理と合わせて楽しむことができる。





気負わず過ごせる居心地の良い店内で仲間とワイワイやるのはいかが。

テイクアウトやデリバリー(エリア指定あり)なども行なっているので、たまには家で違う国の料理を味わってみるのもいいかもしれない。

EI

餃子・もも焼 寅(どら)

江戸 明治 大正 昭和 平成

朝日1丁目5-14

甲府駅北口から西に向かい、朝日通り商店街に入る手前にある創作料理居酒屋。店名は「寅」に濁点がついて「ドラ」

平成30年にオープンした餃子、もも焼きを看板商品とする居酒屋。オープンまもなくで、予約の取れない人気店の地位を築く。
ドリンクの看板商品はレモンサワーで、体に優しい有機栽培のレモンを使用。
新鮮な素材と、山梨県産の新鮮な食材にこだわり、数々の創作料理やひと手間かけた王道の定番料理が提供されている。
予約をした席に置かれているメッセージレモンは、おもてなしいっぱいのサービスが心に届く。明るく元気なスタッフのホスピタリティの高さも人気のひとつ。



お通しの九条ネギがのったもやしは、お替り自由で辛いもの好きにはたまらないニンニクラー油がテーブルに置かれている。山梨県産の地酒・ワインをはじめ各種多彩なドリンクメニューが並ぶ。自家製サングリアもおすすめ。

YT

とんかつ とん甲



江戸 明治 大正 昭和 平成

若松町6-43

とんかつを中心に、洋食を基本とした料理を提供する昭和46年創業の老舗店。各種定食はランチタイム以外も人気が高い

甲府市は、人口比率に対してとんかつ屋が多いと言われている。この、とんかつ激戦区といえる中で、長年に渡り人気店であり続けているお店。
使用される肉はフジザクラポークを中心とした山梨県産で、揚げ油やパン粉も厳選された素材にこだわる。
とんかつをはじめ各種フライ物の定食やオムライス、カレーライスなどを、昭和の雰囲気を残す店内で味わえる。1Fはカウンターと小上がり席に座敷席があり、2Fの座敷席は宴会や無尽などに広く利用されている



定食のキャベツはお替り自由。定食以外の一品メニュも充実しており、各種刺身、ホタテバター焼き、串カツやマグロの山かけといったおつまみにもなる品々が豊富に揃えられている。

YT

鳥料理 鳥真本店



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目16-10

提灯や看板などはひらがなで「とりしん」と表記されている。昭和37年創業、横丁で一番の古株だったが令和元年6月に57年の歴史に幕を閉じた

店名は「とりしん」だが料理の鳥は「かしわ」と読む。元々ご主人が名古屋コーチンの店で腕を振るっていたためである。なお、甲府で初めてブロイラーをやったのはご主人だそうだ。定番の串焼きは勿論美味いが、ここではとりサラダ、チキンカツ、生姜やきなどなど、茹でたり揚げたり炒めたり、調理方法毎にいくつもメニューがあって実にバリエーションが豊富。締めの一番人気「チキンライス」は絶品で、最後まで鳥尽くしを楽しませてくれる、さすがは鳥料理専門店。ちなみに「焼き鳥屋」はNGワードだ。
御代替わりで令和なって2か月後の6月末日、鳥料理一筋で57年もの間、甲府の街の賑わいを夫婦で支えてきた老舗名店「鳥真」は、惜しまれながらその歴史に幕を下ろした。



老舗名店「鳥真」在りし日の姿。日本酒が真澄一筋だったのは、ご主人(真澄さん)と同じ名前だからという辺りにも、洒落の聞いた愉快なご主人の人柄がにじむ。

DS

手毬



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目15-2

その店名の通り、手毬が描かれた看板。「柔」から「手毬」へと受け継がれたお店が呑みの締めにおにぎりを食べる山梨の文化を今日まで繋いでいる

呑みの締めにおにぎりを食べる文化のある山梨で、約50年地元の人々に愛され続けたおにぎり屋の名店「柔」。
その閉店の間際に女将さんから声をかけられて店を継いだのが、当時お店の常連だった、今の「手毬」の大将だ。
昭和の歌謡曲が流れる店内は昭和レトロな居酒屋そのもので、料理もおでんや焼き魚など和風…かと思ったら、シーザーサラダなどの洋風のメニューもあり、レパートリーが多彩で女性の人気も高い。それでも一番人気はやっぱりおにぎり。梨北米のおにぎりとお味噌汁が、酔った体を癒やしてくれる。



常連さんの提案で始まったオリジナルの「手毬ハイボール」は、ウィスキーをレモンサワーで割ったもの。酔いが回るので2杯制限がかけられている(笑)
「春夏冬中」の表示板。洒落の効いた表示。さて、何と読む？

DS

ナチュラルグレース

江戸　明治　大正　昭和　平成

上石田2丁目25-1

野菜とシーフード中心の自然派レストラン。無添加にこだわり、からだとこころにやさしい料理を提供している

シンボルの上部には「自然の恵みを大切に。からだと心にやさしいレストラン」の文字。イタリアンテイストのベジタブル&シーフードを中心にしたヘルシーでバランス良い自然派レストランを目指し、平成6年にオープンした。

近年は、出来る限り添加物を排除し安心して食事して頂くという思いに加え、身体だけでなく心にも良いサービスを目指して“からだと心にやさしいレストラン”として人気を得ている。

季節ごとのメニューやコースがあり、さらに店内は様々なシチュエーションに対応できる大小様々な個室がある。山梨全土に配達を行う自然派の宅配弁当、三毛猫キッチンも人気。



化学調味料・合成保存料・精製されすぎた食品や調味料はできるだけ使用しないように心がけており、ソース・ドレッシング・マヨネーズなど、すべて無添加の自家製にこだわりを持っている。

YT

びすとろ 萄pe'溜（ドンペリ）

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目14-12

落ち着いた雰囲気のダイニングバーとして、中心街にひっそり佇む大人の空間。ランチタイムもある

緑あふれるエントランスの先には、洗練された内装の店内が。店内は静かで、音楽も落ち着いた雰囲気を演出している。山梨県産の甲州ワインなどを、大切な人との優雅なディナーを楽しめる。1Fのテーブル席のスペースは、貸し切りパーティーなど各種催事利用にも対応してくれる。料理はフレンチを主体とした創作料理でコース料理が味わえる。2Fは会員制のバーとなっているとか。



ランチタイムで提供される料理にはファンも多く、肉汁がたっぷり溢れるハンバーグ・サラダ・スープ・デザート・コーヒーで1000円というリーズナブルな価格。

YT

ビストロ メゾン・ド・ルージュ

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目14-10 F1-B

レンガを基調とするオリオンイーストに溶け込むように、フランスのビストロを思わせる佇まいのメゾン・ド・ルージュ。並ぶワイングラスが楽しいじかんが待っていることを知らせてくれる

オリオンイースト通りに佇むビストロ メゾン・ド・ルージュは、フレンチながら敷居の高くないお店で、「フードコーディネーター1級」「ソムリエ」「パティシエ」などの資格を持つオーナーは、できるだけお客様の要望に応えてくれる。

お洒落な店内で山梨の旬の食材を使った手作り料理と山梨のワインをリーズナブルに楽しむことができ、ふらっと訪れて「お一人様オードブル」を楽しんだり、希少なワインで大切な人と素敵な時間を過ごしたり、ランチメニューの「昔ながらのナポリタン(大盛り無料)」で午後の活力を充填したりと、様々な用途で活躍している。



お洒落な店内。奥はテーブル席でゆっくり。お一人様は手前のカウンターで横丁文化も楽しめる。
料理は全て「手作り」のこだわりを大事にしている。

DS

フォーハーツカフェ

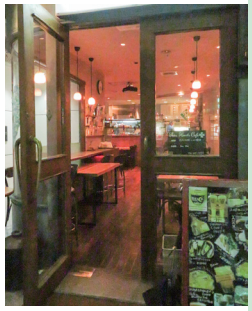
江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目16-13 ヤマサビル1F

平成12年(西暦2000年)に仲間4人で始めたお店で、差し出されたハート4つ。そして四つ葉のクローバーは世界のどこでもラッキーシンボルなのでマークにしたという

「田舎だからこそジャンルにとらわれず地元山梨に自分たちの知識と経験をめいっぱい提供する。」そんな想いが詰まったフォーハーツカフェは、カフェと言いながら、地元食材を上手に使ったメニューと山梨のワイン、樽生でいただけるクラフトビールの数々などがあり、レストランでもワインバーでもある。フォーハーツカフェならではの味、ペアリングが多彩でリピーターが多いのも頷ける。県外から旅行の度に訪れるファンも多い。山梨のワインをグラスで飲み比べられる辺りも人気の理由であろう。

甲府駅北口側の山梨文化会館の2階にD&DEPARTMENT併設の店舗があったがD&DEPARTMENT閉店に伴い惜しまれつつ閉店。ほかに、山梨県立図書館のカフェの運営も行なっている。



オーナー兼店主の大木さんは山梨ワインツーリズムの代表理事でもある。

YA

屋台おでん ふぐの富久亭



江戸 明治 大正 昭和 平成

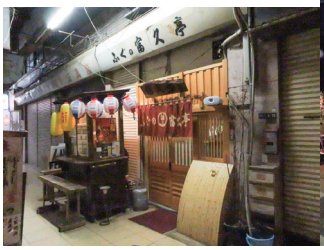
中央4丁目3-13

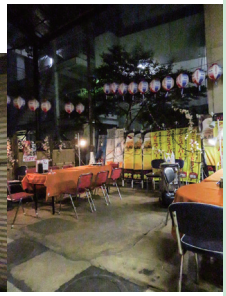
中央に合わせ家紋を配した暖簾。昭和41年創業のふぐの富久亭は屋台からお座敷まで色々な訪れ方ができるお店である

甲府中心街の仲見世通りに店を構え昭和41年9月創業、創業から50年以上のふぐ・スッポン・うなぎ料理を出すお店。これらの料理は2、3階のお座敷でゆっくりいただける一方、1階のカウンター席と屋外の屋台ではおでんを中心としたお手頃価格のお料理で気軽に一杯という楽しみ方もできる。

特に人気が高いふぐ雑炊は絶品で、現在の2代目店主は、父親である初代店主のふぐ雑炊を食べて「この味なら間違いない」と店を継ぐことを決意したという。にこやかな大将の人柄もこのお店の魅力。

屋外の屋台は屋根付きで、万国旗の下で1年中いつでもお祭り気分を味わうことができる。カウンターではちょいと一杯。
ふぐ・スッポン・うなぎ料理の方は2・3階へひっそりとどうぞ。





DS

Fluunt KOFU (フルウント甲府)

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目1-1 飯田ビル1F

甲府の街で、身体にも地域にも環境にも良い流れ、を作る源となるお店になるようにとラテン語で「流れ」を意味する「Fluunt」と名付け、ロゴには山梨の人や文化が交流し花開く様子が描かれている

桜通り商店街内、桜座の北隣にあるFluunt KOFUは、平成28年にオープンした甲府では希少なヴィーガン仕様のベジカフェである。

ヴィーガン仕様とは100%植物性を意味し、肉や魚は勿論、卵や乳製品を含むあらゆる動物性食材や化学調味料を一切使っていない…はずなのに、メニューにはバーガー、唐揚げ、ナゲットなどの挑戦的な料理が並んでいる。予めベジ料理と聞いていなければ気付かないかもしれない程にお肉っぽさがあるのがまた面白い。焼酎やウィスキーに県産品を用意するなどお酒にも拘りが現れているが、ドリンクメニューはむしろソフトドリンクのラインナップが凄く、お酒が飲めなくても飲み放題を大いに楽しむことができる。

入口は少し奥まっているが、ガラス張りの開放的な店内、小物の販売も行っている。「野菜でも美味しい」ではなく「野菜だから美味しい！」を合い言葉に、身体にも環境にも優しくてボリューミーなお料理を提供してくれるお洒落なお店だ。



DS

割烹 みな金



江戸 明治 大正 昭和 平成

宝1丁目10-2

創業大正14年(西暦1925年)。94年を超える老舗割烹店。落ち着いた風格のある建物は歴史と品格を感じさせる

接待、会合、送別会と幅広く利用される懐石料理は、品数も豊富なコース料理が味わえる。提供される料理のひとつひとつが素材を生かし丁寧に仕上げられた手の込んだ逸品揃いで、自家製のカラスミは絶品という評価が高く、山梨県産の地酒・ワインと共にじっくりと楽しむことが出来る。

甲州産赤ワインは厳選されたプレミアムクラスも置かれていて、入手困難な品々はビンテージファンにはたまらないお宝。

駅から程近いが、繁華街からは少し離れた場所に位置し、喧騒とはかけ離れた空気が流れる中で、ゆっくりと旬の食材を堪能することが出来る。



YT

柳寿司



年代不明

中央4丁目3-2

柳小路飲食街という細い路地裏に柳寿司という寿司屋が、かつてあった。当時の面影を残す看板が懐かしい

懐かしい雰囲気いっぱいの路地裏「柳小路」は、その昔甲府城築城に伴い古府中に存在した柳小路(元柳町)の名が、城下町であった現在の地へと移された。江戸時代に甲州街道の宿場町として栄えた柳町は、大正から昭和にかけて甲府繁華街の中心地となり、高度経済成長期の時代にはスナック街として毎晩多くの人で賑わっていた。そんな活気あふれる柳小路の入り口に柳寿司は店を構えていた。

時代の流れとともに空き店舗が増え訪れる人も減っていたが、近年は新しく様々な店が立ち並び、活気を取り戻している。足を踏み入れた途端に時間の流れがゆったりと感じられる心地いい場所。



YT



ヤマフジ

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目13-9

平成24年にオープンした焼きそば・お好み焼き・もんじゃ焼き・たこ焼きなどのコナモノが楽しめる店

中心街の銀座通りにある焼きそば・お好み焼き・もんじゃ焼き・たこ焼きなどのお店ヤマフジでは、居酒屋感覚で本格的な味が味わえる。B1グランプリにも輝いた富士宮焼きそばも人気メニューのひとつ。店内にはソースの香りが漂い、食欲をそそられる。メニューの品々はテイクアウトも可能で、飲んだ後の締めに利用されることも多い。追加トッピングも充実しており、明太子、イカ、肉などや、珍しいものではレタスなどもある。

やきそば、お好み焼き、たこ焼きはテイクアウトに加えて、近くであれば出前もしてくれるのでありがたい。



YT



居酒屋やまぶき2号店

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目20-23

平成26年にオープンしたオリンピック通りにある居酒屋。夜遅くまで賑わう。店の向かいが元1号店である

居酒屋やまぶきの1号店でお手伝いをしていた姪っ子さんがオープンさせた2号店。安定したおいしさのおふくろの味を提供する1号店を引き継ぎ常連さんで毎晩賑わう。

1号店は閉店しましたが、カウンター主体の店で営業時間は19時から深夜1時まで。宅飲み感覚で楽しめる店の最近の人気メニューは、にら豆腐、つくピー、からあげなど本店より引き継いだゆるぎない味が多数あります。

本店の味も引き継ぎつつ、二号店独自のメニューもあります。
落ち着いて飲める安心できるお店です。安くて安心おふくろの味。ぜひ足を運んでみてください。



YT



洋麺屋 楽
(ようめんや らく)

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目14-14

覚えやすくバランスの良さから、シンメトリーの文字から楽を選んだそう。それを草書で崩して、インパクトと親しみやすさを表現した

昭和61年創業。店名には、人生、喜怒哀楽あっても、最後に楽にたどり着きたいと言う願いも込めている。

楽と言えば和風パスタ、その中でも博多「かねふく」の明太子を使った明太スパゲッティは一度食べたら忘れられなくなる味とファンも多い。パスタの種類が豊富なため、迷う楽しみもたっぷり用意されている。

マスターの北村和人さんは「シニアソムリエ」の資格を持ち、甲州市のワインの品評会の審査員も務める、ワインのエキスパート。ワイン好きが集まる店でもある。

オリオンイーストの一角で30年以上、甲府のパスタの老舗。名物マスター夫妻が迎えてくれる。





YA



ristorante Koen
(リストランテ・コエン)

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央2丁目12-9

平成29年にオープン。「小さいご縁も大切にしたい」というコンセプトに、縁を円と捉えたデザイン。店のロゴマークは、シェフの奥様がデザインした。

都内のピザの人気店で修行してきた姉と、星付きのイタリアンやフレンチ、パティスリーなど様々な修行を重ねてきた弟が地元山梨に戻り、姉弟で始めたレストラン。野菜とピザは姉の小池真由美オーナーが担当、その他の料理は小池陵太シェフが腕をふるう。

大きな薪窯の見えるオープンキッチンのカウンターでのライブ感も魅力のひとつ。山梨の素晴らしい恵みを味わってほしいと、新鮮な地元野菜をメインに使用した季節によって変わるコースメニューは”驚き”を取り入れ、味はもちろん目でも楽しめる料理ばかり。



姉弟それぞれの素晴らしい経験により裏打ちされた確かな味がファンを魅了する。ワインの醸造家を招いてのメーカーズディナーが行われることも。

YA

レストラン＆バール キリン館

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目4-8

創業は明治38年(西暦1905年)で創業から115年を超えて営業していた。昔ながらの仕込みと味を守り続けていた洋食の名店であった

創業以来変わらぬレシピを守り続けられた味は、老舗洋食店ならではのなせる業。下ごしらえに手をかけた奥深い味の山梨県産甲州ワインビーフを使用したビーフシチューやハンバーグにかけられたデミグラスソース。オニオングラタンスープは「たかが玉ネギ、されど玉ネギ」と表現され、一度に20kgの玉ネギを一気に4〜5時間炒めて作られるという正に手仕事のスープの王様。思いを馳せてみてももう食べられない。しかし、そんなよいお店があったことを残し、また今ある貴重な老舗を大切にしたいと思う筆者である。



長く続いた老舗の店は、昔ビヤホールとして営業していた時代もあるという。山梨県内で初めてキリンの生ビールが提供されていたという輝かしい歴史も持っている。

YT

ラーメン六角亭



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央4丁目3-16

仲見世通りと桜通りに面した、辛さが選べる担々麺の人気店。濃厚な白ゴマのスープにファンも多い

平成12年(西暦2000年)に創業して以来、訪れる人々のお腹と心を満たしてきた六角亭の看板メニュー「辛さを選べる 担々麺」は、他のメニューもあるのにお客の8割以上が注文する突出した人気を誇る。

「美味しく食べられるのは5辛まで」という大将の忠告を余所に30辛への挑戦者が後を絶たず、30辛を超える挑戦には大将の許可が必要。もっとも、人気の神髄は辛さへの挑戦ではなく、他店の追随を許さない圧倒的に濃厚な白ゴマのスープにあり、辛さとの調和が絶妙で一度食べたらその味は忘れられない。



影の人気メニューはネギチャーシュー。深夜まで営業しており、呑みの〆や居酒屋づかいする人も。

DS

和食あかざわ

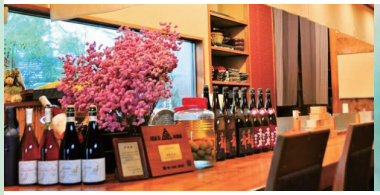
江戸 明治 大正 昭和 平成

宝2丁目19-4

地元の食材と全国から集まる季節の日本酒が楽しめる完全予約制の「新」日本料理店

山梨県産食材を積極的に取り入れたコース料理を提供。基本に忠実に、時に奇を衒う創作和食は唯一無二の味。また、春には「地元の山菜」、夏になると「淡路から鱧と雄武の毛蟹」秋は「地元産天然きのこ」、冬は「長崎から九絵や越前蟹、日向灘から直送される虎河豚」など全国から極上の食材が届く。

また、店主がお勧めする県産ワインと和食のマリアージュは、新しい和食の楽しみ方を提案してくれる。





2名〜最大20名まで利用できる大小5つの個室。また長寿の御祝やお顔合わせ結納や御食初め、七五三など、慶事の利用もできる。

昼の営業は土曜, 日曜11時から(完全予約制)、夜の営業17時半から(完全予約制)。

YT

丸八やきとり店



江戸 明治 大正 昭和 平成

平和通り店 丸の内2丁目16-7
本店 中央2丁目13-14

兄弟2人で創業、お世話になった人の名前から一字をもらい「丸八」と命名。創業65年の老舗である

精肉店に勤めていた兄弟二人が、そこの社長の勧めで独立する事に。精肉店の関係で焼き鳥店を選び、社長の名前の一字を取って「丸八」とし昭和30年10月1日に営業を始めた。当初は店舗を持たずリヤカーで屋台を引いていた。その後お城の側、太田町など甲府各所を転々とするも、現在の二ヶ所に兄弟それぞれの店を構える。

クリスマスにはモモ肉なども人気。開店当初からの常連さんもいて、長く広く愛されるお店である。



通り沿いの窓越しに見える焼き台と道に漂う美味しい匂いは甲府の素敵な情景である。

YA



漁父乃勇
(ぎょふのゆう)

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目17-8

ディープな歓楽街、裏春日通りでほっと落ち着ける居心地の良さと魚料理を中心に提供する居酒屋

漁夫乃勇は平成29年にオープンした、ウッディな壁にちょうちん、通りがかると思わず小窓を覗き込みたくなる。そんなどこか懐かしさを思わせる店構えの漁夫乃勇は、その店名からも連想されるように魚料理がオススメの居酒屋である。新鮮なお刺身はもちろん、様々な魚介料理や炭火で焼く焼き物も人気。
店内は木が多く使われ、落ち着く空間となっており、ほとんど店主自らが改築したそう。気さくな店主の人柄もこのお店の魅力である。



通りから見ると「たばこ」の文字。以前は甲府の人気店「味魅」さんが営業していた場所ということだが、その前はタバコ屋さんだったのだろうか。そういった名残もまた街と一体化している雰囲気を感じる。

EI

パスタCAFÉ かなりや

江戸　明治　大正　昭和　平成

甲府オリオン通りから移転
中巨摩郡昭和町清水新居1380-1

昭和49年創業、山梨県の御坂からスタートし、甲府オリオン通り店、そして現在は昭和店へと移転し令和元年、惜しまれつつ閉店、珈琲mou(むぅ)として生まれ変わった

令和元年、マスターが高齢であることを理由に惜しまれつつ閉店した人気店。「かなりや」の店名の由来は、庶民的で綺麗な鳥をということで「かなりあ」を店商売だからと「かなりや(屋)」に文字ったもの。パスタCAFÉという名の通り、種類豊富なパスタをはじめとしたメニューと、テラス席もあるゆったりとした空間が人気のカフェで、ランチタイムはもちろん、スイーツやドリンクも充実しており夜まで通し営業。ランチ、カフェ、ディナーとあらゆる時間帯で賑わうお店であった。その種類豊富なメニューと居心地の良い空間を作り出す、スタッフの心遣いもまた人気の秘訣であったように思える。

かなりやは閉店したものの、現在はワンちゃんOKの喫茶店、珈琲mouとして営業中。窓から見える緑と心地よい光、ゆったりとした空間はそのままに感じられる。



EI

Cafe&bar freebar-d
(フリーバード)

江戸　明治　大正　昭和　平成

武田1丁目4-38

freebar-dには『自由人の止まり木』のようなお店を作りたいという想いが表されている。工作好きのオーナーがお店を改装して平成22年に開業

人生を楽しむ人々が集う場所、料理好きのママさんが手作り料理を振る舞う中で、音楽好きが集まってライブをしたり、手作り雑貨の販売やワークショップが行われるなど、『好き!』が集まって活きる空間。
メインメニューはピザとパスタにコーヒーで、通常営業は18時までと一見ランチタイム限定かの様だが、実は真価を発揮するのは予約制になる18時以降。予約制のパーティータイムは気心の知れたメンバーで、ライブやワークショップなど思い思いの形で楽しむことができる。勿論料理も注文できるので、自慢のピザやパスタを活かしたワイン会なんて最高だ。『自由人の止まり木』というキャッチフレーズを見事に体現している。



山の手通り沿い、新紺屋小学校西の信号の角にあるCafe&bar freebar-dは、周囲と異なる外観からも自由さがにじみ出ている。

DS



Cafe Cuiller
(キュイエール)

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目19-21

Cuillerとはフランス語で「小さなスプーン」の意味、カフェをちょっと甘くしたり、スープを口にはこんだりと、すこしの美味しいものから始まる満ち足りた時間をつれてきてくれるカギのようなもの

紅梅通り沿いにあるCafe Cuillerは、地元産の有機野菜とフェアトレードのお店。お昼から開いている分、閉店は18時と早いが、木曜日と金曜日は21時まで営業。店内ではフェアトレードの商品が売られている他、アーティストのために壁を貸していたり、未来の事を考える勉強会やイベントが頻繁に開催されたりなど、社会に対する強い思いが溢れ出ている。その極めつけが、平成25年3月11日という開店日。東日本大震災から2年目、あの日を忘れないために、あえてこの日に開店したという。
暮らしに疲れを感じたら、



お母さんの声が聞こえてきそうな優しさに満ちた空間で、新鮮で安心安全な地元野菜をたっぷり使った、身体にも環境にも優しいお料理をいただいてみてはいかがだろか。

DS

GO CHEESE
(ゴーチーズ)

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目16-7 共栄ビル1F

平和通りで目を引く赤い看板、その名の通り美味しくチーズが楽しめるお店

かわいいロゴマークにおしゃれそうな店内、覗き込むと女子のためのお店と言われているようで、人によっては敷居が高いと感じるかもしれない。ところが、実際に行ってみると食事もお酒も本格派!男性が嬉しいがっつりお肉も食べられる。よく見れば、ロゴにはDELI&MEATの文字。

もちろん、女子が喜ぶインスタ映えなドリンクやデザートも充実しているが、山梨ワインをはじめとしたお酒も充実している。老若男女が好きなチーズケーキのファンも多い。

色々なチーズが食べられるのも嬉しい。甲府駅から平和通りを歩くとらすぐに見つけられるはず。カウンター席もあるので、少人数でも行きやすい。チーズ好きなら、ぜひ一度訪れてみては。



EI

EL CONDOR PASA
(エル・コンドル・パッソ)

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目2-4

浅草飲食店街で目を引く太陽の形の看板、甲府で30年以上続く個性的なダイニングバー

春日もーるから浅草飲食店街を入ると正面に見えてくるEL CONDOR PASAは、平成2年パセオ1Fにオープンし、平成9年、現在の場所に移転した。

太陽をモチーフにしたような個性的な看板の通り、お店も個性的。

本格的なカクテルがいただけるが、同時に食事も楽しめるお店となっており、店内にはDJが居る日もあるとか。マスターはディスコの総支配人を勤めていたこともあると聞けば、それらも納得である。

たて看板には人気のフルーツカクテルの今日のフルーツも。

店名のEL CONDOR PASAはスペイン語で「コンドルは飛んでいく」の意味。



EI

AKITO COFFEE
(アキトコーヒー)

江戸 明治 大正 昭和 平成

武田1丁目1-13

甲府駅北口にあるコーヒースタンド・カフェ。平成26年にオープン。店名は店主の丹澤亜希斗さんの名前から

創業から6年、甲府駅北口エリアにある2階建の小さなお店は、山梨を代表するカフェの1つとして、近年の甲府のコーヒー文化を牽引する存在となっている。コーヒー豆にこだわり、丁寧に自家焙煎し、バリスタの腕をふるって提供されるコーヒーと、丁寧に焼き上げられた種類豊富なパウンドケーキなどの焼き菓子はファンを魅了し続けている。「いつもと変わらず、美味しいコーヒーと焼き菓子があること。それがこの町の私たちとしての役目」という言葉に、極上な日常がこの街あることを感じさせてくれる。

日中ひっきりなしにお客さんが訪れる甲府駅北口すぐのお店。

令和元年には、五味醤油(甲府市城東)の味噌蔵の一部に「Tane」をオープン。焙煎所兼カフェとなっており、大きな焙煎機の実物を間近に見ながらコーヒーを味わうことができる。



EI

ジョイアルカレーサロン

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目31-1-2F

平和通りに位置するこだわりのカレーの専門店。そのこだわりは、シンボルマークにのせた思いにも表れているようだ

石和名湯館糸柳社長の情熱により生まれたカレーの専門店。20年の構想を経て生み出されたカレーはこだわりに満ちており、シンボルマークもまた強い思いとこだわりにより作成されている。「Gaea:ガイア(大地の女神)のGから、Good:(良きもの)のGへ。そして、Gioia:ジョイア(喜び・楽しさ)のGはGloria:グロリア(栄光・栄へ)のGへ。このG線をデザインしたシンボルマークは、Curry:カレーの「C」にハート:(心)を添えて創出したCurryMindを表したものです。」上記は抜粋ゆえ、全文はホームページでご覧いただきたい。

甲府店・石和店と東京都千代田区に神田錦町店があり、その味は全国メディアで紹介されるほど。

平和通り沿いの甲府店は、Jazzが流れる落ち着いた空間でゆったりと奥深いカレーを味わってみるのはいかがでしょう。ランチタイムもおすすめ。



EI

辰己(たつみ)



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目1-16

シンプルな看板におでんの文字。美味しく温かいおでんと女将さんの人柄に、季節を問わず心が温まる人気店

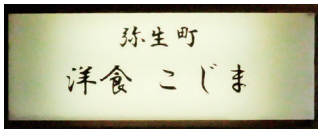
寒い時期、「おでん」というシンプルな言葉に明かりが灯っていたら、思わず誘われてしまう。そこに日本の情緒を感じるのは私だけだろうか。
辰己は、弁天通りに店を構え女将がひとりで切り盛りするおでん屋である。創業は平成7年、それまでご主人が30年間やっていたお寿司屋を引継ぎ、おでん屋さんにしたそう。通算すると50年以上弁天通りでお店をやってきた女将さん。その温かい人柄と味のしみたおでんに身も心も温まる。
種類豊富なおでんの美味しさに定評がある一方で、以外にもお酒に合う素敵なおつまみのファンも多い。



のれんをくぐると、店内にはずらっと並ぶ木札のメニュー。おでんの種類をながめているだけでも楽しくなってくる。看板は「辰己」だが、のれんは「辰巳」なのはご愛嬌。

EI

弥生町 洋食こじま



江戸 明治 大正 昭和 平成

北口1丁目2-14
甲府北口プラザビルB1

平成29年オープン。知る人ぞ知る正統派洋食が食べられるお店。弥生町という旧町名が掲げられているところにも、心意気を感じる

きちんと、丁寧に。そんな言葉が似合う昔ながらの正統派洋食がいただけるお店。素材からこだわり丁寧に味付けされた料理は、幅広い年代に愛され、常連客も多い。
弥生町と書いてあるのは、洋食こじまのある北口1丁目あたりの旧町名が弥生町であったから。明治時代、甲府城域であったこの地が内堀を埋め立て、官公庁用地として開発された際につけられた地名である。その後、昭和37年からは現在の地名となっている。

甲府駅北口から、平成31年に命名された「やまなみ通り」を進んですぐ右手にぽつんと光るボード、よく見るとこんな感じ。気になっていたあのボード。
まずはランチからいかがでしょう？



EI

レストランバー SAIKI (サイキ)



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目7-5

イタリアンバル&スポーツバー。錦通りで3代に渡って甲府の街を活気づけている

錦通りを十字路から少し市役所方面に進むと、オレンジ色の壁とカジュアルイタリアンバルの旗が目を引く、レストランバーSAIKIが。山梨県産ワインやピザ、パスタなどがいただけるイタリアンバル&スポーツバーである。店名はオーナーのお名前が齊木さんだから。元々は齊木さんの御祖父が、この地で七賢を扱う居酒屋をオープン、父の代はパスタの美味しいお店、そして齊木さんの代でイタリアンバルと形態を変えながら受け継がれてきたお店である。





誕生日月はチキンの丸焼きがサービス(要予約)という前代未聞のサービスも。大きなスクリーンでスポーツ観戦をしたり、お花見をしたり、はたまた貸切パーティも・・といろんな楽しみ方ができるお店となっている。カウンタースペースもあり、おひとりさまも歓迎だそう！

EI

レストラン&パティスリー ボンマルシェ

RESTAURANT PÂTISSERIE
BONMARCHÉ

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目5-12

同地でオープンして60年以上、甲府の街に豊かな時間を提供してきた老舗フランス料理店。店名は、フランスの世界最初の百貨店の名前からつけたそう

創業昭和40年、山梨県産食材とワインにこだわり、甲州地どり、富士桜ポーク、甲州牛、甲州サーモン、さらにオーナーが自ら畑で育てた自家栽培野菜などがいただけるお料理に、チーズプロフェッショナルが選りすぐり熟成度合いにこだわったチーズ、パティシエが作る華やかで贅沢なケーキの数々、老舗ならではの厳選されたワインなどが味わえる。
お店に入ってすぐのスペースは喫茶コーナーとなっており、夜まで開いているので、おやつ時や食事のあとのもうひとときに美味しいケーキを求めて来店する客も多い。

ステンドグラス風な看板もかわいい。
店内はクラシカルで落ち着ける優雅な空間。接客サービスの良さにも定評があり、大切な時間を過ごせる場所。





EI

OASIS
(オアシス)

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目6-4

ご夫婦でされている日本ワインと創作イタリアンのお店。ロゴデザインは山梨県を拠点に活動するトンボロデザインによるもの

こうふぐるめ横丁内にある、日本ワインと創作イタリアンのお店。山梨県産の地元野菜を使った料理と種類豊富な日本ワインにファンも多く、ここで日本ワインが好きになった!という人もいるほど。オーナー夫婦の人柄に惹かれ訪れる人も多い。壁に書かれたたくさんの子どもの絵、明るい雰囲気も魅力のひとつ。店内は10席ほどとこじんまりしているため、満席のことも‥人気の時間は予約がおすすめ。





ほぼ毎月行われている「新月無尽」、新月の夜にみんなで日本ワインを持ち寄ってワインを呑むイベントは回数を重ね、令和2年3月で49回目を数えるそう。
ランチでは、新鮮な野菜がたっぷりのサンドイッチが大人気!

EI

ダン珈琲店

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目7-14

甲府の街を50年近く見守り続けてきた喫茶店。その変わらない味と雰囲気で常連から観光客まで幅広く受け入れる懐の深さも魅力

創業昭和47年、甲府の老舗喫茶店として長く甲府の街を見守り、地元に愛されてきたお店。マスターと常連が醸す和やかな雰囲気が、ほっと落ち着きをくれる空間。世界各地から選りすぐりの豆を熟練の職人が焙煎し、丁寧にネルドリップで抽出するコーヒーは絶品。モーニングやランチメニュー、サンドイッチやスイーツなどもあり、その1つ1つに優しく丁寧な懐かしさを感じられる。
ダンといえばホットケーキが思い浮かぶ人も少なくないはず。そのふわふわで変わらない味のファンも多く、テイクアウトする人もいるほど。



マスターにお借りした写真。写真には「甲府市の喫茶店・ダンと姫路市の柴犬・ダン」も文字。多くの人に愛されるお店である。

YT

Create Kitchen SURUME
(クリエイトキッチン スルメ)

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央2丁目9-10

平成30年にオープンした本格パスタなどがいただけるお洒落な創作料理店

岡島デパートを少し東へ進むとおしゃれな空間が目を引く、ダイニングバーがある。イタリアンをベースとした和洋折衷スタイルの創作料理を提供するCreate kitchen SURUMEである。店名は、噛めば噛む程に旨さが滲み出るということで、スルメと命名されたとか。
センスのいい店内でいただけるのは、目にも嬉しい料理の数々。もちろん味も良く、ワインや日本酒がすすむこと間違いなしの人気のお店である。
コンセプトに合わせた「スルメのいかわたペペロンチーノ」もワインがすすむ逸品。



おしゃれで居心地の良いゆったりとした空間と料理、大切な人との楽しい時間が過ごせること間違いなし。
オーナーご夫婦が温かく迎えてくれる。

EI

ニコラス

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央2丁目13-16

桜通りにある昭和56年創業の老舗レストラン。普段はランチのみ営業で、夜は予約のみ。サービスランチが人気



レトロな外観、可愛らしい文字の看板、気になりながらも踏み入れずにいる人もいるのではないだろうか。そういう人にはランチタイムを狙っていくことをおすすめしたい。勇気を出して昔ながらの食品サンプルが入ったショーケースを横目に階段を上がり、入り口を進むとレトロ感たっぷりの店内に入る。店内は広々としており、テーブル席と、無尽が行える20名くらい入れるお座敷が2間あり、どこか懐かしい。洋食ながら気取らない雰囲気のお店である。
昼は日替わり洋食ランチがメインで、夜は予約制で無尽などの宴会利用が多い。宴会ではスペアリブが人気だそう。



ご夫婦とコックさんでスタートして創業40年、この街をみてきた。

EI

Authentic Bar U-ME
(ユーメ)

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目1-25
甲州夢小路内 明治館2F

山梨には数少ないオーセンティックスタイルのバー。東京をはじめとする都会から訪れる常連客も多い

甲府駅北口から線路沿いを東へ進むと見えてくる、甲州夢小路の「時の鐘」。その隣の明治館2階にあるAuthentic Bar U-ME(ユーメ)。日中は気づかない人も多いかもしれないが、夜、灯る看板に気になっている人もいるだろう。店内は、薄明かりの大人の空間となっており、バックバーには山梨一ではないかと言われるほどの豊富なウイスキーの品揃えが並ぶ。お酒とマリアージュが楽しめる特別なチョコレートも楽しめる。店の創業は2016年だが、オーナーであるマスターは、以前に中央で「喫茶パロット」という店を営んでいた。50年ほど前には食べ物とコーヒーを提供するスナック(今でいうスナックとは別)として、山梨で初めてホットドックを出したという経歴の持ち主。



この重厚な階段を上るだけで非日常に入っていけそう。店名U-MEの由来は当初ワインをメインに提供しており「ワイングラスに夢を入れる」という思いが込められている。

YT

若奴食堂



江戸　明治　大正　昭和　平成

中央店 城東2丁目10-17

甲府を代表する「ザ・大衆食堂」は圧倒的なメニューの豊富さで皆の胃袋を満たしてくれる

創業は昭和38年と古く、もうすぐ60年を迎える老舗大衆食堂。今ではあまり見かける事の無くなった懐かしさとレトロ感がうれしい昔ながらの定食屋さん。そのメニューは優に100種類を超え、定食のみならず一品料理も和・洋・中と幅広く提供されている。ニラレバ、肉野菜炒め、唐揚げなどの人気メニューの中でイチオシは「紙かつ」。よく煮込まれたもつ煮は夏にスタミナを求めて食べる人が後を絶たない。
1階のテーブル席と小上がりの座敷、2階にお座敷があり、宴会や無尽で盛り上がる店内はいつも活気に溢れている。甲府を代表するめし処。



常連さんに大人気のカツカレーはボリュームたっぷりで満足度満点。たっぷり食べたい学生さんや、ガッツリ派には、ぜひ味わってほしい一品。お昼時はもちろん夕方も「何を食べようか」と迷ったときはぜひ暖簾をくぐって数あるメニューを眺めてみたい。

YT

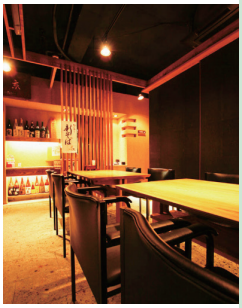
そば旬菜 奥京

江戸　明治　大正　昭和　平成

甲府駅前店 丸の内2丁目15-7
甲府小瀬店 上町380-4 他

明治43年(西暦1910年)創業、4代続く老舗そば店。甲府駅前店、甲府小瀬店、甲府昭和店の3店舗を構える

長野県安曇野産最高級そば粉を使用し、代々受け継がれた味を大切にしながら、素材・季節感にこだわったオリジナルの創作料理を提供する。とりモツ煮をはじめとした甲州名物を味わうことができる上、天ぷら、焼き物、季節の料理などの食事や、焼酎や日本酒などお酒も豊富にラインナップされている。もちろん、甲州人がお店で食べたいお刺身なども味わえる。
店内は落ち着いた雰囲気で、様々な用途で使える席が多数あり2名～55名を収容できる個室や宴会場を備え、幅広いニーズに対応している。
柔軟に対応してもらえる宴会コースも充実している。



ランチも人気で昼でも甲州名物を食べられるのも嬉しいところ。
甲府駅前店は甲府駅から徒歩5分なので甲府に来た友人と行くのもいいかもしれない。

EI

Ristorante・Barolo
(バローロ)

江戸　明治　大正　昭和　平成

北口2丁目3-5

駅北口から徒歩3分。本場イタリア料理をゆったりと心ゆくまで楽しめるリストランテ

甲府駅北口YBS前にある大きな一軒家は平成31年にリニューアルオープンした。大人の時間を演出するインテリアの中で、厳選されたイタリアワインや本場の味にこだわった料理を提供してくれる。
店名のBarolo(バローロ)はイタリアのピエモンテ州産の辛口赤ワインの名が由来。ピエモンテ州はイタリアの北西に位置する州で、イタリア屈指の高級ワイン産地。バローロは「イタリアワインの王様」と言われている。
1階にホール席と個室、2階にホール席と広い店内はパーティーにも最適な空間。また地下のワインセラーには、数々のイタリアワインや山梨県産ワインなどが取り揃えられている。



ランチメニューも豊富で、パスタ・ピッツア・リゾット・ステーキ等、充実のラインナップ。ランチからディナーまで、カジュアルにもフォーマルにも対応してくれる。また結婚式2次会や同窓会などのパーティは最大80名様まで対応可能。

YT

板に鯛



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目7-17

一見するとどう読んだらよいのか戸惑う独特の文字で彫られた看板。錦通りの古名屋側にある海鮮が美味しい日本料理店は平成28年にオープンした

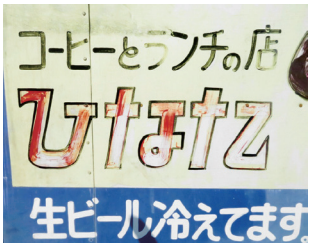
城東通りから錦通りに入り、少々進むと見えてくるガラス張りの洒落たお店。板に鯛は、海の幸を丁寧な手仕事、上品な盛り付けで提供してくれる。明るく綺麗で雰囲気の良いお店で、肩肘張らず、かといって大衆的過ぎないバランスが、心地よい。ここでの食事は、様々な日々の大切なシーンをよりよい時間にしてくれるに違いない。日本酒の種類も豊富なので、日本酒と鮮魚を居心地のよい空間でいただきたいという人にもおすすめ。

ランチも人気で、夜同様に選び抜かれた鮮魚に丁寧な手仕事が施された海鮮丼などをいただける。



EI

ひなた食堂



江戸 明治 大正 昭和 平成

朝日4丁目6-16

昭和の雰囲気満点な喫茶店。ボリュームたっぷりなメニューが多数並ぶ学生・若者応援の店

昭和47年に創業したレトロ感たっぷりな店は、その姿を変えずに約半世紀を迎えようとしている。入口と店内には所狭しとたくさんのメニューが貼られ、食欲をそそる。数多くの洋食キッチンのメニューはカニクリームコロッケや煮込みハンバーグ、チキン系の人気が高い。柔らかでサクサクなチキンカツ、ふっくらと仕上げられたチキンの照り焼きは、昭和の終わり頃から始まり36年目を迎えるロングセラー。店内の本棚に置かれた大量の漫画コミック本と共に、たくさんの学生さん達に愛されてきた。

駅北口から武田通りを上がり、武田交差点を西へ山の手通りを進むと壁沿いにカラフルなメニューが目に飛び込んでくる。一見入りにくそうにも思えてしまうが、中には優しい奥様とマスターが今日も微笑んでくれる。オープン11：00～22：30までと、営業時間も長くありがたい



YT

プラハ



江戸 明治 大正 昭和 平成

北口1丁目1-4

甲府北口の駅近くにある食事処。昼は選べるワンコインの日替わりランチ定食が人気

平成3年にオープンしたプラハ。店名の由来は甲府にプラハの合唱団が来るということで名づけられた。
財布に優しいリーズナブルな価格で楽しめるランチは、メンチカツとハムカツ、チキンカツとウインナー、山菜そば、ポークステーキなどが提供されている。夜は居酒屋として、一品料理から酒の肴、そば、うどん、ラーメンから丼もの、締めのお茶漬け、おにぎりまで多彩なメニューが楽しめ、また残業時の夜食として心強いアイテムが揃う。

入口の看板を見て、店名と外観のイメージからスナックなのだろうかと想像してしまう人もいるかもしれない。が、明るく広い店内はテーブル席とカウンターでゆったりとくつろげる。「ザ・家庭の味」を求める人には特にお勧めしたい。



YT

ガレットCafe すきまのじかん L'heure vide (ルールヴィッド)



江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1-14-14 オリオン共同ビル106

平成27年にオープンした、オリオンイースト通りにあるガレット専門店。店名には、目には見えないけれど大切な、すてきな時間をここで過ごしてほしい」という思いが込められている

ガレットはフランスの郷土料理で、形はクレープに似ているがソバ粉を使った生地にチーズや卵、野菜を乗せ食事としていただくことが多い料理。ガレットを食べたことがある人も、ない人も、ここのガレットはぜひ味わっていただきたい逸品。都内でパティシエやガレット専門店のシェフとして修行した経験も持つオーナーシェフが丁寧に焼くガレットは香ばしくて深い味わい。
フランス流にいくならばシードル(りんごの発泡酒)と合わせてどうぞ。他にクレープなどもあるので、その時々の気分に合わせて色々食べてみたいお店。

甲府にいながら本格的な味わいのガレットが味わえるしあわせを噛みしめて、店名の通りほっと一息つける店内で過ごしてみてはどうだろう。



EI

十四番目の月

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内2丁目2-6

山梨の食材を大切にした、和食と洋食との創作料理の店。山梨のワインと地酒が楽しめる

甲府駅南口から徒歩3分ほどの、ちょうちん横丁にある「十四番目の月」。店名は荒井由実(松任谷由実)の名曲が由来。甲府の酒屋さん「依田酒店」のアンテナショップとして平成17年5月14日にオープンした。

依田酒店の店長である依田順子さんが女将として、毎日カウンターで山梨のワインや日本酒を提供している。「山梨の食材」にもこだわる地産地消の創作料理は、県内外を問わず訪れる常連さんを広くもてなす。

山梨県産のワインや地酒の品揃えは、さすが酒屋さんという圧巻の品揃えを誇る。地元らしいおもてなしがあるお店なので、山梨を訪れる出張ビジネスマン向けの接待に困った際などにもぜひ思い出してほしい。



YT

Fix

江戸　明治　大正　昭和　平成

武田3丁目2-26

武田通り沿いにある、ちょっとしたおつまみからちゃんとした食事まで、おひとり様から家族連れや友人達との宴会まで、様々なシーンに対応してくれる落ち着いた空間のダイニングバー

Fixは平成22年にオープンし創業10周年を迎えるお店。山梨大学と住宅街が近いエリアにあるためか、落ち着いた雰囲気ながら大学生から家族連れ、おひとり様など様々な人を受け入れる懐の深いお店。1階にはカウンター席とテーブル席、2階は座敷席となっており、気軽な立ち寄りからゆっくり腰を据えて話すシーンまで様々に利用できるのもうれしいところ。

おしゃれで満足度の高いイタリアンをベースとした創作料理は「何を食べても美味しい」と信頼を置く人も少なくない。一番人気は、日替わりパスタだそう。

ランチ営業も行っており、1000円以下で美味しくボリュームもあるランチ定食が食べれるとあって、大学生や近隣の主婦、サラリーマンと様々な人に人気。



EI

イッセイ

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内2丁目-4-21大塚ビル2階

甲府駅からすぐ、南西方向に位置するイタリアンレストラン・バー。昭和55年創業で山梨県産ワインを数多く取り揃える老舗

地元の食材・ワインを、美味しく気軽に楽しんで欲しい。という店主の心意気が伝わってくるアットホームなイタリアンレストラン・バー。今では甲府の飲食店でもよく見かけるようになった山梨県産ワインをいち早く大切に提供してきたお店でありながら、ワイン初心者にも優しいお店。

イタリアンが中心だが、お漬物が出てきたりジャンルにこだわらないメニュー構成も楽しい。どこか懐かしい味わいのスパゲッティも人気で、ランチでの提供もある。また、飲み放題付きの宴会プランでの会食なども人気。美味しい山梨県産ワインと食事を気負わずいただけるお店である。

全国のワイン蔵や山梨のワイン蔵と繋がりがあり、蔵からのワインが続々入荷するそう。飲食店で提供しているのはここだけではないかと思われるような、珍しいワインにもお目にかかれる。



EI

山梨レストラン meli-melo (メリメロ)

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目1-25 甲州夢小路2F

メリメロは、フランス語で「ごちゃまぜ」のこと。ルールに縛られず、その時々の旬に応じた料理を提供し、山梨の食材を愛する地産地消のイタリア料理店

ロゴマークの文字が野菜で彩られているように、野菜の美味しさを味わえるメリメロは甲州夢小路の2階にある。地産地消をキーワードとして、小淵沢のオーガニック野菜を中心に県産の旬野菜やお肉、甲州ワインとのペアリングなどが楽しめるお店。

店内はカウンター席とテーブル席があり、一人でも気軽に訪れることができるのも嬉しい。素材の味を活かしたメニューは彩り豊かで目にも美味しい。

ライブ感のあるカウンター席。
同じ甲州夢小路内には2号店のmeli melo di Piatto(メリメロ ディ ピアット)がある。こちらはカジュアルなバルスタイルとなっており、気分や人数などに合わせて使い分けるのもいいかもしれない。



EI



Poco SeRio (ポコ・セリオ)

江戸 明治 大正 昭和 平成

貢川本町12-20

平成19年創業の貢川にある隠れ家的一軒家イタリアン。ウィットに富んだ店名は、店主が「堅苦しくなく良い塩梅で」という意味を込めてつけたそう

カジュアルな雰囲気ながら、こだわりのワインと上質な食材で味わい深いイタリアンが食べられるポコ・セリオ。ランチ・ディナーでその味を楽しむことができる。その味わいと親しみやすさに常連客も多い。

さらに、婚活支援に並々ならぬ力を入れている。『ポ婚』という婚活イベントを月7、8回開催する他、多種多彩な企画を貢川こんかつ青年部、部長として展開し年間1000人以上の出会いをサポートしている。都内で修行したのち甲府で店を開いた店主宇田さんの山梨県を活性化したいという思いは熱い。

素材の味を大切にするポコ・セリオ。赤ちゃんのための離乳食も作っている。塩・砂糖を使わず麹を用いるなど赤ちゃんの腸内環境を本気で考えていて実に美味しそう。



EI



博多やきとり もつ鍋 鳥座 (とりくら)

江戸 明治 大正 昭和 平成

太田町3-11

青沼通りと遊亀通りの交差点近くにある博多焼鳥やもつ鍋などが味わえる繁盛店

店内に入るとすぐ目につく、長いガラスショーケースにぎっしりと積み上げられた鳥に限らない様々なやきとり、ぷりぷりとしいたモツにニラがこんもりと乗っているもつ鍋。甲府で博多らしさを楽しめる予約必須の人気店である。

土佐備長炭1本ずつ丁寧に焼かれたやきとりの美味しさは元より、清潔感と活気、接客のセンスも相まって、居心地の良さが格別なことが人気の秘訣ではないだろうか。カウンターに作られた溝には氷水に浮かぶ瓶ドリンクが並び、非日常感も味わえる。

リノベーションにより新旧入り混じった風情のある外観もワクワクさせてくれる。持ち帰りにも対応してくれるので、自宅にテイクアウトして博多気分を味わってみるのもいいかもしれない。



EI



サウサリート

江戸 明治 大正 昭和 平成

朝気2丁目4-15

青沼通り沿いにある昔懐かしい洋食レストラン。レディスランチ&スイーツが人気のお店

地域に愛されて約40年。今でこそ「昔ながらの洋食屋さん」というイメージが似合う雰囲気だが、実は「ファミリーレストラン」という名前はここから始まった。昭和55年の開業当時にオーナーシェフが名付けたキャッチコピーは瞬く間に全国に広がった。大手ファミレスが台頭してからは率先して名乗らなくなったが、それは地域に密着して美味しいものを提供するというポリシーからだそう。また「サラダバー」を展開したのも甲府で一番最初。まさに「元祖ファミリーレストラン」は今日も変わらぬ味を届けている。

昼のディナー、午後のスイーツタイム、夜のディナーとオールマイティな安心感。季節ごとに変わるパフェや白玉ぜんざいなどの人気スイーツが大人気。食事のイチオシは国産牛100%のハンバーグステーキ。



YT



ナイル

江戸 明治 大正 昭和 平成

武田3丁目2-18

武田通り沿いに位置する老舗カレー専門店。昭和50年にオープンして約半世紀を迎える

長いカウンターが印象に残る店内で提供されるカレーは、丁寧にじっくりと煮込まれていて、独特のスパイシーさを醸し出す欧風カレー(日本風)というオリジナル度の高い品。辛さもお好みで2倍・3倍・4倍～とバリエーション豊富に楽しめる。メニューのネーミングも楽しげにヤングカレー、アダルトカレー、ギャルカレー、オシャレカレーと興味をそそるアイテムが揃う。自家製のピクルスやサラダのドレッシングも美味しい。

長く愛される老舗はセットメニューも充実し、フルーツやデザートもついてくる。食後のコーヒーにもファンが多い。カレーライスに使用されている米は、地元の名品である武川米というこだわりが嬉しい。



YT

TREE-Anthony's kitchen
(ツリー アントニーズキッチン)

江戸 明治 大正 昭和 平成

貢川本町12-3

ロンドン出身のオーナーシェフ、Anthony(アントニー)によるヨーロッパ&地中海料理

創業は平成29年。以前のオーナーが経営していたcafeTREEの店名を継承し、カフェ・レストランへと進化させた。世界の有名ホテルで腕を振るってきたオーナーシェフが、山梨県産の野菜や食材にこだわって提供する料理に、ファンが後を絶たない人気店。中でもパスタは毎週メニューが変わり、提供されるのはその一週間限りで、オープン以来同じメニューは出したことがないのだとか。何度行っても新しいメニューに出会えるのも人気の理由だろう。

店の入口には居心地の良いテラス席が設けられ、オープンエアーな環境で食事を楽しめる。日曜日と第1月曜日の、朝食も人気のメニュー。



お店のシンボルマークは、奥様の妹さんがデザイン。コンセプトは新鮮な野菜が跳ねるイメージを描いたもの。
店内には雑貨の販売スペースも設けられている。

YT

JAZZ IN ALONE
(ジャズ・イン・アローン)

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央4丁目3-25

旧甲州街道沿いの中心街にある老舗ジャズバー。本格的なジャズのライブを提供している

オーナーであるマスターは、昭和43年に富士吉田市で喫茶店を営んでいた。その後2件目の喫茶店は甲府で開業された。アローンの創業は昭和47年と、まもなく半世紀を迎える。プロのミュージシャンから県内のアマチュアまで、幅広く様々なアーティストがライブステージに立つ。BARではウイスキー・バーボンをはじめテキーラ・ワイン・各種カクテルと充実のラインナップ。手作りピザ・パスタ・おつまみと食事メニューも色々楽しめる。



バーカウンター奥のJAZZ&BLUESのレコード・CDは、その数に圧倒されて思わず見入ってしまう。ゆったりとしたバーカウンターでレコードジャケットを眺めているだけでも心地よい時間が過ごせる。リクエストはもちろん、レコード・CDの持ち込みも気軽に応えてくれる。

YT

馬酔木
(あしび)

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目15-9 B1F

甲府中心街のバー地下街から甲府の街を見守ってきた、知る人ぞ知るオーセンティックな老舗のバー

春日ビル一番街を入り「地下バー街」の示すように地下へと進み、一見、入ってはいけない場所かと思ってしまう様な暗い地下通路を奥へと進む。するとその突き当たりにある味わい深い扉がある。勇気を出して扉の先に進むと、中はまさしく隠れ家という言葉が似合う、オーセンティックな老舗のショットバーが広がっている。

創業45年、大阪万博の年。かつては賑わっていた地下バー街も、今は馬酔木1店だけしか営業していないがこんな環境になっても足を運ぶ人は途絶えない。マスターの人柄とその味・空間に、県外から訪れるファンもいるほどである。

このディープな空間で本物のバーテンダーの作るカクテルを楽しむようになれば、甲府の夜を楽しむ粋な大人の仲間入りといったところだろうか。



ずらっとボトルが並ぶバックバーは圧巻。
店の奥にあるボトルキープ専用の渋〜い木箱の棚は、運良く空きができない限りそこにボトルを預けられず、常連客にとっても憧れの的になっている。

DS

印傳屋上原勇七

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央3丁目11-15

創業は天正10年(西暦1582年)。山梨の伝統工芸、印伝を今に伝える老舗である

印伝は、鹿革と漆を用いた技法で作られ甲州で四百年受け継がれる。印伝の語源は印度伝来を略したとも伝えられている。鹿革に模様をつける革工芸は、奈良時代につくられた文庫箱(東大寺蔵・国宝)などにもみられ、戦国時代には武将たちの鎧や冑などをきらびやかに飾った。江戸時代になると遠祖・上原勇七が鹿革に漆で模様をつける独自の技法を創案。ここに甲州印伝が始まったといわれている。

燻・更紗とともに甲州印伝の技法は家伝の秘法として代々の家長「勇七」にのみ口伝され現代においても生活を彩る実用美として息づく。



印傳屋

甲府本店2階には印傳博物館も併設、その手仕事の歴史を今に伝える。また、印伝の伝統文化を守り伝えるだけでなく、常に新しい感覚の模様、意匠の開発にも取り組んでおり近年では女子美術大学やグッチとのコラボレーションなども行なっていた。

シンボル・画像 出典:印傳屋®

YT

印伝の山本

INDEN YAMAMOTO 印傳の山本

江戸 明治 大正 昭和 平成

朝気3丁目8-4

i(印伝)のy(山本)のiとyをモチーフにしたマーク。上原商店(現在の印伝屋上原勇七)で働いていた初代が戦後昭和30年にランドセル製作の会社として山本商店を創業したのが始まり

甲府で3代続く工房。平成30年に2代目山本誠さんが永眠し、2人の息子がその跡を引き継いだ。甲州印伝の伝統工芸士(総合部門)を有し、甲州印伝の伝統技法による工程を大事にし、一つ一つ工芸士の手によって作られる品々は古くからの伝統技術の継承をしながらも、新しい挑戦を忘れない。

海外の色彩に影響を受けたという色鮮やかで柔らかな鹿革と、数多くの伝統的小紋柄や、オリジナル柄などもこの工房の特徴。

スマートフォンケースや、キャラクター等のコラボレーション商品もあり、、幅広い世代に人気。また、名前・家紋・イラストなどをデザインに組み込み、鹿皮の色・漆の色・印伝の柄を選んだ商品を1点から注文することも出来る。



お店と併設された工房、青沼通り沿いにあるのでふらっと気軽に立ち寄れる。

AT

oeuf (ウフ)

oeuf

江戸 明治 大正 昭和 平成

フェリア店 下石田2丁目29-4

人が卵を差し出すようなロゴマーク。雑貨好きのオーナーが「お店をマークで覚えてもらいたい！」と、デザインした

「oeuf」はフランス語で「卵」という意味で、店内に並ぶ雑貨を「卵」に例え、「わたしは卵を売ります。あなたが卵を孵して下さい」というコンセプトで描かれている。卵を孵すのは皆様で、それをどんな風に楽しむかは皆様次第!という訳。

店内には「プレゼントを選ぶならoeuf!」と言いたくなるほどかわいくて、おしゃれな雑貨やインテリアを多く取り揃っている。

クリスマスやバレンタインなどのイベントの前にはたくさんの人が買い物に訪れる。ラッピングにもこだわり、プレゼントをもらった人が驚くほどセンスよく包んでくれる。



Feria店は広いフロアに輸入雑貨や家具やインテリア、ステーショナリーなど幅広いジャンルの商品がずらり。見ているだけでも楽しく、時間を忘れてしまう。

SK

PEKINDO (ぺきん堂)

PEKINDO

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央2丁目9-18

昭和21年創業。画材用品をはじめ、額縁、コミック用品など、画材用品全般を販売している

ぺきん堂と言えば店内に並べられた画材用品の豊富さがポイントだ。例えば油絵の商品だけでも4社取り扱っており、欲しい物はほとんど揃うと言っても過言ではない。そして画材用品だけではなく、スタッフの知識も豊富なところにも驚く。画材用品でわからないことがあっても、スタッフに聞けばすぐに対応してくれる。まさに至れり尽くせりの画材店。





画材や額縁は1部の商品を除いていつでも20%OFF！雨の日割引もある。定期的に『画材フェスタ』が開催される。いろいろな画材に触れて、描くこと・つくることを楽しみながら学べる体験型のワークショップだ。

SK

柳正堂書店

柳正堂書店
Since 1854

江戸 明治 大正 昭和 平成

下石田2丁目20-10

店名の由来は「柳町の正しい店」。約160年の歴史をもつ県内で最も古い老舗書店。甲府市内と昭和町に2店舗を展開している

江戸時代中期、柳町(現在の甲府市中央)にて、前身である「伊勢屋」の頃より小間物と書物の販売、木版による出版を始める。その後、江戸時代後期の嘉永7年に商号を柳正堂とし書籍販売を開始(創業)。

地域密着店舗をモットーに、書籍や雑誌、専門書の取り寄せ対応が充実している。また複合型店舗としてカフェ併設の『Books & Cafe』や雑貨セレクトショップ『Style F』併設店舗などを展開。ドトールコーヒー甲府岡島店、甲府昭和イトーヨーカドー店のFC運営なども行っている。

柳正堂といえば教科書と言われる程、教材販売の歴史は古く、教科書や教材に加えて山梨県の『官報販売所』としても認可されている。



朝気にあるオギノバリオ店は、雑貨を取り扱う「style F」とトレーディングカードのプロショップ「CARD BOX」が併設されている。

YT

朗月堂

江戸 明治 大正 昭和 平成

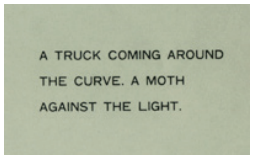
貢川本町13-6

朗月堂の、ポイントカードにも登場するふくろうのキャラクター。明治35年、初代須藤孝平が甲府市柳町一丁目に創業した大型書店

明治35年(西暦1902年)、初代須藤孝平が遠縁に当たる日本橋の朗月堂で働いたのち、帰郷し明治35年に商号を踏襲して柳町一丁目に創業した。昭和の初年までは書籍のみを取り扱っていたが、それ以後は書籍の卸、小売りのほか、スポーツ用品、文房具などを販売している。

毎月第一・第三日曜日、午前10:30～児童書コーナーで「おはなしふくろうの会」(絵本の読み聞かせ会)を開催。

貢川本町の本店ではA館、B館、C館のフロアーそれぞれに検索機が設置されており、本を簡単に探すことが出来る。30万冊の在庫を揃えており、地域になくてはならない老舗本屋。



左)現在の朗月堂書店のロゴマーク。
右)ブックカバーの裏に書いてある英文は「トラックがカーブをこちらに曲がってくる。一匹の蛾がライトに向かっていく」という意味がある。訳を聞いてもなお、なぜこの文章なのか気になる。

AM

春光堂書店

江戸 明治 大正 昭和 平成

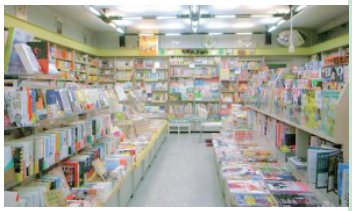
中央1丁目4-4

大正7年(西暦1918年)創業。甲府中心街の銀座通りにある。「春日町に知識の光を発信していく」の概念が店名の由来。ロゴマークはトンボロデザインが手掛けた

春光堂書店のロゴマークは、顔や、矛と盾、天秤など色々なものを連想させる。この広がりのあるデザインには、本のおもしろさは読んでこそ。本を読んで、読んだ人がそれぞれに感じることができる本の持っている要素・機能・ポテンシャル・楽しさなどの力を、落とし込んだそう。春光堂書店は「暮らしに発見の種を」をコンセプトのもと「かんじる」「かんがえる」「つくる」をテーマに本を取り揃えている。

読書会、読書ワークショップ、図書館との連携事業、一箱古本市など、人と人が交流する読書活動にも力を入れている。

読書の素晴らしさを広めたいと、選書は知的で好奇心をくすぐるものばかり。ここに来れば普段は出会わない面白い本を見つけることが出来るかもしれない。



棚には地域の身近な有名人がおすすめする本の紹介もあり、思わず読みたくなる。子どもに本を読ませたいお母さんや本を定期的に購入したい人と手紙のやり取りをしながら、選書するサービスも行っている 。

SK

セイビドー

江戸 明治 大正 昭和 平成

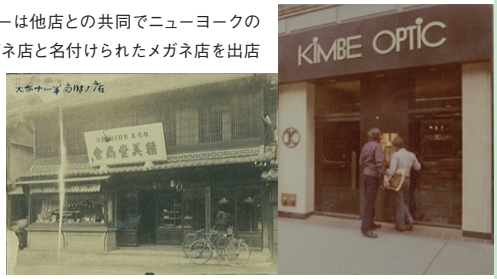
丸の内1丁目15-8

創業125年を超える山梨のメガネ・補聴器専門店。本店の他、ショッピングセンター内等に3店舗を展開中

明治28年(西暦1895年)、柳町3丁目にて創業。当時から山梨の地場産業、水晶細工の職人であった創業者が、その技術をメガネのレンズ作りに用いるようになった。当時のメガネのレンズは全て水晶を加工して作ったもので、職人の手仕事でしか作り出すことはできなかった。セイビドーは、そのレンズを制作し全国への卸を行なっていた。二代目社長は、当時の医療の最先端であるアメリカ、ドイツでメガネ作りに伴う医療知識を学んだ。また三代目社長はセイビドー入社前に日本IBMでコンピュータの技術を学んでいた。その後レンズの受発注システム、顧客管理システムを作り出し業界に革命を起こした。そのシステムは現在でも全国のメガネ店で使用されている。

昭和52年、セイビドーは他店との共同でニューヨークの5番街にキンビーメガネ店と名付けられたメガネ店を出店した。

ニューヨーク5番街といえば東京の銀座に相当するアメリカでも屈指の繁華街であり、高級ショッピング街でもある。



YT

ギョクホー堂

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目4-7

甲府銀座通り に本店を構える眼鏡店。甲州市塩山店、東京の自由が丘に姉妹店ボズュー自由が丘を展開

創業は明治38年(西暦1905年)、水晶の販売から始まった。当時、水晶は目に当てると良いという話もありよく売れたとか。その後、水晶の販売に加えて光学機器、眼鏡の取り扱いを始め、現在では眼鏡と補聴器の取り扱いをしている。

現在はコンセプトブランド、フォーナインズ、オークリー等、世界中の様々なブランド商品の販売を展開している。また、今では希少価値の高い鼈甲(べっこう)フレームも扱っている。

幅広い年代に対応した知識と経験に裏打ちされた接客で量販店とは一味も二味も違う、その人にあったアイテムを提供している。

甲府銀座通り店は昔ながらに親しまれる佇まい。塩山店は「ヌーヴェルブティック・ギョクホードー」の名でヨーロッパスタイルのブティック。東京自由が丘の姉妹店は「Beaux yeux jiyugaoka」と名付けられたフレンチテイストのショップ。とそれぞれにお店のテイストが違うというのも面白い。



YT

機山堂

株式会社 機山堂 きざんどう

江戸 明治 大正 昭和 平成

上町269-1

創業から100年以上の書道用品の専門店。筆、紙、墨等の書道用品や軸装、額装などを取り扱っている

書道用品・水墨画用品・篆刻用品・写経用品の販売に加え、賞状額・写真額・書道額・油絵額・叙勲額など額装や、かけ軸・表装・古いものの仕立直しも手掛けている。
思い出の着物で作る掛軸・額・屏風・衝立といったオンリーワン商品製作の提案もしている。
書道における展覧会等のプロデュースも行っており、日本の伝統文化継承の一翼を担っている。



オリジナル商品「機山半紙」は、環境に配慮した商品として牛乳パックの再製パルプ使用。書道における展覧会等のプロデュースも行っており、毎年開催されている山梨日日新聞主催の席書き大会にも協力している。

YT

内藤楽器

NAITO GAKKI

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目17-7

明治35年(西暦1902年)創業の楽器店。丸の内の本店、塩部のピアノ専門店、富士吉田店がある。音楽教室は甲府市内にと県内で10か所以上

明治25年(西暦1892年)、創業者内藤八十一氏が甲府市富士川町において理化機械器具の販売・修理の店を開く。その後、明治35年に内藤楽器店を創業。内藤氏は山梨県で最初のピアノ調律技師となり、山梨県・長野県・静岡県の学校御用達であった。
昭和7年頃には、甲州財閥の一人である根津嘉一郎氏が山梨県内の各小・中学校へピアノの寄付を行い、その際、納品等の協力に尽力した。寄付されたピアノは『根津ピアノ』と称せられ、会社に現存していたものは現在、甲府市の教育資料館である藤村記念館に 寄贈されている。

本店4階では、大人のための音楽教室として音楽広場「アンダンテ」が設置されている。また近年では音楽教室に加え、乳幼児から小学生まで幅広く対応するヤマハ英語教室なども開催している。





YT

朱宮神仏具店 (しゅみやぶつぐてん)

朱宮神佛具店

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央4丁目3-4

創業は平安時代の中期、万寿元年(西暦1024年)と歴史深く、寺院用具・仏壇・神具・墓石・葬祭用具を販売

朱宮神仏具店の歴史は長く、遥か遠く飛鳥時代に、その姓名のごとく仏教の伝来とともに中国へ学びにでかけ、宮廷より「朱宮」の名を拝受された。
明治時代に曾祖父である健治郎氏が、甲府に法衣および寺院仏具の店を開き、五人の兄弟たち全員が仏具店を経営していた。戦中、戦後の一時期に多くが転廃業を余儀なくされたが、その後の積極的な商いで全国に拡大し、仏壇はもちろん法衣や寺院仏具の販売・製造を手掛ける仏具店として確固たる基礎を築き上げた。
店舗は甲府本店に加え、石和店、開国橋西店があり、ネットショップも充実している。



写真は明治36年(西暦1903年)に柳町二開店した店舗と、明治23年の静岡県に出店した際の広告。遠州見附宿、現在の静岡県磐田市に出店していた際の貼り紙広告が、当時から朱宮が仏具全般を商っていたことを物語っている。

YT

甲府銀座 ブラザー



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央4丁目3-12

昔の看板。創業昭和10年、万年筆・シャープペンシル・筆ペンなどの製造から販売までを行う文房具店。昔のブラザー万年筆の看板は今も店内に大切に飾られている。特許取得～原案考案された文具も多数

創業者は東京の保谷製作所(神保町)にて万年筆の軸・ペン先・付属金輪・クリップ・及び製図器の製造技術を習得。商品開発に優れ、昭和10年に「浸透印」を考案。実印登録できる柘の印材に万年筆の放電加工技術を応用し、浸透加工したものを全国(含旧満州)で販売(特許取得)。また昭和13年には万年毛筆(現在でいう筆ペン)を考案・発売した。昭和21年の戦後、万年筆製造を復活し、「BROTHER」ブランドにてシャープペンシル・ボールペン・製図器の製造販売を開始。その後、昭和26年には万年筆インクの製造技術を応用し、初のスペア式水性ボールペン(現在の「ぺんてる社」水性ボールペンの原型)を考案・発売した。



大正5年(西暦1916年)、横近習町に「中川製作所」を創業。その後すぐに「ブラザー萬年筆本舗」に改称した。現在の社名は有限会社ブラザーである。
社名の由来は実弟との創業から、工場敷地前の甲府カトリック教会のブーブ神父より命名されたためという。

YT

山本荒物店



江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目12-3

丸の中には「嶋」の文字。岡島百貨店の東側で長きに渡って荒物店を営み、その創業は慶応(江戸)時代までさかのぼる。地域を見守ってきた歴史と人情のお店

荒物とは、ロープ・縄・竹製品・タワシ・簾(すだれ)・葦簀(よしず)・草鞋(わらじ)・ローソクなど、自然の植物から作った生活道具をさす。そんな荒物を取り扱う山本荒物店の創業は慶応時代までさかのぼる。江戸時代の買物ガイドブック「甲府買物独案内」にも掲載されており、いかに甲府の人々の日常を支えてきたかがわかる。

お店の雰囲気は昔ながらの商店の面影を残し、さらに裏にある建物は昭和22年に建築されたもの、乗っている車は昭和35年型のダットサントラックが現役という辺りにも、物を大切にという店主の信念と人柄を感じることができる。

自然の植物から作った生活道具、今あらためてその価値が見直されているのではないだろうか。
長く甲府の街を見つめてきた気さくなご主人との会話もこのお店の魅力。



EI

吉田屋



江戸 明治 大正 昭和 平成

朝日2丁目17-13

よく見ると、ぶどうの上の葉のように見える部分にはWineの文字。朝日通り商店街に店舗を構える老舗酒屋

甲府駅北口にある朝日通り商店街に店舗を構え創業90年を超える老舗酒屋。「ワインは山梨県産しかない」と店主が言い切るほどに、山梨産のワインと地酒のみを取り扱うというこだわりの地元に根差した酒店である。

ホームページでの全国販売も手掛けており、山梨県産のワインと地酒が多数紹介されている。中でも注目なページは、「山梨の作家とワインや地酒の関係」。太宰治・井伏鱒二・深沢七郎・林真理子・山本周五郎・飯田蛇笏・飯田蛇笏・井上靖といった錚々たる作家が紹介されており作品との関わり、作家の愛したワインや地酒などが紹介されている。

スパークリングワイン「甲府」はこうふ開府500年を記念して作られた。
もちろん、一升瓶ワインの取り扱いも。一升瓶ワインは山梨の人には馴染み深いが、県外の人々には意外と珍しがられることも多い商品だそう。



YT

遠藤フルーツ



江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目8-16

平和通り沿い県庁入口すぐに店を構えるフルーツ店は、もも・ブドウ・柿・干し柿といった山梨県産の果物や県産ワインを取り扱う

フルーツ王国山梨・甲府のメインストリート平和通りに店を構えるフルーツ店。

商品が並ぶ店先には、さくらんぼ・桃・貴陽・葡萄・富有柿・あんぽ柿・枯露柿といった、プロの目利きによって選ばれた季節ごとの旬な山梨の果実と柑橘類・りんご・バナナ等々、多種多様に取り揃えて販売されている。

中には、受粉や成育管理など栽培が難しく地元でも希少価値の高いスモモの品種の一つである貴陽などの取り扱いもある。

山梨県庁の広い庭園に暮らす猫たちが出入りする猫に優しいお店でもある。

人通りのある立地だけに店頭に並ぶフルーツの種類で季節を感じる人も少なくないだろう。
県外の大切な人にここからフルーツを送ってみてはどうだろう。県外の人にお土産として人気の一升瓶ワインなどの取扱いもある。



YT

京呉服 ふじや



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目14-13

振袖販売・振袖レンタル・七五三、及び一般着物販売・フォトスタジオ運営などを行う老舗呉服店

大正15年(西暦1926年)創業の老舗呉服店、「二十歳という時間を一生の宝物に」を心掛け、「家族愛」をテーマとする振袖専門店でもある。

「時間をかけて選んだ成人式の振袖が、成人式当日に会場で同じ柄の振袖を着た人とばったり出会ってしまったら、せっかくのハレの日が何となくガッカリした気持ちになってしまう。」そんな事の無いようにとの配慮から、一柄一点の原則を守り、同じ柄がない品揃えを心掛けている。

オリジナル振袖の共同開発もしており、染め加工メーカーから直接商品を仕入れて、最新新柄がいち早くリーズナブルに提供できるサービスを確立している。



YT

玉泉堂

江戸 明治 大正 昭和 平成

東京都中央区銀座6丁目4-5

江戸時代に三日町にて開業。創業200年を超える水晶業者として現在は東京・銀座に店舗を構えている

玉泉堂は、初代より「深輪屋」という屋号で、五代目の土屋甚右衛門が文政元年(西暦1818年)に甲府市で創業。「深輪屋」は水晶業者の草分けで、文政四年に水晶県外移出のさきがけとして江戸で始めて売り出し、関西方面まで水晶細工品の販路拡張に努めた。また、甲府代官の御用達でもあった。

弘化二年(西暦1845年)に屋号を「玉泉堂」と改名したが、「深輪屋」も並称されていた。

第二次世界大戦の甲府空襲で店舗と工場を焼き尽くされたが、十一代目土屋甚右衛門が苦労の末に水晶細工品を取り揃え、東京・銀座にて玉泉堂を復活させた。



東京・銀座の店舗は、現在も十一代目が復活させた当時の場所そのままに、十三代目土屋甚右衛門が店に立ち、原石・数々アクセサリー・ぐい呑みなど様々な水晶を提供している。古い写真は甲府の店で明治40年頃のもの。

YT

ジャワ更紗専門店 ケチャ



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央4丁目5-39

インドネシアの伝統工芸品であるジャワ更紗を中心にインドの生地や呉服を取り扱う衣料品店

バティックと呼ばれるインドネシアのジャワ更紗や絣の生地を用いて、和装・洋装・インテリアグッズなどを要望に応じて何でも製作してくれるオーダーメイドショップ。

アジアンテイスト豊かな店内にはバティック・イカット(絣布)・インド生地などの様々な柄が取り揃えられている。イベントなども全国で開催しており、「ジャワ更紗のきもの展」では各種生地の着物や帯、洋服や日傘、巾着小物などの提供がされている。

伝統的な日本の足袋も、生地の柄によってオリエンタルマジックともいうべき全く新しい価値を生み出している。アイデア次第で様々なオリジナルグッズを作ってもらえるのは嬉しい。



YT

木綿屋薬局

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目12-4

創業からまもなく150年、甲府市長も輩出し、5代に渡って甲府の「相談のできるまちの薬屋さん」として地域に根差した営業をしている

歴史は江戸時代まで遡る。初代成島治平は江戸から派遣され甲府勤番士として甲府城に勤めていた。その初代が養子として迎え入れた二代目成島治平(信順)が、武士をやめ現在の山梨信用金庫本店(旧錦町)の地に明治4年(西暦1871年)「有素堂木綿屋」としてに創業した。元々信順は長野県の薬種商の息子であった。

その後、三代目成島治平(八百蔵)は山梨県で初、日本で最初の薬剤師の一人となる。また、八百蔵は名士として甲府商業会議所の副会頭、第十国立銀行監査役などを歴任。山梨県の代表として薬剤師会にも大きく貢献。昭和2年から昭和6年に第14代甲府市長も務めている。四代目の時期には戦争によりお店や薬が消失したものの、現在の位置にお店を再建。現在は五代目ご夫婦がお店に立つ。

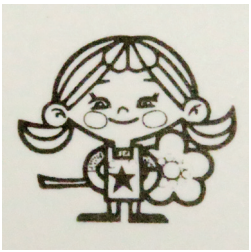


木綿屋薬局の木綿には、「質素・簡素・身近にあるもの」といった深い意味が込められているそう。

今は夜の繁華街のイメージも強い春日あべにゅうであるが、甲府の中心街として様々な変遷があったのだろう。

EI

オリオンフラワー



江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目21-22

オリオン通りにお店を構える昭和20年創業の老舗花店。シンボルと看板の「花」の文字は、どちらも店主の保坂勝美さんが考案したもの。切り花や花鉢に加えてフラワーギフトも多数取り扱っている

昭和20年、現在の店主で2代目の保坂勝美さんのお母様が創業した。2代目の勝美さんは、AIFD・米国フラワーデザイナーズ正会員/フラワー装飾職業訓練指導員/国家検定一級装飾技能士の資格をもっており、奥様・娘さんと家族でお店を営んでいる。

奥様の明るく気さくな人柄にリピーターも多く、お店のみならずオリオン通りまで明るくしているように感じる。



味のある看板には個性的な“花”の文字。隣のステッカーには「世界中の花々」の意味のフランス語が。

角地に建つオリオンフラワー、横断歩道で立ち止まると花の香りに癒される。



YT

河野スポーツ

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目1-5

ラグビーボールの形にスポーツの躍動感を感じさせる文字。創業は昭和23年、桜町にある老舗のスポーツ用品店

中心街の桜通り商店街にお店を構え、地域に根ざしたスポーツ用品店として、スポーツのことはもちろん、中心のお店のことや街のことにも詳しいお店。
学校の体操服はもちろん、部活動で使うスポーツ用品などの取り扱いも多く親子で訪れるお客さんも多い。
店頭では見かけないメーカー商品の取り寄せなどにも対応してくれる。
最近ではグラウンド・ゴルフのグッズも人気だそう。

老舗ならではの豊富な知識と細やかな対応。店主の柔らかな人柄に、買うならここで。と思うのも納得の、商店街らしい魅力のあるお店。



YT

キタムラ時計店

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央4丁目3-25

創業昭和4年、時計の他にメガネ・宝飾・補聴器などを取り扱うお店。お店の人のあたたかい人柄も魅力で、いつも身につける大切なものを任せたくなる

甲府の中心街、岡島や澤田屋などの老舗が立ち並ぶエリアで、長年に渡り人々に愛されている時計店。
「毎日または、永く愛用するものだから…良い物を。大切な思い出と共に、過ごしたいから…。そんなお客様のお手伝いを、私共にさせて下さい!」をモットーに、時計の他、メガネ・宝飾・補聴器などを取り扱っている。お店の方の温かい人柄も魅力のお店。

特徴的な文字は、山梨県立美術館で開催された「デザインあ展」にも紹介されていた。





YA

Rigel (リゲル)

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目13-6

平成30年にオープンしたジュエリーの産地・甲府で活躍する作家達が運営するジュエリーショップ。昭和時代の喫茶店をリノベーションして造られた

山梨のジュエリーを裾野から盛り上げること、作家の自由な活動を応援することを目的に、甲府クラフトラボで出会ったジュエリークリエイター3人がジュエリーと革のクラフトショップとして立ち上げた。令和元年に創業者の一人である店主が志半ばで突然の他界。現在は創業者の遺志を継ぐ2代目店主の元、甲府の街に温かな光を灯している。
店名「Rigel(リゲル)」はオリオン座の一等星の名前で、冬のダイヤモンドを形成する恒星の1つ。





店番は作家の日替わり制となっており、作家さんに直接会えるのも魅力。
店内では日によって生花の販売やパリスタイルのフラワーアレンジメント、イベントなども行われ、ハンドマッサージの提供やカフェなど様々な体験もできる。

YT

おもちゃのさいとう

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目1-8

平和通り沿い県庁近くにあるおもちゃ屋さんの看板。昭和27年に創業、70年近く時代に応じたおもちゃを販売してきた老舗おもちゃ店

終戦から7年、戦後間もない昭和27年におもちゃのさいとうは創業した。
戦時中は甲府も空襲で焼け野原となった。そのような中からの戦後復興最中、戦後の食料難がようやく解消されつつあった時代である。つらい経験をした子どもたちにとって、おもちゃはどれほど輝いてみえただろう。
そして、そこから70年近く。半世紀を過ぎてなお、続いているおもちゃ屋さんである。けっして広くはない店内には新旧入りまじって、所狭しとたくさんのおもちゃが並ぶ。
「おもちゃは入れ替わりが早いからね」と、店主が言うように、人気が集中しやすく入れ替わりが早いおもちゃを取り扱って続けていることも本当にすごいことだと感じる。
令和2年、最近の人気は「NintendoSwitch(ニンテンドースイッチ)」だそう。

いったい、どれだけの子どもや大人が、この店内で目を輝かせ宝物を手に入れてきたのだろう。
たまには童心にかえって足を踏み入れてみてはどうだろうか。最新のおもちゃから昔欲しくても買えなかったものまで、思いがけない出会いが待っているかもしれない。



EI

大森水晶

大森水晶

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目7-16

まもなく創業100年となる水晶の専門店。山梨県の宝飾産業の功労者大森文衛が創業し現在も進化を続けている

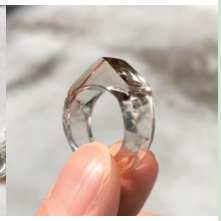
株式会社大森水晶は大正13年(西暦1924年)に大森文衛が創業した水晶の専門店。大森文衛は、昭和37年に黄綬褒章を授与され、山梨県の宝飾産業の功労者として知られる人物。

大森水晶は、山梨の宝飾産業の基盤となった水晶の研磨の高い技術を用いて、様々な水晶宝飾品を生み出している。その職人技は全国の百貨店催事などでも人気がある。また、近年では、広がる海外市場に目を向けたwebなどによる発信も行なっている。

古名屋ホテルの隣にあるお店のショーウィンドウには、シーズンごとにハイセンスなマスキングテープ装飾がされ、道行く人の目を楽しませてくれる。

サンリオのキティとのコラボ商品なども展開している。
近年は4代目がデザイン加工した、原石をくり抜いたリングも人気。





EI

武藤呉服店

京のきもの 武藤

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目21-7

甲府中心街１番の老舗呉服店。心のこもったケアで甲府の人々に素敵な着物を伝えている

大正7年(西暦1918年)創業、令和2年に創業100年を迎える呉服店。甲府中心街では一番古い呉服店と思われる。成人式などの着物を誂(あつら)えるお手伝いはもちろん、着方を伝えることやアフターケアを大切にしており、代々受け継ぐ日本の着物の文化を甲府で支えている。

「着物を好きな方、着物に興味がある方が、気軽に集える店にしたい」という店主の思いが伝わってくる。

着物の敷居を高く感じる人は、まずは浴衣を購入し、着方を教えてもらうのはどうだろう。店頭には、昔ながらのはんてんや和柄を取り入れた洋服もあり、着物を着る機会がなくとも取り入れられそうなものも。



EI

六曜館骨董店

甲府 六曜館

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目15-15

昭和51年創業の甲府の草分け的骨董店。アンティークの魅力を甲府から発信している

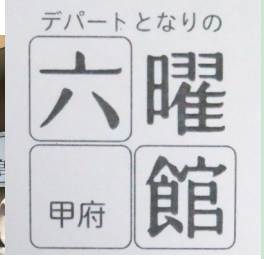
岡島百貨店の隣の骨董店。

店主の成澤秀仁さんが古美術商の仕事を始めたのは20代の頃、老舗の骨董店が立ち並ぶ東京青山だそう。その後、甲府に戻り昭和51年に骨董店「六曜館」をオープン。山梨県内は元より、県外から多くの方が訪れる。店内にはアンティークのランプや陶器、書物、様々なものがところ狭しと並ぶ。

成澤さんは山梨に伝来・由来のものを集めることをライフワークにしているそうで、甲府の昔を知ることができる資料も多数所有。甲府における骨董品収集の草分け的存在でもある。

美しい骨董品に数々は一見以上の価値あり！骨董品の世界に一歩足を踏み入れてみるのはいかがだろう。新しい知見が広がるかも。敷居が高いと感じる人は、同系列の六曜館珈琲店やまんじゅうかくから挑戦してみるのをお勧めしたい。





YT

にもんじや

にもんじや

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目1-11

化粧品と服飾雑貨を提供する老舗店。銀座通りの本店と、駅ビル内のセレオ甲府店を展開

「にもんじや」の店名は、かつて甲府市八日町にあった薬種屋「二文字屋」をルーツとしている。この本家次男である古谷甚甫さんが明治36年(西暦1903年)に現在の地で化粧品小売業を開業。また二代目の敏雄さんの時代、昭和5年頃には、女優や宝塚のスターを招いた斬新な宣伝戦略を打ち出して店先に行列を作るほどの活況を収めた。

三代目の公利さんの時代は、戦後復興の高度成長時代を迎え、隆盛を誇った。その後、数々の店舗展開を経て、今も老舗の暖簾は受け継がれていく。社訓「お客さま一人ひとりと、誠実に向き合う」を守り続ける専務の公宏さんは四代目となる。

昭和の高度経済成長時代は、華やかな銀座通りが輝いていた。にもんじや本店は大みそか深夜でも客足が途絶えない程の盛況であったという。



YT

TODAY RUNNING COMPANY 道がまっすぐ

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目1-25 甲州夢小路内

甲府駅北口からすぐの街と山をつなぐランニングショップ。全く走れない人も、もっと走りたい人も。トレイルランニングをメインとしたランニングショップ

店内には驚くほどデザイン性と機能性を両立したランニングウェアやシューズが並ぶ。しかし、只のおしゃれなお店とあなどることなかれ、店長自らがトレイルランナー・トレイルランのコースディレクターでもあり、ランニングカルチャーの伝道師的存在といっても過言ではないような人。そんな店長からシューズの選び方や走り方、沢山のことを学ぶことができるお店なのである。お店を起点としたランニングイベントなども行われ、ランニングカルチャーを体験できたり、ランニングコミュニティで仲間ができたりと魅力的な拠点となっている。県外から訪れるお客さんも多い。
ネットショップも充実しているので、デザイン性と機能性の高さを確認してみてはどうだろう、新しいきっかけが待っているかもしれない。



「道がまっすぐ」のSNSやブログには、店長のこれでもか！というほどのトレイルラン愛と、お客さんにトレイルランの良さを知って欲しい！！という溢れるほどの思いが感じられる。ここで走ることを始めたら、その魅力を存分に感じられそう。

EI

フカサワ宝石

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目2-15

岡島百貨店の目の前にある宝飾店。ロゴマークの作者は不明。数々のオリジナルデザインを作り上げ、現在も更なる製品の開発を志している。

作られた時代を感じるさせるレトロなデザインのロゴマーク。石の文字の中にきらりと光る輝きのデザインがまたお洒落。イニシャルの“F”の周りは宝石をイメージしたトリミング。現在の店舗を構えた際に作ったものであるようだが、詳細は不明。
創業者深澤喜一は大正9年(西暦1920年)に印鑑の材料として水晶研磨の工場を始め、昭和28年には山梨装身具商会を現在の地に開いた。現在はフカサワ宝石として、伝統カットの良さと格式をオリジナルデザインに込め、宝飾文化を多くの人々に伝えるよう尽力している。





左写真はフカサワ宝石の高い技術を持ってしてのみ作ることができる水晶砂時計。右写真は平成元年、皇室の雅子様ご来県記念に作ったオリジナルデザインロイヤルフラワーネックレス。水晶の輝きがより一段と映える上品なデザイン。

SK

花国

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央4丁目4-17

甲府市中心街のペルメ桜町にある花屋さんは創業から70余年。伝統と流行を融合して花を届ける

現在お店を営んでいる三代目の祖父が戦後まもなくに競輪選手と花屋という異色のダブルスタンダードで創業した。祖父は遠く静岡まで花を切りに行ったり、電車で東京に販売に行ったりと働き者だったという。花と真摯に向き合う姿勢を継承しながら、生花・プリザーブドフラワーに加えアートフラワー ブーケ・コサージュなどの様々なフラワーアレンジメントも提供。店内でのフラワーレッスンは個人でもグループでも対応してくれる。



「花の持つ生きる力(喜び)を日々感じながら商いをしていく」と語る三代目ご夫婦の活動は、クリエイティブに包まれている。ホームページに掲載された様々な花の作品は、写真自体もアート作品のように印象的である。

YT

フジヤ化粧品店

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目20-20

甲府市中心街の、「春日あべにゅう」にあるコスメ＆ランジェリーショップ。創業から73年を迎える

店舗正面の店名「フジヤ」のロゴマークは、クジャクが描かれている。これは店舗設計士の先生が、お店をイメージしてデザインされたもの。
戦後、現在の地にて「おしゃれの店」として創業した。化粧品や服飾雑貨を販売するのみではなく、「特殊メイク体験」などの日常ではなかなか味わえない「体験」を提供してくれる。ハロウィンの時期や特別なパーティーの時には真っ先に相談したい。

レトロ感あふれるお店のロゴのステッカーはカラフルな色どり。クジャクのマークのみのシンボルステッカーと共にマニアにはたまらない貴重なアイテム。



YT

サイキ宝飾

江戸 明治 大正 昭和 平成

上石田4丁目16-8

創業昭和57年のパール&オリジナルブランド企画販売メーカー

社訓は「競争・協調・そして挑戦」、経営理念として「企業の成長」「利益追求」「社会貢献」を掲げる。
日本ジュエリー大賞などを受賞の美術造形作家でジュエリーデザイナー市川治之氏の作品も多く取り扱うほか、デザインが美しく上質なジュエリーを取り扱う。また、現代に合ったパールのリフォームなども提案しており、ホームページでは金具の交換などが具体的に提案されている。



社会貢献として、可愛らしいリングピローの販売を行いその売上金を寄付する活動を行なっている。



美しいデザインが紹介されているホームページは見ているだけで華やかな気分になる。

IO

ワインズ新富屋



江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目29-2

甲府駅から数分の平和通り沿いにある山梨県産ワインはもちろん、世界中のワインを取り揃える圧巻の品揃えを誇るワイン専門店

店内に一歩足を踏み入れると、外から見た以上に沢山のワインが並べられ、ひとつひとつのワインボトルに付けられた、蛍光色の札が鮮やかに目に映る圧巻の光景が広がる。
ワインズ新富屋は、明治40年(西暦1907年)創業の老舗酒屋で、現在三代目。ワインに特化し、世界のワインから山梨県産ワイン、ヴィンテージワインから新しいワインまで取り揃える。高級なワインも多数あるが、食事に合わせる手頃な値段のワインなども購入できるので、ワイン上級者でなくとも立ち寄りたくなるお店。甲府に来たら必ず立寄るという県外の人も多い。通信販売なども行なっているが、豊富な知識をもつ店主に相談しながらその日に飲むワインを購入する楽しみは店頭ならではの楽しみ。



2階には、直営の飲食店「葡萄屋」があり、カジュアルにワインや食事を楽しむことができる。もちろん、ワインが豊富なのでこちらで友人と語りながらお気に入りのワインを探してみるのもいいかも。

EI

かいや

江戸 明治 大正 昭和 平成

下曽根3330-1

鮑の煮貝で有名な食品メーカー。山梨県食品工業団地に本社兼工場を置き、鮑を主に貝類の加工を行う

虹色の貝殻のロゴマーク。鮑の貝殻の内側が光に当たるときらきらと輝く様が、七色の貝殻のデザインで表現されている。また、世界の七つの海から採れた鮑を加工していることも表しているそう。かいやのモットー「贈るよろこび。」この言葉には、鮑の煮貝を受け取った側が喜ぶ姿を、贈り主も想像して喜びを感じてほしい、という想いが込められている。贈り物を選ぶ時間は特別なひととき。そんな大切な瞬間のために、かいやは見た目の美しさから味に至るまで、上質な「鮑の煮貝」を一粒一粒丁寧に作り上げている。

日本ギフト大賞2016 都道府県賞を受賞した黒鮑の煮貝。八海醸造グループ魚沼新潟物産とのコラボ商品。あわびの日本酒浸し、あわびの酒粕味噌漬け、あわびの醤油麹漬け、国産バイ貝旨煮の４種を販売。





SK

みな与



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央3丁目11-20

創業天正12年(西暦1584年)、鷹の羽紋を掲げ甲州伝統の煮貝を守り続ける老舗

天正12年(1584年)みな与は、魚屋として創業。屋号の「みな与」は、3代目飯島与八の一文字をとった略称。
みな与の煮貝は、日本近海で収穫された天然黒アワビを使用しており、天然物だけが持つ豊潤な肉質と磯の香りにこだわりをもっている。国産黒あわびは年々その数を減らし、大きく身の締まったあわびの入手は大変難しくなっているそうだが、一貫して国産黒あわびを使用、昔ながらの製法で伝統にそった味づくりを追求し、現在11代目・12代目がその伝統と味を守り続けている。

時代とともに少しづつ変化しながら、代々引き継がれてきたみな与のパッケージデザイン。
噛み締めるほどに口に広がる旨味。近年は科学的にもその旨味が証明されているそう。





EI



網倉本店

江戸 明治 大正 昭和 平成

相生1丁目11-10
丸の内店 丸の内3丁目29-5

堂々とした文字が目を引く看板、この文字は有名な書家の先生によるものだとか。日本茶や中国茶に加えて、はぶ茶など様々なお茶や海苔を扱う・お茶と茶道具の専門店

お茶の専門店として静岡県の掛川で取れた濃い味と色の深蒸し茶、さらりとした喉越しの鹿児島の緑茶を看板商品とし、味・香り・色にこだわった銘品を揃えている。
創業以来の看板商品の「玉翠」、「掛川茶」、鹿児島産の「ゆたかみどり」をはじめ「黒豆入抹茶入玄米茶」や「どくだみ健康茶」など種類豊富な数多くのお茶を提供している。また季節限定で抹茶チョコレートの販売もしておりしっかりとした抹茶の味わいの品は人気が高い。



看板があるのは網倉本店の丸の内店。網倉本店では、業務用の煎茶、家庭用の煎茶といった需要ニーズに分けた商品も多数あり、中でも業務用のほうじ茶はうなぎ屋、天ぷら屋の名店からも長く愛されている。

YT

ひしわ園

江戸 明治 大正 昭和 平成

太田町4-7

菱和園は昭和27年創業。山梨の人々においしいお茶を届けたい、という思いから始まった会社。ロゴマークは創業者の小尾和男氏がデザインしたもの

菱形の中に“和”の文字があるロゴマーク。菱形は武田菱をもとに、菱のラインを交差させオリジナルのデザインを考案した。“和”の文字は創業者である小尾和男氏の名前からとったもの。
菱和園はおいしいお茶を届けるのはもちろん、お茶のある暮らしや楽しいお茶の時間を提案する会社であるために、茶畑の管理や、2017年からはTY Paper(ティーペーパー)という冊子の発行も始めた。茶畑では茶葉に触れることでお茶を更に身近に感じてもらったり、冊子ではお茶のある風景や楽しいお茶の時間をテーマに、各々のお茶の世界感を提案、紹介している。



深蒸し茶の名産地である静岡県掛川市の一番摘み茶を使用。こだわりの一品は「なごみ」シリーズの最上級品。

SK

山根園

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目16-18

甲府駅のほど近くでお茶の製造・販売を営む昭和21年創業、創業から75年のお茶屋さん。数々の銘茶を取り揃えており、お茶・お茶道具に加え、海苔、干し椎茸、お茶菓子なども取り扱う

毛筆で書かれたロゴマーク。山の文字は甲骨文字のように、連なった山の絵で表されている。「山根」は創業者の出身地に由来するそう。自ら納得のいくお茶づくりを追求する山根園。まずは農家の生産に携わることから始めた。そして丁寧に仕上げたお茶を独自の方法で低温保管・ブレンド。常に鮮度の良い茶葉を消費者に届けている。
こだわりのお茶の葉は、静岡県安倍川上流「谷田」(やぶ北茶発祥の地)で生まれた。肉厚で柔らかく、主力とする深蒸し茶の製法の加熱時間に耐えられるだけの品質を持ち合わせる、まさに優良な茶葉なのだそう。



おすすめの「掛川深蒸し茶」。茶葉が細かく粉が多いため、カテキン・テアニン・ビタミンC・食物繊維・ミネラルなどの健康成分を多く摂取することができる。

SK



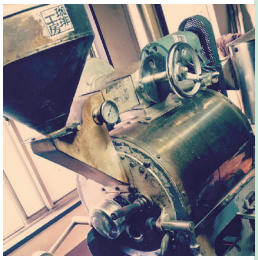
自家焙煎珈琲工房 キング珈琲

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目20-5

創業から60年余り、甲府の喫茶店を自家焙煎したコーヒー豆の卸業で支えてきた。喫茶店ではなく珈琲豆を販売するお店

先代がはじめたコーヒー豆の卸業は、甲府のまちのコーヒーの歴史を支えてきた。生豆からその豆、その卸先に合わせた焙煎をおこなっていくキング珈琲。
フェイスブックには、ひたすらという程にローストした豆の写真が掲載されている。それは言葉以上に饒舌に、大将の新海さんが心をこめて、こだわり抜いてローストしていることの証のように見える。「高くて美味しい豆を出すだけでは卸に向かない。購入しやすい価格でも出せるよう豆の美味しさをどれだけ引き出せるかが問われる」と新海さん。長年の経験に裏打ちされた絶妙な焼き加減、職人気質の新海さんがローストした豆は実に美しい。
キング珈琲は小売りも行っている。タイミングが合えば試飲ができ、自分好みの見つけかたを教えてくれる。この見つけた自分好みを定番として求めに来る常連さんも多い。



写真の焙煎機は歴代5代目で、20年以上活躍しているそう。
日々の一呼吸、自宅で喫茶店のような上質タイムを過ごしてみるのもいいかもしれない。

EI

大関食品



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央5丁目3-15

元の屋号である西川商店の「西」の文字が使われたロゴマーク。名称が変わっても繋がれる想いは残されている

大正3年(西暦1914年)に食品卸問屋、及び食酢製造業の西川商店として、創業。昭和38年、大関食品有限会社に組織変更した。創業106年。現在は食酢製造販売の他、こだわりの詰まった生もずくの製造販売で人気を博している。生もずくは沖縄産を使用、水揚げに立会い厳選する徹底ぶり。南アルプス天然水を使用するなど良いものを大切に使っている。

海のない山梨でもずく?という声も出そうだが、煮貝のように海がない山梨だからこそ工夫を凝らしてきた歴史を考えると、納得できる。

現在主に使用されているロゴマーク。
百貨店などでも引き合いがある人気の生もずくは、作り続けられてきたそのお酢によって美味しさを増す。





YA

川口屋豆腐店

江戸 明治 大正 昭和 平成

城東3丁目11-13

創業昭和25年の豆腐店。現在は三代目がお店を受け継ぎ、昔ながらの手作り製法を守りつくられている

修行を重ねた初代当主が、城東にて創業した店舗はかつて山梨市にあったという。現在は三代目が伝統を守りつつ新しい豆腐づくりに励み、「寄せとうふ」、「城東豆腐」などを生み出している。「城東豆腐」は、見た目が木綿豆腐のようだが絹のような優しい口触り。また大豆の味と香りがしっかりと伝わってくる豆乳も人気が高い。

商品のパッケージや看板の左上に記されている屋号のロゴマークは、山の冠に清の文字が書かれているもので、山の清らかな水の意味だろうか。

三代目は店舗での新しい豆腐づくりに加えて、車に商品を積んでの引き売り(行商)も行っており、一人一人のお客様に手渡しできるようにと甲府市内に出かけている。



YT

三枝豆店

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央4丁目4-20

節分の豆をいる様子は甲府の季節を知らせる風物詩。明治36年(西暦1903年)に創業した老舗の豆菓子・節分豆などを扱うお店

千葉県や北海道の契約農家で収穫した豆を、その日の陽気によって煎り加減を変え、毎日煎って店に並べる。そんな細やかな職人技を昔から引き継いできた老舗店。毎年、節分前は豆を煎る様子を撮影しにテレビ取材が訪れる。

噛むほどに味わいのある職人の煎りたての豆はもちろん、砂糖がけした豆も絶品。

素煎り・味付け・砂糖がけの3種類の味を楽しめる落花生、大豆の豆菓子・節分豆、黒豆の豆菓子やかりんとう等おやつとしてもおつまみとしてもいただける、優しくて健康に良い豆菓子を味わってみてはいかがでしょうか。

日常の嬉しいものから贈り物用まで様々な種類を取り揃えている。
地域の老舗が作る豆菓子は、贈答品にもぴったり。



AM

武田牛乳の “まいぽん”

江戸 明治 大正 昭和 平成

上条新居町106(甲府工場)

誕生して60年以上、山梨の酪農と共に歩んできたゾウさんの印。もともと名前はなかったようで平成24年に「まいぽん」の名前が決まった

県の要請で牛乳製造をスタートしたのは甲府一帯に酪農が定着した昭和23年。トレードマークのゾウさんは昭和29年に登場した。当時、市立遊亀公園附属動物園にやって来たタイ生まれのアジアゾウ「ゆり子」の大人気を受けて採用したという。まいぽんの瓶装乳やヨーグルトは、学校給食・家庭宅配がメイン。小売りは一部に限られているため珍しい商品としても人気が高い。

武田食品では地元が活性化する「地産・地製・地流・地消・地活」の五つの地をテーマにした商品開発・販売など、山梨の魅力と価値を発信する活動を行っている。

河口湖の湖畔にある、まいぽんがメインキャラクターのT's cafe。武田牛乳を使用した濃厚なソフトクリームやミルクプリンを初め、インスタ映えしながら本当に美味しいスイーツやドリンクがいただける。スーパーで見つけられたらラッキーな100%山梨県産の武田牛乳で作られた武田牛乳アイスも人気。





AM

よっちゃん食品工業 カットよっちゃん

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央市高部1921-1

甲府市内で事業を開始した駄菓子屋の定番人気商品「カットよっちゃんシリーズ」近年はゴルフの渋野日向子選手が食べていたことで全国で品切れ続出となる現象も起こった

昭和34年、日本経済が太平洋戦争敗戦の荒廃期から立ち直りを見せ始めた年に「よっちゃん食品工業株式会社」の前身となるスルメ足加工の個人事業を甲府市内でスタート。以来50年余「イカ」一筋に山梨県を本拠としてイカ加工食品メーカーとして現在に至り、東北～九州まで広く日本全国に工場と営業所を持つ。

近年はゴルフ練習場の運営や不動産事業も経営。創業者兼現会長の金井芳雄氏は、昭和50年に2250万円でロールス・ロイス・コーニッシュを購入し、これを金色に塗装し直し、さらにフロントに「よっちゃん」のキャラクターを描かせた。この高級車は会社の宣伝のために大活躍したという。





YT

うし奥

江戸 明治 大正 昭和 平成

相生1丁目4-19

昭和２年創業の老舗お肉屋さん。県内を中心とした卸や、お肉の販売、できたて弁当やお惣菜なども扱う

店頭のショーケースには沢山の種類のお肉が並び、富士桜ポークやワイントン、甲州ワインビーフなどの山梨県産ブランド肉を初め、国産・外国産など様々なお肉の良さを活かして、美味しくリーズナブルに提供してくれる。飲食店からも信頼されるお肉屋さん。定期的に行なっている大変お得な売りだしも必見。

卸の配送トラックには、うし奥のロゴマークと、取り扱っているワイン豚の個性的なロゴマークがあり、見かけたことのある人も多いはず。

お惣菜やお弁当の種類も多く、ひとつひとつが手作り。リーズナブルで満足度が高いと人気。特注弁当にも柔軟に対応してくれる。

揚げ物は注文後に揚げてくれるので揚げたてが食べられるのも嬉しい。



EI

鳥桂肉店

江戸 明治 大正 昭和 平成

北口3丁目5-4

甲府駅北口の路地にある鶏肉専門店。鶏肉・焼き鳥・唐揚げに加えて揚げたてのコロッケやメンチ、ハルマキが人気

創業は昭和38年、オリンピックの前年に開業。昔ながらのお肉屋さんというたたずまいで、夕方4時から営業。販売する全て手作りのコロッケやメンチカツなどの総菜が人気でリピーターが多く訪れる。もちろん、きれいに捌いた鶏肉をはじめとした生の肉も買うことができる。

各種総菜や焼き鳥・モモ焼きなど店内で作られているものは電話予約を受けており、出来立てを味わうことができる。甲府の名物料理である「甲府鳥もつ煮」のB-1 グランプリの際には食材の提供～協力をしていた。

注文してから揚げたてを提供してくれるコロッケやメンチカツなどの各種総菜は、クセになるおいしさで店で調合されている「秘密の油」に理由があるという。



YT

鳥林 (とりりん)

江戸 明治 大正 昭和 平成

国母4丁目4-18

創業125年を超える老舗食肉加工販売会社。鶏肉はもとより牛・豚に加え特殊肉として鹿・猪・キジなども扱う

明治28年(西暦1895年)に雑穀商・上海鶏卵及び韓国特殊鳥取扱業として創業。昭和49年に株式会社鳥林となる。

いまでは甲府を代表する名物料理である「甲府鳥もつ煮」は、当時大量に捨てられていた鳥もつの利用を考え、昭和25年に鳥林三代目店主が「そば処奥藤本店」の二代目店主に相談し、奥藤本店の調理担当者(とんかつ力初代店主)の試行錯誤により生まれた。「老舗の味・鳥林鳥もつ」はオリジナルレシピの「甲府鳥もつ煮」として販売されている。

昭和49年に法人組織となった株式会社鳥林は、すでにこの時代に消費者第一を掲げ、顧客満足度の高い「びっくり市」を開催していた。



YT

ドイツパン工房 Wald (ヴァルト)

江戸 明治 大正 昭和 平成

上石田3丁目3-15

ヴァルト（Wald）はドイツ語で「森」を意味。ロゴデザインは、交友のある四万十市在住の地デザイナー迫田さんからプレゼントされたもの

店長は大手企業に勤めた後、25年前に百姓のサポートをしたいと思い上帯那町でパン屋をオープンした。しかし、パンを作り続ける中でドイツのブロートというパンのシンプルなおいしさに感銘を受け、ドイツでのブロート修行を熱望。その熱意が様々な人を動かし、修行先が決まり、営んでいたお店を廃業して修行を敢行した。そして、18年前にオープンしたのがヴァルトである。

ヴァルトのロゴについて「オープンの準備を進めていたら、ある日ロゴが贈られてきた」と店長。交友のある地域を大事にするデザイナー迫田さんが、実際にパンを食べてイメージしたデザインを贈ってくれた。そのお礼にと定期的にパンを贈っているそうである。人の縁を大切にする店長の人柄を感じさせるエピソードである。



ヴァルトのパンは、身土不二の考えを元とし、ドイツパンでありながら地元や国産の農産物を積極的に利用、八ヶ岳や富士山から採った酵母を使うなど、この風土あってこそ味わえる味となっている。

ヴァルト（Wald)という言葉について、店長は「生き物の出所、癒される場所。山梨を自然豊かな場所にしたい豊かな場所にしたい」と語る。

EI

手仕事パン工房 榮や



江戸 明治 大正 昭和 平成

緑が丘2丁目7-10

緑ヶ丘公園のすぐ近く和風モダンな建物が目を引く、売り切れ終了。平成20年11月創業の人気パン屋さん

暖簾が掛けられた和菓子屋のような外観。その外観が物語るように、榮やには、丁寧な手仕事で、素材にこだわり、山梨県産の小麦や和の食材を使ったオリジナルのパン達が並ぶ。

評判の「十割米粉パン」はグルテンフリーの100%米粉パン。もちもちと弾力のある米粉の食感が人気の逸品。他にも、手作りの甘酒が練り込まれたパンや、味噌を使ったパン、野沢菜おやきのパン、塩昆布とクリームチーズのパンなどなど、その時々で様々なパンを作っている。

朝は8時に営業を開始し、パンが無くなり次第閉店で、午後には品数がぐっと減ってしまうことも多い。電話でパンの取り置きをお願いすることも可能なので、お目当てのパンが決まっていれば予約がおすすめ。





メンチカツサンドやコロッケサンドは、中身のメンチカツやコロッケまで自家製というこだわり。

EI

秀月ベーカリー



江戸 明治 大正 昭和 平成

湯村2丁目4-27

定番のパンが並ぶ、初めてでも懐かしい街に溶け込む老舗のパン屋さん

常盤ホテルの東側の道を南下すると右手に、すっかりと街に溶け込んでいる秀月ベーカリーが見えてくる。レトロで可愛い文字の並ぶお店は、実は三代続く創業60年の老舗、以前は現在の山梨県防災新館の近くに支店もあったそう。

お店に入ると、いつもにこやかでお話好きの奥様が対応してくれる。

お店に並ぶパンは、ザ・定番！と言いたくなるような懐かしく外さない安定のパンたち。ご主人が心を込めて、丁寧に変わらず作り続けられているパンの美味しさは、今、この味が食べられること、それ自体がとても素敵なことのように感じる。





外観・店内ともに、レトロかわいい文字や看板があるので、訪れたらぜひ目をむけてみて。

EI

ずんちゃんパン



江戸 明治 大正 昭和 平成

上石田2丁目9-7

上石田の住宅街で営業している昔ながらのパン屋さん。昭和38年創業。楽しげな看板があらわすように、種類豊富で美味しい様々なパンで訪れた人が楽しくなるパン屋さん

昭和の雰囲気を感じる「ずんちゃんパン」の看板は、ご主人の友人で甲府市で看板屋さんを営む深澤由秋さんが作ってくれた。見る人がわかりやすいデザインでということ以外は、ほぼお任せで頼み、出来上がったのがこの看板。“ずんちゃん”はご主人の修業時代の愛称で、理由は「ずん胴だったから」というユニークなエピソードも。

店内には、ショーケースいっぱいに手作りのお惣菜をこだわりのコッペンにサンドした惣菜パンがズラリと並ぶ。パン生地にもこだわり、牛乳と卵をふんだんに使って作ったふわふわのパンはほんのり甘く、優しい味わい。

シャッターのパンダも看板屋さんが描いてくれたもの。パンとパンダをかけた子ども達にも人気の遊び心のあるデザイン。1番のおすすめは“ささみフライパン”シンプルながら癖になるおいしさ。





SK

タイムベイク



江戸 明治 大正 昭和 平成

塩部店 塩部4丁目10-7
宝店 宝1丁目8-18

朝早くから営業しており、種類豊富、昔から地元で幅広い年齢層に大人気のパン屋さん

朝日町で創業、平成2年に現在の塩部へ移転した。創業から数えると60年以上の老舗である。「タイムベイク」の店名は二代目が考案したもの。現在は三代目が活躍中。
菓子パンや総菜パンを中心として豊富な種類があり、ふかふかでほんのり甘い。種類豊富なコッペパンや食パンのサンドイッチは、何処か懐かしく、いつ食べても美味しい。甘じょっぱく平べったいティータイムなど、ここでしか食べられない人気のパンもある。
一つ一つ袋詰めされており、安全で食べやすく、学校や職場の昼食として買って行く方も多く、お昼過ぎには売り切れの商品も出てくる。年末には、年始用の食パンが販売されるが、早めの予約をしないと買えないぐらい人気である。



ひっきりなしにお客さんが訪れる塩部店。店の前の富士見通りは、その名の通り富士山が見えるポイントがある。

AT

ドレミぱん



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目9-7

甲府中心街、舞鶴通りにある小さなパン屋さん。令和元年に開店12周年を迎えた。オーナーのイメージのもと、看板店がデザインを手掛けた

カラフルな音符が踊る看板が目印となっている“みんなの街のドレミぱん”。
明るく元気をもらえる楽しい歌“ドレミの歌”のように、子どもから大人までみんなに親しまれるお店にしたいという想いを込めて名付けた。
お惣菜パンから菓子パンまで幅広いラインナップで、近隣に勤めている会社員はもちろん、親子連れにも大人気の街のパン屋さん。
特に注目なのは“サバサンド”、クチコミで話題になり、大人気。ご当地シンガーの原田さんがドレミぱんの歌を作っていて、この歌詞にもサバサンドは登場する。



パラスポーツのボッチャの大会に出店した際に作った手作りのフラグ。クリームパンにコロネにクロワッサン・・どれも老若男女に愛される定番商品である。

SK

ブーランジェリー パン ペパン

Pain Pepin
Boulangerie

江戸 明治 大正 昭和 平成

塩部3丁目1-31

店名はフランス語で、ブーランジェリー(boulangerie)=パン屋さん、パン ペパンは、パン(pain)=パン、ペパン(pepin)=種 という意味。ワインに合うパンを買い求める人も多い

平成26年にオープン「どんな時も目の前にある“パン”と真剣に向き合って、食べてくれた人たちに『おいしい笑顔』を届けたい」というオーナーご夫婦の想いがつまったパンがお店に並ぶ。国産小麦をはじめとした素材へのこだわりも魅力のひとつ。
種類も豊富で本格的なハード系のパンから、ソフトで子どもがよろこぶパンやサンドイッチなどなど幅広く、それらがずらーっと並んだ様子は圧巻。もちろんそれらは、老若男女が次々と訪れ、あっという間に売れて行く。



いつも笑顔で迎えてくれるお店の方。「楽しくお買い物出来たかで味の感じ方も変わってくる。」と細部まで心が宿った気遣いもファンを魅了する。

YT

天然酵母パン&カフェ Pied nu (ピエヌ)



江戸 明治 大正 昭和 平成

古府中町952-1

ピエヌはフランス語で素足の意味、気軽に立ち寄って欲しいという思いが込められている

緑豊かなエントランスの先にある、こじんまりとしたパンとカフェのスペース。ピエヌは決して広いお店ではないものの、こじんまりとしたその空間が、かえって知り合いのお店に来たような居心地のよさを感じさせてくれる。
ピエヌのパンは、天然酵母や米麹、山梨県産や国産の小麦、ゲランドの塩、種子島産さとうきび100%の砂糖、オーガニックドライフルーツなどを使用し、体にやさしく、安全な素材を選び丁寧につくられていて、少し小ぶりなパンはあれこれ食べたい人に丁度いい。ただし、売り切れてしまうことも多いので早めに行くのがおすすめ。



店内のカフェスペースでは焼き立てのパンをドリンクと一緒に味わうこともできるので、武田神社にお参りしたあとや、ふとドライブしたくなった時などに立ち寄って、ほっと一息つくのもいいかもしれない。

EI

ベーカリー ハチ

江戸 明治 大正 昭和 平成

朝日4丁目5-5

朝日通り商店街にある本格派ながら親しみやすいパンが並ぶパン屋さん

仕込みから焼成まで心を込めて手作りすること。を大切に思うパン屋さん。気取らず地域の「ちょっと嬉しいパン屋さん」を目指すオーナーは東京の有名店で修行した経歴をもち、店頭には、親しみやすいのに本格派なパンが並ぶ。バターや小麦の風味豊かな本物の味を感じられる。

普段は朝日通りへ行かない人も、散歩がてら訪れてみてはどうだろう。駐車場もあるので車で訪れることも可能。売り切れ次第終了なので、早めに行くことがおすすめ。

ハチパンはお店のロゴマークのモチーフになっている看板パン。ふわふわの丸い食パンで、いろいろな食べ方が楽しめる。
お店のガラスには、その時々に色々な人が描いた絵を見ることができ、地域との温かい交流が伝わってくる。





EI



丸十ベーカリー (丸十山梨製パン)の “グラハムおじさん”

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目28-6

店の壁に大きく描かれたは食パンを乗せたお盆を持ったグラハムおじさん、店のトレードマークになっている。甲府駅南口から徒歩5分、大正創業の老舗ベーカリー

甲府市丸の内に店を構える丸十山梨製パンは、関東を中心に全国各地で愛されている丸十ベーカリーの組合員である。甲州市(旧塩山町)出身の田辺玄平氏は明治34年(西暦1901年)に渡米し、本場のパン作りを学び帰国、東京で「玄平種」というドライイーストを開発、これにより簡単に製パン業が営めるようになり、パン業界に画期的影響を与えた。この大正時代頃を境に、当時主流であった塩味のあるヨーロッパ流のパンからほんのり甘くて柔らかな米国流になっていったと言われている。丸十の由来は、田辺氏の家紋(〇の中に十)に由来。丸十山梨製パンの創業者梅本静枝は新し物好きで、噂を聞きつけ田辺氏から職人を派遣してもらい、従業員に技術を習得させ大正10年に開業した。

一番人気のレモンパンは、昭和10年頃発売されて以来変わらぬ美味しさ。店内はパンのいい匂いはもちろん、目で見ても楽しめる空間になっている。



YS



いなり寿司 清水家

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目18-9

入口の脇にある灯りの看板に書かれているロゴマーク。明治42年創業の老舗いなり寿司店。持ち帰りと店内でいただくことができる。常連さんに愛され続ける甲府の味である

創業は明治42年(西暦1909年)、創業110年を迎える老舗である。戦前に柳町で創業、戦後に現在の地へ移転したそう。現在は四代目ご夫婦がお店を切り盛りされている。いなり寿司のお持ち帰りが人気だが、店内でイートインできるように4人がけの小さなテーブル席が2つとカウンター席がある。

甘辛く煮た油揚げに包まれた小ぶりないなり寿司は、しっとりとジューシーで酢飯には昆布が混ぜられ、旨味を一層引き立たせている。

営業は朝早く3時半には仕込みを始め、8時頃から持ち帰り可能、県外などへ行く前の早朝に買い求める常連のお客さんもいるそう。店内営業は11時から。

毎月17日(定休日以外)は「いなりの日」。通常、いなり寿司1個70円が、この日は1個60円(取材時点)。
手土産に20個、30個とまとめて買っていく常連客も少なくない。インパクト大の外看板も必見！





YT



夢の菓子工房 あっぷる

江戸 明治 大正 昭和 平成

朝気1丁目3-16

昭和創業の40年以上続く老舗の洋菓子店。りんごを象ったロゴマークは、2代目社長である有泉さんがデザインしたもの

平成10年頃リニューアルしたという、かわいらしいりんごのロゴはひらがなの“あ”の文字を象ったものでもあり、中央下にある点は人の“目”を表していて、子どもの顔を象ったものでもある。小さいお子さんを意識して作ったというこのロゴ。あっぷるの店名も洒落た横文字の店名よりも「りんご」の方が小さいお子さんでもすぐ覚えてもらえるだろうと考えたのだそう。子ども達においしいケーキを食べてもらいたいというオーナーの気持ちが伝わってくる、心温まるロゴマーク。

自然が育んだ新鮮で厳選した素材を活かし、ひとつひとつ丁寧に心を込めて手作りしているお菓子は、おいしさの中に優しさも感じられる。

お店自慢の夢見山シューは注文を受けてからクリームを詰めてくれる。外はさくさくの食感で中のカスタードはとろ〜り濃厚。一度食べたらリピート必至の一品。



SK

石坂屋

江戸 明治 大正 昭和 平成

本店 朝日4丁目5-4

番重に印された丸に桔梗の屋号紋と「餅菓子 石坂屋」の文字。地元で広く親しまれる昔ながらの優しい味わいの和菓子を作っているお店

創業大正10年(西暦1921年)、まもなく創業100年を迎える石坂屋さん。
現在の社長は4代目で平和通沿いに分店があるほか、アマノパークスにも納品されており、何十年と通いつめている常連客の方もいるほどである。
保存料無添加で、毎朝手作りの和菓子が人気である。また季節商品では十五夜やお正月の団子や餅、2月の切り山椒などは行列ができるほどの人気。焼き団子は午後になると店頭から無くなってしまう事もある人気商品だそうだ。
実際に食べてみると、非常に美味しい。素朴な味わいでホッとする味で、季節の和菓子「石坂屋」まさにその通りの店である。



店内には定番の和菓子が並んでおり、店頭に並ぶ傍から売れていくほどの人気ぶり。
季節の和菓子として山梨では節分の時期に食べる切り山椒は、冬に入るとつい連想してしまうオススメの味だ。

YS

あんこ工房 いつみ庵



江戸 明治 大正 昭和 平成

国母7丁目1-8

あんこ専門の工場が直売する和菓子店。ワンコインで甘さ控えめのスイーツを楽しめる

お惣菜会社の株式会社いつみ家が提供する和菓子店は平成20年のあんこ工場設立から始まった。平成23年に有限会社いつみ庵が設立され、おはぎ用餡子製造と共に直販店がオープン。平成25年には甲府ブランド認証食品「甲府の証」認定第1号・食品部門の商品として、中道地区のトウモロコシを使用したきみひめとうもろこし大福「きみひめ」が誕生した。おはぎと共に看板商品として人気を博している。



店内では人気商品の「おはぎ」や大福、季節の和菓子などに加えて自宅でおはぎが作れる「あんこ」も販売されている。フルーツや、あんこ、きな粉を使ったプチおはぎの盛り合わせはスイーツ好きにはたまらない。

YT

イルクルソーレ

江戸 明治 大正 昭和 平成

朝日1丁目10-5

朝日通り商店街にあるジェラート専門店。山梨の新鮮な果物や、搾りたての生乳を使った濃厚な「甲州生ジェラート」を提供している

「山梨の味をそのままジェラートにしました」というイルクルソーレは平成29年の5月に創業した。「甲州生ジェラート」は、素材のもつ本来の美味しさを最大限に生かした「生」を感じるジェラート。白桃や葡萄・苺などのフルーツソルベ系フレーバーには農家から直接仕入れた果物を加熱処理せずに「生」のままたっぷり使いジェラートにすることで、熟れた果実をそのまま食べているような、風味豊かなジェラートとなる。またミルク・バニラ・ピスタチオ・チーズなどのミルク系フレーバーには八ヶ岳の麓にある牧場から、朝搾ったばかりの乳を加熱処理せずに「生乳」のまま使用して作られており、濃厚なミルク感を楽しめるジェラートとなっている。



豊富なジェラートのラインナップはフルーツ王国山梨の新鮮な素材が並ぶ。数ある定番のラインナップに加えて期間限定フレーバーも登場するため、1年中楽しませてくれる。直営店の他にオンラインショップも展開。

YT

桔梗屋

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府本館 青沼1丁目3-11
本社 笛吹市一宮町坪井1928 等

桔梗屋という屋号同様潔いシンプルなマーク。和洋菓子の製造販売、桔梗信玄餅の製造販売、銘菓・県産品卸及び販売を行なう

明治の初め桔梗屋本店を名乗る店が柳町四丁目から桜町に至る横町にあり「横町の桔梗屋」と呼ばれていた。その後小尾家の経営により発展、桜町、魚町、山田町などに支店、分店が開設。
創業者中丸熊太郎は、市内の和菓子店「満寿太」で菓子づくりの技を修行した後、親類筋にあたる下連雀の桔梗屋東治郎からのれん分けを受け、明治22年(西暦1889年)に市内旧若松町に和菓子屋を開業。その後変遷を経て若松町(現青沼1丁目)の桔梗屋が甲府本店となった。
桔梗屋の作る桔梗信玄餅は、きな粉をまぶしたお餅に黒蜜をたっぷりかけて食べる銘菓。山梨土産の代表格である。



甲府本館は話の雰囲気溢れる素敵な空間。笛吹市にある桔梗屋工場とアウトレットは、個人は勿論、観光バスもひっきりなしに訪れる人気スポットである。
他にもグループ事業は、桔梗屋東次郎、黒蜜庵、ハイジの村、森の中の水族館、そばほうとう郷土料理信玄、ITALIAN TOMATO CLUB、Dolce vita、ハイジの野菜畑、HanaCafe Kikyouなどなど多数。

AM

金精軒本店



江戸 明治 大正 昭和 平成

太田町6-8

シンボルは、現在使用されている包装紙を撮影させていただいたもの。山梨の銘菓、信玄餅を販売する老舗和菓子店は、明治25年創業。現在五代目店主が店の暖簾を守っている

遠く以前は、「金玉堂」という名で店を開業したという。その後、明治25年(西暦1892年)に現在の店舗名である「金精軒」とした。餅菓子の製造を主としており、全国的に有名な信玄餅の他にも季節ごとに提供される数々の団子など様々な和菓子が並ぶ。団子は、黄粉・桜の葉・抹茶・柚子・胡麻・こしあん・栗・苺・草団子・焼き団子と10種も楽しめるから驚きである。

また北杜市・韮崎市に店を構える「台ケ原金精軒」の初代店主は、現在の店主の祖父にあたる三代目の下で修業をして開業した。独立開業に際して「金精軒」という名を使っても使わんでもどちらでもよいと快く後押ししたという。





五代目店主にお願いして昔使われていた包装紙も特別に撮影させてもらった。

YT

甲府 凪月堂

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目1-23

岡島百貨店の斜向かいにある老舗和菓子店。明治時代から100年有余、甲府の人々に親しまれ続けている

凪月堂の歴史は古く、江戸時代まで遡る。江戸後期、大坂屋二代目喜右衛門は老中松平定信に気に入られ、松平家の御用菓子商となる。松平定信から格別な知遇を得て商号に“凪月堂清白”の5文字を賜り、屋号を凪月堂とする。これが凪月堂の始まりである。

凪月堂のマークの“扇に月”のデザインにおいては、推測に過ぎないが、松平定信の雅号の一つに“風月扇”があり、これから心象して作られたものであると考えても良い。

時を経て明治5年(西暦1872年)、当時の番頭米津松造が両国若松町に暖簾を分けてもらい米津凪月堂(現東京凪月堂)を開業。さらに明治27年(西暦1894年)には溝口郡次郎が米津凪月堂より暖簾を分けてもらい、甲府凪月堂を開業した。

“堂”の文字が特徴的な、昔の甲府凪月堂の包装紙。おすすめの「甲斐古餅」は、上質の玄米粉、くるみ、沖縄産最高級の黒糖を使用し、丹念に手造りしている。



シンボル・画像 提供：甲府凪月堂・峡陽文庫

SK

五味餅菓子店



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央2丁目3-9

昭和3年創業、92年を迎える老舗和菓子店。名物のきび大福は一度食べたら忘れられないと評判の味

名物「きび大福」は創業以来の根強い人気で、五味餅菓子店といえば「きび大福」と言われるくらい甲府で愛される存在である。ほのかに黄色い重たく無いきび餅に、小さめながらアンコがたっぷりと入っている。

そして、もうひとつの名物が「焼だんご」。炭火で焼き上げる香ばしい団子のもっちりとした食感と、甘すぎないみたらしはまさに職人技。「みたらし」と「あんこ」の2種類がある。県外からのファンも多い。

舞鶴城へのお散歩の際に立ち寄って、団子でお花見などいかがだろうか。その際はお茶をお忘れなく。





贈り物にする時など綺麗な化粧箱に入れてもらうこともできる。
きび大福は、余計なものが入っていないため1日置くと硬くなってしまうが、焼いて食べるのも美味しいのでおすすめ。

YA

澤田屋 (さわたや)

江戸 明治 大正 昭和 平成

本店 中央4丁目3-24
本社 向町375

大正ロマンを感じさせるモダンなデザインのロゴマーク。甲府中心街にある本店は明治44年(西暦1911年)の創業時から同所で営業を続けている

創業時は“澤田屋”の屋号を使用していたが、昭和17年に常用漢字表が制定された際、旧字の「澤」ではなく新字の「沢」を使用するべきだとされ、“沢田屋”と改めた。しかし平成5年のリニューアル時に「初心に戻りたい」という想いで元々の澤田屋に戻すことに。その時から現在のロゴマークを使用している。

山梨の銘菓「くろ玉」で知られる澤田屋。ただお菓子を売る場だけではなくイベントスペース「espace・櫻町」をつくり、お菓子の作り方を伝えたり、地元の人に開放するギャラリーを併設するなど、山梨の人や文化、地域の魅力を発信するコミュニティスペースづくりにも力を入れている。

本店限定発売「櫻町38番地」は胡桃とキャラメルヌガーを最中で包んだ和洋折衷のお菓子。澤田屋の創業地でもある本店の昔の住所を商品名としている。



SK

シャトレーゼ

江戸　明治　大正　昭和　平成

本社 下曽根町3440-1
上石田店 和戸店 他

社名のシャトレーゼ(Châteraisé)は、フランス語で城を意味するシャトー(Château)と、ブドウを意味するレザン(raisin)を合わせた造語で「ぶどうの城」を意味している

昭和29年に、甲府市(旧紅梅町)に今川焼風のお菓子を販売する「甘太郎(あまたろう)」を開店したのがはじまり。
工場近隣の契約農家より新鮮な牛乳や卵を自社工場に直接仕入れ、お菓子づくりを行う「ファームファクトリー」と呼ばれる独自のシステムを導入。
洋菓子・和菓子・アイスクリーム・パン・ワインなど、約400種類の商品を取り扱う。また添加物を使用しない無添加製法の商品や、食物アレルギーに対応した商品、糖尿病やダイエットなど糖質が気になる方のための「糖質カットスイーツ」など、安全・安心なお菓子づくりに取り組む。
令和2年4月時点でフランチャイズ店を含む直売店を、国内533店舗、海外8ヶ国・地域に61店舗展開している。



2019年に都心型新ブランド「YATSUDOKI(ヤツドキ)」を東京・銀座で立ち上げ、都心を中心に出店を進めている。

AM

松林軒豊嶋家

江戸　明治　大正　昭和　平成

国玉店 国玉町295-1
中央1丁目14−3

天保3年(西暦1832年)創業の和菓子店。100年以上の歴史をもつ「月の雫」や「絹多ぐるみ」をはじめ様々な銘菓など地元食材を活かした和菓子を一つ一つ丁寧に作り続けている

松林軒豊嶋家は、中央1丁目と国玉町に店を構える老舗和菓子店。創業当時から変わらず、大量生産や大量販売をおこなわず、心を込めた手づくりにこだわっているそう。期間限定の生わらび饅頭や鮎焼き、みかんが丸々1個入ったみかん大福、ぶどうが1粒入ったみずみずしい水晶餅、生麩饅頭、やまなしの冬には欠かせない大神さんのガラガラ(お菓子が中に入った甘いお煎餅)など、挙げるときりがないほど様々な、季節や五感を刺激する味わい深いお菓子があり、常連さんも多い。国玉店には和カフェも併設、あんみつやおしるこなどをいただくことができる。



月の雫は、三代目音兵衛が作り始めた。軽く噛むと生葡萄の甘酸っぱい酸味と砂糖の甘さが絶妙なハーモニーを奏でる逸品。
絹多ぐるみは、甲斐八珍菓の中からくるみ・ぶどう、さらに上質の黒糖と白ゴマを加え、桃山風餡で巻き焼き上げた甲斐伝統のお菓子。焼き上げた皮の風味と餡の旨みが絶妙な上品な和菓子。



EI

Slow Life (スローライフ)

江戸　明治　大正　昭和　平成

朝日5丁目6-10

朝日通りと山の手通りの交差点にある洋菓子店。隣接の富士アイス朝日店と共にスイーツを提供

平成25年にオーナーパティシエの北川雄一さんがオープン。当初は洋菓子店としてケーキや焼き菓子をメインにしていくつもりだったが、ショーケースの中にマカロンを入れてみたところ、たまたま15個並べると丁度よく入ることから15種類のマカロンを販売。この選べる楽しさと美味しさが大人気となり、お客さんには「マカロンのおいしい店」として定着した。マカロンだけでなくバースデーケーキ、焼き菓子なども毎日ていねいに手作りされ、リピーターに愛されている。



お店の看板商品であるマカロンは、県内でもトップの品揃えを誇る15種類。すべて個包装で、自分にご褒美のプチ買いにもうれしい対応。ケーキは12種類、焼き菓子は20種類と選ぶ楽しさが止まらない。

YT

清月

江戸　明治　大正　昭和　平成

貢川店 貢川本町9-33
セレオ甲府店 丸の内1丁目1-8-2F 他

こだわりの素材で限定生産される創作菓子を提供。「オイシサはシアワセ」を伝えて約90年

昭和6年に横浜の伊勢佐木町で開店した。その後、東京都内への移転、戦災を経て山梨県へと移り、南アルプス市に本店・工場を構える。現在、山梨県内に8店舗あり、貢川店は昭和63年に直営の2号店としてオープンした。
昭和61年に誕生した「イタリアンロール」は、バターとクリームのシンプルな極みを醸し出すロールケーキ。現在までロングセラーを続けてい シンプルで深く豊かな味わいが愛され続けている。近年のヒット商品は大粒のピオーネを2粒入れた「甲州レーズン」。「菓心天創」(菓子の心、天が創る)の基本理念の下、より安全で、より美味しいお菓子作りを目指している。





南アルプス市の姉妹都市でもある小笠原諸島の太陽をたっぷりと浴びて育った「島レモン」を丸ごと使用したレモンケーキは、最近のイチオシなスイーツ。しっとりと焼き上げられた、まろやかな酸味とさわやかな香りが立ちのぼる「陽だまりレモン」。

YT

セーヌ洋菓子店

江戸 明治 大正 昭和 平成

中小河原町597

特徴的な文字の看板ロゴデザインは創業から変わらず使っているそう。老若男女に長く愛されるレトロな雰囲気の洋菓子店

セーヌ洋菓子店はご主人が7年間の修行後、平成元年にご夫婦で現在の地に創業した。セーヌの店名はフランスを流れるセーヌ川から。創業当時から変わらない店構えはどこか懐かしく、ひとつひとつ丁寧に作られたお菓子が並ぶ。カットケーキにお誕生日ケーキ、ロールケーキ、クレープ、焼き菓子などその種類の豊富さに圧倒される。約50種類くらいはあるそう。

しっかりとした安定の味わいに、適度な大きさ、老舗洋菓子店ならではの味が嬉しいお店。





一番人気はサワーチーズケーキ。ショーケースに並ぶ美味しそうなケーキの数々にどれにするか悩んでしまう。次はあれも食べてみたい！と通いたくなるお店。

EI

竹屋あさかわ

江戸 明治 大正 昭和 平成

幸町9-25

創業明治28年(西暦1895年)、125年を超える老舗和菓子店。「地元山梨の味を大切に」をモットーに、数々のオリジナル商品を販売している

伊勢通りを挟んで遠光寺東門の向かい側にある竹屋あさかわ。

季節の商品として「春・夏の商品」には朝摘みにこだわって小瀬町で収穫された完熟イチゴを使用した「いちご大福」や「冷やし葛」「朝蒸し柏餅」が並び、「秋・冬の商品」には「月の雫」「栗蒸し羊羹」などそれぞれに県産品を用いた銘菓が並ぶ。また「通年の商品」には、「かりんとう饅頭」「甲州ころ柿」「武田焼」「ぶどう最中」「おかげさまどらやき」など、いつも変わらぬ新鮮な味を提供している。





全国菓子大博覧会で名誉総裁賞を受賞した「ぶどう最中」はレーズンの旨味が効いた大人の味わい。「いちご大福」は摘み立てが一番甘くおいしいという朝摘み完熟イチゴにこだわって毎日つくられている。

YT

だんごの早川

江戸 明治 大正 昭和 平成

若松町5-7

出来立て・完全無添加を追求するお団子屋さん。元々は350年余り続いたお米屋さんであった

お団子屋さんとしては創業から30年余りであるが、その歴史は古い。元々は、江戸時代から続くお米屋さん。以前は、せんべいを製造～提供する工場も営んでいたそう。その後、規模を縮小し現在は甲府中心地に近い場所でお団子を中心に餅菓子、せんべい、あられなどを提供する。

山梨県の名産品である武川米を自家製粉して造られているお団子は、こだわりの逸品。全部で8種類あり、出来立ての本物の美味しさを味わってほしい。と、完全無添加。時間の経過とともに固くなるので、出来立ての体にも優しい美味しさを、ぜひ、その日のうちに味わってほしい。





お団子の他にも季節ごとに造られる草餅、桜餅、柏餅といった限定品などが販売されている。こちらもリピーターが後を絶たない人気商品。

YT

手作り和菓子 竹泉 (ちくせん)

江戸 明治 大正 昭和 平成

長松寺町4-16

昔ながらの和菓子屋さん。一つ一つ丁寧に手作りされているお菓子が美しいお店

竹泉は、飯田通りに面し、団子や大福、草餅などの様々な美味しい和菓子が並ぶお店。

1974年、初代の岡部泉氏が創業し現在は息子である2代目店主、岡部進一氏が伝統を受け継ぎ、その味を守り続けている。店名の由来は、初代の名前とまっすぐ成長する様子から繁栄を意味する「竹」を合わせたものになっている。

店内には様々なお菓子が並んでいて、見ているだけでも楽しい。その中でも焼き団子は、注文を受けてから目の前で焼いてくれるためアツアツを食べる事ができる。1日に200～300本を売上げ、早い時は昼過ぎに完売するお店の一番人気商品である。





竹泉一番人気の焼き団子。注文を受けてから焼き上げるこだわりで、アツアツもちもちを提供してくれる。一度に20本近く買っていくお客様もいて、売り切れ必至のため早めに行く事がオススメである。

YS

ちぼりチボン

江戸 明治 大正 昭和 平成

山梨支社 下曽根町3402-3

お菓子メーカー「ちぼりチボン」のロゴマークは富士の見える創業のふるさとを原点に大地の恵みを母のやさしさで包み込むブランドイメージを表現

株式会社ちぼりチボンは平成3年に設立。ホールディングス創業70周年を機に、平成27年9月にブランドロゴマークを現在のものに変更。それに伴いロングセラー商品である「もえぎ野」と「あじし野」をリニューアル発売した。

ロゴマークには“富士山の見える創業者のふるさとを原点に大地の恵みを母のやさしさで包み込むブランドイメージ”を表現している。母が子を想う心。その愛情をお菓子づくりの手本とし、素材選びから焼き上げまで心を込めて作ったお菓子は、おいしくて、楽しくて、健康的でありたいと、ちぼりチボンの全ての社員が願っている。



「もえぎの(左)」
表面にナッツとメレンゲを贅沢に振りかけたサクッと口どける薄焼きクッキー
「もえぎのショコラサンド(右)」
口どけのよいチョコクリームを、ナッツを贅沢に振りかけたサクッとした薄焼きクッキーでサンド

SK

早川ベーカリー

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目1-2

甲府駅から徒歩13分の場所にある老舗の洋菓子店。山梨県で初めてケーキとコーヒーを紹介したお店

昭和4年の創業以来、上品でどこか懐かしい味わいのケーキは、3代にもわたるシェフの美味しさを追求し続ける想いとともに、大切に受け継がれてきた。皇室献上のお菓子をはじめ、山梨でしか手に入らないギフトである「甲府ぶどうの葉カステラ」や誕生日ケーキ、アレルギー対応のケーキなど、様々なケーキを目当てに家族何世代にも渡って通い続けてくれるお客様も多いという。地元では「早川ベーカリー」と呼ばれるより、旧町名である「桜町のベーカリーさん」と呼ばれる事も。長きにわたって人々から愛され、親しまれている。



清潔感のある店内には、甘い香りが漂っていてとても幸せな気持ちにさせてくれる。
ケーキの他に焼き菓子も豊富で、お土産にも喜ばれる。

YS

葡萄屋Kofu

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目1-25

山梨の名産品、葡萄を使用したレーズンサンドを中心に“本当に美味しいもの”を提供するお店

平成24年、朝日町の小さなアトリエからスタート、山梨の甲府の宝ものである葡萄でレーズンサンドを作り始めたそう。地域との共生を大切にし、干しぶどうやブドウジュース、ワイン、サブレなどを取り扱う。

「葡萄屋はお菓子屋ではなく「農産物加工所」」と言い切るように、農業に視点を置きぶどうの有効利用とCO2削減などをコンセプトに掲げる。

山梨県産のぶどうから無添加で作った、半生タイプのジューシーなレーズンを使用したレーズンサンドは大変人気で種類も豊富。葡萄の種類による違いも存分に味わえる。お土産の域を超えた素敵な贈り物としても人気が高い。



レーズンサンドは「甲府のテロワールから生まれた良き物」として「甲府之証(こうふのあかし)」にも選ばれている。

EI

アマノパークス

江戸 明治 大正 昭和 平成

本店 甲斐市篠原1433
甲府東店 和戸町880 他

甲府市内に3店舗、甲斐市に3店舗、富士川町に1店舗を展開している美味しくこだわりのある品物を揃えているスーパーマーケット

昭和52年(西暦1977年)に1号店となる「スーパーあまの」をオープン。会長の故 天野清春氏が、息子である現社長の天野晴夫氏と専務の天野彰氏と共に作り上げてきた「お・い・し・い」デパート、「お客様に満足していただく」をテーマにしている地域密着型のスーパーである。

お客様の声に素直に耳を傾けるという業界の前例にとらわれない柔軟な発想で、オリジナリティの高い店になっている。

令和元年現在では敷島店、岡島店、甲府東店、甲府バイパス店、甲府生鮮市場店、パークス竜王店、サンマルシェふじかわ店の7店舗を展開している。



上品な雰囲気の店内。お昼前や夕飯前になると、おいしい物を買いに来る人で駐車場がいっぱいになる。しっかりと客のハートを掴んでいる証ではないだろうか。

YS

オギノ

江戸 明治 大正 昭和 平成

本社・貢川店 徳行1丁目2-18 他

大きく描かれた「オ」のマーク、ギフトのリボンがかかっているようにも感じられる。甲府におけるスーパーの代名詞的存在

山梨県内を中心に長野、静岡、神奈川で49店舗を展開する総合小売業(ショッピングセンター、スーパーマーケット等)。天保12年に初代荻野市左衛門が「竹の屋」を開業。その後、昭和28年に荻野商店改め「(株)オギノ」を設立。令和2年に創業179年を迎えた。

甲府市内には朝日店、貢川店、下石田店、伊勢店、城東店、向町店、朝気店、上今井店、国母店、山宮店がある。近年ではWEB上でのコンテンツを充実させており、ネットスーパー(宅配サービス)なども展開、買物に行くのが大変な人たちに頼られる存在となっている。電子マネー機能のついたポイントカードの名前は「CoGCa(コジカ)」。

地域密着型のスーパーマーケットを中心に複合型商業施設なども展開。複合型商業施設内ではキッチンスタジオなども運営し、料理教室などイベントの開催にも力を入れている。



YT

いちやまマート

江戸 明治 大正 昭和 平成

本部 中央市若宮50-1
増坪店 住吉本町1188 他

甲府市内に4店舗の他、山梨県・長野県に11店舗を構えるスーパーマーケット

昭和33年に創業。創業社長の息子であった現社長の三科氏は兄から30代で代表取締役を継承した。父・兄が50歳前後と若くして亡くなったことをきっかけに、人生における健康な身体と食生活の重要性を感じ「健康的な食生活が幸せをもたらす」を合言葉に、合成着色料を使った商品は販売しないなど、安心・安全な商品を取り扱うことを大切にし、オリジナルブランド商品も展開している。

甲府市内には4店舗(池田店、徳行店、塩部店、増坪店)、その他山梨県内に7店舗、長野県に2店舗で合計15店舗ある。

ポイントカード「MOREカード」は、ポイントがたまるだけでなく、一定額を購入すると翌月の買物がかなりお得になるクーポン特典もついてくる。

スーパーマーケット単体の場合は「いちやまマート」。他のテナントとの複合店舗形態の場合は「イッツモア」と称する。
いつもフレッシュを届けるため、センター方式ではなく美味しさ優先のインストア方式を採用。これにより、焼きたて・揚げたて・切りたての新鮮さを提供している。



EI

天野宣音楽事務所

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央2丁目9-19

和太鼓奏者にして全国和太鼓天野流宗家家元、甲府市指定無形文化財保持者、故天野宣ゆかりのアーティストやプレイヤーを擁し日本の芸能/音楽、また<窮理居敬(きょういきゅうり)>の精神を後世に伝えるべく活動している

天野宣(1934-2014)は、甲府市指定無形文化財保持者の指定や、文化功労賞 メルボルン(豪)、コンフラン(仏)、名誉市民章 ポー市(仏)、第一回甲府市市民栄誉賞、山梨県文化功労者賞、山梨県県政功績者賞、地域文化功労賞、文部科学大臣表彰など受賞、独自の和太鼓世界を切り開いた人物である。

天野宣音楽事務所は、和太鼓奏者 天野宣(あまのせん)ゆかりのアーティストやプレイヤーを擁し、日本の芸能/音楽、また<窮理居敬>の精神を後世に伝えるべく活動している。

天野宣＆阿羅漢の名前で日本各地、そして世界でも演奏活動をする傍ら、出身地山梨県を始めとする全国天野会四十四チーム、延べ三万人にも及ぶ人材育成に力を注いだ。2008年には天野宣芸能活動50周年パーティーが甲府APIOで行われた。



YA

STK (エスティケイ)

江戸 明治 大正 昭和 平成

飯田本店 飯田2丁目4-1-1F
昭和通り支店 国母3丁目12-24

甲府に根付いた総合不動産会社。STKのCMにも登場するロゴマークはシンプルな形とともに「暮らすを、もっと！STK REAL ESTATE AGENCY」の文字

昭和62年設立、甲府に根付いて30年余り、地域を知り尽くした総合不動産会社。新築住宅建築販売実績1,000棟以上にも上る。

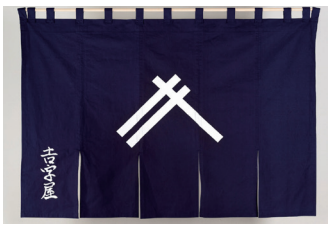
ローカルCM「住まいのことならST犬!不動産ならST犬!‥なんで犬なの?それは、かわいいから〜。住まいのことならSTK♪」の広告が思い浮かぶ人も多いのではないだろうか。住宅の賃貸・売買・戸建・リフォームと幅広く取り扱っているため、様々なシチュエーションの相談に対応してくれるのも心強い。ホームページに色々な情報が掲載されているので、まずはそこから覗いてみてはどうだろう。

STK本社ビルにはデジタルサイネージが設置されている。
学生のインターンシップを受け入れたり、椅子を作るワークショップを開催したり、STKで家を建てたオーナーを招待し「オーナー感謝祭」なども行っている。



EI

吉字屋本店



江戸　明治　大正　昭和　平成

中央4丁目5-29 (旧柳町3丁目)

暖簾に印されているのは吉字屋本店の荷印(きやま)。永禄11年(西暦1568年)創業。創業時の塩の扱いを基に、現在は生活・産業用のエネルギーや人々の移動を支えるモビリティ領域の事業を展開

吉字屋の屋号から意匠をとり荷印「きやま」とする。江戸期には使用されていたことは間違いない。吉字屋の扱う荷を表すだけでなく、当時のショッピングガイド「甲府買物独案内(嘉永七年版)」や地図への記載が確認され、公の印として広く認識されていたことがうかがえる。荷印にあらわされる屋号の「吉字屋」の由来は「敵に塩を送る」の語源になった、戦国時代の塩飢饉の際に敵国越後から甲斐領内に塩を移入した功により、吉字屋初代が甲州金「露壱両金」刻印の「吉」字を屋号に使うことを信玄公から許されたことによる。創業以来吉字屋は暖簾を守り続けている。



暖簾のかかる吉字屋(左)。安政の大地震後に建てられた甲府を代表する堅固な建物であったが昭和20年(西暦1945年)の甲府空襲で焼失し、現在の社屋(右)から戦後のスタートをきり今に至る。

SK

クリーニング志村

江戸　明治　大正　昭和　平成

朝気1丁目6-16

昭和22年創業のクリーニング店。「洗濯の自由」をキャッチコピーに店舗を展開、甲府を中心に35店舗を構える

クリーニングをどこに出すか?これを世間では『洗濯の自由』と呼んでいるが『早い・安い・きれい』と言えば?答えはなんだ!?しむらっ!」という内容の県内で流れるTV-CMで有名。

近年、日清カップヌードルがご当地CMのパロディCMとして取り上げるなど、その認知度は確固たるものである。

また、サンリオのハローキティとコラボレーションをした「クリーニング志村オリジナル・ハローキティ」などもある。そのハローキティとのコラボレーションは山梨日日新聞にも掲載され、BOXティシュやスペシャルクーポン券、メンバーズカードなどの様々なアイテムが揃っている。

近年は本社リニューアルやコインランドリー併設店を展開するなど、更なる躍進を続けている。

クリーニング志村の会員に進呈される、ハローキティ・コラボレーションのメンバーズカードはキティファンにはたまらないレアアイテム。



©'76,'20 SANRIO APPR.NO.L610650

YT

少國民社

江戸　明治　大正　昭和　平成

住吉1丁目13-1

少國民社の活字デザイン。化政文化と言われる江戸時代後期の文化・文政時代、町人文化発展の時期に創業された総合印刷会社

文政7年(西暦1824年)当時富士川水運により一大商業都市であった、甲州鰍沢にて古久屋(依田)紋右衛門正之が、印刷業を創業した。屋号は「古久紋(こくもん)」である。爾来200余年、11代に亘り事業を継承する。鰍沢に於いての事業は明治年間6代目依田久太郎「古久紋印刷所」まであり、大正3年(西暦1914年)7代目依田初男より中央線開通を機に甲府に進出。当時としては珍しい少年少女(少國民)向けの「山梨少年少女新聞」を創刊し児童文化向上に貢献すると共に、社名を「少國民新聞社」に変更、その後(株)少國民社となる。現在は2005年よりインターネット事業を展開、紙媒体とホームページ制作といった印刷とITを融合させ様々な広報媒体の企画制作を行っている。



新版色摺甲斐國絵図
文政8年(西暦1825年)に発行された「新版色摺甲斐國絵図」(実寸950mm×750mm)。版元依田紋右衛門正之が、自身で測量・製図・製版・設色・木版印刷と取り組み当時の最先端の技術で制作。当時盛んであった身延山詣で等の観光パンフレットである。

<(株)少國民社蔵 無断複製・転載を禁ず>

YT

スタジオビートサーフ

江戸　明治　大正　昭和　平成

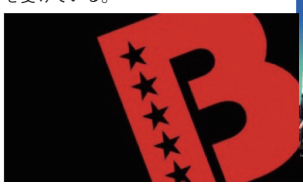
蓬沢1丁目700-1

甲府市蓬沢、国道20号沿いに構える県内最大クラスのストリートダンススタジオ。ロゴマークのデザインはオーナーが手掛けた

ダンサーのシルエットが目を引くロゴマーク。Bの中にある5つの星は、ストリートカルチャーに大切なDance、Music、Art、Fashion、Originalityを表している。ダンサーシルエットはビートサーフ10周年を記念して各ジャンルのインストラクターを載せたもの。まさにストリートカルチャーを反映したセンスあふれるデザインだ。

スタジオビートサーフには様々なジャンルのクラスがあり、どのクラスも実績・実力を兼ね備えたインストラクターが丁寧に指導する。山梨でストリートダンスを始めるならここが1番!と言っても過言ではない。

ビートサーフのロゴマークは何種類かあり、どれもかっこいい。生徒の年齢層も幅広く、4才から60才以上のシニアまで、老若男女問わず多くの生徒が毎日楽しくダンスレッスンを受けている。





SK

株式会社ダイタ

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目14-13

元禄10年(西暦1697年)創業で当時の事業は「地主・金業」。320年以上前から金融と不動産業を視野に入れていた

元禄17年(西暦1704年)柳沢吉保が甲府城主となった際には、甲府城下町の再整備に着手。明治36年(西暦1903年)、国鉄中央線の韮崎開通時に、肥料・食塩・石油などの販売を開始。以降、石炭販売・ドイツSB小型電気自動車の販売などエネルギーとインフラにも進出。高度経済成長時期には米穀・肥料・各苗等の販売部門を逐次縮小し、不動産等への業種転換に着手。
昭和38年、従来の中込商店を中込産業株式会社に改組し、中込アパートを開設して不動産、賃貸業を開設。その後、昭和43年に甲府駅前にダイタビルを建設、貸オフィスビル業を開始した。現在これらのビルは新世代のビジネスを紡ぐクロスフィールドとなり、さらに令和2年には新ビル「CROSS500」も完成した。



ダイタの社名は、屋号の「大黒屋」と代々引継がれてきた「太右衛門」を重ね合わせたもので、古くから顧客が親しみを込めて呼んでいた。
写真は明治時代の中込本店営業部。

YT

司土地

江戸 明治 大正 昭和 平成

宝1丁目19-25

甲府市を中心に賃貸、賃貸管理、不動産の売買仲介を基本に営業展開する不動産会社。昭和46年創業

会社のPRとして製作されたCMは地元のローカル放送で放映され、不動産会社としては画期的なCM放映で当時話題になったという。
内容は、憧れの地球に住まいを見つけるために来たという宇宙人と同時通訳による記者会見から始まり数日後に「ヤット　スムトコ　ミツカッタ」と住居が見つかって喜ぶ宇宙人はUFOに乗って「ツカサ・ツカサ・ツカサ」と連呼しながら飛び去って行く。YouTubeで見かけるコメントにも「懐かしい！小学生の時に夕方よく見た～」などとあり、ファンは少なくない。



80年代～90年代の放映と思われるこのCMは、一般的なローカルCMの静止画像製作が多い中、オリジナルストーリー制作かつ動画製作された貴重なものといえる。

YT

DEPOT
(デポ)

江戸 明治 大正 昭和 平成

上石田3丁目8-6

「社会を豊かにする仕事」専門のブランディング会社。ロゴデザインはトンボロデザインの若岡さんによるもの。

山梨を拠点に「社会を豊かにする仕事」専門のブランディング会社としてソーシャル(社会性)×ビジネス(事業性)を提唱しているDEPOT。
それぞれの領域を深めた専門のクリエイターやブレーン達と共に、企画を形にしていく。
主な事業展開として、ブランディング事業ではCI・デザイン・広告・PR・商品やサービス、建築や空間などの企画制作。また、シェアスペース事業ではクリエイターや作家、地域や社会的活動などを対象にした社会を豊かにする様々な創造活動を発展させるための場所づくりとして、シェアスペースの企画・開発・運営を行っている。その対象は幅広く、会社、飲食店、公共施設などなど。「白州・尾白の森名水公園べるが」のリニューアルなども手がけている。



イラストレター、ライター、デザイナー、カメラマン、建築デザイナー、施工業者などたくさんの専門家(ブレーン)をネットワークするクリエイティブ集団。

YT

株式会社ニュースコム

江戸 明治 大正 昭和 平成

相生2丁目15-1

「あなたの暮らしにうるおいを」の言葉通り、新聞の販売のみならず地域への熱い想いを形にしている

昭和31年(西暦1956年)、有限会社山日甲府専売所として柳町(現在の中央4丁目)にて設立。平成13年に創業45周年を期して、社名を「株式会社ニュースコム」に変え相生2丁目へ社屋を移転。新聞販売事業・広告代理事業・ハウスクリーニング事業・牛乳代理店販売・コミュニティスペース経営などを行う。
地域の方々と共に歩むことを大切にし、平成14年から地域密着型情報誌「マチコレ！」を発行し続けている。その中には、山梨の歴史や甲州弁などローカルならではの情報も多数掲載されていて、山梨のことを「もっと知ってほしい」という並々ならぬ思いが感じられる。

web・モバイル版も発信されている地域密着型情報誌「マチコレ！」のキャラクター“マチコ”は富士山デザインの洋服に甲州弁、大きな耳が特徴。甲州弁のLINEスタンプも必見。オリジナルの「みんなの新聞交換日記」もおすすめ！

EI

ノア動物病院

江戸　明治　大正　昭和　平成

城東3丁目4-15

犬と猫が並んで描かれているその下には、船の形と一体化したNOAHの文字。ノアの箱船」をイメージしてデザインされている

ノア動物病院のロゴマークは「ノアの箱船」をイメージしてデザインされ“ノアマーク”と称されている。林院長はホームページの院長挨拶で「「すべての動物たちを救いたい!」という強い想いをもち、人として自分の家族にケアが必要な時にする、ごく当たり前のことを動物に対しても同様に行っている。そして、そのくり返しこそが動物たちを「ノアの箱船」に乗せることにつながっていると信じている。」(一部抜粋)という強い信念を語っている。ノアマークにはこういった思いが込められている。

平成2年2月に城東センター医院、平成12年3月に八王子病院、平成16年6月には敷島病院を開設。現在も壮大な夢の元に運営している。

Haco bu neco 甲府昭和店のロゴ。「はこぶねこ」は保護猫の救済も兼ねた猫カフェ。気に入った猫がいたら、里親になることもできる。



SK

Vivit Base (ビビットベース)

江戸　明治　大正　昭和　平成

本社 古上条町416-1
サテライト 上石田3丁目8-6

お客さん、社員、ひとりひとりの個性を大切にし、甲府の街を活性化するかっこいい不動産会社

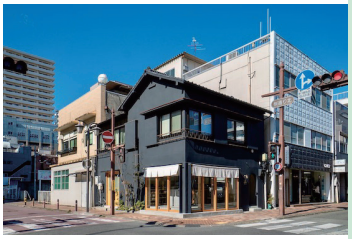
平成25年創業、フレッシュで勢いのある不動産会社である。社長をはじめ社員ひとりひとりの個性が光り、様々な情報発信を行う。

「プロポーズは指輪より合い鍵で」などユニークなキャッチコピーは秀逸。

単に不動産情報を発信するのではなく、魅力的な部屋にするリフォームを行ったり、甲府の街の魅力を体当たりで見つけて発信したり、自分たちでことを起こしたり・・この街に暮らしたい!と思ってもらえる街を作りに行く攻めの姿勢がかっこいい会社だ。

ハロウィンの季節には社員全員で仮装してお出迎え。あちこちに散りばめられた楽しむ心とおもてなしが、ワクワクするお部屋探しを後押ししてくれるに違いない。

平成31年11月、ずっと閉まっていた元和菓子屋の建物をVivitBaseが熱き想いをもってを再生、民泊施設&レンタルキッチン・シェアキッチン「あびすや」としてスタートした。



EI

株式会社マニュアルズ

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内2丁目14-13ダイタビル2F

マニュアルズのMを形どったピンクの丸みを帯びたロゴマークは、創業以来使用されているがどこか新しく普遍的。桃やおしりと言われることもあるとか

「愛情コミュニケーション」をコンセプトにホームページの企画・制作・管理、印刷物・看板などの各種デザインを行うマニュアルズ。平成19年に創業し、ダイタビルにオフィスを構えて12年、ホームページ制作を軸にプロジェクトに取り組む会社である。

社名の由来は、マニュアルのように伝わるわかりやすいコンテンツを、みんなで生産する!といった思いが込められている。

既存の枠に内容を落とし込むテンプレート制作が増える中、あえて依頼毎にオリジナル性の高いホームページを作る。

制作実績は多種多彩で、山梨県内でもエッジの効いた会社や大手企業、さらには東京の有名企業、仙台国際空港なども手掛けている。

ホームページ制作のほかに共同プロジェクトも展開「おてらのじかん」は仏教の宗派を超えて活動する仏教応援メディア。「キモノキブン」は河口湖で富士山をバックに気軽にキモノが着られて海外からの旅行者にも人気。



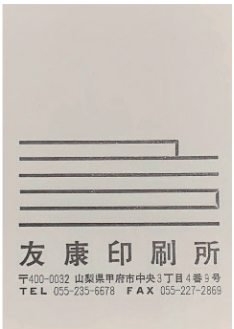
EI

友康印刷所

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央3丁目4-9

友康印刷所(ゆうこういんさつじょ)は、名刺から伝票まで活版印刷を中心に事業展開をしている



活版印刷(かっぱんいんさつ)は凸版印刷の一種で、活字を並べて文章にした活版である組版を作り、それに塗料を塗って印刷する技法、またはその印刷物を指す。

昔の本などはこの手法で印刷されていたものが多いが、デジタル製版が主流となった現代においてはその印字具合の味わいは貴重なものとなっている。

一枚一枚手作業で刷るという作業工程を経て完成する印刷物は、もはや作品に近い。また、昔から使われている書体で印刷されたものは、おしゃれでレトロだと現在でもファンが多い。その中でも友康印刷所は文字組みの多彩さやデザイン性の高さには驚かされる。

また、ロゴやマークのデザイン制作もしてくれる。

ひとつひとつ組み込まれた活字の配列は美しく、アートを感じる。オリジナルの活版製作を依頼できるのもうれしい。まさに世界にひとつだけのオンリーワン印刷物が手に入れられる。



YT

有限会社ライフポート

江戸 明治 大正 昭和 平成

本店 国母2丁目22-5

甲府に根付いた地域密着の不動産会社。甲府市・甲斐市・笛吹市周辺のアパート、マンション、土地、建物の不動産情報を提供、甲府市を中心に約3,000件の物件の管理委託・斡旋を行なっている

創業は昭和62年、国母本店と昭和店があり、昭和店では相続支援センターも併設されている。
地域に根ざした長年の経験と約3000件の豊富な物件管理実績による豊富な情報、日本最大級の不動産チェーンであるアパマンショップ加盟店として豊富な物件を紹介している。また不動産賃貸及び売買の事業に加え、注文住宅(ログハウス・ツーバイフォー・在来工法)の販売も取り扱っている。



ホームページ上の「学生さん向け物件特集」では、大学名を選択すると最寄りの物件情報が得られる機能があり、土地勘の少ない人にも優しいシステムが設けられている。

YT

RelaxationSalon R (リラクゼーションサロン アール)

江戸 明治 大正 昭和 平成

砂田町12-19

Rのロゴマーク。オーナーのイメージをもとに、デザインはフリグラ(東京都杉並区)の山本さんが手掛けている

RelaxationSalon「R」の名前は、3つの“R” リラックス・リフレッシュ・リセットを提供したいという考えで、その頭文字からとったもの。文字の茶色と右下についている花の緑色は、多くの人が癒しを感じられる自然の色を取り入れている。
サロンは経験を積んだオーナーがひとりで経営するプライベートサロン。がんばる女性の活力チャージサロン!をテーマに身体の疲れはもちろん、肌の悩みのケアや気持ちまで前向きになれるよう、丁寧に施術してくれる。
タイやインドネシアにも赴き資格を取得したオーナーの施術を実際に受けてみると、オーナーの技術のすごさが感じられる。



1番人気メニューのバリ式リンパドレナージュ。強めの力加減で身体のコリや緊張を解きほぐす。自律神経の乱れからくる身体の不調の改善も望める。

SK

Rainbow Vocal School (レインボーボーカルスクール)

江戸 明治 大正 昭和 平成

古府中町1428-1

Rainbowの文字とスマイルが一体化したロゴマーク。講師の伊藤さんの原案をもとに、株式会社ジーアール(東京都)がデザイン

「見ただけで幸せになれるような感じにしたい」とスマイルで幸せを表現したロゴマーク。スクール名の“レインボー”には「各個人の個性を形にしたい、楽しさや笑顔が溢れるもの」という意味が込められている。どちらの由来にも「歌を楽しむ」ことを大切にしている講師の伊藤さんの気持ちが伝わってくる。
スクールではカラオケ上達から歌に感情を上手く乗せる方法など、個々の目的に合わせたレッスンを行っている。プロを目指している人へは本格的な指導も。歌の上手さを評価するだけでなく、歌を一緒に楽しむことを教えてくれる、そんな伊藤さんの人柄も""Rainbow Vocal School""の魅力の一つだ。



講師の伊藤ひろのさんは現役のシンガーソングライターでもあり、山梨県内外の様々なシーンで音楽活動を行なっている。代表曲に「向日葵」などがある。

SK

YSK e-com

江戸 明治 大正 昭和 平成

湯田1丁目13-2

昭和61年創業の情報通信産業。ＩＣＴソリューション(情報通信技術)を活用し、企業の問題を解決する事業を展開

システム開発(自治体・流通業・サービス業・製造業等)やネットワーク構築を軸としたICTソリューション事業を展開。ほかにもハードウェア販売やパッケージソフト販売、ホームページ制作、データ処理業務、マネジメントシステム認証支援と情報通信事業全般を手掛けている。
CSR活動にも力を入れており、職場体験・インターンシップ、地域清掃、富士山世界文化遺産登録活動への協賛、地元サッカーチーム「ヴァンフォーレ甲府」のスポンサーなど地域貢献の活動が多岐にわたる。
主軸となる事業の「ソリューション」というキーワードは社歌にも反映されている。



社歌は、山梨在住の人気シンガーソングライター伸太郎さんが作曲を手掛けた。地元のローカルＴＶ・ラジオで頻繁に流れておりそのインパクトは絶大。タイトルは、「Solution ～その笑顔が見たいから～」

YT

ダンス＆バレエ ショップ・スタジオ ワルツ



江戸　明治　大正　昭和　平成

朝日2丁目16-20

甲府駅からほど近い、朝日通り商店街にあり、バレエスクールらしい雰囲気のある看板・文字が目を引く、バレエとソシアルダンスのスクール

ワルツは、3歳からシニアまで幅広い年齢の人々が通うスクール。趣味のクラスから本格的なバレエのコース、音大バレエ学校受験コース等、幅広いレッスンができる。クラスは少人数制でひとりひとりきめ細かく、丁寧な指導を行うことを大切にしている。現役で舞台で踊っている先生、有名なバレエ団に所属し指導者として活躍している先生など多才な講師が、東京から出張しレッスンを行うなど、充実したレッスンが受けられる。



1階には、バレリーナやソシアルダンサーのためのウェアやシューズ・グッズを販売するショップがあり、チャコットブランドを中心としたトウシューズ・バレエシューズ・レオタード・Tシャツ・ファンデーション・シニヨン・その他小物・ギフト類など甲府ではここでしか買えないアイテムも揃う。

EI

桜座



江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目1-7

入口に掲げられた看板。甲府の歴史の中で一旦は途絶えた櫻座、甲府の人々の熱い想いにより新たな形で復活を遂げた

富士川に橋のない江戸時代、流通の一大拠点だった甲府では芝居小屋が人気で「甲府で受ければ江戸でも受ける」と言われて一流の役者や芸人が技を競っていた。その熱は明治に入っても続き、明治9年(西暦1876年)、桜町(今の中央1丁目)に三井座(後の櫻座)が建てられた。しかしその後、時代と共に流行や表現が変わる中で浮き沈みしながら大正を経て、昭和に至るまで人々に愛された芝居小屋も、活動写真に始まった映画の台頭に敗れ、昭和5年に幕を閉じた。

それから75年の時が流れた平成17年、改めて甲府を、山梨を、活気溢れる文化薫る場所にしようと桜座復活プロジェクトが立ち上がり、街の記憶が染みこんだガラス工場を大改築。稼働を開始した。

手を伸ばせば役者に届く程の近さが芝居小屋の醍醐味。
会場の収容人数が少ない分、観客1人当たりの料金は高くなるが、自分自身が劇の世界の中にいる様な臨場感は、大ホールでは味わうことはできない。



DS

文化のるつぼ へちま

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央2丁目13-20

2013年にオープンした甲府市紅梅通りにある複合文化施設。株式会社ニュースコムが運営。ロゴマークは店長である山本さんがデザインしたもの

1階にあるコミュニティカフェを中心に3階は130インチのスクリーンやPA設備のあるイベントスペース、4階はシェアオフィスと、ユニークな構成の複合施設となっている。

「側から見れば謎に包まれたお店になりそうだったので、ロゴマークは格好つけよう!」とデザインしたそう。ロゴマークの中に紅梅通りの名前を入れたのは昔の町名を復活させたい、記憶に残したいという想いから。

店名の“へちま”は老若男女に覚えてもらいやすい植物の名前にしようということと、“へちま”を逆から読むと“まちへ”となり、甲府中心街に足を運んでもらうきっかけのひとつになるようにとの想いが込められている。



1階奥にあるBack Roomは、貸し切りにも対応しており、プロジェクターを使ったミーティングやイベント、ポップアップストアにも利用できる。

SK

studio pellet (スタジオペレット)

江戸　明治　大正　昭和　平成

上石田3丁目8-6

平成29年にオープンした「山梨で自由に選びつくる人のためのシェアスペース」。ショールーム＋スタジオ、オフィス、カフェの複合施設

山梨での生活を豊かにするような商品・サービスを提供する企業がひとつの場をシェアして、カフェ、ショールーム、オフィスとして運営する複合施設。

建築・不動産・コンサルティング・プランニング・グラフィック・フォトグラファー等のクリエイター達ががオフィスをシェアしている。

pellet(ペレット)とは“小さな塊”を意味する言葉。いくつかの小さな事業体が、ひとつの塊になり空間をつくることで、まちやひとを暖めるような場所にというコンセプトを提唱している。



pellet CAFÉでは桃農家Caféラ・ペスカ【農家のジェラート】や葡萄屋kofu【レーズンサンド】といった地域の厳選された素材のスイーツたちが1年中楽しめる。

YT

甲府中央郵便局の風景印



江戸 明治 大正 昭和 平成

太田町6−10

甲府中央郵便局で郵便の差し出しの際などに受けられる風景印は、長年基本のデザインは変わらず、富士山、農村？、葡萄、水晶などが描かれているようである

風景印(ふうけいいん)とは、一部の郵便局に配備されている消印の1種で、正式名称は風景入通信日付印という。シンボルに掲載のものは、平成24年10月1日から使用されている風景印のようであるが、それより前のものも「甲府支店」が「甲府中央郵便局」に名称変更になった際に「甲府」から「甲府中央」になったくらいで、富士山、農村?、葡萄、水晶の基本構成は変わっていないようである。

EI

八百創×甲府刑務所のレタスパッケージのロゴマーク



江戸 明治 大正 昭和 平成

堀之内町500

甲府刑務所で作られている水耕栽培レタスを八百創が提携しパッケージ化、販売している

甲府刑務所は山梨県甲府市にある、男性受刑者を収容する刑務所。明治2年(西暦1869年)、代官町(現在の甲府市相生)に徒刑(ずけい)場を設置したのが始まり。大正11年(西暦1922年)「甲府刑務所」と改称した。

受刑者に出所後の働き先を確保させることで社会復帰につなげようという思いから、職業訓練を行なっており、平成28年から受刑者が野菜の水耕栽培を行う大型ハウスが導入されている。甲府刑務所には現在、約350人の受刑者が服役していて、就職先が決まらないまま出所した場合の再犯率は決まっている場合と比べて3倍高いという。

フリルレタスを大ヒット商品に育てた「八百創(やおそう)」ブランド、イオンスタイル甲府昭和で完売することもあるヒット商品だそう。
甲府刑務所のレタス栽培は、栽培用円形水槽で最大1万5,000株のレタスを栽培可能とのこと。



AM

甲府鳥もつ煮



江戸 明治 大正 昭和 平成

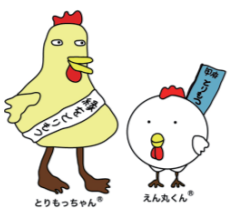
丸の内1丁目18-1
(とりもつ隊所在地 甲府市観光案内所内)

甲府が誇るご当地グルメ「甲府鳥もつ煮」のロゴマーク。鳥のモツを上白糖と醤油をベースにしたタレで煮詰めた甘辛い風味が絶品

鳥もつ煮は昭和25年頃に「鳥のもつが捨てられていてもったいない。なにか安くて美味しいものができないものか。」と甲府市内の蕎麦屋で考案。その後、蕎麦屋から飲食店に広がっていき、今では、ほうとう、煮貝と並ぶ甲府独自の食文化となった。「もつ煮」というと、汁気があって長時間煮込んだものが一般的だが、「甲府鳥もつ煮」は少量のタレを使い強火で短時間のうちに照り煮され、水気が飛んで飴状になったタレで鳥のもつをコーティングし、旨味を閉じ込めて照りを出すという独特の方法で調理される。

砂肝のコリコリ感、しこしこしたハツ、レバーのやわらかさ、ぷちっとした感触のきんかん(産まれる前の卵)。そんな食感のハーモニーが楽しめる。





「甲府鳥もつ煮でみなさまの縁をとりもつ隊」のキャラクター、「とりもっちゃん（左）」と「えん丸くん（右）」。市内のイベントへ頻繁に出現し、子どもたちを中心に甲府市での知名度は高い。

HA

甲府チャンネルの“フジMAX”



江戸 明治 大正 昭和 平成

伊勢1丁目4-11

甲府を中心とした山梨の観光・店舗を紹介しているサイト「甲府ちゃんねる」のマスコットキャラクター。富士山の形で頭にアンテナを乗せている

「甲府ちゃんねる」は株式会社ニューウェーブカンパニーが運営しているサイトで、山梨の観光情報の発信や、サイト内で紹介されている店舗のクーポンをアプリを通じて会員向けに提供している。(株)ニューウェーブカンパニーはWEB制作・デザイン企画会社で、ITビジネスの総合コンサルティング等、幅広く事業を行っている。本社は東京都町田市であるが、代表者の生まれ故郷である甲府市に支社を構え、地元ならではの地域の魅力を発信し、「移住」についての情報提供はユーザーの反響も高い。

フジMAXのキャラクターはLINEスタンプも発売されていて、「山梨大好き！フジMAX」で検索できる。
山梨が大好きな男の子であるフジMAXの得意技は、甲州弁とドヤ顔。

山梨はなんでも おまかせ!!
甲府ちゃんねるナビ

YT

Casa Prisma
(カーサプリズマ)

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目1-25 甲州夢小路Ⅰ棟Ⅱ

正式名称は山梨県立大学フューチャーセンターCasaPrisma。多様かつ未来思考の対話の場、地域と大学との協働によるプロジェクトの活動拠点として2018年12月にオープン

平成30年度に、山梨県立大学、拓殖大学及び山梨総合研究所の連携により内閣府「地方と東京圏の大学生対流促進事業」が採択。この事業は、2大学がそれぞれの特色を活かしながら、地域社会との協働により実践的な教育活動の場を広げていくことで、将来、地域を担う人材を養成していくことを目指す。多様な地域課題の解決に向けた取組をサポートするための様々な場を提供。地域と大学が新たな地域の未来を共創することを目指す。というもの。





2階は人工芝にキャンプチェア、仮想(火を焚かない)ファイアースペースなど、まるでキャンプにでも来ているよう。その上、壁のほとんどにはホワイトボードとスマートプロジェクターが複数配置されているという、まさに未来志向の空間。

YT

甲府ん！路地横丁楽会

江戸　明治　大正　昭和　平成

甲府中心市街地

平成26年に作成された甲府ん！路地横丁楽会のエンブレム。作者は楽会員の並木淳氏

甲府ん!路地横丁楽会は甲府中心街の路地横丁を通じて地域資源に目を向け活用しながら活気溢れる街の復活を目的に、平成26年にNPO法人甲府元気エージェンシー内の一部門として発足した。

毎年秋に「甲府ん!横丁はしご酒ウィーク」を開催するなど、楽会員は自腹で路地横丁を楽しみながら路地横丁内に潜む名店の紹介に取り組んでいる。

ちなみに、甲府の魅力を全国に広め、まちを元気にしようと活動する「甲府鳥もつ煮でみなさまの縁をとりもつ隊」は同NPO内の長兄部門に当たる。



甲府中心街の路地横丁の1つ、オリンピック通り。今も中心街に数多く残る路地横丁内には、昭和の香り漂う名店が軒を連ねている。

DS

Create Future山梨
(クリエイトフューチャー山梨)

江戸　明治　大正　昭和　平成

武田4丁目4-37 山梨大学内

山梨から始まる若者と社会のつながりや社会貢献をテーマに山梨県内の学生を中心に発足

「Create Future山梨」は、代表の齋藤浩平さん(当時は山梨大学大学院教育学研究科修士課程1年)が、平成23年の東日本大震災をきっかけに若者の社会課題に対する関心の薄さに問題意識を持ち、平成25年に設立した。

月に1回程度、大きな社会問題をひとつピックアップして語り合うイベント「みんなのKataruba」を開催。学生が社会について気軽に楽しく考え、語り合う場(きっかけ)を提供することによる学生の社会の諸課題に関する興味の醸成、向学心の向上、様々な地域活動・社会貢献活動への参加拡大などに取り組んでいる。



平成28年に、一般財団法人学生サポートセンターが主催する平成27年度学生ボランティア団体支援事業において、「Create Future山梨」の活動が表彰された。

YT

夢甲斐塾

江戸　明治　大正　昭和　平成

朝日2丁目16-19
(地域コミュニティ広場 花水木)

塾旗をそのままエンブレムにしたもの。塾旗は、夢甲斐塾が自主運営組織へ転換してから最初に入塾した4期生が作成した

夢甲斐塾は、平成13年に「山梨百年の計を考えれば“出る杭を打つ”ような県民性を克服する必要がある」という天野建山梨県知事の想いの元、県による次世代リーダー育成事業として始まり、3年後からは県の事業から離れて自主運営組織として活動している。

研修内容は「自修自得」自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら実践することを基本とし、初代塾長の上甲晃氏は「志高き出る杭となれ」と唱えて15期生までを導き、2代目塾長の白倉信司氏は「志を磨く学校」として16期生以降を導いている。塾旗に記されている「志」が夢甲斐塾の学びの軸となっている。



平成27年9月に開催した横尾山清掃活動。活動テーマの1つに登山を選んだ13期生は、自らゴミの不法投棄という課題を見つけて、自ら清掃活動を実践した。

DS

NPO 未来の荒川をつくる会

江戸　明治　大正　昭和　平成

富士見2丁目2-33

荒川及び荒川周辺の自然環境を守り、県民が安全かつ気軽に川と接することを 可能とする環境整備に向けた活動などを行うNPO法人

未来の荒川をつくる会は、荒川と周辺流域の自然環境を守り、安全で気軽に川に触れられる環境を整える活動を通して人と自然の共生する社会づくりの一翼を担い、県土保全と県民の健康と福利厚生の向上に寄与することを目的としたNPO法人である。
毎月1回胴まである長靴を履いて荒川にザブザブ入り川底に沈む大小様々なゴミを回収する本格的な河川清掃を、毎年夏には子ども達がお魚の掴み取りを体験できる「子ども水辺楽校」を開催している。




浄水場付近で開催している「こども水辺楽校」は、子ども達が生きたお魚に触れられる貴重な機会を提供している。

DS

やまなし未来計画

江戸　明治　大正　昭和　平成

武田4丁目4-37山梨大学 B-1号館315

「やまなし未来計画」とは、若者と地元企業が、未来のわくわくする暮らし方・働き方をいっしょに考え、自分らしく幸せな人生をデザインしていくための情報発信プラットフォーム

「やまなし未来計画」は、企業・団体、自治体、大学を含む教育機関の協働により、未来の暮らし方・働き方に関する様々な情報発信を通じて、若者が積極的に「暮らしてみたい、働いてみたい」と思う地域づくりを目指している。
上記の企画発信等行なっているのが「未来計画研究社」であり、山梨大学地域未来創造センター内に設置された山梨県内の企業・団体と大学が連携し、実践的な教育や交流などを通じて学びを深めるための新たなコミュニティ。
プロジェクト型授業科目「フューチャーサーチ」の中には、「Miraiプロジェクト」では多数の企業・団体と学生が一緒にプロジェクトを推進。「コウフシンボル500プロジェクト」もこのプロジェクトの1つとして学生とともに進めている。

「フューチャーサーチ」をはじめとした様々な授業科目を、県内8大学の学生が「単位互換」という制度を用いて履修することが出来る。大学の枠を超えた多様な学生間の交流も魅力となっている。



YT

こうふぐらし研究所

江戸　明治　大正　昭和　平成

中央1丁目6-4 甲府ビジネスラボ内

「こうふく」+「くらし」=「こうふぐらし」。平成29年に東京からの移住を機に発足し甲府の「おもしろい」を増殖させるをビジョンとして活動を行なっている

空気がいい・水がいい・野菜がおいしい！人がやさしい！と甲府に訪れているうちに甲府の魅力に惚れて、移住。
地元の人に学びながら、日々妄想～実用レベルまで様々な事業企画を構想し取り組む、こうふぐらし研究所。
甲府の魅力を見える化し、さらに甲府の「おもしろい」を増殖させるため、仕組み～見た目まで広義の意味のデザインを軸に、日々甲府を研究し、発見・発掘・発信・提案・実行を行いコミュニティの創造を行なうことを大切にしている。
毎月実施している「山梨県活性化プロジェクト」にも参画するなど、仲間とともに奮闘中。

こうふ開府500年記念事業の企画提案事業として「コウフシンボル500」プロジェクトを始動、事務局の運営に協力。制作委員会・ボランティアとともに本冊子の制作を全力で行っている。

コウフシンボル500プロジェクト

EI

ルーツ
ノ
シンボル

人生のルーツを構成する「学校」のシンボルを紹介しています。似ているけれど微妙な違いがあったり、斬新な印象のものがあったりと、シンボルの意味に様々な思いが込められています。中には、学校がある地域の様子が見えてくるものも。ぜひ見比べながら楽しんでみてください。

＜本項について＞

・この項目の現存する甲府市立の小学校および中学校、専門学校につきましては、甲府市教育委員会様ご協力の元、シンボル・画像（校章・ロゴマーク等）を掲載しております。

・シンボル・画像等は、各学校のご協力によりお借りし、掲載の許可をいただき掲載しております。

・許可の関係から、一部ご紹介できていない学校もあります。ご了承ください。

・本書内に掲載されているシンボル・画像・イラスト・文章・データ等の無断転載および無断転用をかたく禁じます。

・シンボルおよび画像の著作権・所有権・商標登録における権利等は、所有者（または貸出主等）に帰属します。

・上記、著作権等の権利やその他本書に関するご不明な点におかれましては、コウフシンボル 500 制作委員会（メールアドレス：kofulifelab+ks500@gmail.com）へご連絡ください。

甲府市立新紺屋小学校

江戸　明治　大正　昭和　平成

武田1丁目3-34

甲府市北東地区に位置する小学校。校章は、甲府市章をかたどったデザインとなっている

校章のデザインは、甲府市章の外枠である菱型を「甲」の象形文字の中に配置し菱型の中央に「新紺屋」と記した明瞭なデザインとなっている。
明治6年に創立された「本立館」を前身としており、創立146年(2019年こうふ開府500年時点)を迎える市内でも歴史のある学校の一つである。
かつて校門に建っていた門柱は格調高いデザインであり、平成17年3月に新しい校門が設置された後も校庭の片隅に置かれ、学校の歴史を今に伝えている。

「新紺屋」の名は、旧町名の新紺屋町から。以前は紺屋職人が当地付近に居住していたことに由来する。

HA

甲府市立湯田小学校

江戸　明治　大正　昭和　平成

湯田1丁目8-1

甲府市南地区に位置する小学校。校章は、甲府市章をかたどったデザインとなっている

甲府市章をの「甲」の象形文字を大きくしたようなデザインの中に、「湯田」と記した明瞭なデザインの校章。
遠光寺(伊勢二丁目)内に明治6年に創設された「遠光寺学校」を前身としており、創立146年(2019年こうふ開府500年時点)を迎える伝統校の一つである。
甲府空襲では、湯田地区は市内の中でも特に甚大な被害を受け、湯田小学校も校舎・校具等を一切消失した。その後の市民の弛まぬ努力により、地域は住宅地として復興し、全校生徒2,000名を超えるマンモス校となった時期もあった。
「湯田」の名は、甲府城内の追手門前に湯の湧いていた箇所があり、そこに住んでいた町人が当地区に移住したことに由来する。

校歌のフレーズには「ヒバリ」が登場する。それをモチーフにしたヒバリが学校のキャラクターとなっており、他校にはない取り組みが行われている。

HA

甲府市立伊勢小学校

江戸　明治　大正　昭和　平成

伊勢2丁目16-1

甲府市南地区に位置する小学校。校章は、甲府市章をかたどったデザインとなっている

甲府市章をベースに「甲」の象形文字である亀の手足をのびのびと大きく四方に広げるようなデザインの中に、伊勢の「伊」が明快に記された校章。
伊勢小学校は、大正時代に南地区が急速に発展したことにより、当時近隣に学校の無かった伊勢地区住民からの学校設置要望にこたえ、大正14年(西暦1925年)に設立された。2019年で創立から94年を迎える。
「全国花いっぱいコンクール」優秀賞の受賞歴があり、また、ヒマワリを「校花」として定めるなど、園芸教育に力を入れている。
「伊勢」の名は、伊勢神宮の御旅所(おたびしょ。神が巡幸の際に宿泊する場所)に由来する。

校花はヒマワリ。「子どもたちが将来をめざしてこの花のように、協力し合って明るくたくましい子どもになることを願って本校のシンボルの花とした。」とのこと。

HA

甲府市立朝日小学校

江戸　明治　大正　昭和　平成

塩部1丁目4-1

甲府市北地区に位置する小学校。校章は、甲府市章をかたどったデザインとなっている

校章のデザインは、甲府市章をベースに作成されたデザインとなっており、創立50周年記念式典の「お祝いのことば」のなかで、「朝日輝く、輝かしい日の出のマーク」と触れられており、「甲」の象形文字からの放射状に広がる線は輝く太陽(朝日)を表しているとみられる。
また、「甲」の象形の中に、「学」の旧字体で「學」と記されている。
朝日小学校は、大正時代に当地域周辺で人口が増加したことにより、大正14年(西暦1925年)に「春日」「穴切」「新紺屋」「千塚」小学校から分離新設され、2019年時点で創立94年を迎える。無印良品の商品デザインで著名である、工業デザイナーの深澤直人氏は朝日小学校の出身。「NHK課外授業　ようこそ先輩」では、同氏が朝日小の生徒に対し、課外授業を行った様子が放映された。

グラウンドの相川沿いには立つ樹齢100年以上の大ケヤキがある。校舎が何度建て替わっても大ケヤキだけは変わらずに、今日も暖かく生徒たちを見守っている。

HA

甲府市立里垣小学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

善光寺2丁目7-1

甲府市東地区に位置する小学校。校章は、花菱に十字を重ねたようなデザインとなっている

花菱に十字が重なったような特徴的なデザインの校章。「里垣」と記されており、その文字に沿うように十字線が引かれている。校歌の一番に「春待草の萌え出でて」とのフレーズがあり、花菱だけでなく春待草(スノードロップ)の花弁の十字型に似せたのであろうか。校章の由来は不明となっている。

校地内にはブドウ棚があり、生徒は授業の一環としてブドウの栽培を行い、ブドウを使った加工食品づくりについても学んでいる。

「里垣(さとがき)」の名は、明治8年(西暦1875年)に酒折村(さ)、東光寺村(と)板垣村(がき)が合併し、「里垣村」となったことによる。現在、地名として「里垣」の名は存在していない。

学校の近くには、市内屈指の名刹「甲斐善光寺」「東光寺」が存在し、山あいの風光明媚な土地柄とあわせて、落ち着いた雰囲気の中で生徒たちは勉学に励んでいる。

HA

甲府市立相川小学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

古府中町1501

甲府市北東地区に位置する小学校。校章は、丸みを帯びた独特なデザインとなっている

校章のデザインは、クローバーに似た形状のフレームの中心に武田菱が配置され「相川」と記されている。

相川小学校の学区の北側、上積翠寺町には甲斐の名将・武田信玄公の生誕地である積翠寺が存在し、シンボルとして武田菱は外せなかったのであろう。

音楽活動、特に合唱活動に力を入れており、合唱部はNHK全国学校合唱コンクールでの金賞をはじめ、各大会において幾度も入賞するなど、輝かしい実績を有している。

「相川」の名は、昭和12年に甲府市に合併される前の「相川村」から。その由来となった学校の西側を流れる相川は、甲府市の中でもホタルの有数の生息地として知られ、毎年6月頃となると、多くの人がホタルの観賞のためにこの地を訪れる。

校庭の南側の敷地には、「峯本古八幡神社」が存在する。当社はかつて甲斐国の総社であり、甲斐国民から崇敬されていた大社であった。

HA

甲府市立国母小学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

国母4丁目1-10

甲府市南西地区に位置する小学校。校章は、正八角形の独特なデザインとなっている

「『金剛石(ダイヤモンド)も磨かなければ美しい宝石として光を放つことはできない』という意味の昭憲皇太后の詠んだお歌の心を心として現わし、人間も学問を修めなければ立派な人になることはできない。と学問の大切さを説いているものである。」(国母小学校八十周年記念誌より)から、生徒への思いをダイヤモンドの形状に込め、「国母」と中心に記したデザインの校章となっている。

国母小学校は、慈光寺(高畑三丁目)内に「豊住学校(豊住はかつての村名)」として明治14年(西暦1881年)に創設された、2019年に創立138年を迎える小学校である。

「国母」の名は、清和天皇(国)の母・染殿后(そめどののきさき)がこの地の統治を領したことに由来する。

現校舎の北東1kmの地にある慈光寺には、「国母小学校発祥之地」の石碑が残り、歴史を今に伝えている。

HA

甲府市立貢川小学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

貢川本町8-1

甲府市南西部に位置する小学校。校章は、甲府市章をかたどったデザインとなっている

甲府市章をベースに武田菱の内側の亀甲模様の中に「貢」と記され、その周囲を三本の帯が巡っていることで三本川の「川」の字をモチーフにし、「貢川」と表したようにみえる校章。

貢川小学校は、光雲寺(宝二丁目)の「飯田学校」と善応寺(甲斐市万才)の「万歳学校」より派生し、明治11年に「貢川学校」として創設された、2019年に創立141年を迎える小学校である。

もともとは名の通り貢川沿いの前田橋(富竹二丁目)東側に所在していたが、昭和41年に現在の場所へ移設された。古くから地域と連携した教育活動に力を入れており、その名も「貢川教育」として名が通っている。

甲府市の小学校は比較的落ち着いた色彩の校舎が多いが、校舎は鮮やかな暖色で彩られている。この鮮やかな彩りの校舎の中で元気に明るく学んでほしい、と生徒への願いを込めたのだろうか。

HA

甲府市立千塚小学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

千塚1丁目2-16

甲府市北西部に位置する小学校。校章は、甲府市章と似たデザインとなっている

校章は、花菱の中に「千塚」と記されている。明治6年(西暦1873年)に称念寺(千塚三丁目)に「千塚学校」として創設された、創立146年(2019年こうふ開府500年時点)を迎える小学校である。

「千塚」の名は、昭和17年に甲府市へ合併された「千塚村」から命名されたもの。当地は名の通り古墳が多く、隣接する山宮地区と古墳群をなしている。

卒業生には、平成26年に解散した「島唄」「風になりたい」で有名なロックバンド「THE BOOM」のボーカル宮沢和史氏、シドニーオリンピックに競泳選手として卒業した萩原智子氏などがおり、創立記念誌には両者ともお祝いのメッセージを寄せている。

学区の中央地域に今も残る山梨県指定史跡「加牟那塚古墳」は、近隣の万寿森古墳、穴塚古墳とともに、地域のシンボルとして住民に愛されている。

HA

甲府市立池田小学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

長松寺町7-1

甲府市の西部に位置する小学校。校庭からは南に富士山、西は南アルプスの山々を見ることができる

平成31年度は全校児童数466名，通常の学級18学級，特別支援学級4学級。

特色ある教育活動として、校区内ある県立盲学校や県立甲府支援学校との交流及び共同学習を行っており、障がいのある友達に対する思い遣りの心を育んでいる。

1年生から6年生までが少人数ごとに振り分けられて共同で作業を行う「たてわり活動」があり、11月の「池なか集会」では6年生を中心としてそれぞれの班が展示やお化け屋敷などの個性的な企画をおこなう行事がある。校舎や体育館も数年前に新建築され、子どもが伸び伸びと活動をできる環境が整っている。

校庭には石の山があり、業間休みになると子どもたちが石の滑り台などで遊ぶ姿が見られる。また、相撲場があるのも池田小学校ならでは。

AM

甲府市立北新小学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

北新1丁目5-1

甲府市中央部に位置する小学校。異年齢集団による自主的活動を推進し、人を思い遣り、よりよい人間関係を形成できる力の育成に努める

昭和28年4月に開校、令和元年で67年目を迎える。平成24年6月に2年余りかけた新築工事が終了し、校舎や体育館・給食棟・野外広場・プール・校庭など学校の施設が全て新しくなった。

特色ある教育活動として、児童会活動と人間関係づくり、花づくり、音楽吹奏楽活動、学力向上の取組にも力を入れている。現在は「北新モデル」(甲府スタイル)の授業スタイルを継続しながら、2020年度から全面実施される「外国語・外国語活動」に向けた研究に取り組んでいる。教育活動全体においては「みんな輝いて」を共通テーマとして取り組んでいる。

「山梨県小学校バンドフェスティバル」に毎年参加している吹奏楽部。OB、OG、地域の方々に加え、金川の森ブラスアンサンブルと甲府一高吹奏楽部などとも合同イベントを開催。

YT

甲府市立千代田小学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

下帯那町3039

甲府市北部に位置する小学校。校章は、斬新な枠となっているがよく見ると武田菱が基調となっている

校章は、「ちよだ」の読みからデザインされたものだろうか、「ちよ」を「千(ち)」「四(よ)」とし、「千」の字を武田菱となるよう合体させ、その図形の中に「田」の字を記し、「千代田」としたのではないかと想像が膨らむ。

「千代田」の名は、昭和29年に甲府市に合併された「千代田村」から。村名の由来は「帯那山地の片山にそびえる巨岩が鶴の姿に似ており、「鶴は千年(千代)」になぞらえた」ことからきているという。

千代田小学校は、児童減少対策として甲府市全域から生徒を受け入れ、小規模校ならではのきめ細やかな教育を行うなど、特色ある取り組みを行っている。

甲府市で最も北に位置し、学区は南北約30kmともなっている。平成百景で2位となった名勝・昇仙峡にもほど近く、緑あふれる風光明媚な環境の中で生徒は学んでいる。

HA

甲府市立甲運小学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

川田町65-2

甲府市東部に位置する小学校。校章は、ブドウをかたどった独特なデザインとなっている

校章は、甲運地域の特産品であるブドウがモチーフとされ、ツル、葉、果実をフレームとし、「甲運」と中心に記された、地域の特徴が明瞭に表されたデザインとなっている。最上部のツルが重なる部分を菱形にしたことで、武田菱をも連想させるデザインとしたか。

「甲運」の名は、昭和29年に甲府市に合併された「甲運村」から。村名の由来は、かつてこの地が青梅街道などに沿う交通の要衝であったことから、「此橋や運輸を利し、国益を開くの甲たり」として、交通の要衝としてこの地が発展するよう希望を込めて命名されたとされている。

甲府市立甲運第一保育所が校舎の東側に隣接し、生徒は頼れるお兄さん・お姉さんとして園児と関わっている。

学校の周辺には甲運地区の特産品であるブドウ畑が広がる。春から初夏にかけて、この地区一帯はブドウの葉で繁り、一面を緑の絨毯で敷き詰めたような景観となる。

HA

甲府市立玉諸小学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

上阿原町491

甲府市東部に位置する小学校。校章は上部に甲府市章・武田菱を拝し、稲穂をかたどった独特なデザインとなっている

校章は、制定当時(昭和7年)に当地域が「山梨県下の五大農村」と呼ばれており、なかでも米の生産が盛んであったことから、稲穂をフレームとし「玉諸」と中心に記されるデザインとされたか。上部に甲府市章が配置され、下部は稲がリボンのように結ばれているのも特徴的である。

玉諸小学校は、明治6年に高橋寺(西高橋町)に「高橋学校」として創設され、2019年に創立146年を迎える。

「玉諸」の名は、昭和29年に甲府市に合併された「玉諸村」に所在する玉諸神社から。「玉諸」とは、「『玉』は魂を意味し、『諸(室)』は山を意味することから、国の御霊の住まう霊山を指す。」とされている。

白色と濃い青緑色でセパレートされた校舎は独特なたたずまいをしており、どこかノスタルジックに感じさせる雰囲気を醸し出している。

HA

甲府市立山城小学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

上今井町474-2

甲府市南東部に位置する小学校。校章は、甲府市章・武田菱をベースにしたデザインとなっている

校章のデザインは「山」を篆書風に「凵」と「人」に分け、「凵」を甲府市章の菱形に合わせ、その菱形の中に「城」を記してある信玄公の名言「人は城、人は石垣‥」を引用したのであろうか。

山城小学校は、明治6年に開設された「今井学校」「小瀬学校」を合わせて創設された、2019年に創立146年を迎える小学校である。

周辺地域の宅地開発により生徒数は1,000名に迫り、甲府市内はもちろん山梨県内で一番のマンモス校となっている。

「山城」の名は、昭和29年に甲府市へ合併された「山城村」から。「山城」の名は、5村が合併してできた村であることから、畿内5か国(山城・大和・河内・和泉・摂津)に沿って名付けられたとされる(西山梨郡誌)。

全校生徒数が多く、最大6クラスを有する学年も。校庭が手狭になったことから、運動会を小瀬スポーツ公園で開催した時期もあったが、近年ついに校庭が拡張された。

HA

甲府市立大里小学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

大里町3785-2

甲府市南部に位置する小学校。校章は、家紋のような独特のデザインとなっている

校章のデザインは、「青桐の香に生いたてる」と校歌にあることから、アオギリをモチーフとしたか。なお、校章の桐のマークは「五三の桐」といわれる桐紋であり、日本国政府旗の「五七の桐」の桐紋に似た形態となっている。

大里小学校は元々、二日市場村(大里町)の東光寺を仮校舎とし、「厚生館」として明治6年に創設され、2019年に創立146年を迎える。

甲府市の郊外化により、昭和末期にかけ南部地域の人口が激増したことから、市内有数のマンモス校になった。このことから近隣の国母小学校と共に学区を再編し、平成元年に新しく創立された大国小学校へ一部の生徒は転校していった。

学区の西部には国母工業団地が所在し、若い世代が多く居住していることから、大里小学校の学区は甲府市の中でも活気のある地域となっている。

HA

甲府市立東小学校

江戸　明治　大正　昭和　平成

朝気1丁目14-1

甲府市東部に位置する小学校。校章は、他校にはない幾何学模様の独特なデザインとなっている

校章のデザインは、山梨県章の形に類似している。このことから、山梨県章のデザインを模してデザインを作成したかのように思われるが、校章の制定は昭和33年10月、山梨県章の告示が昭和41年10月であることから、県章がこの校章を模して作られた可能性もあるように感じる、真相は謎である。菱形の内部の模様は、「東小」の字を円状に変形させたものであろう。

東小学校は、校舎の最上階にプラネタリウム設備があるという、公立小学校として極めて珍しい特徴を有する。

なお、読売ジャイアンツのV9時代を支え、その後監督を務めた往年の名投手・堀内恒夫氏は東小学校の出身であり、創立50周年式典において講演も行なっている。

東小学校の最大の特徴ともいえるプラネタリウム設備。秋にはPTA行事として「星を観る会」が開催されており、毎年多くの参加者で賑わっている。

HA

甲府市立羽黒小学校

江戸　明治　大正　昭和　平成

羽黒町527

甲府市北西部に位置する小学校。校章は、校名を模したであろうデザインとなっている

校章は、羽黒の「羽」をモチーフに、両翼の羽を左右に伸ばしたデザインとなっている。上下に伸びる丸みを帯びた突起は花菱の一部のようにも見える。下記にのべるとおり羽黒小学校は千塚小学校から分離独立した小学校であることから、千塚小学校の校章をモチーフにデザインされた可能性も考えられる。

羽黒小学校は、近隣の千塚小学校の児童数の増加により分離独立した経緯を有し、昭和48年に創設され2019年に創立46年を迎えた小学校である。

「羽黒」の名は、「羽」は土を意味する「埴(はに)」を意味し、この地域の土壌が黒いこと(=はにくろ)に由来するとのこと(甲斐国志より)。

学区北部にある羽黒山(天狗山・荒木山)の頂上には、「おてんぐさん古墳」と呼ばれる直径30m・高さ約6mの県内最大の積石塚古墳が存在する。

HA

甲府市立石田小学校

江戸　明治　大正　昭和　平成

上石田3丁目6-31

甲府市南西部に位置する小学校。校章は、かなり甲府市章に近いデザインとなっている

校章は、甲府市章をベースに「甲」の象形文字の中に、「石田」と記された明瞭なデザインとなっている。

石田小学校は、昭和中期に隣接する貢川地区の児童数が増加したことにより、昭和52年に創設され2019年に創立42年を迎える小学校である。

「石田」の名は、所在する町名からとったもの。石田地区は、明治天皇が即位した際に行われた皇室行事「大嘗祭(だいじょうさい)」に使われる稲を育てる「悠紀田(ゆきでん)」が存在した歴史を持ち、住民はその歴史を誇りに持っている。

余談ではあるが、下石田2丁目は存在するが、下石田1丁目はなぜか存在しない。

学校の南側に位置する南西第一児童公園には、かつてこの地が悠紀田であった誉れを現在に伝える巨大なオベリスクが立派にそびえている。

HA

甲府市立新田小学校

江戸　明治　大正　昭和　平成

新田町12-28

甲府市西部に位置する小学校。校章は、甲府市章をかたどったデザインとなっている

校章のデザイン作成についての記録には、「校章に託した願い」として、「中心から四方に広がる光の線は、それぞれの目標に向かって生々発展する姿を願った」「『市章の菱型と亀甲』の基本形に、自己実現をめざす甲府市のよい子の姿を象徴とした」と記されている(昭和57年度学校要覧より)。

新田小学校は、昭和中期に隣接する池田地区の児童数が増加したことにより、昭和57年に創設された小学校である。明治時代に創設された小学校の多い甲府市においては比較的新しい部類に入る。

「新田」の名は所在する町名から。金竹地区のうち新田開発をされた地域であり、かつて「金竹新田」と呼ばれたことに由来する。

学校のすぐ南を流下する貢川では、春には川沿いに植えられたヒガンザクラやソメイヨシノが美しく咲き乱れ、さらにライトアップされる区間もあることから、毎年多くの人がこの地を訪れる。

HA

甲府市立大国小学校



江戸 明治 大正 昭和 平成

後屋町150

甲府市南部に位置する小学校。校章は、甲府市章と国の字が融合したデザインとなっている

校章は一見、菱形の中に「大国小」と記したシンプルなものに見えるが、「甲」の象形文字の亀の甲羅と国の口が合わさり、亀の四本足が菱型のフレームまで伸びることで武田菱を模した巧妙なデザインとなっている。

大国小学校は、学区西部に国母工業団地が整備されたことによる住民数の増加により、近隣の大里地区・国母地区の児童数が増加したことから、平成元年に創設された2019年に創立30年を迎えた小学校である。なお、統合合併でなく新設校としては、甲府市の中で最も新しく創設された小学校となっている。

「大国」の名は、大里地区の「大」、国母地区の「国」から命名されている。

学校のすぐ東を流下する、甲府市を代表とする河川「荒川」の大国地区の河川敷では、市の花ナデシコが群生しており、6月中旬くらいに見頃を迎える。風が穏やかで天気の良い日は、川を鏡面に富士山が美しく映る。

HA

甲府市立舞鶴小学校



江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目35-5

甲府市中央部に位置する小学校。校章は、校名を模したであろうデザインとなっている

校章のデザインは公募で選定された。

選定理由は、「『富士山、また頂上のM(舞鶴の頭文字)』『舞う鶴』の要素が融合し、新鮮で洗練された形となっている」「デザインが印象的で、かつ左右対称でなく独創的である」「舞う鶴の表現が柔らかく、小学校の校章としてふさわしい」ことから。

舞鶴小学校は、甲府市中央部のドーナツ化現象による相生・穴切・春日小学校の児童数減少から、三校が統合合併され旧春日小学校の跡地に創設された経緯を有する2019年に創立14年を迎えた小学校である。

「舞鶴」の名は、甲府市のシンボル「舞鶴城」から。校名は公募により277種類のうちから選定された。

校歌はロックバンド「THE BOOM」のボーカル宮沢和史氏(甲府市出身)が作成。校歌発表会には本人も出席し、全校児童と共に校歌をお披露目した。

HA

甲府市立中道南小学校



江戸 明治 大正 昭和 平成

下向山町4366

甲府市南部、旧中道町南部に位置する小学校。校章は、他の市立小学校と大きく異なったデザインとなっている

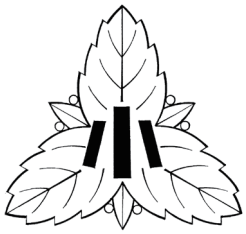
校章のデザインの由来は不明となっている。一見三菱にも見える菱の中央は万年筆のペン先をモチーフとしたような形状となっている。生徒が勉学に励むよう願いを込めたのだろうか。また、中道北小学校は「小」の字のみを記しているが、中道南小学校は「南小」と詳しく記されている。

中道南小学校は、常福寺(右左口町)内に明治6年に創設された「右左口学校」を前身としており、昭和30年に右左口村が中道町となったことにより現校名へ改称された。2019年に創立146年迎えている。平成19年度末に上九一色地区の上九一色小学校が閉校となり中道南小学校へ併合されたことで、甲府市内で最も南に位置する小学校となり、学区は一段と広くなった。

近隣には、中道往還の宿場町「右左口宿」が所在する。歌人山崎方代の生家跡など、現在も当時の宿場町の雰囲気を残す史跡となっている。

HA

甲府市立中道北小学校



江戸 明治 大正 昭和 平成

上曽根町3206-2

甲府市南部、旧中道町北部に位置する小学校。校章は、中道南小と同じく三角形を基調としたものとなっている

校章は、何らかの葉を三角形に配置したデザインとなっているが、中道南小と同じく由来は不明である。改称前の校名が柏小学校であったことから、柏の葉をモチーフにした可能性があるか。

中道北小学校は、龍華院(上曽根町)内に明治6年に創設された「曽根学校」を前身とし、統合により「柏小学校」と改称され、昭和30年に柏村が中道町となったことにより現校名へ改称された歴史を有する、創立146年(2019年こうふ開府500年時点)を迎える小学校である。

現在、リニア中央新幹線の建設が県内において進んでいるが、校庭の中心を軌道が走ることから、校庭のみでなく校舎ごと現在地より南の場所へ移転する予定となっている。

学校の南側にある風土記の丘農産物直売所は、甲府南ICの所在に加え国道358号が通過することとあいまって、休日は多くの人出で賑わう。特に、中道地区特産のトウモロコシ「甘々娘」が人気となっている。

HA

甲府市立善誘館小学校

江戸　明治　大正　昭和　平成

朝気1丁目2-52

甲府市東部に位置する小学校。校章は、統合合併した2校の校章を融合させたデザインとなっている

校章のデザインについては、公募で選定された。選定理由は、「統合する二校の校章を現代風にアレンジし融合させることで、一つの学校として開校し、再び一つ学校となる歴史的な縁と絆を感じさせる」「優しさと力強さの両方を兼ね備え、左右非対称のデザインも斬新で、新設校としてふさわしい」とのことから。

善誘館小学校は、富士川・琢美小学校の児童数の減少から二校が統合合併され、平成23年に旧琢美小学校の跡地に創設された経緯を有する、2019年に創立8年を迎えた小学校である。

「善誘館」の名は、上記のとおり2校の分離前の校名から。「先生は秩序立ててうまく人を導く」という意味の論語より名付けられた。

校歌は、「甲府市にゆかりのある音楽活動家で、快く引き受けてくれる方」に依頼することとなり、甲府市在住のシンガーソングライター伸太郎氏が作成した。

HA



旧甲府市立黒平小学校

江戸　明治　大正　昭和　平成

黒平町477-2

明治7年(西暦1874年)に宮本小学校の分校として開設し、昭和30年に独立し開校、昭和53年に廃校となった小学校。水晶と石楠花がデザインされている貴重な校章。黒平町在住の宮原直美さんからお借りして撮影

黒平町は昇仙峡からさらに北に標高を上がった甲府市最北端に位置する地域。廃校となっているため校章及びシンボルの記録が全く見つからなかったが卒業生の宮原さんに協力をお願いし、奇跡的に見つかった。「探しに探して、物置から出てきたとき、キラキラしてカラフルな宝石を見つけたような気分になった」と発見した時のこと話してくれた。

また、写真提供者の谷和原さんは「古い学校一覧でしか知らなかった学校を見たくて、ある秋の日にでかけました。木造校舎は時を止めたようにそこにあって、子どもたちの声が聞こえるようでした。」と語ってくれた。

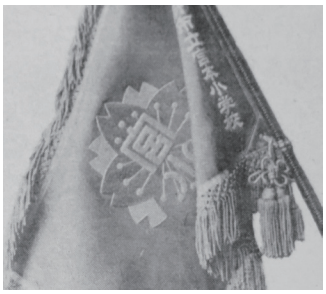
「訪れてからしばらくの後、校舎が解体されたことを知りました。私は卒業生でも何でもありませんが、心に穴が空いたように思ったことを覚えています。」(文・写真共に谷和原のぞみ(ヤワラノゾミ)甲府市出身(昭和46年生))





YT

旧甲府市立宮本小学校



江戸　明治　大正　昭和　平成

御岳町2136

昭和59年に廃校となった小学校。校章は、地域のシンボルである桜をかたどったデザインとなっている

校章のデザインは、「中央の桜のマークは金桜神社にゆかりのある八重桜である。校章として古くから利用され、宮本地区各種団体のシンボルとして愛用されているところである。」(創立百周年記念誌より)とのこと。

宮本小学校は、明治6年に創設された「御岳学校」を前身とし、翌年には「宮本学校」と改称された。昭和53年に黒平小学校が閉校となり、甲府市で最も北に位置する小学校として運営されていたが、過疎化により昭和59年に閉校され、111年の歴史に幕を閉じた。

廃校後、校舎はたたずまいをそのままに、絵画・書道・演劇などの文化芸術活動に使用できる施設「御岳文芸座」として生まれ変わり、現在も活躍中である。

校舎の様子。至近にある「金桜神社」は、甲府市はもちろん、山梨県内でも名社として知られており、花見シーズンは神社のシンボル「鬱金桜」の見物に多くの観光客でにぎわう。



シンボル・画像 出典：金桜(山梨県立図書館 所蔵)

HA

旧甲府市立相生小学校



江戸　明治　大正　昭和　平成

相生2丁目17-1

平成16年度末に近隣の三校と統合され廃校となった小学校。校章は、花菱の色を反転させたデザインとなっている

「学校のそばの外濠に咲いていた菱の花と、武田菱にちなみ優雅にデザインした『花菱』を校章とした。その精神は、『武田信玄の雄と山県大弐の知』を現したものと伝えられている。」(校舎東側に残る石碑より)。

相生小学校は、信立寺(若松町)内へ明治5年に創設された「振徳館」を前身とし、明治9年に「相生学校」と改称された。甲府空襲に遭いながらも戦後いち早く運営を再開し、その後も教育機関としての責務を務めていたが、児童数減少により平成16年度末に穴切小、春日小と統合され、128年の歴史に幕を閉じた。

校舎は廃校後に改装され、甲府市役所相生仮本庁舎として活用された後、現在は甲府市健康支援センターとして利用されている。

学校の東側の南北に通ずる道路に沿って残る外周フェンスであるが、その基礎部分の石積みは、この場所に相生尋常小学校が建設された明治42年以来のものである。

HA

旧甲府市立穴切小学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

宝2丁目8-19

平成16年度末に近隣の三校と統合され廃校となった小学校。校章は、甲府市章の色を反転させたようなデザインとなっている

校章は、甲府市章をベースに武田菱の内側の亀甲模様の中に「穴切」と記した明瞭なデザインとなっている。

穴切小学校は修験正宝院へ明治2年に創立された「研幾舎」を前身とし、明治6年に「飯田学校」と称し創設された。その後幾回も改称され、明治40年に「穴切尋常小学校」と、小学校東側に所在する名社「穴切大神社」にちなむ「穴切」の名が初めて表れた。

中国の小学校と友好校の締結をするなど、当時では画期的な教育を進めていたが、児童数減少により平成16年度末に相生小、春日小と統合され、131年の歴史に幕を閉じた。

校舎は現在、甲府市役所の出先機関「甲府市役所西庁舎」として今なお活躍している。

落ち着いた住宅街に位置する。校庭は、スポーツ少年団の活動や、グラウンドゴルフ会場など、地域の憩いの場として現在も親しまれている。

HA

旧甲府市立春日小学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目35-5

平成16年度末に近隣の三校と統合され廃校となった小学校。校章は、花形の可愛らしいデザインなっている

中央に「春」と記されている校章、「春日」の春のイメージから、桜を連想させるデザインモチーフとなったのだろうか。

春日小学校は明治5年に創立された「振徳館」及び「善誘館」を前身とし、明治43年に「春日尋常小学校」として創設された。当初は春日町(中央1丁目)に存在したが、大正9年(西暦1920年)に百石町(丸の内2丁目)へ移設された。

市内屈指の商業地を学区とする小学校として、かつては児童数の多い小学校であったが、住宅地の郊外化による児童数減少により平成16年度末に相生小、穴切小と統合され、94年間の歴史に幕を閉じた。

校舎は廃校後に改装され、三校を統合し創設された「舞鶴小学校」として、新たな学び舎となり活躍している。

学校北側のタコの遊具で有名な、通称「タコ公園」は、公園等が比較的少ない春日地区において、古くから地域の小学生の貴重な遊び場として今なお親しまれている。

HA

旧甲府市立上九一色小学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

古関町1321

平成19年度末に統合され廃校となった小学校。校章は、富士山をかたどったデザインとなっている

校章は、富士山をベースに葉のモチーフに包まれ「上九小」と記されている。

上九一色小学校は、慈雲堂内に明治7年に創設された「古関学校」を前身とし、その後、九一色小学校、上九一色小学校と改称された。

上九一色村役場が近くに位置し、村内の中心部に所在する学校であったが、過疎化による児童数の減少から中道南小学校に吸収され、133年の長い歴史に幕を閉じた。現在、校舎は甲府市役所の倉庫として活用されている。

特徴的な「上九一色」の名は、この地域一帯が木工業を生業としていたことから「工一色」と呼ばれ、当時9村だったので「九一色」とした(上九一色村誌)とされる。なお、「下九一色」は市川三郷町の地域名として残っている。



旧上九一色村役場の至近にあり、穏やかな村の中でも比較的賑やかな地区に所在する。小学校近くの「上九の湯ふれあいセンター」の温泉には、地域外からも多くの人が訪れる。

HA

旧甲府市立富士川小学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

中央3丁目4-9

平成22年度末に統合され廃校となった小学校。校章は明治39年6月に制定された。菊水の中央に「学」の旧字が配されている

富士川小学校の校章は菊水で、流水の上に菊花が半ば浮かび出た形のものである。菊水は中国の伝説によると不老長寿の瑞祥的意義を持っていると言われ、学校の永遠の隆盛と、児童の健全な成長を願って考えられた。

中心部にある歴史のある小学校であったが、ドーナツ化現象等による児童数減少により、平成22年3月31日に137年の歴史に幕を閉じた。

同年4月より隣接する甲府市立琢美小学校と統合され、甲府市立善誘館小学校が新設されている。旧校舎は現在、富士川悠遊館として市民のコミュニティ活動(地域活動)の拠点施設となっている。





甲府市の小学校では珍しく制服の着用が決まっていた。2000年に放送されたNHK道徳番組「虹色定期便」は、富士川小学校を舞台としおり、出演した子役たちも制服を着ていた。

YA

旧甲府市立琢美小学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

朝気1丁目2-52

平成22年度末に統合され廃校となった小学校。校章は、甲府市章をかたどり甲の象形文字である亀がより亀らしい形となっている

校章は、甲府市章をベースに作成されたか。「甲」の象形文字の中に、琢美の「琢」と記されている。

琢美小学校は、横近習町神明社(中央1丁目)内に明治5年に創設された「善誘館」を前身とし、工町(城東1丁目)に移設後、深町(城東1丁目)に移設、さらには朝気1丁目へ移設された。

多くの生徒が巣立っていったが、中央部のドーナツ化現象による児童数の減少から、富士川小学校と合併し、139年の長い歴史に幕を閉じた。なお、統合新設された善誘館小学校は同敷地に所在する。

「琢美」の名は、当時学校があった工(たくみ)町の読みを瑞祥名とし、「琢(磨き出す)美」としたか。

深町時代の小学校跡地には、現在甲府市立図書館が存在する。
また、廃校となった際の敷地(現：善誘館小学校敷地)には、昔、甲府刑務所が所在していた。



HA

甲府市立東中学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

東光寺2丁目8-1

甲府市東部に位置する中学校。甲府市章をベースとし甲の象形文字の亀が大きく描かれている

過去の名称は甲府市立女子高等小学校。昭和22年に甲府市新学制実施準備協議会で、富士川、琢美、小学校地区及び朝気町を所属とする新制中学校設置を決議し、甲府市立東中学校と校名を定め西中学校、南中学校、北中学校と同時期に開校した。男女共学。学園祭は「東輝祭」という。昭和27年に里垣中学校と合併し、昭和30年に現在の地に移転。昭和34年に甲運中学校合併、昭和38年に玉諸中学校合併。平成29年に創立70周年を迎える。

著名な卒業生は、土井隆雄-宇宙飛行士、田原俊彦-アイドル歌手、俳優、タレント、宮沢正史-元プロサッカー選手。

校内には「夢きよく道はるか」と刻まれた石碑がある。これは、昭和３５年に創られた校歌の中に唱われている言葉。学校の教育指標とされ、子どもたちが夢や希望をもち、未来に向かって力強く歩んでほしいという願いが込められている。

YT

甲府市立西中学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

飯田5丁目13-1

昭和12年、甲府市立男子高等小学校として創立。昭和22年に西中学校として開校した。校章は、富士山と平和の象徴鳩が大きく羽を広げている

時代を感じさせる凹型の特徴的な校舎。屋上に青雲(せいうん)鐘という鐘があり、毎日朝8時に生徒が鳴らすことになっている。毎日、何人かで担当していき卒業までに全校生徒が必ず鐘を鳴らすことができる。この作業は数少ない屋上に登れる機会でもある。

9月には青雲祭(せいうんさい)と呼ばれる学園祭があり、「全校制作」「装飾」「学級旗」部門に分かれ、それぞれ担当した部門の仕事をしながら青雲祭を楽しんでいる。会議などの関係で通常授業が5分短縮される「短縮授業」、10分短縮される「スーパー短縮授業」の日が存在し、次の日の連絡事項が通路黒板に張り出された際に「スーパー短縮」の日があると、帰りの会で喜びの声が上がることが多々ある。

朝と放課後、校門前では先生が挨拶をしている。ちなみに駐輪場では、自転車の鍵を刺したまま駐車していると昼休みに先生に没収されてしまい、放課後自分の鍵を職員室に取りに行く羽目になる。生徒は盗難に気を付ける意識を育める…はず。

AM

甲府市立南中学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

湯田2丁目21-24

南甲府駅からほど近い場所に立つ中学校。校章は甲府市章をベースとしつつも亀の甲羅が縦長で描かれており、武田菱もより正確に再現されている

戦後まもなく昭和22年に創立、翌昭和23年には南中青少年赤十字団を結成し、日赤に加盟。校内にJRC委員会を設けてボランティア活動などを行っている。

昭和26年国母中学校を合併。昭和28年に校旗が制定されている。昭和37年玉諸中学校を合併。戦後復興の中で人々が一丸となり作り上げてきたのであろう。

学園祭は「みんなみ祭」といい、表現活動の一環として、演劇や合唱、応援に取り組んでいる。

著名な卒業生は、遠藤俊英-旧大蔵省官僚、金融庁長官、堀内恒夫-元プロ野球選手・監督、現参議院議員、内藤香菜子-女子バレーボール選手。

「みんなみ祭」は2日間で開催され、1日目は文化部門で、学年劇の発表、イラスト美術部や家庭科部が作り上げた作品の展示、吹奏楽部の演奏などがある。2日目は体育部門で、クラス対抗種目などが行われる。

YT

甲府市立北中学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

大和町4丁目35

校章は、北中学校が発足してまもなく図工科担当の先生が図案化したものを数案検討して決定された

北中学校は、昭和26年に相川中学校、千塚中学校合併、昭和39年に千代田中学校合併、昭和41年に黒平中学校合併、昭和42年に宮本中学校合併と合併を繰り返してきた歴史をもつ。
校章の外側は梅の花であり、梅花のように雄々しく、寒波にも負けない不屈の精神の持ち主であり、りりしく、きぜんとした態度であってほしいという願いが込められている。中側は星の型で北極星を意味し、人生航路の指針になるような強く正しく、理想を求めて進む学徒であってほしいという意味を持つ。学園祭の名称は「北陽祭」。校訓は「個性豊かな民主的実践人」

卒業生である漫画家・武内直子さんの『セーラームーン』シリーズの主人公たちの学校制服は、同校の夏服がモデルであるという説がある。

YT

甲府市立南西中学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

上石田4丁目10-8

昭和35年に北東中学校と同時期に開校。いちょうをモチーフとした校章になっている

昭和35年に創立開校式を挙行、入学式を伊勢小学校の講堂で行う。相生・伊勢・国母が学区となる。開校当初、校舎が完成していないため南中学校と西中学校を借用して仮校舎として使用していた。同年9月に新校舎に移転している。
平成元年、創立30周年記念式典を行うとともに、教育指針「日日に新たに」が決定された。また平成21年に創立50周年の記念式典が行われた。教育目標は「心豊かで確かな学力をもつ生徒の育成」学園祭は「いちょう祭」という。

第13期卒業生同窓会の会長を務めるのは樋口雄一甲府市長。開府500年にあたる令和元年が還暦祝賀会となった。卒業生同窓会の愛称は「いちょう会」。

YT

甲府市立北東中学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

大手2丁目4-18

昭和35年開校。武田神社から程近く、武田氏ゆかりの神社や仏閣が立ち並ぶ歴史エリアに位置する中学校

校章に使用されている葉は、校歌に出てくるセンダンの葉なのだろうか。また、学園祭を「二葉祭」と呼ぶが、この二葉も校章と関連があるのだろうか。想像が膨らむ。
北東中学校では、甲府駅周辺で毎月1回早朝にゴミ拾いや草取り、側溝の清掃を20年以上続けている。平成4年から続いているこの活動は、伝統ある「おもてなし」として紹介されており、生徒会主催の自主的な活動で地域を美しくするという意識だけでなく、甲府駅を利用する方々に気持ちよく使っていただきたいという「おもてなし」の気持ちを育む機会となっている。参加は強制ではなく、あくまで掃除をしたいと思う人の自主参加。この活動を通じて自宅など身の回りをきれいにする意識も強くなったと話す生徒もおり、地域貢献の模範となる取り組みが今も続いている。

学校の基本方針に掲げられている具体的な目標の「人との関わりを重視する指導の推進と思い遣る心の育成に努める」はまさに実践として毎月行われる清掃活動に反映されている。

YT

甲府市立北西中学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

山宮町538

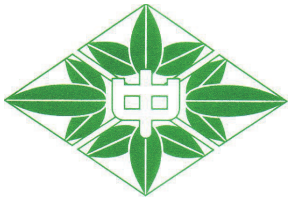
昭和55年開校。甲府市の木である「樫」の葉をモチーフとしたデザインとなっている

北中学校の大規模化解消に伴い昭和55年に7番目の市立中学校として開校。平成31年に創立40周年を迎えた。
教育指針のスクールプランとしてグランドデザインも掲げられており、そのスローガンは「北西アクティブ・共に学び、共に育ち、共に生きる」となっている。また良き伝統として「挨拶・清掃・合唱」の3つを大切にしている。学校の教育目標は「心豊かでかしこくたくましい生徒の育成」。学園祭は「清流祭」。
著名な卒業生は、小林岩魚-プロサッカー選手、小林孝至-ギタリスト、中谷真一-衆議院議員、中島克仁-衆議院議員、長谷川順一-トリノパラリンピックアルペンスキー代表。

初代校長伊藤基先生の言葉の石碑には「人生は心で歩む道である」と刻まれており「豊かな心の育成」を目標に、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成に取り組んでいる。

YT

甲府市立富竹中学校



江戸　明治　大正　昭和　平成

富竹4丁目5-8

昭和61年開校。武田菱に富竹の名に由来する竹の葉が配置されたデザイン

甲府市西部の人口増加に伴い、西中学校及び南西中学校の学区再編により昭和61年に新設された。
甲府市の西端に位置し、隣の甲斐市富竹新田に隣接する。
「品位と活力」のある清新な校風の樹立をめざして教育活動に取り組み、学校の教育信条は、「和と創造」。「和」はチーム学校としての力、「創造」は創意工夫と発想を願う。令和元年に創立34年目を迎える。
著名な卒業生は、柏原収史-俳優・ミュージシャン、柏原崇-俳優・ミュージシャン、ヒデ-TV番組あいのり出演者、江原騎士-競泳選手、塩川莉世-女性アイドル・転校少女歌撃団。

校舎正面の壁には模様がある。これは「波頭」を表現したもので躍動を意味しており、生徒が生き生きと活動するようにという願いが込められている。

YT

甲府市立城南中学校



江戸　明治　大正　昭和　平成

大里町2590-1

昭和62年創立。甲府市章をベースに「城南」の文字が刻まれ多色づかいのデザインとなっている

昭和49年に甲府市立山城中学校と玉穂村立玉穂中学校を統合して、甲府市玉穂村中学校組合立城南中学校として設立。昭和60年、玉穂村の町制施行により甲府市玉穂町中学校組合立城南中学校と改称。昭和62年より城南中学校となり現在に至る。
学校の教育目標は「知識を磨き、たくましい心と体をもった生徒の育成」。学園祭は「輝城祭」(きじょうさい)。
著名な卒業生は、横山友美佳-元バレーボール選手、堀米勇輝-サッカー選手(ヴァンフォーレ甲府)、石原大助-サッカー選手(ヴァンフォーレ甲府)。

市立甲府病院2F西奥に分校があり、病気、ケガ等で甲府病院に入院している生徒に対しての学習支援をしている。入院している生徒が治療しながら学ぶことが可能な院内学級。

YT

甲府市立上条中学校



江戸　明治　大正　昭和　平成

古上条町95

甲府市で10校目の公立中学校。昭和63年に設立。校章には武田菱が用いられている。

甲府市の総合計画に基づき、良好な教育環境の中で生徒に学習してもらうことを目的として開校。学校名は地名の古上条から名付けられ上条の名称は、古代条里制の遺名で、南に中条(中町周辺)と下条(東下条、西下条)の村落がある。戦国時代には、現代の古上条町と上条新居町、国母一丁目～八丁目の一帯を郷域とする上条郷が形成されており、甲斐源氏武田氏と同系に属する上条氏が所領していたという由緒ある地名である。
教育目標は「自主・協和・創造の精神に富んだ心身ともに健康な生徒の育成」。学園祭は「麗条祭」。
著名な卒業生は、富田智美-元山梨放送(YBS女性アナウンサー)。

校訓は「自主　協和　創造」で、平成2年の卒業生によって記念碑が寄贈されている。平成29年に創立30周年を迎えた。

YT

甲府市立笛南中学校



江戸　明治　大正　昭和　平成

下曽根町270

昭和40年創立。養蚕地帯の３つの中学校の統合を、桑の葉で型どり、山梨の象徴である富士山をいただき、学校の団結・協力・発展・平和を表現している

中道町立中道南中学校、中道北中学校、豊富村立豊富中学校が統合されている笛南中学校は、昭和40年に中道町と豊富村の両町村の組織する組合立中学校として創立。平成18年2月に豊富村は中央市に、同年3月に中道町は甲府市に編入合併され甲府市中央市組合立笛南中学校となる。さらに、平成22年4月に豊富地区と分離し甲府市立笛南中学校に組織変更され現在に至る。また、分校として桜木分校がある。
校章及び校旗は、公募によって44点の作品の中から入選した薬袋誠次郎氏(豊富村浅利)の図案を採用したものとなっている。学校の教育目標は「知性あふれ心豊かなたくましい生徒の育成」学園祭は「桑葉祭」。

統合に当たってその中心である校旗をつくることに鋭意努力した結果、時の知事、天野　久氏の寄贈により現在の立派な校旗が生まれたそうである。校名の執筆は、故 天野知事のもの。旗の地色となっている藍色は、知性・純真・探究・平和を意味している。

YT

山梨県立甲府第一高等学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

美咲2丁目13-44

現在の校章は昭和23年(西暦1948年)2月24日に選定された。意匠の発案者は当時の在校生である

旧制甲府中学校の校章は，桜をデザイン化したもの(この校章の起源は、明治39年の校旗制定と同時期であると考えられる。)であったが，新制高校になった際、同じバラ科の植物で「ヤマナシ」を別名に持つ「オオズミ」の葉を4方向に広げ，中心に「高」の字を置いたデザインとした。「オオズミ」の葉を十字に用いたのは，キリスト教の十字架をヒントにした構成だと言われている。
桜と同じバラ科の植物を用いている点において、旧制甲府中学校の気風を暗喩させながらも，戦後の新生日本が標榜する平和と博愛の精神を託した、伝統と理想を象徴した意匠である。

旧制甲府中学の伝統を継ぐ学校であり、さらに江戸時代に甲府城郭内に設置された徽典館(甲府学問所)にルーツがあるなど非常に長い歴史を持つ山梨県一の伝統校である。伝統行事として10月初旬に行われる「強行遠足」が有名。



YA

山梨県立甲府東高等学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

酒折1丁目17-1

地元では「東高」(とんこう)と略称される。設置学科は普通科のみだが、内部に理数コースを設置。理数コースの通称は「東理」(とんり)

県内では、制服がかわいい高校として有名なためか女子生徒の割合が比較的多い。また、授業時間は55分+カセット方式(A・B・Cと決まった教科が変則的に入る方式)を採用しているほか、探求サプリや自習室などの充実した学習環境が用意されている。廊下に机や椅子が置いてあり、受験シーズンに入ると受験を控えた生徒が廊下で先生から指導を受けている光景も目にするようになる。お昼になるとパンや弁当などを売りに来る業者が来るが、県内では珍しく学食がない。県内唯一の水球部及び専用プールが存在している。

毎年高校独自のオリジナルノートが生徒からのデザイン募集等により制作され校内で販売されている。また、ハローキティと東高校がコラボしたグッズ(東高校の制服を着ているキティのストラップ)が販売されており、秘かに人気がある。



AM

山梨県立甲府西高等学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

下飯田4丁目1-1

地元では「西高(にしこう)」と略称される。県下で唯一の65分授業を行う、単位制高校

明治35年、県立山梨県高等女学校として開校。甲府第一高等学校の「一高」に対し、甲府第二高等学校「二高」と呼ばれ、現在の県民文化ホールがある場所に建てられていた。昭和50年に現在地へ移転。平成14年には創立100周年記念式典を挙行した。
「県下唯一の65分授業」「単位制の多様な選択科目」などを実施、近年は国際バカロレアの認定校として新たな教育プログラムの導入を進めるなど時代に則した教育に力を入れる。
文化祭は「鳳凰祭」。著名な卒業生はアナウンサー、ファッションモデル、声優、歌人、俳優など芸能関係に加え政治家、実業家と多岐にわたっている。

学校の活動や教育理念を具体的に視覚化したビジュアルアイデンティティを展開し、ブランディングの確立を図っている。N-stageの名称で広報誌の発行やWEB発信も行う。

Kofu Nishi High School n·stage



YT

山梨県立甲府南高等学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

中小河原町222

地元では「南高」(なんこう)と略称される。文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校

昭和38年に開校。普通科と理数科がある。45分・7校時制を県下で最初に採用。また、教員による課外や学習会、外部の講師による土曜講座なども実施している。
平成16年より「科学技術・理科大好きプラン」の一環として、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を受け、様々な教育活動を進める。地域住民も参加できるサイエンスフロンティアフォーラム(科学講演会)、サイエンスワークショップ(自然科学系部活動)や校外研修(筑波研究学園都市や日本科学未来館等の訪問)を実施している。
著名な卒業生は、遠藤俊英-第10代金融庁長官をはじめ官僚、政治家、実業家、文化教育関係者が多く、また研究者や芸術家など幅広い。

校訓は初代校長の提唱した「開拓者精神」＝Frontier Spirit 。生徒一人ひとりが夢の実現に向けて努力を重ね未知の領域を切り開いていく。といった意味が込められている。



YT

山梨県立甲府城西高等学校

江戸　明治　大正　昭和　平成

下飯田1丁目9-1

山梨県初の総合学科高等学校。校章以外に学校オリジナルのロゴマークを持つ

平成8年、山梨県立第一商業高等学校と山梨県立機山工業高等学校を統合し、総合学科高等学校の設置を決定。平成9年に山梨県立甲府城西高等学校として開校。特徴的な8科目は人文社会・自然科学・スポーツ健康・福祉生活科学・メカトロニクス・エレクトロニクス・ビジネス会計・情報管理。

校章は、強い生命力を持つ県木の楓の葉。生徒がそれぞれの興味や関心、進路などに応じた学習を通じて自己実現を図り、多方面に向かって発展する姿を表している。また、葉と葉の間の多角形は未来を照らす希望の光と、目標に向かってほとばしる若いエネルギーを象徴している。

校訓は「進取創造」。人格を尊重する精神を養い、自己の課題に対して自ら進んで発展的で独創的な対応ができる英知を身につけ、力強く生き抜いていく人間へ成長する願いが込められている。



YT

山梨県立甲府工業高等学校

江戸　明治　大正　昭和　平成

塩部2丁目7-1

校章は、昭和23年に改定。当時の同校教師のデザインによるもので、「山梨の葉」の五葉は五科を象徴している

大正6年、甲府市工町に市営の甲府市立工芸学校として開校。昭和11年に市立甲府工業学校と改称。昭和16年には県移管となり山梨県立甲府工業学校となる。その後昭和22年の学制改革により山梨県立甲府工業高等学校となる。

設置学科として全日制課程は機械科・電気科・建築科・土木科・電子科、定時制課程は機械科・電気科・建築科、専攻課程は建築科を各々設置。これらに加えて2020年より学科が増設される予定。平成29年度には文部科学省が実施しているスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)事業の指定校となった。県内高校としては初となる。

山梨県内では野球の強豪校として知られ、複数のプロ野球選手を輩出している。

20年連続就職内定率100%を誇る。部活動などの課外活動も盛んで、その数は30に及ぶ。特別委員会の「応援団」はほぼ毎日、年間を通して活動しており、夕方グラウンドの横を通ると威勢のいい声と太鼓の音を聞くことができる。



YT

山梨県立中央高等学校

江戸　明治　大正　昭和　平成

飯田5丁目6-23

定時制と通信制からなる。校歌は谷川俊太郎作詞。文化祭は「明窓祭」

昭和46年に開校。平成25年新校舎完成。定時制と通信制からなり、定時制は平成25年度より午前部・午後部・夜間部の三部制となった。通信制は普通科と衛生看護科(甲府看護専門学校の准看護学科に入学の生徒が対象)となっている。

定時制においては、スクールカウンセラーの配置、山梨英和大学大学院臨床心理学専攻との提携による大学院生の相談スタッフの活動、チューター制(学級担任の他に、生徒が自分で選ぶ個別担任制)の導入、ソーシャルスキルトレーニングの実施等、教育相談や生徒支援の体制を整備しキャリア教育の充実に努めている。

校内には校歌を作詞した谷川俊太郎自筆の校歌額が飾られている。ホームページには言「黒板は無限の宇宙」という言葉も綴られている。



YT

甲府市立甲府商業高等学校

江戸　明治　大正　昭和　平成

上今井町300

校章の由来は、翼がヘルメスで「進歩のスピード」黄金の杖はカドケウスで「勢力」蛇は「知恵」を表し、「甲府」の文字が篆書(古書体)でデザインされている。地元では甲商または商業と略称される

明治34年、甲府尋常高等小学校相生教場内に市立甲府商業学校として開校。翌年には新校舎のある甲府市東青沼(現在の青沼地区)へ移転。昭和15年には第二商業学校が併置され、戦中は医学専門学校として県へ移管。終戦後の昭和23年に新制商業高校となり、昭和26年には男女共学全日制高校となったことから、第二商業学校は定時制へ移行。昭和52年に現在地である甲府市南部の上今井町へ移転し、跡地である青沼地区の敷地には甲府市総合市民会館が建設された。

甲府市の市立高校で、唯一県立学校と同条件(同一日程、同一検査)で入学者選考を実施している。

スポーツ各部は県下では強豪で、特に剣道部男女・バドミントン部男女・ソフトテニス部女子はインターハイの常連である。著名な卒業生にも多くのスポーツ選手が名を連ねる。



YT

甲斐清和高等学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

青沼3丁目10-1

学校法人伊藤学園の私立高校。校章となっている雪の結晶と梅の花は、学祖・伊藤うた先生の座右の銘「雪中梅花」からきている

「雪中梅花」とは「雪の中に咲く梅の花は、冬の雪や厳しい寒さを耐え忍び、初春には美しい花を咲かせる。苦難や試練を耐えて乗り越え、そして必ず見事に成長する」という意味を持ち、うた先生の教えを今に伝えている。また、雪の中、けなげに咲く梅の花一輪のように、苦しみの中でも強く、清く、品よくあってほしいという願いがこめられているという。

創始は、甲府市代官町の貸家にて開いた裁縫塾。明治33年(西暦1900年)、山梨裁縫女学校が開校。以降何度か改名され、大正14年(西暦1925年)より長らく校名は甲府湯田高等学校であったが平成23年より甲斐清和高等学校(かいせいかこうとうがっこう)に変更。平成22年には創立110周年記念式典が開催された。

進学・総合コースの普通科(商業クラス・福祉クラス等に加え、人間文化コースがある。全日制課に加え通信制課もあり、中学校時代に学ぶ意欲を持ちながらも学校・学級・授業になじめなかった生徒たちの「高校で学びたい」「自分の将来の夢を叶えたい」に応えている。



YT

東海大学付属甲府高等学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

金竹町1-1

甲府市にある私立高校。校章の下の羽根の形は平和の象徴「鴎」の翼を表現し、その上は躍動する「東海」の潮を表している。全国に14校ある東海大学付属高校のひとつ

昭和32年教育者の石部栄永氏により前身である山梨商業高等学校設立。その後、東洋大学と提携し東洋大学第三高等学校となるが、東洋大学の学園紛争が原因で提携を解消し、昭和49年に学園法人東海大学の傘下に入り、東海甲府高等学校として発足した。平成26年に現在の東海大学付属甲府高等学校に校名を変更。

調和のとれた文明社会を建設する「建学の精神」を理想に掲げた一貫教育を行なっている。普通科がある他、過去には衛生看護科があり、東海大学医療技術短期大学と連携して医療従事者も養成していた。

東海大学の付属高校は「高校現代文明論」という関連高校独自のカリキュラムを展開、2学期制を導入している。

校舎は甲府駅と竜王駅の中間ほどに位置し、野球部や柔道部をはじめ、部活動に盛ん。略称は東海大甲府で、甲府市内では東海と呼ばれている。



YS

山梨大学教育学部付属幼稚園・小学校・中学校

国立大学法人 山梨大学 教育学部附属幼稚園
国立大学法人山梨大学 教育学部附属小学校
国立大学法人山梨大学教育学部附属中学校 University of Yamanashi Model Junior High School

江戸 明治 大正 昭和 平成

北新1丁目4-1・4-2

校章は小学校では、三枚の葉の上に花梗が三本たち、花が中央に五つ、左右に三つずつついている「五三の桐」といわれる紋章が校章として使用されている

明治9年に山梨県師範学校附属小学校が開設。昭和27年に現在の地に移転。何度か名称が変わり平成28年に大学の学部名改称により現在の名称となる。中学校ではこの紋章の中央に「中」の字が添えられたものが使用されている。また幼稚園のものはフォント及びデザインがやや柔らかく作られている。附属施設は他に幼稚園、特別支援学校がある。

また、小学校では秋に「あおぎり祭り」という祭りがあり、中学校では「桐龍祭」という学園祭がある。

幼稚園の紹介文章が印象深い。「たくさんの面白さと出会う場所、不思議と出会う場所、仲間と出会う場所、文化と出会う場所。 周囲に広がる面白さと不思議の世界と対話しながら、『かけがえのない自分の物語』をつくりだしていくのです。」

YT

学校法人山梨英和学院

江戸 明治 大正 昭和 平成

本部・大学 横根町888番
中学高校 愛宕町1112番地
こども園 上町1740番地"

昭和初期、グリンバンク校長時代に制定された。カナダの国樹の「楓」の葉に山梨の「Y」と英和の「E」が記されている

明治22年(西暦1889年)カナダメソジスト婦人宣教師会と甲府の青年有志が、自分の妹や娘たちに良質な教育を受けさせたいと願って設立した女学校が始まり。今では3つの幼保連携型認定こども園、女子校の中学・高等学校、そして4年制大学・大学院を持つ総合学園となり、令和元年(西暦2019年)に創立130周年を迎えた。キリスト教信仰に基づく「敬神 愛人 自修」の校訓を掲げ「人材教育」に留まらない「人格教育」を教育理念とし、国際的視野を持ち社会に貢献できる「よき世界市民」を育成することを目指している。





大学キャンパスには「楓」を始め紅葉の美しい樹木が数多く植えられ、ヴォーリス設計の瀟洒な建物が配置されている。中高は愛宕山の斜面に建つヴォーリス設計の建物が甲府市街を見下ろしている。

YS

山梨学院

江戸 明治 大正 昭和 平成

酒折2丁目4-5

幼稚園から大学及び大学院まで有する総合学園。デザインに用いられた梶の葉への想いは深い

校章は台座に用いられている「梶」は「舵(かじ)」に通じ、「方向」を示す。また古くより人々は梶の葉に文字を書き、その上達を七夕の星に願った。梶は和紙の原料であり、学問は紙によって発達した。このような事象から校章のデザインが生まれた。

本学園は昭和21年に山梨実践女子高等学院として桜町に創立、昭和37年に大学が設置された。現在は広大なキャンパスに法学部、経営学部、健康栄養学部、国際リベラルアーツ学部、スポーツ科学部の5学部6学科と、2つの研究科を持つ。運営する学校法人山梨学院は、大学、幼稚園、小学校・中学校、高校、短大も有している。キャンパス内には「エフエム甲府」のスタジオもある。

校内は広々としており学園らしい雰囲気。大学のマスコットはカモシカ(山梨県獣)をモチーフにした「アルティ」&「ベッキー」。学校創立60周年(2006年)を記念して制定されたもので、各種学生スポーツの応援などに登場する。



YT

駿台甲府学園
(小学校・中学校・高等学校)

学校法人 駿台甲府学園

江戸 明治 大正 昭和 平成

塩部2丁目8-1
上今井町884-1 / 1279-2

私立の小中高一貫校。校章はSとKをモチーフにした学園のマークに小・中・高とそれぞれ漢字一文字が入るデザイン

校章のSは未来へと続く道、中央のグリーンは緑豊かな甲府の環境と学園のチャレンジング・スピリット、生徒の成長の姿を表わす。Kは未来へ羽ばたく鳥の姿～世界に羽ばたく生徒の未来像を表現している。昭和31年山梨自動車工業高等学校として設立～翌年山梨工業高等学校と改称。また昭和49年に普通科併設にともなって甲府北星高等学校と改称。その後、駿台予備学校と提携して昭和55年駿台甲府学園が設立された。学校法人駿河台大学・駿台予備学校とは姉妹関係にある。

学校教育における理念は、愛情教育、チャレンジング・スピリット。著名な卒業生が多く、芸能人、アナウンサー、プロスポーツ選手、実業家等多岐にわたってを輩出している。

私立小学校・中学校・高等学校・通信制課程に加えて、県内で唯一の美術課程美術デザイン科を持つ。



YT



山梨県立ろう学校のスクールマスコット“ゆっぴー”

江戸 明治 大正 昭和 平成

山梨県山梨市大野1009

甲府市から移転。児童生徒と教員が協力し誕生した“ゆっぴー”。甲府で開校して、今は山梨市に移った山梨県内で唯一のろう学校。校訓は「己に勝つ」

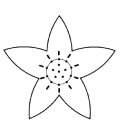
“ゆっぴー”は英語の“ Young Outgoing People ”(若くて、ものおじしない社交的な人)の頭文字から名付けられた。ピンクの顔は、峡東地域で採れる桃を表現。胸の「Y」は「ゆっぴー」と「山梨県立ろう学校」のイニシャル、体はスクールカラーのブルーとなっている。

“ゆっぴー”には、社会や世界で起こっていることを知り、強い脚で、困難にも負けず、一歩一歩、前進するという思いが込められている。

大正11年(西暦1922年)に私立山梨盲唖学校として開校し、昭和24年現在の山梨県立ろう学校となった。令和3年で創立100年目を迎える。

幼稚部から高等部まで一貫した教育が行われ、子どもたちの持つ力を最大限に引き出すとともに、社会性や思いやりの心を育む教育システムが構築されている。

当初の所在地は甲府だったが、現在は山梨市の笛吹川近くへ移転。校章は、「やまなし」の花で、花びらは薄桃色、花芯は黄色となっている。





YT

山梨県立盲学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

飯田2丁目10-2

山梨県内唯一の盲学校。校章は、はつらつと生長する葡萄を表徴し、さらにさわやかな青春の高雅、清純を表徴、その六葉鋭角は俊英なる活動と進展を意味し盲教育への進行刷新を図る意を込めて図案化したもの

大正8年(西暦1919年)私立山梨訓盲院として発足。その後、県立移管を経ながら百年近くの歴史を有し、1400名あまりの卒業生・修了生を送り出している。戦後まもなく日本で初めての、見えない・聞こえない子どもへの「盲ろう教育」が実践されたという歴史を持っており、ヘレン・ケラーが学んだアメリカのパーキンス盲学校校長が訪れるなど、国内における「盲ろう教育」の先駆的役割を果す。幼稚部、小学部、中学部、高等部普通科、高等部保健理療科・専攻科理療科・専攻科保健理療科がある。在籍者だけでなく外部に向けても支援を行い、現在、弱視教育相談室は「Eye愛ひとみ相談支援センター」として、見えない・見えにくい方やその関係者に広く教育相談活動を展開している。

ホームページは、テキスト版・通常カラー版・英語版と幅広くさらに、点字に関する情報なども充実している。校訓は「和顔愛語」(わげんあいご)で、なごやかな顔と思いやりのある、やさしいことばを大事にする。



YT

山梨県立かえで支援学校



江戸　明治　大正　昭和　平成

東光寺2丁目25-1

校名に由来する楓(かえで)がモチーフとなった校章。市街地域に初めて設置された小学部・中学部・高等部からなる知的障害特別支援学校。平成13年に開校した

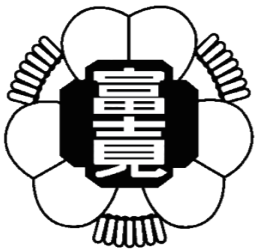
校名である「かえで」の葉をデザイン化した校章には『新緑の季節の若々しいかえでを「イタヤかえで」によって表し、子どもたちが毎日の生活を誠実に生き、友情と親愛の心を持って協力しあい、やがて地域の中で自立し社会参加してほしいとの願いを、『かえで』から外に向かって広がる葉脈で象徴している』という想いが込められている。
生徒の増加に伴い、平成21年に校舎(高等部棟)を増築し、平成24年には旧山梨園芸高校に分教室を開設。この分教室は桃花台学園の開校と共に閉じられたが、現在の高等支援学校桃花台学園の礎として重要な役割を担った。
地域の特別支援教育に関係する方々に向けに相談・支援通信『FRIENDS(フレンズ)』の作成、配付なども行なっている。

「行きたい学校・行かせたい学校・連携したい学校・働きたい学校を目指して」というキャッチコピーを掲げる、それを物語るような明るい雰囲気の校舎。



YT

山梨県立富士見支援学校



江戸　明治　大正　昭和　平成

富士見1丁目1-1

校章には、クローバーの三つの葉と花、富士見の文字の周りには四葉のクローバーのシルエットがデザインされている

県立中央病院に併設されている「本校」と、県立北病院に併設されている「旭分校」からなる県内唯一の病弱教育の特別支援学校。慢性疾患や心因性疾患などで加療中の小中学生を対象として、小中学校の教育課程に準じた学習補完の教育活動を行っている。「本校」は、昭和47年県立養護学校(現 山梨県立甲府支援学校)の中央病院分校として開設され、昭和59年4月に県立富士見養護学校として開校、平成9年に「旭分校」が開校し、現在に至る。
クローバーは幸せを象徴し、広がる三つの葉と花は病弱児教育における慈愛・健康・勉学の目標を表わし、子どもたちが病気に負けずに明るく健やかに成長することへの願いが込められている。

特別支援教育のセンター的機能も担っており、児童生徒たちが充実した学校生活を送るための支援として、児童生徒や保護者、教職員の方々のための教育相談や研修支援などを行っている。



YT

山梨県立甲府支援学校



江戸　明治　大正　昭和　平成

下飯田2丁目10-3

校章は、プラタナスと富士山を組み合わせデザインされたもの。開校時に校内道路にプラタナスの並木があり、そこから富士山を一望することができたそうである

県内に居住する肢体不自由児童生徒に、小・中・高一貫の教育を行う支援学校である。学校目標は、「ひびき合え 心豊かに すこやかに」。
昭和34年、羽黒町に山梨県立あけぼの学園(児童福祉法による肢体不自由児療育施設、医療と教育併行)が発足するに伴い、甲府市教育委員会より教員2名の派遣に始まった。その後、北中学校及び北新小学校の各分教室開設を経て、昭和38年に現在の地に学校設立。12月2日を創立記念日と定めた。同敷地内には寄宿舎もある。
学校間交流として小学部は池田小学校と新田小学校、中学部は敷島中学校、高等部は甲府城西高校などと交流や共同学習を行い地域の人々とのかかわりを大切にしている。

校舎外観。毎年開催される学園祭「甲養祭」の令和元年におけるテーマは、「元気!? いっぱい！　笑顔!? 最高！ 甲養祭」。児童生徒一人一人が溢れんばかりのやる気を出して取り組んだ。



YT

山梨大学教育学部附属特別支援学校

国立大学法人 山梨大学
教育学部附属特別支援学校

江戸　明治　大正　昭和　平成

天神町17-35

他山梨大学教育学部付属学校と同様「五三の桐」といわれる紋章が校章として使用されているが、ややデフォルメされわかりやすくなっている印象を受ける

昭和39年、北新小学校内に山梨大学教育学部附属小学校特殊学級を設置。昭和41年、甲府市天神町に特殊学級専用の新校舎が完成。附属小学校・中学校の特殊学級を移転。以降、統合～名称変更～高等部設置等を経て、平成28年に学部名改称により「山梨大学教育学部附属特別支援学校」(現校名)に改称。
教育目標は、「自ら考え、行動し、まわりの人と助け合いながら生き生きと生活できるたくましい心と体を養う」。
山梨大学教育学部の附属学校として 知的障害の子どもたちを支援する。また大学生の教育実習校でもある。

校内にある日常生活訓練施設の「きりの子の家」では、児童生徒ひとりひとりの人間性を尊重し、その可能性を信じ、個性・能力を理解し、個の特性に応じた適切な教育が行われている。



YT

山梨県立宝石美術専門学校

江戸　明治　大正　昭和　平成

丸の内1丁目16-20 ココリ7・8階

校章は開校当時からのもので富士山とダイヤモンドをモチーフとしている

山梨県立宝石美術専門学校は、日本でジュエリーについて学べる唯一の公立の専修学校。昭和56年4月に甲府市東光寺町開校し、平成22年9月に現在の甲府市丸の内1丁目の複合施設ココリに移転した。
山梨県の地場産業である宝飾産業の人材育成のため設立された学校として、産官学が連携して専門教育を行っている。「産地で学び、産地で働き、また産地で学ぶ」のもと、山梨の宝飾産業の中核的人材として活躍できる学生の育成に力を入れ、また、在校生だけでなく、卒業生やジュエリー産業に働いている方々も幅広く支援している。



クリスマスの時期には、学生のデザインしたクリスマスツリーが岡島デパートに展示を行い地域企業との連携を通して実践的な企画立案を学ぶ企業連携課題などが行われている。

YT

甲府市立甲府商科専門学校

江戸　明治　大正　昭和　平成

西下条町1020

甲府の南にある専門学校。平成3年に開校した全国的に2校しかない公立の商業実務系専門学校。地元では「商専」または「商科」と略称されている

「国際化、情報化社会に対応するため、より高い専門性と豊かな人間性をみにつけた、地場企業に貢献できる人材を育成する」を目的に設立されて以来、地元甲府をはじめ県内企業に即戦力となる商業実務専門士を輩出している。またこの時代や社会の要請に応えるべく、常に改善を推し進め、平成28年に文部科学大臣による「職業実践専門課程」の認定を受け、また平成29年には厚生労働省から「専門実践教育訓練講座」として指定され、さらに平成30年度からは同省の「長期高度人材育成コース」を受託するなど、新たなステージでの更なる飛躍を目指しており、公立ならはの低廉な学費で学んでいけるのも魅力の1つである。



実用的な勉強ができ、資格を取ることができると地元でも認知されている。卒業生も多く、県内でも多く活躍している。

YS

共立高等看護学院・民医連

江戸　明治　大正　昭和　平成

飯田3丁目1-35

全日本民医連に加盟する公益社団法人山梨勤労者医療協会が設置する看護学校

昭和42年、山梨勤労者医療協会准看護学院を開設。昭和50年に共立高等看護学院を開設(2年課程1期生入学)。その後昭和54年に3年課程1期生入学を経て、翌年に2年課程を閉科し3年課程に統一された。
特長として設置母体を同じくする数多くの実習病院、診療所、介護施設をもつ。このことによって学校と実習現場が一体となり、学生実習を実り多いものにしている。卒業後の資格としては、看護師国家試験受験資格、保健師・助産師養護教員の養成機関への受験資格、専門士(看護専門課程)の称号取得、大学への編入試験受験資格がある。



教育理念は「貧富の差によって命の尊さを差別しない患者の立場に立つ看護者を育成する」を掲げる。

YT

専門学校甲府医療秘書学院



江戸　明治　大正　昭和　平成

幸町18-12

医療事務と医学の知識に加え、ビジネスマナーやコンピュータの技術を備え、患者さんの接遇と医師等の秘書業務を担う人材を育成

日本医師会認定校としては県内唯一の医療秘書を養成する2年制専門学校。医療秘書・医療事務・歯科助手の養成を行う創立45年の伝統校で、卒業生は県内外の医療機関で活躍している。キャリアアップを目指すことができる上級コースとして、診療情報管理士専攻コース、医療情報技師専攻コース、ソーシャルワーク併修コースを設置しており、大学病院や国公立病院への就職を目指す人、ソーシャルワーカーとしての国家資格と大学卒業資格の取得を目指す人の選択肢となっている。



シンボルマークは、医療秘書＝Medical SecretaryのMとSからデザインされている。制服の胸に輝くバッジは、医療秘書を目指す生徒の誇りとなっている。

YT

甲府看護専門学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

塩部3丁目1-4

学校法人看護学園が運営する看護師養成のための専門学校。昭和24年開校

教育理念には「やさしさや豊かな感性を持ち、相手のために何かをしたいという思いやりと、あたたかな微笑みと、おだやかなまなざしをもった豊かな人間性を備えた、看護実践者を育成します。また、少子高齢化が進むなかで地域医療のニーズも多様化し、安全で質の高い医療が求められるなかで、地域に根ざし、地域の人々の健康と福祉に貢献できる看護者の育成します。」と掲示され、年齢の制限なく門戸を開く。
准看護師資格取得を目指す准看護学科(2年)、准看護師資格保持者が看護師資格を目指す看護第2学科(2年)、無資格者が看護師資格を目指す看護第1学科(3年)が設置されている。



ホームページ上では学生らに向けて学校図書館の蔵書検索サービス機能が設けられており、有益な情報を迅速に取得できる設備を備えている。

YT

山梨県歯科衛生専門学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

大手1丁目4-1

山梨県で唯一の歯科衛生士を育成する専門学校

昭和43年、山梨県歯科衛生士学院として創立され、昭和54年には専修学校に昇格し、校名を現行の山梨県歯科衛生専門学校に改称。昭和56年の2年制を経て平成18年に3年制に移行し、教育内容や施設の充実も図る。
卒業生は現在2000名を超え、県下歯科診療所を始め、行政機関や病院施設等で活躍している。また昭和63年から甲府市の姉妹都市でもあるアメリカ合衆国アイオワ州デモイン市にあるデモインコミュニティカレッジと学術研修のための学生交流が行われている。平成29年度に50周年を迎えた。就職率100%の就職実績を誇る。



歯科衛生士としての専門科目の教育課程に加えて、一般教養科目・選択科目として英語や心理学、人間関係論などの基礎教養、さらには接遇作法の選択科目分野といったカリキュラムがある。

YT

山梨県美容専門学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

緑ヶ丘2丁目13-36

山梨県で唯一の美容師・理容師国家試験を受験できる学校

昭和30年、美容学校設立通信課程を開講し、山梨高等美容学校を設立。翌年に昼間課程、夜間課程を開講。昭和40年に美容会館に移転し、現行の山梨県美容専門学校を開校。設立母体は県下の組合加盟店美容所で、後継者育成を目的としている。美容師・理容師としてのカリキュラムに加え、より実践に役立つための選択科目を設置。また、県下美容室・理容室への実務実習や技術大会、美容まつり等への参加により県下の美容師・理容師との交流を図っている。美・理容室に就職してすぐに役立つ基本的な技術から、ヘアデザイン・アップスタイル・メイク・着付け・ネイルなどのトータルビューティー技術も学べる。



在校生のほとんどは自動車通学。学校の契約駐車場があり、荷物の多い美容学生に優しい配慮がされている。シャンプーやブロー、ヘアアレンジ等の練習ができる実習室は、授業時間以外の放課後も学生に解放されている。

YT

山梨秀峰調理師専門学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

中町264

食のスペシャリストを養成する、山梨県で唯一の調理師養成施設校

平成17年開校。厚生労働大臣指定校であり、調理師科(1年制)と専門調理技術科(2年制)の課程がある。専門調理技術科(2年制)の取得可能資格は調理師(国家資格)、専門士(衛生専門課程)、食品技術管理専門士、食育インストラクター等と幅広い。また料理を作る技術だけでなく、飲食店を運営するための経営者としての視点を養うための経営学やマーケティングもカリキュラムにあり、将来独立を目指す者に向けた授業編成。フレンチ・イタリアン・日本料理のジャンルを中心に、各界のトップシェフを招き、間近でその技を見て教わることが出来るスペシャルな実習授業も行う。専門調理技術科では2年間でおよそ100時間以上が特別実習に充てられている。



リゾートホテルや婚礼会場、懐石料理店、病院など、学生が自分の希望する事業所で行う現場体験実習が行われており、将来のビジョンをより明確にし、必要なスキルを発見する貴重な時間を提供している。

YT

山梨情報専門学校

学校法人 伊藤学園
山梨情報専門学校

江戸 明治 大正 昭和 平成

幸町18-12

情報システム科とビジネス実務科で実践力と即戦力、コミュニケーション力をもった人材を育成する専門学校

昭和59年に専門学校ニュービジネス・アカデミーとして創立。情報システム科とビジネス実務科があり、情報システム科は、ICT/IoT業界の幅広い分野で活躍できる即戦力を育成。新しいテクノロジーや知識を楽しく学び、確かな実力を持つIT技術者を目指し、プログラミング実習、アプリ制作、オンラインゲーム制作、アニメーション制作、クラウド開発、チーム開発を履修する。ビジネス実務科は、ビジネス社会で活躍できるITスキルと行動力を持った人材を育成。コンピュータ操作の基礎・応用を学び、業務に活躍できるスキルの習得、実践的なオフィスワーク、およびコミュニケーション能力を身につけ、様々な職種に対応できる能力を培う。

当初はコンピューターが一般には普及しておらず、カリキュラムもコンピューター操作が中心で行われていた。現在のカリキュラムは基本的な操作から商業系アプリケーションの利用、開発などが中心になっている。



YT

山梨県立大学

江戸 明治 大正 昭和 平成

飯田5丁目11-1
池田1丁目6-1

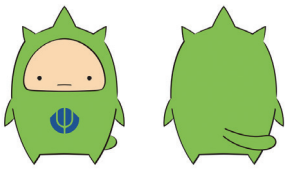
池田キャンパスは昭和28年に山梨県立高等看護学院として開校したのが、飯田キャンパスは昭和41年に山梨県立女子短期大学として開学したのがはじまり

飯田キャンパスには国際政策学部・人間福祉学部、池田キャンパスには看護学部・大学院看護学研究科を置く。

グローカルな知。地域と歩む未来指向型の新しい大学を目指す山梨県立大学のシンボルとして、山梨の「Y」とユニバー シティの「U」、更に漢字の「山」により構成。未来へと伸びる三本の線は3つの学部を表現し、上部の丘陵は折り重なる山梨の山並みを表現。地球的な規模で人との交流を図りながら、身近な地域社会で活動し広い視野に立ちながら歩む、本学の理念と目的を表している。

2年次からコース選択をすることになっており、1年次で学びたいことを見つけてゼミ選択を行う。地域マネジメントコースでは地域と密着したフィールドワークを経験することが多いなど、コースによって特色がある。

キャンパスキャラクター「やまちゃん」。独立行政法人化されたのを機に誕生した。チャームポイントは、やまをかたどった頭の小さな三つのツノ、短い手足、お腹の校章、愛嬌のある可愛い顔、嬉しいときは上を向き、寂しいときは下を向く尻尾。



AM

国立大学法人山梨大学

山梨大学

江戸 明治 大正 昭和 平成

本部・甲府キャンパス 武田4丁目4-37
医学部キャンパス 中央市下河東1110

シンボルマークは平成13年に公募により選定、葡萄の房が光に照らされているところを立体的にデザインしたもの。大学略称は梨大(なしだい)

寛政7年(西暦1795年)甲府勤番子弟のための学問所「甲府学問所徽典館」(江戸昌平黌の分校)として設立。変遷を経て昭和24年「山梨大学」として発足、平成14年山梨医科大学と統合され新「山梨大学」が設立され2年後、国立大学法人化された。

シンボルマークの繋がった円は「学問の融合」と、山梨大学が育んだ教育・研究の情報が地域さらには世界に向けて発信され、再び戻ってくるという「循環的な相互関係」を、独立した円は、輝く太陽と新しい山梨大学が希求する理念を表現。葡萄は、古くから生命や知識、そして文化のシンボルとして知られており、太陽の光があたった葡萄は、山梨大学がますます国際社会に貢献していく理想像も重ね合わせられている。

令和2年にはブランドマークも誕生した。
同大出身の大村智博士のノーベル医学・生理学賞受賞を記念し大村智記念学術館が作られた。日本の国立大としては珍しいワイン専門研究所「ワイン科学研究センター」を擁する。

YT

甲府をもっと知るための おすすめサイト

制作委員会メンバーおすすめのサイトを集めました！

Homepage

こうふ開府 500 年公式ホームページ：http://www.kofu500.com/

甲府市役所公式ホームページ：https://www.city.kofu.yamanashi.jp

甲府の暮らし方：https://kofu-iju.com/

富士の国やまなし（やまなし観光推進機構）：https://www.yamanashi-kankou.jp/

マチコレ！：https://machikore.com/

Porta（ポルタ）：https://www.porta-y.jp/

てくてく甲府：https://11340blog.com/

峡陽文庫：https://kaz794889.exblog.jp/

山梨デザインアーカイブ：https://design-archive.pref.yamanashi.jp/

山梨デジタルアーカイブ：http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/top

甲斐之庫：https://kainokura.blogspot.com/

山梨の唄：http://www.yamanashinouta.com/

Facebook

こうふ開府 500 年：https://www.facebook.com/kofu500/

甲府市役所：https://www.facebook.com/ 甲府市役所 -255428157827015/

富士の国やまなし観光ページ（やまなし観光推進機構）：https://www.facebook.com/FujinokuniYamanashi

マチコレ！：https://www.facebook.com/machikore

Instagram

kofu_official（甲府市公式）：https://www.instagram.com/kofu_official/

kofu500（甲府の写真）：https://www.instagram.com/kofu500/?hl=ja

yamanashikankou（やまなし観光推進機構）：https://www.instagram.com/yamanashikankou/?hl=ja

machiko_re（マチコレ！）：https://www.instagram.com/machiko_re/

Porta（ポルタ）：https://www.facebook.com/porta.yamanashi/

Twitter

武田菱丸【公式】：https://twitter.com/t_hishimaru

信玄公祭り公式：https://twitter.com/ShingenFes

マチコレ！のマチコ：https://twitter.com/machiko_re

てくてく甲府：https://twitter.com/xiake_tktk

（順不同）

ワタシ ノ

エラブ

シンボル

ここまでご覧になって、貴方が思い浮かべる甲府のシンボルは出てきましたか？

実は・・・選出したものの、諸事情により掲載が見送りとなってしまうなどして、500 個のシンボルを掲載することができませんでした。
今回記事として掲載させていただいたシンボルは全部で 486 個です。
残り 14 個については、
ぜひ、貴方が思うものを入れてください！

そして、よかったら、
選んだシンボルをコウフシンボル 500 制作委員会へお知らせください。
SNS などで紹介させていただきます。

江戸　明治　大正　昭和　平成

江戸　明治　大正　昭和　平成

江戸　明治　大正　昭和　平成

江戸　明治　大正　昭和　平成

江戸　明治　大正　昭和　平成

江戸　明治　大正　昭和　平成

江戸　明治　大正　昭和　平成

江戸　明治　大正　昭和　平成

江戸　明治　大正　昭和　平成

江戸　明治　大正　昭和　平成

江戸　明治　大正　昭和　平成

江戸　明治　大正　昭和　平成

江戸　明治　大正　昭和　平成

江戸　明治　大正　昭和　平成

500!

開府500年 ノ ページ

ボランティア ノ ページ

学生 ノ ページ

番外編

こうふ開府 500 年

こうふ開府 500 年とは ..

甲斐の府中「甲府」は、武田信玄公の父、武田信虎公が 1519(永正 16) 年に今の武田神社の地、躑躅 (つつじ) ヶ崎に館を築き、城下町を整備したことから始まりました。
2019 年、開府 500 年という佳節を迎えるにあたり、これまで先人たちの知恵と絶え間ない努力により脈々と受け継がれてきた甲府の歴史・伝統・文化・自然を市民一人ひとりが改めて振り返り、次の世代へ引き継いでいくとともに、甲府市を訪れる方々にも、その魅力を充分に感じていただけるよう「過去に学ぶ」「現在 (いま) を見つめる」「未来につなぐ」を基本理念とした「こうふ開府 500 年記念事業」に取り組んでいます。
(こうふ開府 500 年パンフレットより)

上記文章からもわかる通り、「先人から引き継いだ重層的で多様な歴史・伝統・文化を次代に紡ぎ、新たな甲府のまちづくりに繋げていきたい。」といった思いから、単なるお祭り騒ぎといったものではなく、甲府市民・企業・団体が一丸となって、甲府を盛り上げ、繋いでいく事業を強い信念と協力のもとに実施している。
なお、平成 31 年 (西暦 2019 年) の「こうふ開府 500 年」だけでなく、平成 32 年 (西暦 2020 年) の「 東京オリンピック・パラリンピック」、続く平成 33 年 (西暦 2021 年) の「武田信玄公の生誕 500 年」といったものを関連事業として、準備期間を含めると平成 28 年からの 6 年間を事業期間としており、市をあげた大きな取り組みとなっている。

KOFU CITY
こうふ開府500年
1519 — 2019

ロゴマークについて

甲府のシンボルともいえる武田菱を結び目に見立て、人と人、心と心を結ぶ象徴である「水引」を図案化。5 本のラインは「開府 500 年」を示し、結び合い上方へ伸びゆくフォルムは、過去・現在・未来、多彩な伝統・文化、豊かな自然等を有機的に結びながら「歴史物語都市こうふ」の新たな歴史を築いていくという基本理念の骨子を表現するとともに、甲府の限りない可能性とさらなる発展をシンボライズしています。(こうふ開府 500 年パンフレットより)

知ってる？甲府市の歌

甲府市には市歌があります。
甲府市は昭和 41 年 (西暦 1966 年)10 月 17 日、山梨県で一番最初に市歌を制定しました。制定後、2 度ほど曲が変更され、現在の市歌は 3 代目です。
令和元年 10 月 17 日から、市制施行 130 周年に合わせて、毎日 17 時に市の防災行政用無線から流れるミュージックチャイムが「ふるさと」から『甲府市の歌』に変わりました。



甲府市の歌

作詞：奥石保之
作曲：甲府市の歌審査委員会

一、さわやかに　やまなみあけて
ひにはえる　こうふぼんちよ
あさあさに　ふじをあおげば
むねはもえ　ちからみなぎる
こうふしは　きぼうよぶまち
きぼうよぶまち

二、たけだびし　かがやくれきし
しのびつつ　はげむあけくれ
まちまちに　ひかりあふれて
さきかおる　ぶんかゆたかに
こうふしは　ゆめをよぶまち
ゆめをよぶまち

三、にじわたる　ぶどうのおかに
ほのぼのと　かすむゆけむり
まどまどに　えがおあかるく
もりあがる　けんとわれらの
こうふしは　あすをよぶまち
あすをよぶまち



甲州弁（今や全国区!? 好きな甲州弁 No.1）
藤村記念館（藤村紫朗県令が積極的に推奨した擬洋風建築）
甲州印伝（鹿皮に漆で模様付け 江戸時代からの伝統工芸）
太宰治（ペン先をイメージ 市内にはゆかりの地が多数）
とうもろこし（豊かな自然の恵み 甲府市南部）
ビール（東日本初の日本人による国産ビール）
リニア（甲府の未来の象徴 2027 年リニア開業へ）
甲府鳥もつ煮（蕎麦屋の定番！とりもっちゃん）
スポーツ（がんばれ!! VF 甲府・クィーンビーズ）
ぶどう・イチゴ（フルーツ王国甲府の果物）

昇仙峡（国の特別景勝「日本一の渓谷美」）
甲州だるま（400 年の伝統 信玄公がモチーフ ?）
甲府城（甲府の江戸時代を象徴 舞鶴城公園）
2・文学館（種をまく人・ミレー作）
レッサーパンダ（遊亀公園附属動物園 2019 年に 100 周年）
ワイン（日本で初めて 甲府はワイン発祥の地）
ほうとう（信玄公の陣中食 !? ふるさと甲府の郷土食）
温泉（信玄公の隠し湯 ? 湯村温泉郷・甲府温泉）
甲府囃子・天津司舞（重要無形民俗文化財）

＞答え
左上から右方向へ順番となっています。

かわせみ（市の鳥・市の象徴 2019 年に中核市へ）
富士山と夜景（地上の銀河 平成百景にも選出）
武田家三代（兜は武田三代「信虎・信玄・勝頼」の時代を象徴）
神社仏閣（信玄公ゆかりの甲府五山、甲斐善光寺）
水晶・宝石（宝石の街 甲府 研磨宝飾製品の出荷額日本一）

24 個のキービジュアル

こうふ開府 500 年の旗のデザインなどにも使用されている 24 個の紋章は、キービジュアルとして " 甲府 " にゆかりのあるものがデザインされています。こうふ開府 500 年を示すあちこちに使用されているだけでなく、専用アプリを使用することで、AR 動画を楽しめるようにもなっています。それぞれ、どんな意味が込められているか、わかるかな？（右上に答えもありますよ！）

written by Inou

ボランティアのページ

コウフシンボル 500 は、制作委員会とボランティア、学生の手により、シンボルを収集し、選定し、記事を書き・・山梨県立図書館交流ルームで毎月定例会を行いながら、ひとつひとつ丁寧に工程を積み上げて制作しました。
コウフシンボルに触れてもらい、またボランティア活動発表の場として、令和２年３月 11 日の開催準備を進めていた「コウフシンボル 500 発表記念交流会」は、新型コロナウイルスの影響でやむなく無期限の延期となってしまいました (交流会の様子も掲載する予定でしたが叶いませんでした)。
ですが、いつか何らかの形で実施し、市民のみなさんに還元できることを夢みています。



シンボル・ボランティア募集チラシ











Our Process

ボランティア・学生のあゆみ

2019 Apr　コウフシンボル 500 プロジェクト本格始動

シンボル・市民ボランティア募集開始
NHK かいドキ・NPO ボード告知
Mirai プロジェクトプレゼンテーション



Jun　ボランティア説明会
第１回定例ミーティング
Mirai プロジェクト学生チーム発足



Jul　第２回定例ミーティング
シンボルの選出基準説明・収集など

Aug　こうふ街なか探検隊
第３回定例ミーティング
シンボル収集



Sep　第４回定例ミーティング
シンボル選定

Oct　第５回定例ミーティング
取材・原稿制作等 #1



Nov　第６回定例ミーティング
取材・原稿制作等 #2

Dec　第７回定例ミーティング
交流会準備 #1



2020 Jan　第８回定例ミーティング
交流会準備 #2

Feb　第９回定例ミーティング
Mirai プロジェクト成果発表会

Mar　新型コロナウイルスの影響により
定例ミーティング・交流会ともに中止
↓
コウフシンボル 500 発行・お届け


送付できなかった幻の発表記念交流会案内ハガキ

こうふ街なか探検隊
（中心街散策・シンボル収集）

2019年8月4日(SUN)
参加：委員会メンバー・市民ボランティア・スポット参加者

『甲府をデザインから、もっと好きになる！』を、体感するべく、みんなで街に繰り出しました。
真夏の熱い中でしたが、甲府中心街の路地の日かげをうまく利用し、街なかを散歩して、マーク・シンボルを沢山発見しました♪





































私のイチオシンボル



and more !

甲府について





まずは、山梨ってどんなところ？

～全国で見た山梨～

ぶどう収穫量・支出額 1位！

もも・すもも収穫量 1位！

ミネラルウォーター出荷額 1位！

日照時間（年間）→ 2,357 時間 1位！

貴金属製装身具製造事業所数 1位！

◎甲府の概要

山梨県中部の国内 (くになか) 地方に位置する山梨の県庁所在地。

2000 年（平成 12 年）11 月 1 日に特例市に指定され、2019 年（平成 31 年）4 月 1 日に施行時特例市から中核市に移行された。桃や葡萄、すももなどの産地であり、フルーツ王国として知られるほか、宝石の街とも言われる。

人口は 188,001 人 (2019 年 11 月 1 日時点)、2018 年の最高気温は 38.7 度、最低気温は -7.5 度と、盆地という土地柄のため、夏と冬の気温差が大きい。

→ この気温差で美味しいフルーツができる!

◎甲府の春夏秋冬



桜に染まる甲府の街

桜・桃・菜の花が咲き誇り、様々な行事と共に賑わいを増す季節です。

四月の「天津司の舞」や、「信玄公祭り」、「武田 24 将騎馬行列」、「永泰寺花祭り」、五月になると「正ノ木さん」の名で親しまれている「正ノ木稲荷祭」などの様々な催しが続きます。





みずみずしい果物に溢れる季節

夏には豊富な夏野菜と梨・桃・ぶどうの果物が実り、甘い香りが漂います。

六月には、畑で実際にもろこし狩りが体験できる「もろこしフェア」のほかフルーツ狩りを楽しむ観光客が県内外から訪れます。七月には、夏の風物詩七夕祭りがあり、趣向を凝らした飾りが甲府駅前を彩ります。

学生が選ぶ！



私の好きな甲府スポット



貢川橋の遊歩道には、約 300 本もの桜が約 2km にわたり連なっています。私の中学、高校時の通学路であり、思い出の道です。

春になると、視界を覆いつくすほどの桜、ソメイヨシノが咲き誇りますが、抜けるような青空と冷たい空気が頬を撫でる冬の澄み切った景色もお気に入りです。

桜の木一本一本には、貢川文協短歌部による短歌が掛けられています。短歌を眺めながら散歩をするのも楽しいですね。



芸術の小径としても知られるこの道には、山梨県立美術館のオブジェが多数展示されています。

私のお気に入りは、堀田正行さんの「鼓動」「宇宙（SORA）」「時の鼓動Ⅱ」という作品、井上麦さんの「ポコアポコ」という作品です。是非行ってみてください（^^

甲府は日本一人口の少ない県庁所在地ですが、沢山の魅力にあふれた街です。四方八方を山に囲まれていてどこに住んでいても山を目にしますが、山を見ていると不思議と気持ちが落ち着くのを感じます。
是非、皆さんも甲府の好きなスポットを探してみてください。



山梨名物「ほうとう」が美味しい季節

山々が紅葉に染まるこの時期、各地で様々な豊穣祭りが催され、多くの人で賑わいます。十月には、「甲府大好きまつり」や「黒平ほうとう祭り」、十一月になると「甲府農業まつり」や「甲府えびす講祭り」などが盛大に行われます。また、甲府駅前のケヤキがライトアップされる「ファンタジア・甲府」では、約 12 万個の LED が幻想的な世界を創りだします。



あたたかい温泉が日々の疲れを癒します

雪が積もった山から吹き降りてくる風によって甲府の冬は厳しいです。八ヶ岳から吹き降りる風は「八ヶ岳おろし」といいます。そんな寒さの厳しいこの季節、人々は温泉で日々の疲れを癒します。
温かい温泉に浸かりのんびりとした空気を楽しんでみてはいかがでしょうか。

！番外編



＜(株)少國民社蔵 無断複製・転載を禁ず＞

昔の地図

じっくり見ると面白さ倍増！

今から約 200 年ほど前に発行された古地図です。時代を越えて人を惹きつける魅力がありますね！

今回シンボルに掲載させていただいた「少國民社」さんの記事（「ボランティアノエラブシンボル」ページ内）に掲載させていただいた地図です。

地図の概要については記事をご覧いただきたいのですが、記事中の画像は小さい為、皆様に少しでもアップで見ていただきたい！という思いから「少國民社」さんに特別に拡大版の掲載許可をいただきました。

甲府の新しいシンボル



























日常に潜むタケダビシをさがせ！

こんなとこにも武田菱！





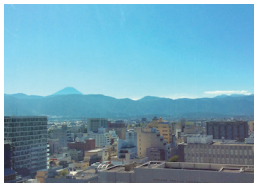
甲府 Snap!

あなたの好きな甲府の景色は
どんな風景？





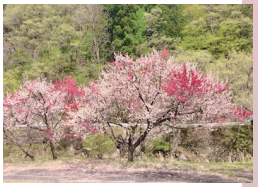


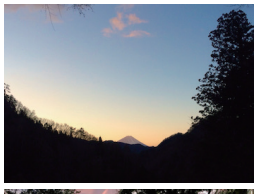
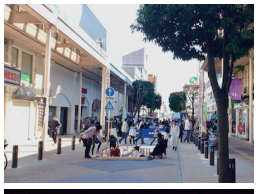



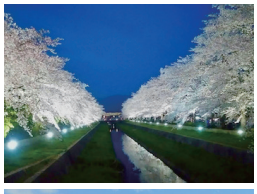


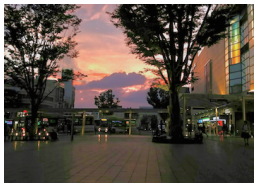









コウフシンボル500

広告・ご協賛・ご協力

引用・参考文献

manualz
INTERACTIVE DESIGN STUDIO

ホームページ制作

manualz.jp

山梨県甲府市丸の内 2-14-13 ダイタビル 2F
Tel.055-267-8400 / Fax.055-267-8401

oe uf

GIFT & LIFE STYLE SHOP

oe-uf.com

山梨県甲府市下石田 2-29-4 フェリアビル 1F
Tel.el.055-222-0705

キモノキブン
RENTAL KIMONO

仏教・お寺メディア
お寺のじかん

oe uf
フェリアビル

oeuf ovo
ラザウォーク

私たちは
コウフシンボル 500
を応援しています！

IROHA CRAFT

一級建築士事務所

atelier-iroha.com

山梨県韮崎市中央町 10-17 アメリカヤビル 4F
Tel.0551-45-7162 / Fax.0551-45-7163

Yard Works

造園家

yardworks-web.com

山梨県笛吹市春日居町鎮目 39-3
Tel. 0553-34-8720 / Fax. 0553-34-8721

アメリカヤ
AMERICAYA est. 50 years ago in 1967. Reborn in 2018.

アメリカヤ横丁
HIRASAKI AMERICAYA YOKOCHO

THE SOIL
by Yard Works

YAMEAMI
EST.2017

Ycc
Computer & Software

株式会社 ワイ・シー・シー

〒400-0035　甲府市飯田3-1-2
055-224-5511
https://www.ycc.co.jp/
https://www.yccde.co.jp/

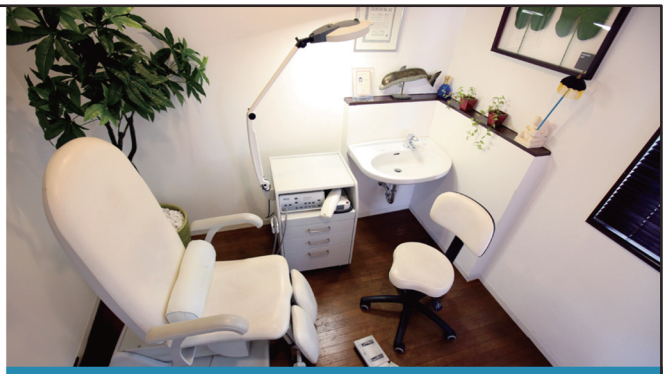
情報技術を駆使し
多様性に満ちた
共生社会を
創造するために





Finn Comfort　Ganter　högl　paul green　ZO!9　Meisi　BAR　Stretch Walker　VALESTA
セレクトシューズ
無料カウンセリング実施中。

su ashi bi jin
素足美人へ。



ドイツ式フットケア　足のトラブルでお悩みの方へ。リズムのフットケアをお試しください。　魚の目　タコ　角質　¥4,200~

フットケア&シューズセレクトショップ
RHYTHM
Tel/Fax 055-224-3992　http://2243992.com/
〒400-0035 山梨県甲府市飯田4-2-15　営業:AM10:00~PM19:00(不定休)

交流会へのご協賛

MATSUMURA
BEVERAGE INC.

株式会社マツムラ酒販
〒400-0041 山梨県甲府市上石田 4-8-30
TEL: 055-228-9232

伊藤園

株式会社伊藤園　甲府支店
〒400-0041 山梨県甲府市上石田 4-8-30
TEL: 055-228-9232

求人ウィークリー
国中版 郡内版 プラス

アイQジョブ
求人総合サイト

山梨の情報サイト
PORTA
ポルタ

LUNCH PASSPORT®
ランチパスポート 山梨

マムフル
Momful
働くママのためのWEBサイト

武田広告社グループ
企業内保育施設
たけのこ

武田広告社グループ
ジョブコンシェル
人材総合サービス

地元山梨の人と企業を
元気にする広告代理店

総合広告代理店
株式会社 武田広告社

本　　社／〒400-0074 山梨県甲府市千塚2-5-17
TEL.055-252-7227㈹ FAX.055-252-7228
富士吉田オフィス／〒403-0007 山梨県富士吉田市中曽根4-9-3杉本ビル202
TEL.0555-25-7227 FAX.0555-25-7228

ご協賛いただいた方々

相川行政書士事務所 様
ビザサポート山梨 市川行政書士事務所 様
小池 孝二 様
佐久間 貴仁 様
山本大介 様
※掲載の御承諾をいただきました方のみ掲載させていただいております。

ご支援・ご協賛、誠にありがとうございました。

ご協力いただいた方々

各項目のシンボル・画像の提供および、使用許可をくださった企業・商店・個人等の皆様

＜特別協力＞
峡陽文庫 様
甲府市教育委員会 様
株式会社 少國民社 様
武田神社 様
山梨県神社庁 様
山梨県立図書館 様
山梨県立博物館 様

資料収集及び、シンボルの調査などにあたり
多大なるご協力を頂戴し誠にありがとうございました。

引用・参考文献

該当箇所が発行しているパンフレット等につきましては、掲載を省略させていただいております。また、ウェブサイトの URL につきましては、編集時点での情報ですので掲載が終了されるなどの理由でアクセス出来ない可能性があります。何卒ご了承ください。

甲府市（甲府市章）https://www.city.kofu.yamanashi.jp/koho/shise/gaiyo/profile/shisho.html
こうふ開府 500 年 https://www.kofu500.com
甲府市立図書館 http://libnet.city.kofu.yamanashi.jp/lib/information/facility_information/
甲府市立遊亀公園 https://www.city.kofu.yamanashi.jp/zoo/
市立甲府病院 https://www.city-kofu-hp.jp/
甲府市リサイクルプラザ http://r-kofu.com/top.html
甲府市ごみ分別アプリ pdf https://www.city.kofu.yamanashi.jp/shise/koho/kohoshi/h29/documents/2017_10_04.pdf
甲府市（上九の湯ふれあいセンター）https://www.city.kofu.yamanashi.jp/welcome/onsen/koukyouspa.html
甲府市社会福祉協議会（上九の湯ふれあいセンター）http://www.kofu-syakyo.or.jp/sisestu/kamiku.htm
富士の国やまなし（上九の湯ふれあいセンター）https://www.yamanashi-kankou.jp/kankou/stay/p5_5001.html
ウィキペディア（上九一色村）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 上九一色村
goo Wikipedia（上九一色村）https://wpedia.goo.ne.jp/wiki/ 上九一色村
甲府市（上九ふれあい農産物直売所）https://www.city.kofu.yamanashi.jp/welcome/omiyage/kamiku-tyokubai.html , https://www.city.kofu.yamanashi.jp/nogyoshinko/shisetsu/sonohoka/kamiku.html
甲府市（武田信玄公の銅像）https://www.city.kofu.yamanashi.jp/senior/kamejii/023.html
甲府の暮らし方 https://kofu-iju.com/
NTT 東日本（甲府市内の地域活性化に向けた「こうふ SAMURAI Wi-Fi プロジェクト」の発足について）https://www.ntt-east.co.jp/yamanashi/info/details/150326.html
日本観光振興協会（キャンペーン /KOFU SAMURAI Wi-Fi ×戦国 BASARA スタンプラリー ～いざ向かわん、こうふ開府 500 年！～）https://www.nihon-kankou.or.jp/yamanashi/192015/news_detail/276580
甲府市上下水道局（甲府市のマンホールの蓋（ふた）について
）https://www.water.kofu.yamanashi.jp/general/manhole/20200713164546.html
山梨県（山梨県のシンボル）https://www.pref.yamanashi.jp/miryoku/shokai/symbole.html
山梨観光推進機構（フジザクラ）https://www.yamanashi-kankou.jp/kankou/photo/pg_60015.html
山梨県立図書館 https://www.lib.pref.yamanashi.jp/
山梨県立科学館 https://www.kagakukan.pref.yamanashi.jp/
ウィキペディア（山梨県立科学館）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 山梨県立科学館
山梨近代人物館 https://www.pref.yamanashi.jp/ykj/syokai/index.html
山梨県立博物館 http://www.museum.pref.yamanashi.jp/
山梨県（考古博物館について）https://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/works/about.html
山梨県立美術館 https://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/
山梨県（山梨ジュエリーミュージアム）https://www.pref.yamanashi.jp/yjm/
山梨県立愛宕山 子どもの国・少年自然の家 https://atagoyama.yya.or.jp/atago_destiny.html
山梨県（夢見山）https://www.city.kofu.yamanashi.jp/senior/ohanashi/no1/yumemiyama.html
武田の杜 https://y-zouen.jp/takeda/
ウィキペディア（ふじ君）https://ja.wikipedia.org/wiki/ ふじ君
山梨県警察（ふじ君の実録？警察 24 時）https://www.pref.yamanashi.jp/police/saiyou/fujikun-jitsuroku24.html
山梨県（カルチャくん）https://www.pref.yamanashi.jp/shougai-gk/kokubunsai2013/culture_kun.html
ゆるキャラ ® グランプリ実行委員会（カルチャくん）https://www.yurugp.jp/jp/vote/detail.php?id=00001426
YouTube（カルチャくんの唄♪）https://www.youtube.com/watch?v=Su1SU2Q-dCg
山梨県立中央病院 https://www.ych.pref.yamanashi.jp/
山梨交通 http://yamanashikotsu.co.jp
ウィキペディア（山梨交通）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 山梨交通
大山崎すとりぃむ（山梨交通バス停マニアックス）https://koitsu100dora.net/trip/trip020.html
身延 Life https://plaza.rakuten.co.jp/machi19minobu/diary/
ユキサキ NAVI（千塚）https://www.homemate-research-bus.com/dtl/2700000000000045023/
やまなし観光推進機構 富士の国やまなし https://www.yamanashi-kankou.jp/index.html
やまなし観光推進機構 富士の国やまなし（武田菱丸）https://www.yamanashi-kankou.jp/kankou/event/takeda-hishimaru.html
甲府市（甲府の良きモノ「甲府ブランド認定制度」）https://www.city.kofu.yamanashi.jp/shoko/kofunoakashi.html
甲府市（甲府ブランド認定制度（農林産物部門）について）https://www.city.kofu.yamanashi.jp/nogyoshinko/2016314buranndo.html
甲府駅北口まちづくり委員会 http://www.kitagucchi.com/
かいてらす http://www.kaiterasu.jp
やまなし観光推進機構 富士の国やまなし（かいてらす）https://www.yamanashi-kankou.jp/kankou/specialty/n_7102.html
山梨県（かいてらす）https://www.pref.yamanashi.jp/shisetsu/kankou-sk/kaiterasu.html,（（財）地場産業センターについて）https://www.pref.yamanashi.jp/gyousei-kk/documents/13jibasangyousenta-.pdf
ヴァンフォーレ甲府 https://www.ventforet.jp/
山梨平和ミュージアム - 石橋湛山記念館 - http://ypm-japan.jp/
ウィキペディア（石橋湛山）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 石橋湛山
山梨県酒造協同組合 http://www.yamanashi-sake.jp/
SAKETIMES（体験レポート）https://jp.sake-times.com/special/report/sake_g_yamanashi-sake
ワインの国山梨 https://wine.or.jp/wine/sangyoushi.html
NHK 甲府放送局 https://www.nhk.or.jp/kofu/
UTY テレビ山梨 http://www.uty.co.jp/
エフエム富士 https://www.fmfuji.jp/
エフエム甲府 http://www.fm-kofu.co.jp/
山梨日日新聞 https://www.sannichi.co.jp/
ウィキペディア（山梨日日新聞）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 山梨日日新聞
山梨新報社 http://www.y-shinpou.co.jp/
ウィキペディア（山梨新報）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 山梨新報
山梨中央銀行 https://www.yamanashibank.co.jp/
甲府信用金庫 http://www.kofushinkin.co.jp/
山梨信用金庫 https://www.yamasin.jp/
山梨県民信用組合 https://www.yamanashikenmin.shinkumi.jp/
不老園 http://www.furouen.jp/
山梨県神社庁（浅間神社）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1025
山梨県神社庁（愛宕神社）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1066
ホトカミ（愛宕神社）https://hotokami.jp/area/yamanashi/Hkgtk/Hkgtktk/Drzam/80331/
山梨県神社庁（穴切大神社）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1034
ウィキペディア（穴切大神社）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 穴切大神社
正ノ木稲荷大明神 稲積神社 http://www.inazumijinjya.com/
山梨県神社庁（稲積神社）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1094
やまなし観光推進機構 山梨歴旅（稲積神社）https://www.yamanashi-kankou.jp/rekitabi/jisha/spot/025.html
山梨県神社庁（宇波刀神社）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1016
玄松子の記憶（宇波刀神社）https://genbu.net/data/kai/uhato3_title.htm
瑞巌山 円光院 http://www16.plala.or.jp/enkoin/
福田山 塩澤寺 http://www.entakuji.jp/index.html
ウィキペディア（塩澤寺）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 塩澤寺
甲斐 善光院 http://www.kai-zenkoji.or.jp/
ウィキペディア（甲斐善光院）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲斐善光院
山梨県神社庁（甲斐奈神社）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/3067
ウィキペディア（甲斐奈神社）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲斐奈神社
amebablog 歩くの大好きちょこっとのブログ（甲斐奈神社）https://ameblo.jp/tomitakesin/entry-12478525467.html
金桜神社 https://kanazakura-shrin.webnode.jp/
山梨県神社庁（金桜神社）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1012
甲府山の手七福神巡礼 http://kofu-yamanote-shichifukujin.com/
酒折宮 http://sakaorinomiya.jp/
ウィキペディア（酒折宮）http://ja.wikipedia.org/wiki/ 酒折宮
山梨県神社庁（柴宮神社）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1059
玄松子の記憶（柴宮神社）https://genbu.net/data/kai/sibamiya_title.htm
神社探訪 狛犬見聞録（柴宮神社）http://www.komainu.org/yamanasi/koufusi/sibamiya/sibamiya.html
甲州光沢山 青松院 http://www.fir.gr.jp/seisyoin/
庭園ガイド（青松院）https://garden-guide.jp/spot.php?i=seisyoin
甲斐国 住吉神社 http://www.kai-sumiyoshijinja.jp/index.html
山梨県神社庁（住吉神社・高畑）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1051
山梨県神社庁（住吉神社・住吉）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1070
山梨県神社庁（諏訪神社）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1009
wiki 諏訪神社
山梨県神社庁（大神宮）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1027
やまなし観光推進機構 山梨歴旅（横近習大神宮）https://www.yamanashi-kankou.jp/rekitabi/jisha/spot/22.html
マチコレ！（柳町大神宮）https://machikore.com/map/kuchikomi/footpath/4377/
ウィキペディア（大泉寺）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 大泉寺
甲斐乃國総鎮護 武田神社 http://www.takedajinja.or.jp/
山梨県神社庁（武田神社）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1003
山梨県神社庁（玉諸神社）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1087
ウィキペディア（玉諸神社）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 玉諸神社
ウィキペディア（能成寺）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 能成寺
うなぎ竜由（原山神社）http://unagi-tatsuyoshi.com/?p=338
山梨県神社庁（原山神社）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1040
山梨県神社庁（八幡神社）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1064
金剛福聚山 法泉禅寺 http://www4.nns.ne.jp/~hosenji/
ウィキペディア（法泉寺 _(甲府市)）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 法泉寺 _(甲府市)
八百万の神（御崎神社）https://yaokami.jp/1190016/
玄松子の記憶（御崎神社）https://genbu.net/data/kai/misaki_title.htm
マチコレ！（御崎神社）https://machikore.com/map/kuchikomi/footpath/1751/
山梨県護国神社 https://yamanashikengokokujinjya.wordpress.com/
山梨県神社庁（山梨県護国神社）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1062
山梨県神社庁（山八幡神社）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1037
峡陽文庫（山八幡神社）https://kaz794889.exblog.jp/23403251/
湯村温泉旅館協同組合（湯谷神社）https://www.yumura.com/actvty/yumura8seki/yuyajinjya/
山梨県神社庁（湯谷神社）http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/intro/search/detail/1042
ウィキペディア（積翠寺）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 積翠寺
蔵書印データベース（甲州文庫）http://dbrec.nijl.ac.jp/CSDB_6142
ウィキペディア（功刀亀内）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 功刀亀内
山梨県立図書館（甲州文庫概観）https://www.lib.pref.yamanashi.jp/kosyu/manabu/gaikan/gaikan.html
山梨県立図書館デジタルアーカイブ所蔵 黒川春村「並山日記 一」, 昭和 6 年発行 , 全 50 チョウ ,p2
山梨県立図書館所蔵 著者 : 山梨県立博物館 ,「山梨県立博物館企画展 柳沢吉保と甲府城」, 平成 23 年発行 , 全 175p
ウィキペディア（花菱）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 花菱
ウィキペディア（橘無）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 橘無
ウィキペディア（菱紋）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 菱紋
ウィキペディア（甲府徳川家）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲府徳川家
ウィキペディア（風林火山）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 風林火山
山梨県立図書館デジタルアーカイブ所蔵 著者 : 山梨県立図書館 ,「甲州文庫史料 第 1 巻」, 昭和 48 年発行 , 全 409p,p1,p23
ウィキペディア（山梨交通電車線）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 山梨交通電車線
甲府市（甲府のまちなかを行く！「ポロ電」）https://www.city.kofu.yamanashi.jp/senior/kamejii/075.html
ウィキペディア（野口正章）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 野口正章
山梨県立図書館デジタルアーカイブ所蔵「ビールの資料」, 全 3p,p2,p3
山梨県立図書館所蔵 甲府商工会議所 ,「甲府案内」, 大正 7 年発行 , 表紙ページ
峡陽文庫（松林軒百貨店）https://kaz794889.exblog.jp/9480810/

ウィキペディア（甲府会館） https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲府会館
峡陽文庫（商店の包装紙４ 『おふどう 大木呉服店』） https://kaz794889.exblog.jp/15265713/
ウィキペディア（大木家資料） https://ja.wikipedia.org/wiki/ 大木家資料
峡陽文庫（甲府電気館と「パリの恋人」） https://kaz794889.exblog.jp/16629486/
ウィキペディア（甲府銀座ビル） https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲府銀座ビル
峡陽文庫（オリオンパレス） https://kaz794889.exblog.jp/17025913/
甲府市（広報誌） https://www.city.kofu.yamanashi.jp/koho/shise/koho/kohoshi/documents/25_1.pdf
港町キネマ通り（甲府武蔵野シネマ５） http://www.cinema-st.com/amuse/a029.html
峡陽文庫（甲府武蔵野館） https://kaz794889.exblog.jp/15918434/
山梨県立図書館所蔵「第 41 回国民体育大会総合視察資料」, 昭和 61 年発行 , 全 184p, 表紙
氷都八戸デジタルアーカイブ 氷都八戸物語（第 41 回国民体育大会冬季大会スケート競技会のプログラム 2） http://hyoto.city.hachinohe.aomori.jp/shiryo_detail.php?ptn=freeword&id=1837
ウィキペディア（こうふ博’89） https://ja.wikipedia.org/wiki/ こうふ博 '89
こうふ開府 500 年 Facebook https://www.facebook.com/kofu500/photos/pcb.2040970062688051/2040965379355186/?type=3&theater
山梨県立図書館デジタルアーカイブ所蔵 著者 : 山梨県立図書館 ,「甲州文庫史料 第 2 巻」, 昭和 48 年発行 , 全 424p,p0,p1,p404
峡陽文庫（甲府の観光土産品 おかいこ人形） https://kaz794889.exblog.jp/25042298/
峡陽文庫（甲州特有名産 煮餡） https://kaz794889.exblog.jp/16597999/
峡陽文庫（甲府駅構内売店のパン販売） https://kaz794889.exblog.jp/23969162/
ARIA DI FIRENZE http://www.aria.or.jp
ウィキペディア（アリア・ディ・フィレンツェ） https://ja.wikipedia.org/wiki/ アリア・ディ・フィレンツェ
ウィキペディア（グランパーク） https://ja.wikipedia.org/wiki/ グランパーク
ウィキペディア（セレオ甲府） https://ja.wikipedia.org/wiki/ セレオ甲府
セレオ甲府 https://www.celeo.co.jp/shiten/
KoKori（ココリ） http://www.kokori.jp
甲府ぐるめ横丁 http://www.kofu-food.com
甲府ぐるめ横丁 Facebook https://www.facebook.com/kofu2014/
ウィキペディア（甲府中央商店街） https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲府中央商店街
光と風マーケットコート https://hikaritokaze.net/marketcourt/
岡島百貨店 https://www.okajima.co.jp/
ウィキペディア（岡島百貨店） https://ja.wikipedia.org/wiki/ 岡島百貨店
ウィキペディア（甲府中央商店街） https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲府中央商店街
甲府市（エル西銀座の十二支像） https://www.city.kofu.yamanashi.jp/senior/kamejii/072.html
townphoto.net（甲府市繁華街の風景・街並み紹介） https://townphoto.net/yamanashi/kofu2.html
朝日通り商店街 http://www.asahi-doori.com/
PORTA（朝日通り商店街特集） https://www.porta-y.jp/feature/asahidori-kofu
こうふ開府 500 年（ハナミズキ祭りの広告） https://www.kofu500.com/event/ev2018/documents/01_hanamizuki_omote_ol.pdf
祭りの日（朝日通りハナミズキ祭り） https://matsuri-no-hi.com/matsuri/7236
Zoom Up KOFU 市民レポート（朝日通り商店街活性化大作戦！！） https://blog.goo.ne.jp/kofu-reporter/e/7abf56f6e78050bf8c8f2f5bf2f0147d
朝日新聞（山梨 ハナミズキ見ごろ 朝日通り商店街） https://www.asahi.com/articles/ASJ4K5SMTJ4KUZOB00D.html
山梨の旅行代理店店長のブログ（朝日通り商店街のハナミズキ） https://ameblo.jp/kofu-travel-staff/entry-10521729050.html
ウィキペディア（平和通り _(甲府市)） https://ja.wikipedia.org/wiki/ 平和通り _(甲府市)
著者名 (編集代表) 宮坂真衣 ,「オリンピック通り物語 55 周年記念誌」 ,2019 年発行 , 全 28p, 表紙
ウィキペディア（丸の内 _(甲府市)） https://ja.wikipedia.org/wiki/ 丸の内 _(甲府市)
甲府・丸の内 オリオンスクエア商店街 https://www.orionsquare.com/
甲府ん！横丁はしご酒ウィーク http://www.sannichiybs.info/yokocho/
ゆこゆこ（湯村温泉（山梨県）の基本情報） https://www.yukoyuko.net/onsen/0738
甲府市（武田二十四将） https://www.city.kofu.yamanashi.jp/welcome/rekishi/24syou.html
信玄公宝物館 https://shingen.iooo.jp/24sho/
ウィキペディア（武田二十四将） https://ja.wikipedia.org/wiki/ 武田二十四将
テンヨ https://www.tenyo-takeda.co.jp
ウィキペディア（テンヨ武田） https://ja.wikipedia.org/wiki/ テンヨ武田
サドヤ https://sadoya.co.jp/
甲府ワインポート http://kofuwineport.jp/wine/index.html
シャトー酒折ワイナリー https://www.sakaoriwine.com/
信玄ワイン株式会社 http://ccnet.easymyweb.jp/member/shingen/
甲府市（信玄ワイン株式会社） https://www.city.kofu.yamanashi.jp/kanko/shingen.html
OUTSIDERBREWING Facebook https://www.facebook.com/OUTSIDERBREWING/
五味醤油 http://yamagomiso.com/
おかめ麹 https://okamekoji.co.jp/
山梨県味噌醤油協同組合（富士井屋糀店） https://kknit.com/ym-misosyouyu/kaiin/kaiin13.html
常磐ホテル https://tokiwa-hotel.co.jp/
ウィキペディア（常磐ホテル） https://ja.wikipedia.org/wiki/ 常磐ホテル
goo 辞書（常磐の意味） https://dictionary.goo.ne.jp/word/ 常磐 _%28 ときわ %29/
昇仙峡観光協会（常盤ホテル） https://www.shosenkyo-kankoukyokai.com/yama/ 常盤ホテル /
湯村ホテル http://www.yumura-hotel.com/index.html
甲府ちゃんねるなび（湯村ホテル） https://kofu-navi.com/shop.html?id=423
談露館 https://www.danrokan.co.jp/
ウィキペディア（ホテル談露館） https://ja.wikipedia.org/wiki/ ホテル談露館
古名屋ホテル https://www.konaya.co.jp/
甲府ホテル旅館協同組合（古名屋ホテル） http://www.kofu-tabi.jp/list/konaya.html
旅館明治 https://www.ryokanmeiji.com/
青空文庫（太宰小説「正義と微笑」） https://www.aozora.gr.jp/cards/000035/files/1577_8581.html
青空文庫（太宰小説 「美少女」） https://www.aozora.gr.jp/cards/000035/files/242_20033.html
青空文庫 https://www.aozora.gr.jp/
弘法湯 http://www.koubouyu.com/
富士の国やまなし（弘法湯） https://www.yamanashi-kankou.jp/kankou/stay/p4_1601.html
甲府市（湯村温泉郷温泉協同組合 理事長インタビュー） https://www.city.kofu.yamanashi.jp/daisuki/midokoro/yumuraonsen.html
柳屋 http://www.yumurayanagiya.com/
昇仙峡観光協同組合（柳屋） https://www.shosenkyo-kankoukyokai.com/yama/ 柳屋 /
バッカスゲストハウス http://bacchus-kofu.net/
NAP bed and lounge http://nap-bed.com
てくてく甲府（【NAP bed and lounge】甲府柳小路・路地裏ゲストハウスで絶品バーガーを） https://11340blog.com/nap
ポルタ（NAP bed and lounge） https://www.porta-y.jp/feature/hamburger/nap-bed-lounge
じゃらん（昭和の風情が残る、温泉銭湯の街「山梨・甲府」。編集部の温泉マニアが散策！） https://www.jalan.net/news/article/50714/
山と温泉の記録（甲府・喜久乃湯温泉 400 円で極上のぬる湯を楽しめる！太宰治も通った昭和元年創業の温泉銭湯） https://www.yamaonsen.com/entry/kikunoyuonsen_kofu
甲府でしかできない５０のこと。（温泉好きが遠方からも来る「草津温泉」） https://www.city.kofu.yamanashi.jp/welcome/kofu50things/detail_18.html
山梨の銭湯（草津温泉） https://yamanashi.k-o-i.jp/koten/kusatsuonsen/
びゅうたび（温泉銭湯の天国、甲府。太宰治ゆかりの湯、山梨の「草津温泉」をハシゴ） https://www.viewtabi.jp/articles/19112901
DOINAKA ！山梨（草津温泉） http://do-inaka.jp/1402/
山と温泉のきろく（草津温泉） https://www.yamaonsen.com/entry/kusatsuonsen
山と温泉と写真（草津温泉） https:// 山と温泉と写真 .com/post-7452/
子連れ温泉ガイド 地熱愛好会（草津温泉 至福の湯） http://spa.s5.xrea.com/broom/yamanashi/kusatsuf.htm
山梨の銭湯（都温泉） http://yamanashi.k-o-i.jp/koten/miyakoonsen/
昇仙峡ロープウェイ http://www.shousenkyo-r.jp/
富士の国やまなし（昇仙峡ロープウェイ） https://www.yamanashi-kankou.jp/kankou/spot/p2_3209.html
六曜館珈琲店本店 Facebook https://www.facebook.com/rokuyoukancoffee/
富士アイス東店 Facebook https://www.facebook.com/fujice/
長野朝日放送（富士アイスの志〝まん焼き） https://www.abn-tv.co.jp/sugodikara/backnumber/2017-11-25/
食べログ（富士アイス 朝日店） https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19003444/dtlrvwlst/B111124806/
寺崎コーヒー https://terasakicoffee.com/
寺崎コーヒー Instagram https://www.instagram.com/terasakicoffee/
マチコレ！（COTTON CLUB） https://machikore.com/map/kuchikomi/shop/3374/
LiveWalker（甲府コットンクラブ） https://www.livewalker.com/mdata/detail.aspx?i=18156
食べログ（カフェ ロッシュ） https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19000238/
BLUEMOON Instagram（chikakobluemoon） https://www.instagram.com/chikakobluemoon/?hl=ja
Restaurant Bar Alfie http://alfie.main.jp/
ポルタ（Restaurant Bar Alfie（レストランバー アルフィー）） https://www.porta-y.jp/feature/ohitorisama-gourmet/restaurant-bar-alfie
ワールドサーチ（備長 炭火焼 いけ田） http://www.wsjp.net/info/type/eat/yakitori/ikeda/page.htm
ぐるなび（備長 炭火焼 いけ田） https://r.gnavi.co.jp/3bgrcrte0000/
ポルタ（備長・炭火焼 いけ田） https://www.porta-y.jp/gourmet/2983
甲府観光ナビ（備長 炭火焼 いけ田） https://kofu-tourism.com/gourmet/148
カレー細胞（甲府が誇るチキンカレーの隠れた名店。「一刀斎」（甲府）） https://currycell.blog.fc2.com/blog-entry-2634.html
食べログ（一刀斎） https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19004155/dtlrvwlst/B256538671/
ポルタ（中華そば やきもつ 上田屋） https://www.porta-y.jp/gourmet/6998
Retty（上田屋） https://retty.me/area/PRE19/ARE83/SUB8301/100000728820/
俺たちのラーメン（上田屋@甲府市） https://ore-ramen.com/wp/uedaya
すし処魚保 http://www.uoyasu.com/
食べログ（魚保） https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19001103/dtlrvwlst/B27509165/
うなぎ川長 http://www.unagikawachou.com/
うなぎ横内 https://www.unagi-yokouchi.com/
Retty(うなぎ割烹 石水庭 横内） https://retty.me/area/PRE19/ARE83/SUB8301/100001160492/
うなぎ竜由 http://unagi-tatsuyoshi.com/
食べログ（うなぎ竜由） https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19003478/
銀座江戸家 http://ginza-edoya.com/
ポルタ（縁者） https://www.porta-y.jp/gourmet/2288
食べログ（縁者） https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19004078/
icotto（甲府を訪れたら一度は味わいたい、こだわりのラーメン店 7 選） https://icotto.jp/presses/7220
HOT PEPPER グルメ（えぞ） https://www.hotpepper.jp/strJ000352032/
奥藤本店 http://okutou.com/
奥藤本店国母店 https://okutouhonten-kokubo.gorp.jp/
発酵酒場かえるのより道 http://www.kaeru-shouten.com/food/
発酵酒場かえるのより道 Facebook https://www.facebook.com/kaeruyorimichi/
カフェ・クレプスキュール http://crepuscule.jp
食べログ（Cafe du Crepscule） https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19000663/
食べログ（かにや 銀座店） https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19003464/
てくてく甲府（かにや銀座店） https://11340blog.com/kaniya
ワールドサーチ（旬菜そば かさふじ） http://www.wsjp.net/info/type/eat/soba/kasafuji/page.htm
ポルタ（旬菜そば かさふじ 甲府本店） https://www.porta-y.jp/gourmet/14320
割烹三井 https://www.mitsui-kofu.com/
くさ笛 https://kusabue.crayonsite.net/
熊鰹 Instagram https://www.instagram.com/kumakatsuo/
食べログ（熊鰹） https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19008464/
食べログ（黒駒楼） https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19000010/
うなぎ大好き（黒駒楼） http://unagi-daisuki.com/post-4647
niauhaus（江戸時代創業、300 年の歴史を感じる鰻が自慢 うなぎ割烹 黒駒楼） https://niauhaus.jp/?p=14502
甲州ほうとう 小作 http://www.kosaku.co.jp/
ウィキペディア（小作 _(ほうとう)） https://ja.wikipedia.org/wiki/ 小作 _(ほうとう)
酒場日々 http://sakabahibi.com/
酒場日々 Instagram（sakabahibi） https://www.instagram.com/sakabahibi/
中華レストラン さんぷく http://sanpuku-tsukesoba.com/
てくて！TV（たこ焼居酒屋 祭） https://www.ybs.jp/tetete/harapeko/ たこ焼居酒屋 - 祭
食べログ（辰美寿し） https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19001978/
Retty（辰美寿し） https://retty.me/area/PRE19/ARE83/SUB8301/100001148478/
チリンドロ http://www.il-cilindro.jp/
食べログ（スパイス） https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19010342/
スパイス Instagram（ajiayataimeshi_spice） https://www.instagram.com/ajiayataimeshi_spice
餃子 もも焼き 寅〝 Facebook https://www.facebook.com/ 餃子 - もも焼き -DORA-156890988308655/
ポルタ（餃子 もも焼き 寅〝） https://www.porta-y.jp/gourmet/35339

食べログ（とんかつとん甲）https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19002531/
まいぷれ（【とん甲】甲府にある老舗トンカツ店）https://kofu.mypl.net/mp/lunch_kofu/?sid=48227
食べログ（鳥真 本店）https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19004579/
ポルタ（鳥真本店）https://www.porta-y.jp/gourmet/75152
ナチュラルグレース https://naturalgrace.com/
トリップアドバイザー（びすとろ萄 pe 溜）https://www.tripadvisor.jp/Restaurant_Review-g298128-d9635452-Reviews-Bistro_Domperi-Kofu_Yamanashi_Prefecture_Koshinetsu_Chubu.html
食べログ（萄 Pe’ 溜）https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19007881/
ビストロ メゾン・ド・ルージュ https://r.goope.jp/bistro-rouge
フォーハーツカフェ・オフィシャルブログ http://fourhearts.blog80.fc2.com/
フォーハーツカフェ Facebook https://www.facebook.com/fourheartsjp/
食べログ（フォーハーツカフェ）https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19001024/
Retty（みな金）https://retty.me/area/PRE19/ARE83/SUB8301/100000499629/
ポルタ（ヤマフジ）https://www.porta-y.jp/gourmet/47882
食べログ（ヤマフジ）https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19007677/
居酒屋やまぶき2号店 Facebook https://www.facebook.com/Yamabukimai/
食べログ（やまぶき2号店）https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19009984/
洋麺屋 楽 Facebook https://www.facebook.com/pastaraku/
やまなしコンシェル（洋麺屋 楽）http://ycon.jp/article/411/
リストランテ・コエン https://ristorante-koen.com/
Facebook（キリン館）https://m.facebook.com/ キリン館
食べログ（レストラン キリン館）https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19000203/
和食あかざわ http://washoku-akazawa.com/
食べログ（漁夫乃勇）https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19010063/
パスタ CAFE’ かなりや Facebook https://facebook.com/Pasutacafekanariya/
パスタ CAFE’ かなりや Instagram（kanariya1970）https://www.instagram.com/kanariya1970/
cafe freebar-d http://freebar-d.com/
Cafe&bar freebar-d Facebook https://www.facebook.com/CafebarFreebarD/
GO CHEESE https://go-cheese.com/
エルコンドルパッソ Facebook https://www.facebook.com/pages/ エルコンドルパッソ
食べログ（エル・コンドル・パッソ）https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19002837/dtlrvwlst/B112981330/
AKITO COFFEE https://akitocoffee.com/
AKITO COFFEE Instagram（akitocoffee）https://www.instagram.com/akitocoffee/
ジョイアルカレー https://gioial.com
ジョイアルカレー Facebook https://www.facebook.com/Hiroshikajihara2020/
食べログ（辰己）https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19003210/
ポルタ（おでん辰巳）https://www.porta-y.jp/feature/kofu-kanpai/chuo/tatsumi
弥生町 洋食こじま Facebook https://www.facebook.com/Tonnerre.bistro/
レストランバー SAIKI http://rbsaiki.com/
レストラン&パティスリー ボンマルシェ http://bonmarche.jp/
OASIS ～オアシス～ Facebook https://www.facebook.com/oasis.kofu/
てくてく甲府（甲府【OASIS オアシス】の素敵ランチ！野菜たっぷりサンドがたまらないっ♡）https://11340blog.com/oasis
クリエイトキッチン スルメ Instagram（ck_surume.10）https://www.instagram.com/ck_surume.10/
甲州夢小路（Authentic Bar U-ME(ユーメ)）http://koshuyumekouji.com/shop/build_G1_02.html
そば旬菜 奥京 http://www.okukyo.com/
リストランテ バローロ http://www.barolo866.com/
板に鯛 Facebook https://www.facebook.com/ 板に鯛 -1711333359118101/
ガレット cafe すきまのじかん L'heure vide Instagram（galettecafe.sukimanojikan）https://www.instagram.com/galettecafe.sukimanojikan/
ガレットcafeすきまのじかん L'heure vide Facebook https://www.facebook.com/sukimanojikan/
十四番目の月 https://14banmenotuki.gorp.jp/
Kitchen&Cafe Fix Facebook https://www.facebook.com/Kitchen-Cafe-Fix-172475396165797/
レストランバー イッセイ http://www.nns.ne.jp/~issei/isseitop.html
開けよう甲州。 Facebook（ イッセイ（甲府市丸の内））https://www.facebook.com/permalink.php?story_fbid=260439960795017&id=143942039111477
山梨レストラン メリメロ Facebook https://www.facebook.com/ 山梨レストラン - メリメロ -1535190220076070/
甲州夢小路（山梨レストラン メリメロ）http://koshuyumekouji.com/shop/build_D1_02.html
食べログ（山梨レストラン メリメロ）https://tabelog.com/yamanashi/A1901/A190101/19007453/
イタリア料理 ポコセリオ http://pocoserio.ikidane.com/
鳥座 Facebook https://www.facebook.com/torikura0927/
サウサリート Facebook https://www.facebook.com/ サウサリート -709326022514577/
TREE -Anthony's Kitchen- Facebook https://www.facebook.com/DesignDailyLifeTREE/
印傳屋十三代上原勇七 https://www.inden-ya.co.jp/
印伝の山本 http://www.yamamoto-inden.com/
ウィキペディア（伝統工芸士）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 伝統工芸士
伝統工芸品産業振興協会 https://kyokai.kougeihin.jp/
セコリ百景（甲州印伝の産地を復興させたい。新たな挑戦を続ける若き職人 印伝の山本）https://secori-hyakkei.com/?p=7357
oe-uf https://www.oe-uf.com/
ぺきん堂 https://www.pekindo.jp/
ぺきん堂 Facebook https://www.facebook.com/pekindo
柳正堂書店 http://ryusei.co.jp/
朗月堂書店 http://www.rogetsudo.co.jp/
春光堂書店 https://harulight.com/
nippon.com（本読みの店主のいる書店は街を豊かにする－甲府・春光堂書店）https://www.nippon.com/ja/japan-topics/c07109/
セイビドー https://seibido.com/
ギョクホー堂 http://www.gyokuhodo.com/
タウンページ（株式会社機山堂）https://itp.ne.jp/info/191911497200000899/
株式会社機山堂 Facebook https://www.facebook.com/ 機山堂 -161531877556751/
株式会社機山堂（kizando_official）https://www.instagram.com/kizando_official/
内藤楽器 https://www.naito-gakki.co.jp/
朱宮神仏具店 https://www.shumiya.co.jp/
甲府銀座プラザー http://www.brother1916.co.jp/
マチコレ！（山本荒物店）https://machikore.com/map/kuchikomi/shop/4007/
吉田屋 https://www.wineyosi.com/
遠藤フルーツ Facebook https://www.facebook.com/pages/ 遠藤フルーツ /107477439311604
京呉服ふじや https://gofuku-fujiya.co.jp/
株式会社山梨教互（SUPPORT COMPANY）http://www.kabukyogo.jp/partner/info.php?no=27
玉泉堂 http://www.ginza-gyokusendo.com/
ジャワ更紗専門店 kecak Facebook https://www.facebook.com/chiho.kecak/
マチコレ！（ケチャ）https://machikore.com/map/kuchikomi/shop/2923/
まちのおくすりやさん .com http://machinookusuri.com/special/momenya.html
ウィキペディア（成島治平）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 成島治平
花キューピットタウン（オリオンフラワー）https://ht23-006.hanatown.net/
マチコレ！（河野スポーツ）https://machikore.com/map/kuchikomi/shop/6734/
Rigel Facebook https://www.facebook.com/Rigelkofu/
Rigel Instagram（rigel3252）https://www.instagram.com/rigel3252
大森水晶 OMORI&CO. http://www.crystal-omori.com/
大森水晶 Instagram（omoriandco）https://www.instagram.com/omoriandco/
甲府 武藤呉服店 Amebablog（きもの日和）https://ameblo.jp/muto100/
安達研究室（武藤呉服店）http://adachi-seminar.yamanashi-ken.ac.jp/heritage/455
てくてく！TV（5 月 13 日 oa）https://www.ybs.jp/tetete/feature/ 骨董店巡り（5 月 13 日 oa）
道がまっすぐ https://michigamassugu.com/
花国 https://hana-kuni.com/
山梨 甲府 おしゃれの店 フジヤ Instagram（kasugaavenue_fujiya_）https://www.instagram.com/kasugaavenue_fujiya_/
フジヤ Facebook https://www.facebook.com/fujiya.kofu/
サイキ宝飾 http://www.cyci.co.jp/
ワインズ新富屋 https://shintomiya.jp/
株式会社かいや https://www.the-kaiya.com/
みな与 https://minayo.co.jp/
タウンページ（株式会社網倉本店）https://itp.ne.jp/info/194309787200000899/
ひしわ園 http://www.hisiwaen.co.jp/
山根園 http://www.yamaneen.net/
有限会社キング珈琲 Facebook https://www.facebook.com/ 有限会社キング珈琲 -598035883633299/
大関食品 http://ohzeki.jp/
川口屋豆腐店 https://www.kawaguchiya1950.com
三枝豆店 http://www.mame3193.co.jp/
武田食品株式会社 武田牛乳 http://www.takeda-shokuhin.co.jp/takedamilk_shohin.html
T’s cafe http://www.takeda-shokuhin.co.jp/ts_cafe.html
漂流牛乳 武田牛乳 https://www.citymilk.net/bin/chubu/yamanashi/takeda.htm
よっちゃん食品工業株式会社 http://www.yotchan.co.jp/
ウィキペディア（よっちゃん食品工業）https://ja.wikipedia.org/wiki/ よっちゃん食品工業
うし奥 Facebook https://www.facebook.com/ushioku1129/
鳥林 http://www.toririn.com/
ヴァルト http://www.d-wald.com/
手仕事パン工房 榮や Facebook https://www.facebook.com/ 手仕事パン工房 - 榮や -425287424282049/
タイムベイク Facebook https://www.facebook.com/pages/ タイムベイク /378642318844010
山梨パン共同組合（タイムベイク）http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/kumiai/pan/content/frame_05.html
ブーランジェリー パンペパン Facebook https://www.facebook.com/painpepin/
ブーランジェリー パンペパン Instagram https://www.instagram.com/painpepin/
ベーカリーハチ https://www.bakery8.com/
丸十山梨製パン株式会社 http://www.marujupan.co.jp/
てくてく！TV（2017 冬 県民が選ぶ！人気スイーツ店 (12 月 14 日)）https://www.ybs.jp/tetete/feature/2017 冬 - 県民が選ぶ！人気スイーツ店 12 月 14 日
石坂屋 http://wagashi-ishizakaya.com/index.html
いつみ家 https://www.itsumiya.co.jp/
イルクルソーレ http://www.il-cursore.com/
桔梗屋 http://honkan.kikyouya.co.jp/
甲府鳳月堂 https://fugetsudo-kofu.jp/
峡陽文庫（商店の包装紙 20「甲府鳳月堂」）https://kaz794889.exblog.jp/22473693/
甲州夢小路（甲州夢小路から歩いてまわれるお店マップ 五味餅菓子店）http://koshuyumekouji.com/walk/001.html
澤田屋 http://www.kurodama.co.jp/
シャトレーゼ https://www2.chateraise.co.jp/
松林軒豊嶋家 https://shourinken.co.jp/
SlowLife https://slowlife-macaron.com/
清月 https://www.saygets.co.jp/
竹屋あさかわ https://takeya-asakawa.com/
だんごの早川／早川製菓 https://www.facebook.com/hayakawaseika.yamanashi/
やまなしコンシェル（【甲府】手作り和菓子！竹泉！【ちくせん】）http://ycon.jp/article/176/
ちぼりチボン http://www.tivon.co.jp/
早川ベーカリー https://www.hayakawa-bakery.jp/
葡萄屋 kofu オンラインショップ https://budoyakofu.official.ec/
アマノパークス https://amano-pax.jp/
オギノ http://www.ogino.co.jp/
いちやまマート http://ichiyamamart.com/
天野宣音楽事務所 http://www.amanosen.info/
エスティケイ https://www.rea-stk.co.jp/
吉字屋本店 http://www.kichijiya.jp/
クリーニング志村 https://www.c-shimura.co.jp/
株式会社少國民社 http://www.kokumon.co.jp/
STUDIO BEAT SURF http://beatsurf.com/html/kouhu/index.html
株式会社ダイタ https://daita.co.jp/
司土地 http://tsukasaland.com/
Youtube（司土地 CM）https: //www.youtube.com/watch?v=D8OQkgeefno
株式会社 DEPOT http://www.depot-yamanashi.jp/
株式会社ニュースコム https://newscom.ne.jp/
マチコレ！ https://machikore.com/
ノア動物病院 http://www.noah-vet.co.jp/
Vivit Base https://vivitbase.com/
マニュアルズ https://www.manualz.jp/
ウィキペディア（活版印刷）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 活版印刷
友康印刷所（ゆうこういんさつしょ）/ 活版印刷 Facebook https://www.facebook.com/yuukoo.print/
ライフポート https://www.lifeport.co.jp/

リラクゼーションサロン R https://relaxationsalon-r.com/
Rainbow Vocal School https://www.rainbow-vocal-school.jp/
YSK e-com https://www.ysk.co.jp/
ワルツクラシックバレースクール http://www.d-waltz.com/
桜座 https://www.sakuraza.jp/
文化のるつぼ へちま https://hechima400.com/
文化のるつぼ へちま Instagram（hechima400）https://www.instagram.com/hechima400/?hl=ja
STUDIO pellet https://studiopellet.com/
郵便局（山梨県の風景印）https://www.post.japanpost.jp/kitte_hagaki/stamp/fuke/result_pre.php?pref_id=19
風景印 ~ 小型印 ~FDC 紹介（山梨県 甲府市の風景印）http://www.pulanari-postmarks.com/yamanashi/yamanashi-kofu.html
みなさまの縁をとりもつ隊 甲府鳥もつ煮 http://www7b.biglobe.ne.jp/~torimotsu/
甲府ちゃんねるナビ https://kofu-navi.com/
Casa Prisma https://casaprisma.jp/
甲府ん！路地横丁 https://www.facebook.com/kofunrojiykocho/
Create Future 山梨 https://createfuture-y.localinfo.jp/
山梨大学（学生団体「Create Future 山梨」が表彰されました。）https://www.yamanashi.ac.jp/3314
夢甲斐塾 https://www.yumekaijyuku.com/
山梨 未来の荒川をつくる会 http://www.mirainoarakawa.com/
やまなし 未来計画研究社 https://miraiken.yamanashi.jp/
こうふぐらし研究所 http://www.kofulifelab.com/
甲府市立新紺屋小学校 https://shinkonya-e.kofu-ymn.ed.jp/
甲府市立湯田小学校 https://yuda-e.kofu-ymn.ed.jp/
甲府市立伊勢小学校 http://www.ise-e.kofu-ymn.ed.jp/
甲府市立朝日小学校 http://www.asahi-e.kofu-ymn.ed.jp/
甲府市立里垣小学校 http://www.satogaki-e.kofu-ymn.ed.jp
甲府市立相川小学校 http://www.aikawa-e.kofu-ymn.ed.jp/
信玄を探す旅（古八幡神社）http://shingentravel.com/yukari/kohatiman/kohatiman.html
甲府市立国母小学校 https://kokubo-e.kofu-ymn.ed.jp/
山梨県立図書館所蔵 , 八十周年記念誌編集委員会／編 , 甲府市立国母小学校創立八十周年記念事業実行委員会 ,「ダイヤモンド・永遠に　国母小学校八十周年記念誌」,1985 年発行
甲府市立貢川小学校 https://kugawa-e.kofu-ymn.ed.jp/
計画建設株式会社（貢川小学校校舎リニューアル工事）http://keikaku-const.com/ 公共施設
甲府市立千塚小学校 https://chizuka-e.kofu-ymn.ed.jp/
甲府市（加牟那塚古墳（かんなづかこふん））https://www.city.kofu.yamanashi.jp/senior/bunkazai/029.html
甲府市立池田小学校 https://ikeda-e.kofu-ymn.ed.jp/
甲府市立北新小学校 http://www.hokushin-e.kofu-ymn.ed.jp/
甲府市立千代田小学校 https://chiyoda-e.kofu-ymn.ed.jp/
甲府市（御岳昇仙峡エリア）https://www.city.kofu.yamanashi.jp/welcome/shizen/syosenkyou.html
甲府市立甲運小学校 https://koun-e.kofu-ymn.ed.jp/
甲府市立玉諸小学校 https://tamamoro-e.kofu-ymn.ed.jp/
甲府市（玉諸小学校）https://www.city.kofu.yamanashi.jp/gakkokyoiku/shisetsu/sho/tamamoro.html
甲府市立山城小学校 https://yamashiro-e.kofu-ymn.ed.jp/
甲府市立大里小学校 https://osato-e.kofu-ymn.ed.jp/
甲府市立東小学校 https://higashi-e.kofu-ymn.ed.jp/
甲府市立羽黒小学校 https://haguro-e.kofu-ymn.ed.jp/
甲府市（開府 500 年コラム 地名の由来 6 ～「羽黒・中村」～）https://www.city.kofu.yamanashi.jp/koho/kaifukoramu/timei06.html
Zoom Up KOFU 市民レポート（羽黒地域の自然・歴史遺産）https://blog.goo.ne.jp/kofu-reporter/e/9ea3e6dd237efc2470e273353d990ece
甲府市立石田小学校 https://ishida-e.kofu-ymn.ed.jp/
KOFU500（宮中祭祀、明治天皇の即位で選ばれた　甲府の上石田）https://kofu500.theblog.me/posts/6200438/
甲府市立新田小学校 https://shinden-e.kofu-ymn.ed.jp/
山梨新報（貢川遊歩道）http://www.y-shinpou.co.jp/SAKURA/kugawa.html
甲府市立大国小学校 https://okuni-e.kofu-ymn.ed.jp/
ウィキペディア（荒川 _（山梨県））https://ja.wikipedia.org/wiki/ 荒川 _（山梨県）
甲府市立舞鶴小学校 https://maizuru-e.kofu-ymn.ed.jp/
丸和不動産（甲府市立舞鶴小学校）https://www.maru-wa.com/areacho_ma/shisetsu_ma19201/shisecate_ma0103/detail_ma1922118/
甲府市立中道南小学校 https://nakamichiminami-e.kofu-ymn.ed.jp/
甲府市（中道往還）https://www.city.kofu.yamanashi.jp/welcome/rekishi/oukan.html
甲府市立中道北小学校 https://nakamichikita-e.kofu-ymn.ed.jp/
甲府市立風土記の丘農産物直売所 http://fudoki-nakamichi.com/2017/01/post-58.html
甲府市立善誘館小学校 https://zenyukan-e.kofu-ymn.ed.jp/
富士の国やまなし（旧甲府市立宮本小学校）https://www.yamanashi-kankou.jp/kanko/https://www.yamanashi-kankou.jp/kankou/spot/p1_4473.html
峡陽文庫（旧甲府市立相生小学校）https://kaz794889.exblog.jp/19324763/
マチコレ！（旧町名を復活させたい ～穴切町～）http://machikore.com/mattocileci/archives/885
山梨県立図書館所蔵 , 甲府市立宮本小学校／編 , 甲府市立春日小学校創立百周年 ,「金桜」,1974 年発行 , 全 4p,1p
峡陽文庫（旧甲府市立相生小学校）https://kaz794889.exblog.jp/19324763/
甲府市社会福祉協議会（甲府市上九の湯ふれあいセンター）https://www.kofu-syakyo.or.jp/sisestu/kamiku.htm
浅川明次 編 ,「山梨の学校ことはじめ」, 全 340p,p255-256,2011 年発行
甲府市立東中学校 https://higashi-j.kofu-ymn.ed.jp/
ウィキペディア（甲府市立東中学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲府市立東中学校甲府市立西中学校
甲府市立南中学校 https://minami-j.kofu-ymn.ed.jp/
ウィキペディア（甲府市立南中学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲府市立南中学校
甲府市立北中学校 http://www.kita-j.kofu-ymn.ed.jp/
ウィキペディア（甲府市立北中学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲府市立北中学校
甲府市立南西中学校 http://www.nansei-j.kofu-ymn.ed.jp/
ウィキペディア（甲府市立南西中学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲府市立南西中学校
甲府市立北東中学校 http://www.hokutou-j.kofu-ymn.ed.jp/
ウィキペディア（甲府市立北東中学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲府市立北東中学校
甲府市立北西中学校 http://www.hokusei-j.kofu-ymn.ed.jp/
ウィキペディア（甲府市立北西中学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲府市立北西中学校
甲府市立富竹中学校 http://www.tomitake-j.kofu-ymn.ed.jp/
ウィキペディア（甲府市立富竹中学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲府市立富竹中学校
甲府市立城南中学校 http://www.jonan-j.kofu-ymn.ed.jp/
ウィキペディア（甲府市立城南中学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲府市立城南中学校
甲府市立上条中学校 http://www.kamijo-j.kofu-ymn.ed.jp/
ウィキペディア（甲府市立上条中学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲府市立上条中学校
甲府市立笛南中学校 http://www.tekinan-j.kofu-ymn.ed.jp/
ウィキペディア（甲府市立笛南中学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲府市立笛南中学校
甲府市（笛南中学校）https://www.city.kofu.yamanashi.jp/gakkokyoiku/shisetsu/chu/tekinan-c.html
山梨県立甲府第一高等学校 http://www.first.kai.ed.jp/
ウィキペディア（山梨県立甲府第一高等学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 山梨県立甲府第一高等学校
山梨県立甲府東高等学校 http://www.higasih.kai.ed.jp/
ウィキペディア（山梨県立甲府東高等学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 山梨県立甲府東高等学校
山梨県立甲府西高等学校 http://www.nishi.kai.ed.jp/
ウィキペディア（山梨県立甲府西高等学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 山梨県立甲府西高等学校
山梨県立甲府南高等学校 https://www.kofuminami-h.ed.jp/
ウィキペディア（山梨県立甲府南高等学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 山梨県立甲府南高等学校
山梨県立甲府城西高等学校 https://www.josaih.kai.ed.jp/
ウィキペディア（山梨県立甲府城西高等学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 山梨県立甲府城西高等学校
山梨県立甲府工業高等学校 http://www.kofu-th.ed.jp/
ウィキペディア（山梨県立甲府工業高等学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 山梨県立甲府工業高等学校
山梨県立中央高等学校 http://www.chuouh.kai.ed.jp/
ウィキペディア（山梨県立中央高等学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 山梨県立中央高等学校
甲府市立甲府商業高等学校 http://www.kchs.city.kofu.yamanashi.jp/
ウィキペディア（甲府市立甲府商業高等学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲府市立甲府商業高等学校
甲斐清和高等学校 http://seika.ito-gakuen.ed.jp/
ウィキペディア（甲斐清和高等学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲斐清和高等学校
東海大学付属甲府高等学校 http://www.kofu.tokai.ed.jp
ウィキペディア（東海大学付属甲府高等学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 東海大学付属甲府高等学校
山梨大学教育学部付属幼稚園 https://www.kinder.yamanashi.ac.jp/
山梨大学教育学部付属小学校 https://www.agr.yamanashi.ac.jp/
山梨大学教育学部付属中学校 https://www.wgr.yamanashi.ac.jp/
ウィキペディア（山梨大学教育学部付属小学校・中学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 山梨大学教育学部付属小学校・中学校
山梨英和大学 https://www.yamanashi-eiwa.ac.jp/
ウィキペディア（山梨英和中学校・高等学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 山梨英和中学校・高等学校
山梨学院 http://www.ygu.jp/
ウィキペディア（山梨学院大学）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 山梨学院大学
駿台甲府学園 https://www.sundai-kofu.ed.jp/
ウィキペディア（駿台甲府小学校・中学校・高等学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 駿台甲府小学校・中学校・高等学校
山梨県立ろう学校 http://www.rogako.kai.ed.jp/
山梨県立盲学校 http://www.ysvi.kai.ed.jp/
山梨県立かえで支援学校 http://www.kaedey.kai.ed.jp/
山梨県立富士見支援学校 http://www.fujimiy.kai.ed.jp/
山梨県立甲府支援学校 http://www.yogoy.kai.ed.jp/
山梨大学教育学部附属特別支援学校 https://www.futoku.yamanashi.ac.jp/
ウィキペディア（山梨大学教育学部附属特別支援学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 山梨大学教育学部附属特別支援学校
山梨県立宝石美術専門学校 https://www.pref.yamanashi.jp/houseki/jewelry/
甲府市立甲府商科専門学校 http://www.kcc.ac.jp/
ウィキペディア（甲府市立甲府商科専門学校）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 甲府市立甲府商科専門学校
共立高等看護学院 http://www.yamanashi-min.jp/krkk/
専門学校甲府医療秘書学院 http://ms.ito-gakuen.ed.jp/
甲府看護専門学校 http://www.kofu-kango.ac.jp/index.shtml
山梨県歯科衛生専門学校 https://www.ydhc.ac.jp/
山梨県美容専門学校 https://www.yamabisen.net/
山梨秀峰調理師専門学校 https://www.shuho264.com/
山梨情報専門学校 http://yjk.ito-gakuen.ed.jp/
山梨県立大学 https://www.pref.yamanashi.jp/koucho/radio/radio110708.html
山梨大学 https://www.yamanashi.ac.jp/

・本書内に掲載されているシンボル・画像・イラスト・文章・データ等の無断転載および無断転用をかたく禁じます。
・シンボルおよび画像の著作権・所有権・商標登録における権利等は、所有者（または貸出主等）に帰属します。
・上記、著作権等の権利やその他本書に関するご不明な点におかれましては、コウフシンボル 500 制作委員会（メールアドレス：kofulifelab+ks500@gmail.com）へご連絡ください。

委員会・ボランティアメンバー

雨宮 透修	髙石 晃仁
荒木 久司	高村 ゆう
稲生 えり	中田 大智
大森 樹	馬場 敏
桑原 怜美	向山 ありさ
酒井 大介	米山 陽香
白倉 雄大	来田 直己

Special Thanks

安達 義通	佐藤 文昭
宇田 敏樹	成澤 治子
笠井 拓哉	松本 飛勇馬

山梨県活性化プロジェクト

やまなし Mirai プロジェクト（未来計画研究社）

甲府市役所 企画部 開府 500 年事業課

※敬称略

コウフシンボル 500

発行日 ： 令和 2 年

発行数 ： 1,000 部

発　行 ： コウフシンボル 500 制作委員会

山梨県甲府市中央 1 丁目 6 － 4 芳野ビル 2F

企画・編集・デザイン ： 稲生 えり

構成・ロゴマーク ： 高村 ゆう

協力・デザイン ： こうふぐらし研究所

KOFU CITY

こうふ開府500年

1519－2019

こうふ開府 500 年記念事業 企画提案事業

コウフシンボル 500 プロジェクト

Web: http://www.ks500.kofulifelab.com

Mail: kofulifelab+ks500@gmail.com

コウフシンボル500

コウフシンボル500

KOFU CITY

こうふ開府500年

1519－2019

こうふ開府500年記念事業企画提案事業